HP Officejet J5700
ユーザー ガイド

Adobe®および Acrobat Logo®は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

Windows®、Windows NT®、Windows Me®、Windows XP®、および Windows 2000® は米国における Microsoft Corporation の登録商標です。

Intel® および Pentium® は Intel Corporation またはその子会社の米国およびその他の国における登録商標です。

2006 年 10 月

注意

HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の明示的保証規定に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては責任を負いかねますのでご了承ください。

Hewlett-Packard Company は、本製品の設置やパフォーマンス、あるいは本ドキュメントおよび本ドキュメントに記載されているプログラムの使用に関係する、あるいは起因する付帯的なあるいは結果的な損害について責任を負わないものとします。

注: 規制情報は 規制に関する告知 に記載されています。

多くの地域において、次のもののコピーを作成することは法律で禁じられています。疑問がおありの場合は、まず法律の専門家に確認してください。

- 政府が発行する書類や文書：
  - パスポート
  - 入国管理関係の書類
  - 徴兵関係の書類
  - 身分証明バッジ、カード、身分証明章
- 政府発行の証紙：
  - 郵便切手
  - 食糧切符
- 政府機関宛ての小切手や手形
- 紙幣、トラベラーズチェック、郵便為替
- 定期預金証書
- 著作権で保護されている成果物

安全に関する情報

⚠ **警告** 火災または感電を避けるため、本製品を水気や湿気のある場所に置かないでください。

本製品を使用する際は常に基本的な安全上の予防措置を講じるようにしてください。発火や感電によるけがのリスクの引き下げにつながります。

⚠ **警告** 感電の危険性があります

1. 『セットアップガイド』に記載の手順をよく読み、理解しておいてください。
2. 本体を電源に接続する際は、接地されているコンセントのみを使用してください。コンセントが接地されているかどうか不明の場合は、資格のある電気技術者にお尋ねください。
3. 製品に表示されているすべての警告と手順に従ってください。
4. 本体のクリーニングを行う際はコンセントから外してから行ってください。
5. 水の近くに本製品を設置したり、あるいは濡れた手で本製品を使用したりしないでください。
6. 本製品は安定した表面にしっかりと設置してください。
7. 電源コードを踏んだり、つまずいたりして電源コードが損傷しないように、本製品は安全な場所に設置してください。
8. 本製品が正常に動作しない場合については、オンスクリーン ヘルプのトラブルシューティングのページを参照してください。
9. お客様ご自身で分解修理しないでください。修理については資格のあるサービス担当者にお問い合わせください。
10. 風通しのよいところでご使用ください。
11. HP 提供の電源アダプタ以外は使用しないでください。

⚠ **警告** 主電源の供給が停止したときは動作しません。

目次

4　HP All-in-One のセットアップの完了

9 ファクス機能の使用

10 HP All-in-One の保守

11 トラブルシューティング

12 サプライ品の注文

13 HP 保証およびサポート

14 技術情報

1　HP Officejet J5700 All-in-One series ヘルプ

HP All-in-One の詳細については、以下を参照してください。

2　詳細

印刷物およびオンスクリーン ヘルプなど、さまざまなリソースから、
HP All-in-One の設定と使用方法に関する情報が得られます。

• 情報の種類

情報の種類

	セットアップ ガイド 『セットアップ ガイド』では、HP All-in-One のセットアップやソフトウェアのインストール方法について説明します。『セットアップ ガイド』に記載された手順を順序どおりに行ってください。
	ユーザー ガイド（本書） 『ユーザー ガイド』では、トラブルシューティングのヒントや手順を追った説明など、HP All-in-One を使用する方法が説明されています。また、『セットアップ ガイド』の説明を補足するためのセットアップ手順も追加されています。
HTML	**Readme** Readme ファイルには、その他の出版物には含まれていない最新情報が収録されています。 Readme ファイルにアクセスするには、ソフトウェアをインストールします。
www.hp.com/support	インターネットにアクセス可能な場合は、HP Web サイトからヘルプやサポートを入手することができます この Web サイトには、技術サポート、ドライバ、サプライ品、および注文に関する情報が用意されています。

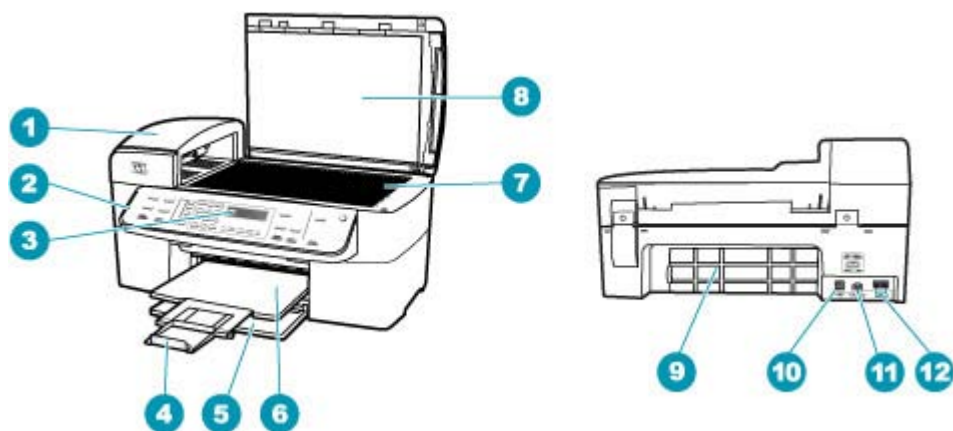
3　HP All-in-One の概要

HP All-in-One に備わった機能の多くは、コンピュータを使わなくても直接利用することができます。HP All-in-One から、コピーを作成したり、ファクスを送信するなどの操作をすばやく簡単に行うことができます。

このセクションでは、HP All-in-One ハードウェア機能とコントロール パネル機能について説明します。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

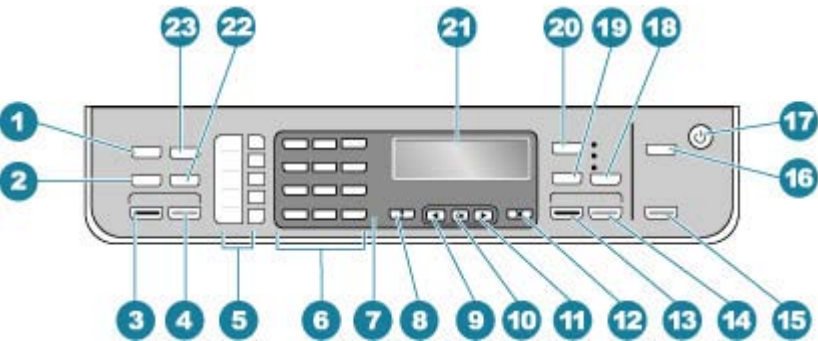
- HP All-in-One 各部の説明
- コントロール パネルの機能
- 文字と記号
- ソフトウェアの使用
- 接続情報

HP All-in-One 各部の説明

番号	説明
1	自動ドキュメント フィーダ
2	コントロール パネル
3	コントロール パネル ディスプレイ (ディスプレイ)
4	延長排紙トレイ (補助トレイ)
5	給紙トレイ
6	排紙トレイ

(続き)

番号	説明
7	ガラス板
8	原稿押さえ
9	後部アクセスドア
10	後部 USB ポート
11	電源コネクタ
12	1-LINE (ファクス) および 2-EXT (電話) ポート

コントロール パネルの機能

次の図と表を使って、HP All-in-One のコントロール パネルの機能について説明します。

番号	名称および説明
1	ファクス 領域の **メニュー**: ファクス メニューで、オプションを選択できます。
2	**リダイヤル/ポーズ**: 最後にダイヤルした番号をリダイヤルします。または、ファクス番号に 3 秒間のポーズを挿入します。
3	**ファクス スタート - モノクロ**: モノクロ ファクスの送信を開始します。
4	**ファクス スタート - カラー**: カラー ファクスの送信を開始します。
5	ワンタッチ短縮ダイヤル ボタン: 最初の 5 つの短縮ダイヤル番号にアクセスします。
6	キーパッド: ファクス番号や値、文字を入力します。
7	注意ランプ: 注意ランプが点滅している場合は、注意が必要なエラーが発生していることを示します。
8	**セットアップ**: レポートの作成、ファクスやその他のメンテナンス設定の変更、[**ヘルプ メニュー**] メニューへのアクセスを行うためのセットアップ メニューを表示します。▶ を押して、利用可能なヘルプトピックをスクロールします。トピックを選択して **OK** を押してください。選択したトピックに関するヘルプがコンピュータ画面に表示されます。
9	左矢印: 数値を下げます。

(続き)

番号	名称および説明
10	**OK**: ディスプレイのメニューまたは設定を選択します。
11	右矢印: 数値を上げます。
12	**キャンセル**: ジョブの停止、メニューの終了、設定の終了を行います。
13	**コピー スタート - モノクロ**: モノクロ コピーを開始します。
14	**コピー スタート - カラー**: カラー コピーを開始します。
15	**スキャン スタート**: スキャン ジョブを開始し、**スキャンの送信先** ボタンで選択したスキャン先に画像を送信します。
16	**スキャンの送信先**: [**スキャンの送信先**] メニューで、スキャン送信先を選択します。
17	電源:HP All-in-One の電源をオン/オフにします。HP All-in-One がオンの場合は、On ボタンが点灯します。ジョブの実行中はランプが点滅します。 HP All-in-One の電源をオフにしていても、本体には必要最小限の電力が供給されています。HP All-in-One への電力の供給を完全に遮断するには、本体の電源をオフにしてから電源ケーブルを抜いてください。
18	**品質**: コピー品質として、**高画質**、**きれい**、または **はやい** を選択します。
19	**縮小/拡大**: 印刷するコピーのサイズを変更します。
20	コピー 領域の **メニュー**: [**コピーメニュー**] で、オプションを選択します。
21	ディスプレイ: メニューとメッセージを表示します。
22	**短縮ダイヤル**: 短縮ダイヤルを選択します。
23	**ファクス解像度**: 送信するファクスの解像度を調整します。

文字と記号

短縮ダイヤル番号やファクスの見出し情報を設定するときは、コントロール パネルのキーパッドを使って、文字や記号を入力することができます。

ファクス番号や電話番号をダイヤルするときも、キーパッドから記号を入力することができます。HP All-in-One は、番号をダイヤルするときに、記号に応じた動作をします。たとえば、ファクス番号の途中にダッシュがある場合は、HP All-in-One がダイヤルするときに、そこで一定の間隔を置きます。この間隔は、ファクス番号をダイヤルする前に、外線番号を入力する必要がある場合などに役に立ちます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

コントロール パネルのキーパッドを使った文字の入力

コントロール パネルのキーパッドから文字と記号を入力できます。

文字を入力するには

1. 名前の文字に対応するキーパッドの数字を押します。下のボタンに示すように、a、b、c の文字は数字 2 に対応しています。

> ヒント ボタンを繰り返し押すと、そのボタンで入力可能な文字が順に表示されます。言語および国と地域の設定によっては、キーパッドに表示されるもの以外の文字も使用できる場合があります。

2. 正しい文字が表示された後、そのまま少し待つと、カーソルが自動的に右に進んで文字が確定します。または ▶ を押して手動で確定します。名前の次の文字に対応する数字を押します。正しい文字が出てくるまで、繰り返し数字ボタンを押してください。単語の最初の文字は自動的に大文字になります。

スペース、ポーズ、記号を入力するには

▲ スペースを挿入するには、**スペース** を押します。
ポーズを入力するには、**リダイヤル/ポーズ** を押します。番号の途中にダッシュが挿入されます。
[@] などの記号を入力するには、**記号** ボタンを繰り返し押して、記号のリストをスクロールします。

アスタリスク ([*])	ハイフン ([-])	アンパサンド ([&])
ピリオド ([.])	スラッシュ ([/])	丸かっこ[( )]
アポストロフィ (['])	等号 ([=])	ナンバー記号 ([#])
アットマーク ([@])	アンダースコア ([_])	プラス ([+])
感嘆符 ([!])	セミコロン ([;])	疑問符 ([?])
コンマ ([,])	コロン ([:])	パーセント ([%])
チルダ ([~])		

文字、数字、記号を消去するには

▲ 間違えた場合は、◀ を押して消去し、正しく入力し直してください。

文字の入力が終わったら、**OK** を押して入力内容を確定します。

ファクス番号をダイヤルするときに使用できる記号

* などの記号を入力するには、**記号** ボタンを繰り返し押して、記号一覧をスクロールします。次の表は、ファクスまたは電話番号、ファクスのヘッダー情報、短縮ダイヤルで使用できる記号です。

使用できる記号	説明	以下の場合に使用可能
*	ダイヤルに必要な場合に、アスタリスク記号を表示します。	ファクスのヘッダー名、短縮ダイヤル名、短縮ダイヤル番号、ファクスまたは電話番号、ダイヤルモニタ機能の番号
-	自動的にダイヤルするとき、HP All-in-One は番号に一定の間隔を挿入します。	ファクスのヘッダー名、ファクス ヘッダー番号、短縮ダイヤル名、短縮ダイヤル番号、ファクスまたは電話番号
( )	市外局番などが読み取りやすくなるように、番号に左あるいは右かっこを入れます。これらの記号はダイヤルには影響しません。	ファクスのヘッダー名、ファクス ヘッダー番号、短縮ダイヤル名、短縮ダイヤル番号、ファクスまたは電話番号
W	W を入れると、自動的ダイヤルの際に、HP All-in-One はダイヤル トーンを待ってからダイヤルします。	短縮ダイヤル番号、ファクスまたは電話番号
R	R は、自動ダイヤル中に電話の切替ボタンと同じように動作します。	短縮ダイヤル番号、ファクスまたは電話番号
+	プラス記号を表示します。この記号はダイヤルには影響しません。	ファクスのヘッダー名、ファクス ヘッダー番号、短縮ダイヤル名、短縮ダイヤル番号、ファクスまたは電話番号

ソフトウェアの使用

HP ソリューション センター ソフトウェア (Windows) または HP Photosmart Studio (Mac) ソフトウェアを使用すれば、コントロール パネルからは利用できない数多くの機能にアクセスすることができます。

HP All-in-One をセットアップすると、ソフトウェアがコンピュータにインストールされます。詳細については、本体に付属の『セットアップ ガイド』を参照してください。

ソフトウェアへのアクセスは、オペレーティング システム (OS) により異なります。たとえば、Windows コンピュータの場合、HP ソリューション センター ソフトウェア のエントリ ポイントは、**[HP ソリューション センター]** です。Mac の場合、HP Photosmart Studio (Mac) ソフトウェア のエントリ ポイントは、HP Photosmart Studio 画面です。いずれにしても、エントリ ポイントは、ソフトウェアおよびサービスの起動となります

HP Photosmart Studio (Mac) を開くには

▲ Dock の HP Photosmart Studio アイコンをクリックします。
写真を管理、編集、および共有できる HP Photosmart Studio 画面が表示されます。

注記 Mac の場合、HP Photosmart Studio (Mac) ソフトウェアで使用できる機能は選択したデバイスによって異なります。

接続情報

HP All-in-One は、単独のコピーおよびファクス機として使用できます。また、HP All-in-One をコンピュータに接続して印刷およびその他のソフトウェア機能を実行することができます。各種接続オプションについては、後続セクションで説明します。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

サポートされている接続の種類

説明	最高のパフォーマンスを得るための推奨接続コンピュータ数	サポートするソフトウェアの機能	セットアップ方法
USB 接続	1 台のコンピュータ。USB ケーブルでプリンタ背面の USB ポートに接続。	すべての機能をサポートします。	詳しい手順については、『セットアップ ガイド』に従ってください。
プリンタの共有	コンピュータ 5 台まで。 ホスト コンピュータは常に電源をオンにしておく必要があります。オフの場合、他のコンピュータは HP All-in-One に対して印刷を実行できません。	ホスト コンピュータではすべての機能を使用できます。 ホスト コンピュータに接続されたコンピュータは、プリント機能のみを使用できます。	セットアップ方法については、プリンタの共有の使用を参照してください。

USB ケーブルを使用して接続

USB ケーブルを使用して背面の USB ポートにコンピュータを接続する方法の詳細については、HP All-in-One 付属の『セットアップ ガイド』を参照してください。

プリンタの共有の使用

コンピュータがネットワークに接続され、同じネットワーク上の別のコンピュータに HP All-in-One が USB ケーブルで接続されている場合、プリンタ共有機能を使用してそのプリンタに印刷することができます。

HP All-in-One に直接接続するコンピュータがプリンタの**ホスト**として機能し、このコンピュータがすべてのソフトウェア機能を実行します。**クライアント** と呼ばれるその他のコンピュータは、印刷機能にのみアクセスできます。他の機能は、ホスト コンピュータから実行するか、HP All-in-One のコントロール パネルから実行する必要があります。

Mac でのプリンタ共有を有効にするには

1. クライアント コンピュータとホスト コンピュータの両方で、以下を実行します。
    a. Dock の **[システム環境設定]** をクリックするか、**[アップル]** メニューで **[システム環境設定]** を選択します。
    [システム環境設定] ダイアログが表示されます。
    b. **[インターネットとネットワーク]** 領域で、**[共有]** をクリックします。
    c. **[サービス]** タブで、**[プリンタ共有]** をクリックします。
2. ホスト コンピュータで、以下を実行します。
    a. Dock の **[システム環境設定]** をクリックするか、**[アップル]** メニューで **[システム環境設定]** を選択します。
    [システム環境設定] ダイアログが表示されます。
    b. **[ハードウェア]** 領域で、**[プリントとファクス]** をクリックします。
    c. OS に従って、次のいずれかの操作を行います。
        - (OS 10.3.x) **[プリント]** タブで、**[プリンタをほかのコンピュータと共有する]** のチェック ボックスをクリックします。
        - (OS 10.4.x) **[共有]** をクリックし、**[プリンタをほかのコンピュータと共有]** のチェック ボックスをクリックしてから、共有するプリンタを選択します。

4　HP All-in-One のセットアップの完了

『セットアップ ガイド』に記載された手順が完了したら、次にこのセクションを参照して HP All-in-One のセットアップを完了させてください。このセクションには、初期設定などデバイスのセットアップに関する重要な情報が記載されています。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 初期設定
- ファクス設定

初期設定

HP All-in-One の設定をお客様ご自身で変更することができます。たとえば、メッセージの表示に使用する言語、ディスプレイに表示される日付や時間など、一般的なデバイスの初期設定を行うことができます。また、デバイスの設定を、購入時の設定に戻すこともできます。この場合、新しく設定したデフォルト値はすべて消去されます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 全般的な初期設定
- ファクスの初期設定

全般的な初期設定

HP All-in-One の使用を開始する前に、このセクションで説明する一般的なデバイス設定をよく読んで、必要に応じて設定を変更してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 言語と国/地域の設定
- 日付と時刻の設定
- スクロール速度の設定
- プロンプト遅延時間の設定
- 出荷時のデフォルト値に戻す

言語と国/地域の設定

言語と国/地域の設定内容により、HP All-in-One のディスプレイのメッセージに使用する言語が決まります。通常、言語と国/地域は HP All-in-One を初めてセットアップする際に設定します。ただし、この設定は以下の手順によりいつでも変更できます。

言語と国/地域を設定するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **7** を押し、次に **1** を押します。
これで、[**基本設定**] と [**言語と国/地域の設定**] が続けて選択されます。
3. ◀ または ▶ を押して言語をスクロールします。使用する言語が表示されたら、**OK** を押します。
4. 画面の指示に従い、[**はい**] の場合は **1**、[**いいえ**] の場合は **2** を押します。
5. ◀ または ▶ を押して国/地域をスクロールします。選択する国/地域が表示されたら、**OK** を押します。
6. 画面の指示に従い、[**はい**] の場合は **1**、[**いいえ**] の場合は **2** を押します。

日付と時刻の設定

コントロール パネルから日付と時刻を設定することができます。この日付と時刻の形式は、言語と国/地域の設定に基づいています。ファクスを送るときに、名前とファクス番号のほかに現在の日付と時刻もファクス ヘッダーの一部として送信されます。

注記 一部の国または地域では、法令等によりファクスのヘッダーに日付スタンプの明記が義務付けられています。

HP All-in-One の電源が 72 時間以上切れていると、日付と時刻の再設定が必要になる場合があります。

日付と時刻を設定するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **6** を押し、次に **3** を押します。
これで、[**ツール**] と [**日付と時刻**] が続けて選択されます。
3. キーパッドの数字を押して、年、月、日を入力します。言語と国/地域の設定によっては、入力する順序が異なることがあります。
4. 時と分を入力します。
5. 12 時間形式で時刻が表示されている場合は、AM に **1**、または PM に **2** を押します。
新しい日付と時刻の設定がディスプレイに表示されます。

スクロール速度の設定

[**スクロール速度の設定**] オプションでは、ディスプレイでメッセージの文字を右から左へスクロールする速度を指定できます。たとえば、メッセージが「[**プリントカートリッジを調整中。しばらくお待ちください。**]」の場合は、ディスプレイには収まらないのでスクロールが必要になります。スクロールによって、メッセージ全体を読むことができるようになります。スクロール速度として、[**標準**]、[**はやい**]、または [**ゆっくり**] を選択します。デフォルトの設定は [**標準**] です。

スクロール速度を設定するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **7** を押し、次に **2** を押します。
   これで、[**基本設定**] と[**スクロール速度の設定**] が続けて選択されます。
3. ▶ を押してスクロール速度を選択し、**OK** を押します。

プロンプト遅延時間の設定

[**プロンプト遅延時間の設定**] オプションを使用すると、指示メッセージが表示されるまでの時間を指定できます。

たとえば、コピー 領域で **メニュー** を押し、別のボタンを押す前に遅延時間が経過すると、ディスプレイに[**設定にはメニューを押します。**]というメッセージが表示されます。

プロンプト遅延時間を設定するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **7** を押し、次に **3** を押します。
   これで、[**基本設定**] と [**プロンプト遅延時間の設定**] が続けて選択されます。
3. ▶ を押して遅延時間を選択し、**OK** を押します。
   [**標準**]、[**はやい**]、[**ゆっくり**]、または [**オフ**] を選択できます。[**オフ**] を選択すると、ディスプレイにヒントが表示されなくなります。ただし、インクレベルの低下を知らせる警告やエラー メッセージなどのメッセージは引き続き表示されます。

出荷時のデフォルト値に戻す

現在の設定を HP All-in-One 購入時の設定に戻すことができます。

注記　工場出荷時の初期設定に戻しても、スキャン設定、言語設定、および国と地域の設定に加えた変更はそのまま残ります。ファクス ヘッダー、ファクス番号および短縮ダイヤルリストなど、保存されている個人設定は、工場出荷時の初期設定に戻しても削除されません。

この作業は、本体のコントロール パネルからのみ実行できます。

工場出荷時の初期設定に戻すには

1. **セットアップ** を押します。
2. **6** を押し、次に **4** を押します。
   これで、[**ツール**] と [**出荷時デフォルト値に戻す**] が続けて選択されます。
   これで工場出荷時の初期設定に戻ります。

ファクスの初期設定

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 自動的にファクス番号をリダイヤルするように HP All-in-One を設定する
- 音量の調整

• トーン ダイヤルまたはパルス ダイヤルの設定
• ファクス速度の設定

自動的にファクス番号をリダイヤルするように HP All-in-One を設定する

話中または応答のなかった番号に自動的にリダイヤルするように、HP All-in-One を設定することができます。デフォルトの [**ビジー リダイヤル**] 設定は [**リダイヤル**] です。デフォルトの [**応答なしリダイヤル**] 設定は [**リダイヤルしない**] です。

コントロール パネルからリダイヤルのオプションを設定するには

1. **セットアップ** を押します。
2. 次のいずれかの操作を行います。

   [ビジー リダイヤル] 設定を変更するには

   ▲ **5** を押し、次に **2** を押します。
   これで、[**ファクスの詳細設定**] と [**ビジー リダイヤル**] が続けて選択されます。

   [応答なしリダイヤル] 設定を変更するには

   ▲ **5** を押し、次に **3** を押します。
   これで、[**ファクスの詳細設定**] と [**応答なしリダイヤル**] が続けて選択されます。
3. ▶ を押して [**リダイヤル**] または [**リダイヤルしない**] を選択します。
4. **OK** を押します。

音量の調整

HP All-in-One は、呼び出し音とスピーカの音量を 3 段階で調整できます。呼び出し音のボリュームとは、電話がかかってきたときに鳴る音の大きさです。スピーカのボリュームとは、ダイヤル トーンやファクス トーン、ボタンを押したときに鳴る音など、それ以外の音のレベルのことです。デフォルトの設定は [**小さい**] です。

コントロール パネルから音量を調整するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **4** を押し、もう一度 **5** を押します。
   これで、[**ファクスの基本設定**] と [**呼出し音とプッシュ音の音量**] が続けて選択されます。

3. ▶ を押し、[**小さい**]、[**大きい**]、または [**オフ**] を選択します。

   注記　ボタンを押したときに鳴る音の音量は、[**大きい**] と [**小さい**] のどちらを選択しても同じです。この 2 つのオプションは、呼び出し、ダイヤル、その他のファクス使用時に聞こえるトーンにのみ適用されます。ただし、[**オフ**] を選択すると、ボタンを押したときの音もオフになります。

   [**オフ**] を選択すると、ダイヤル トーン、ファクス受信音、着信の呼び出し音がまったく聞こえなくなります。[**呼出し音とプッシュ音の音量**] を [**オフ**] に設定すると、コーリング カードを使用してファクスを送信するなど、ダイヤルモニタ機能を使用してファクスを送信できなくなります。

4. **OK** を押します。

関連トピック

ダイヤル モニタリングを使用したファクス送信

トーン ダイヤルまたはパルス ダイヤルの設定

HP All-in-One のダイヤル モードを、トーン ダイヤルまたはパルス ダイヤルに設定できます。

ほとんどの電話システムは、どちらかのダイヤル方式で動作します。ご使用の電話システムがパルス ダイヤル指定でなければ、トーン ダイヤルの使用をお勧めします。公衆電話や構内交換機 (PBX) システムの場合は、[**パルス ダイヤル**] 指定の場合もあります。どちらの設定を使用しているかわからないときは、最寄りの電話会社にお問い合わせください。

注記　[**パルス ダイヤル**] を選択すると、いくつかの電話システム機能が使用できない場合があります。また、ファクスや電話番号をダイヤルするのに時間がかかることがあります。

注記　この機能は、一部の国/地域ではサポートされていません。お住まいの国/地域でサポートされていない場合、[**ファクスの基本設定**] メニューに [**トーン、パルス選択**] は表示されません。

コントロール パネルからトーン ダイヤルまたはパルス ダイヤルを設定するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **4** を押し、次に **6** を押します。
   これで、[**ファクスの基本設定**] と [**トーン、パルス選択**] が続けて選択されます。
3. ▶ を押してオプションを選択し、**OK** を押します。

ファクス速度の設定

ファクスを送受信するときに、HP All-in-One と相手のファクス機との通信に使用するファクス速度を設定することができます。デフォルトのファクス速度は、国/地域によって異なります。

以下のサービスを使用している場合は、必要に応じて、ファクス速度の設定を遅くします。

- インターネット電話サービス
- PBX システム
- FoIP (Fax over IP)
- ISDN (総合デジタル通信網) サービス

ファクスの送受信に問題がある場合は、**[ファクス速度]** 設定を **[標準]** または **[ゆっくり]** にしてみてください。

コントロール パネルからファクス速度を設定するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **5** を押し、次に **7** を押します。
   これで、**[ファクスの詳細設定]** と **[ファクス速度]** が続けて選択されます。
3. ▶ を押して次のいずれかの設定を選択し、**OK** を押します。

ファクス速度の設定	ファクス速度
[はやい]	v.34 (33600 ボー)
[標準]	v.17 (14400 ボー)
[ゆっくり]	v.29 (9600 ボー)

ファクス設定

このセクションでは、ファクス機能が HP All-in-One と同じ電話回線上の機器やサービスと正常に動作するように、HP All-in-One を設定する方法を説明します。

ヒント **[ファクス セットアップ ウィザード]** (Windows) または **[ファクス セットアップ ユーティリティ]** (Mac) を使用して、応答モードやファクスのヘッダー情報などの重要なファクス設定を簡単に設定することもできます。HP All-in-One 用にインストールしたソフトウェアから **[ファクス セットアップ ウィザード]** (Windows) または **[ファクス セットアップ ユーティリティ]** (Mac) にアクセスできます。**[ファクス セットアップ ウィザード]** (Windows) または **[ファクス セットアップ ユーティリティ]** (Mac) を起動したら、このセクションの手順に従ってファクスの設定を行います。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- HP All-in-One でファクスをセットアップする
- ファクスを受信するように HP All-in-One の設定を変更

- ファクス設定のテスト
- ファクスヘッダーの設定
- 短縮ダイヤルの設定
- 電話帳の設定

HP All-in-One でファクスをセットアップする

HP All-in-One のファクス機能のセットアップを開始する前に、お住まいの国または地域でどのタイプの電話システムを使用しているか確認します。
HP All-in-One のファクス機能のセットアップの説明は、パラレル方式またはシリアル方式のどちらの電話方式を使用しているかによって異なります。

- お住まいの国または地域が下記の表になければ、シリアル タイプの電話方式をご使用のはずです。シリアル方式の電話の場合、共有する電話機器 (モデム、電話、留守番電話等) のコネクタの種類が違うため、HP All-in-One の "2-EXT" ポートに接続することはできません。電話機器はすべて壁の電話ジャックに接続してください。

  注記 シリアル タイプの電話方式を使用する国または地域の場合、HP All-in-One 付属の電話コードに別の壁プラグが接続している可能性があります。これにより、別の通信装置を壁側のモジュラー ジャックに接続して、HP All-in-One を差し込むことができます。

- お住まいの国または地域が下記の表にあれば、パラレル タイプの電話方式をご使用のはずです。パラレル タイプの電話の場合、HP All-in-One 背面の "2-EXT" ポートを使用して、共有する電話機器を電話回線に接続することができます。

  注記 パラレル タイプの電話の場合、HP All-in-One に付属の 2 線式電話コードを使用して、壁の電話ジャックに HP All-in-One を接続することをお勧めします。

表 4-1 パラレル タイプの電話の国または地域

アルゼンチン	オーストラリア	ブラジル
カナダ	チリ	中国
コロンビア	ギリシア	インド
インドネシア	アイルランド	日本
韓国	南米	マレーシア
メキシコ	フィリッピン	ポーランド
ポルトガル	ロシア	サウジアラビア
シンガポール	スペイン	台湾
タイ	アメリカ	ベネズエラ

パラレル タイプの電話の国または地域 (続き)

ベトナム		

シリアル方式またはパラレル方式のどちらの電話方式かわからない場合は、最寄りの電話会社にお問い合わせください。

- 自宅またはオフィスに合った正しいファクス設定の選択
- 適切なファクス セットアップの選択
- ケース A：単独のファクス回線 (電話の着信なし)
- ケース B：DSL の環境で HP All-in-One をセットアップ
- ケース C：PBX システムまたは ISDN 回線の環境で HP All-in-One をセットアップ
- ケース D：同じ回線でファクスと着信識別サービスを一緒に利用する
- ケース E：電話とファクスを一緒に利用する
- ケース F：電話とファクスとボイスメール サービスを一緒に利用する
- ケース G：同じ回線でファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムを一緒に利用する (電話の着信なし)
- ケース H：電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムを一緒に利用する
- ケース I：電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する
- ケース J：電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムと留守番電話を一緒に利用する
- ケース K： 電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムとボイス メールを一緒に利用する

自宅またはオフィスに合った正しいファクス設定の選択

ファクスを正常に使用するには、同じ電話回線で HP All-in-One とともに何か機器やサービスを使用する場合、その種類を知っておく必要があります。 既存のオフィス機器を HP All-in-One に直接接続しなければならない場合に重要です。 また、正常にファクスするには、ファクスの設定を一部変更しなければならないこともあります。

自宅またはオフィスに合った HP All-in-One のセットアップ方法を調べるには、まずこのセクションの質問を最後まで読んで答えてみてください。 そして、1 つ後のセクションにある表から、ご自分の答えに対するセットアップ方法を選択してください。

以下の質問は必ず順番に読んでお答えください。

1. 電話会社からデジタル加入者線 (DSL) を利用していますか。 (DSL は、国/地域によっては ADSL と呼ばれています。)
   ❑ はい、DSL を利用しています。
   ❑ いいえ。
   「はい」とお答えの方は ケース B：DSL の環境で HP All-in-One をセットアップ に進んでください。 ここから先の質問に答える必要はありません。

「いいえ」とお答えの方は、続けて質問にお答えください。

2. 構内交換機 (PBX) システムまたは統合サービス デジタル通信網 (ISDN) システムを利用していますか。

   「はい」とお答えの方は ケース C：PBX システムまたは ISDN 回線の環境で HP All-in-One をセットアップ に進んでください。 ここから先の質問に答える必要はありません。

   「いいえ」とお答えの方は、続けて質問にお答えください。

3. 複数の電話番号が与えられ、その電話番号ごとに呼び出し音のパターンを変えられる、電話会社の着信識別サービスを利用していますか。

   ❑ はい、着信識別サービスを利用しています。

   ❑ いいえ。

   「はい」とお答えの方は ケース D：同じ回線でファクスと着信識別サービスを一緒に利用する に進んでください。 ここから先の質問に答える必要はありません。

   「いいえ」とお答えの方は、続けて質問にお答えください。

   着信識別サービスを利用しているかどうか不明ですか。 多くの電話会社から、1 本の電話回線に複数の電話番号を持てる着信識別音機能が提供されています。

   この着信識別サービスでは、電話番号ごとに異なる呼び出し音パターンを使用します。 シングル呼び出し音、ダブル呼び出し音、トリプル呼び出し音など、番号によって違う呼び出し音パターンを使用できます。 一方の電話番号をシングル呼び出し音にして電話用に、もう一方の電話番号をダブル呼び出し音にしてファクス用に割り当てることができます。 こうしておけば、電話が鳴ったときに電話かファクスかがわかります。

4. 同じ電話番号で HP All-in-One ファクスと電話を一緒に利用しますか。

   ❑ はい、電話も受信します。

   ❑ いいえ。

   続けて質問にお答えください。

5. HP All-in-One と同じ電話回線でコンピュータ ダイヤルアップ モデムを使用していますか。

   ❑ はい、コンピュータ ダイヤルアップ モデムを使用しています。

   ❑ いいえ。

   コンピュータ ダイヤルアップ モデムを利用しているかどうか不明ですか。 次のいずれかに当てはまる場合は、コンピュータ ダイヤルアップ モデムを利用しています。

   • ダイヤルアップ接続でコンピュータのソフトウェア アプリケーションから直接ファクスを送受信している
   • ダイアルアップ接続でコンピュータから電子メールのメッセージを送受信している
   • ダイアルアップ接続でコンピュータからインターネットを利用している

   続けて質問にお答えください。

6. 同じ電話番号で HP All-in-One ファクスと留守番電話を一緒に利用しますか。
   - ❑ はい、留守番電話も利用します。
   - ❑ いいえ。

   続けて質問にお答えください。
7. 同じ電話番号で HP All-in-One ファクスと電話会社からのボイスメールサービスを一緒に利用しますか。
   - ❑ はい、ボイスメールサービスを利用します。
   - ❑ いいえ。

   質問にすべて答えたら、次のセクションに進み、適切なファクス セットアップを選択します。

適切なファクス セットアップの選択

これで、同じ電話回線で HP All-in-One と機器やサービスを一緒に利用する場合の質問はすべて終了です。自宅またはオフィスに合ったセットアップを選択できます。

表の 1 列目から、自宅やオフィスの設定に当てはまる機器とサービスの組み合わせを選択してください。ご使用の電話方式に合わせて、2 列目、3 列目から適切なセットアップを選択します。各方法については、この後手順を追って説明します。

前述の質問にすべて答えたが、どの機器やサービスも利用していなかった場合は、表の 1 列目から「いいえ」を選択してください。

注記 自宅またはオフィスのセットアップがこのセクションで説明されていない場合、HP All-in-One を通常のアナログ電話のようにセットアップします。付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。他の電話コードを使用している場合は、ファクスの送受信に問題が発生することがあります。

ファクスと一緒に利用する機器やサービス	パラレル方式に推奨するファクス セットアップ	シリアル方式に推奨するファクス セットアップ
いいえ (すべての質問に「いいえ」と回答しました)。	ケース A：単独のファクス回線 (電話の着信なし)	ケース A：単独のファクス回線 (電話の着信なし)
DSL サービス (質問 1 のみに「はい」と回答しました)。	ケース B：DSL の環境で HP All-in-One をセットアップ	ケース B：DSL の環境で HP All-in-One をセットアップ
PBX または ISDN システム (質問 2 のみに「はい」と回答しました)。	ケース C：PBX システムまたは ISDN 回線の環境で HP All-in-One をセットアップ	ケース C：PBX システムまたは ISDN 回線の環境で HP All-in-One をセットアップ

(続き)

ファクスと一緒に利用する機器やサービス	パラレル方式に推奨するファクス セットアップ	シリアル方式に推奨するファクス セットアップ
着信識別サービス (質問 3 のみに「はい」と回答しました)。	ケース D：同じ回線でファクスと着信識別サービスを一緒に利用する	ケース D：同じ回線でファクスと着信識別サービスを一緒に利用する
電話 (質問 4 のみに「はい」と回答しました)。	ケース E：電話とファクスを一緒に利用する	ケース E：電話とファクスを一緒に利用する
電話とボイスメールサービス (質問 4 および 7 のみに「はい」と回答しました)。	ケース F：電話とファクスとボイスメール サービスを一緒に利用する	ケース F：電話とファクスとボイスメール サービスを一緒に利用する
コンピュータ ダイヤルアップ モデム (質問 5 のみに「はい」と回答しました)。	ケース G：同じ回線でファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムを一緒に利用する (電話の着信なし)	適用できません。
電話とコンピュータ ダイヤルアップ モデム (質問 4 および 5 のみに「はい」と回答しました)。	ケース H：電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムを一緒に利用する	適用できません。
電話と留守番電話 (質問 4 および 6 のみに「はい」と回答しました)。	ケース I：電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する	適用できません。
電話とコンピュータ ダイヤルアップ モデムと留守番電話 (質問 4 、 5 および 6 のみに「はい」と回答しました)。	ケース J：電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムと留守番電話を一緒に利用する	適用できません。
電話とコンピュータ ダイヤルアップ モデムとボイスメールサービス (質問 4 、 5 および 7 のみに「はい」と回答しました)。	ケース K： 電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムとボイス メールを一緒に利用する	適用できません。

国/地域ごとのファクスのセットアップ方法の詳細については、以下に示すファクス構成専用 Web サイトを参照してください。

オーストリア	www.hp.com/at/faxconfig
ドイツ	www.hp.com/de/faxconfig
スイス(フランス語)	www.hp.com/ch/fr/faxconfig
スイス(ドイツ語)	www.hp.com/ch/de/faxconfig
イギリス	www.hp.com/uk/faxconfig
スペイン	www.hp.es/faxconfig
オランダ	www.hp.nl/faxconfig
ベルギー (フランス語)	www.hp.be/fr/faxconfig

(続き)

ベルギー (オランダ語)	www.hp.be/nl/faxconfig
ポルトガル	www.hp.pt/faxconfig
スウェーデン	www.hp.se/faxconfig
フィンランド	www.hp.fi/faxconfig
デンマーク	www.hp.dk/faxconfig
ノルウェー	www.hp.no/faxconfig
アイルランド	www.hp.com/ie/faxconfig
フランス	www.hp.com/fr/faxconfig
イタリア	www.hp.com/it/faxconfig

ケース A：単独のファクス回線 (電話の着信なし)

電話を受け付けない単独の電話回線を利用し、この電話回線に機器を何も接続しない場合は、次のように HP All-in-One を設定します。

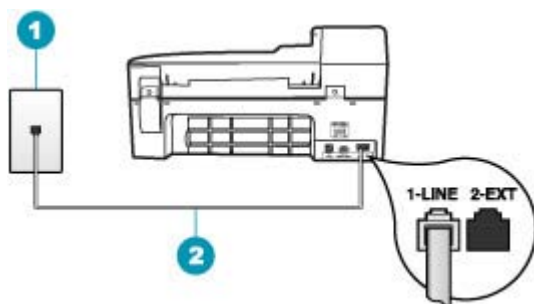



図 4-1 HP All-in-One の背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE"ポート接続用に HP All-in-One 付属の電話コードを使用します。

単独のファクス回線の環境に HP All-in-One をセットアップするには

1. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記　付属のコードで電話コンセントと HP All-in-One を接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

2. **自動応答** の設定をオンにします。
3. (オプション)[**応答呼出し回数**] 設定を最小設定 (呼び出し 2 回) に変更します。
4. ファクス テストを実行します。

電話が鳴ると、[**応答呼出し回数**] で設定した数だけ呼び出し音が鳴った後に HP All-in-One が自動応答します。そして、ファクス受信トーンを送信側ファクスに対して発信し、ファクスを受信します。

ケース B : DSL の環境で HP All-in-One をセットアップ

電話会社から DSL サービスを利用する場合は、次のように壁側のモジュラージャックと HP All-in-One の間に DSL フィルタを取り付けます。HP All-in-One が電話回線と正しくやり取りすることができるように、DSL フィルタで HP All-in-One を妨害する可能性のあるデジタル信号を除去します(DSL は、国/地域によっては ADSL と呼ばれています)。

注記 DSL を利用しているのにこの DSL フィルタを取り付けないと、HP All-in-One でファクスを送受信できなくなります。

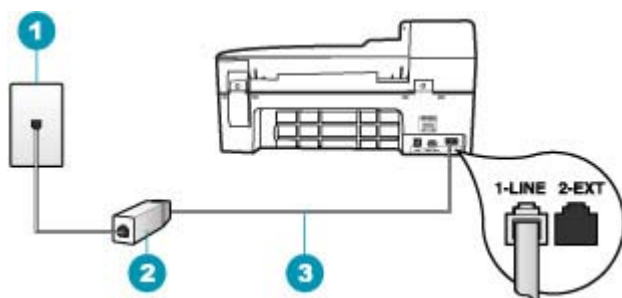



図 4-2 HP All-in-One の背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	DSL プロバイダから支給された DSL フィルタおよびコード
3	"1-LINE"ポート接続用に HP All-in-One 付属の電話コードを使用します。

DSL の環境で HP All-in-One をセットアップするには

1. DSL フィルタは、DSL プロバイダから入手してください。
2. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

注記 付属のコードで電話コンセントと HP All-in-One を接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

---

3. DSL フィルタのコードを壁側のモジュラージャックに接続します。

注記 着信識別サービス、留守番電話、ボイスメールなど、他のオフィス機器やサービスなどがこの電話回線に接続されている場合、セットアップの追加手順については、このセクションの該当するセクションを参照してください。

4. ファクス テストを実行します。

ケース C：PBX システムまたは ISDN 回線の環境で HP All-in-One をセットアップ

PBX または ISDN コンバータ/ターミナル アダプタを使用している場合、次の指示に従ってください。

• PBX または ISDN コンバータ/ターミナル アダプタを使用している場合は、ファクスおよび電話用のポートに HP All-in-One が接続されていることを確認してください。 また、ターミナル アダプタがお住まいの国/地域に対応したスイッチ タイプに設定されていることも確認してください。

  注記 ISDN システムの中には、ユーザーが特定の電話機器に応じてポートを設定できるようになっているものがあります。たとえば、電話と G3 規格のファクスに 1 つのポートを割り当て、多目的用に別のポートを割り当てることができます。ISDN コンバータのファクス/電話ポートに接続すると問題が発生する場合は、多用途向けのポートを使用してみてください。ポートには、"multi-combi" などのようなラベルが付けられています。

• PBX システムを使用している場合は、電話の保留音送出機能をオフにします。

  注記 多くのデジタル PBX システムでは、電話の呼び出し音が工場出荷時の設定で「オン」になっています。電話の呼び出し音は、ファクス送信の妨害となり、HP All-in-One でファクスの送受信ができなくなります。電話の呼び出し音をオフにする方法については、PBX システム付属のマニュアルを参照してください。

• PBX システムを使用している場合は、ファクス番号をダイヤルする前に外線番号をダイヤルします。
• 付属のコードで 壁側のモジュラー ジャックとお使いの HP All-in-One を正しく接続します。 接続していない場合、ファクスを正しく行うことはできません。 この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。 付属の電話コードでは短すぎる場合、お近くの電器店からカプラーを購入して延長することができます。

ケース D：同じ回線でファクスと着信識別サービスを一緒に利用する

1 本の電話回線に複数の電話番号があり、その電話番号ごとに呼び出し音のパターンを変える、電話会社の着信識別サービスを利用している場合、次のように HP All-in-One を設定します。

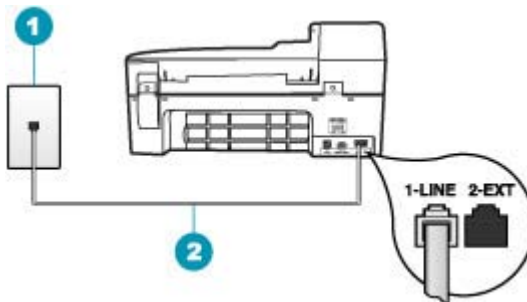



図 4-3 HP All-in-One の背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE"ポート接続用に HP All-in-One 付属の電話コードを使用します。

着信識別サービスの環境で HP All-in-One をセットアップするには

1. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記　付属のコードで電話コンセントと HP All-in-One を接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

2. **自動応答** の設定をオンにします。
3. [**応答呼出し音のパターン**] 設定を変更して、電話会社がお使いのファクス番号に指定した呼び出し音のパターンに合わせます。

   注記　HP All-in-One の工場出荷時の設定では、すべての呼び出し音パターンに応答するよう設定されています。[**応答呼出し音のパターン**] がファクス番号に割り当てられていた呼出し音のパターンと一致するように設定しないと、HP All-in-One が電話とファクスの両方の呼び出し音に応答してしまったり、まったく応答しなくなったりすることがあります。

4. (オプション)[**応答呼出し回数**] 設定を最小設定 (呼び出し 2 回) に変更します。
5. ファクス テストを実行します。

HP All-in-One では、[**応答呼出し音のパターン**] 設定で選択した呼び出し音のパターンの着信に対して、[**応答呼出し回数**] 設定で選択した呼び出し回数の後に自動応答します。 そして、ファクス受信トーンを送信側ファクスに対して発信し、ファクスを受信します。

ケース E：電話とファクスを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話回線にオフィス機器 (またはボイスメールサービス) を何も接続しない場合は、次のように HP All-in-One を設定します。

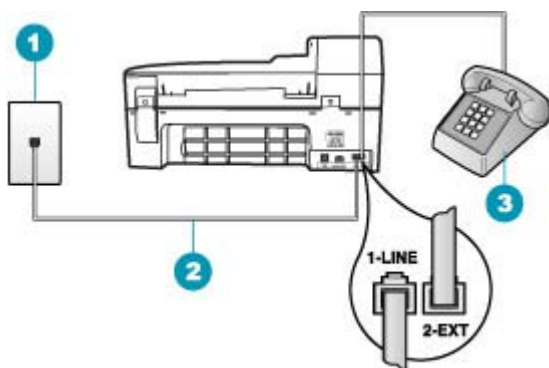



図 4-4 HP All-in-One の背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE"ポート接続用に HP All-in-One 付属の電話コードを使用します。
3	電話機 (オプション)

電話とファクスの共有回線環境に HP All-in-One をセットアップするには

1. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記　付属のコードで電話コンセントと HP All-in-One を接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

2. ここで、HP All-in-One でのファクス呼び出し音の応答方法を、自動に設定します。

   着信に **自動** で応答する設定の場合は、HP All-in-One がすべての着信に応答し、ファクスを受信します。この場合、HP All-in-One は、ファクスと電話を区別できません。着信が電話であると思われる場合、HP All-in-One が着信に応答する前に自分で応答する必要があります。HP All-in-One で着信を自動的に受信するには、**自動応答** 設定をオンにします。詳細については、応答モードの設定を参照してください。

3. HP All-in-One でのファクス呼び出し音の応答方法を手動に設定することもできます。

   ファクスを **手動** で受信する設定の場合は、ファクス受信に直接応答しなければ、HP All-in-One でファクスを受信できません。手動で着信に応答する

ように HP All-in-One を設定するには、**自動応答** をオフにします。詳細については、応答モードの設定を参照してください。

4. ファクス テストを実行します。
5. 電話を壁側モジュラー ジャックに接続します。
6. 電話システムによって、次のいずれかの操作を行います。
   - パラレル方式の電話システムを使用している場合、HP All-in-One の背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取り、このポートに電話を接続します。
   - シリアル方式の電話の場合は、壁のプラグが接続された HP All-in-One ケーブルの一番先に電話を直接接続します。

HP All-in-One が着信に応答する前に受話器を取って、送信側ファクス機からのファクス トーンが聞こえた場合は、手動でファクスに応答します。

ケース F：電話とファクスとボイスメール サービスを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、電話会社からボイスメールサービスも利用する場合は、次のように HP All-in-One を接続します。

注記 ファクスと同じ電話番号でボイス メール サービスを利用している場合、ファクスを自動受信することはできません。すべてのファクスを手動で受信する必要があります。受信ファクスの着信に応答するためにその場にいる必要があります。これ以外にファクスを自動受信するには、電話会社に問い合わせて着信識別を利用するか、ファクス専用の別回線を取得してください。

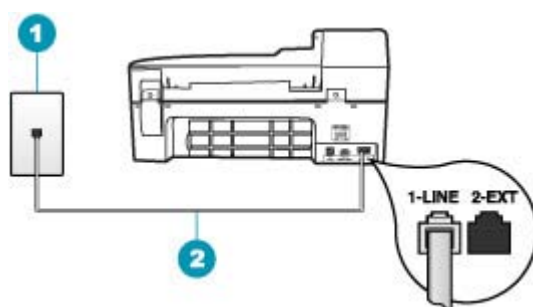



図 4-5 HP All-in-One の背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE"ポートに接続した HP All-in-One 付属の電話コードを使用する

ボイスメールサービスの環境で HP All-in-One をセットアップするには

1. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記　付属のコードで電話コンセントと HP All-in-One を接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

2. **自動応答** の設定をオフにします。
3. ファクス テストを実行します。

ファクス着信に直接応答してください。 そうしないと HP All-in-One でファクスを受信できなくなります。

ケース G : 同じ回線でファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムを一緒に利用する (電話の着信なし)

電話を受け付けないファクス回線を利用し、この回線にコンピュータ ダイヤルアップ モデムを接続する場合は、次のように HP All-in-One を設定します。

コンピュータ ダイヤルアップ モデムが電話回線を HP All-in-One と共有しているので、モデムと HP All-in-One の両方を同時に使用することができません。たとえば、コンピュータ ダイヤルアップ モデムを使用して電子メールを送信したりインターネットにアクセスしたりしている場合、HP All-in-One をファクスには使用できません。

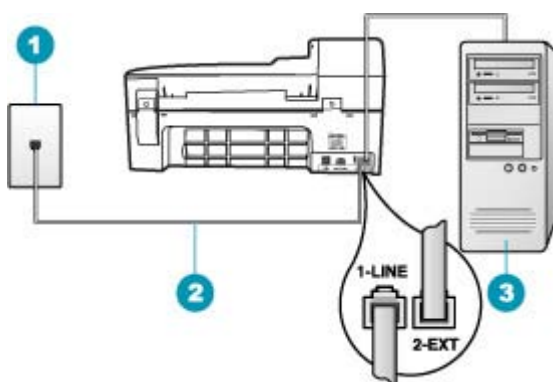



図 4-6 HP All-in-One の背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE"ポート接続用に HP All-in-One 付属の電話コードを使用します。
3	モデム搭載コンピュータ

コンピュータ ダイヤルアップ モデムの環境で HP All-in-One をセットアップするには

1. HP All-in-One の背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. コンピュータ (コンピュータのダイヤルアップ モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。そのコードを壁側のモジュラージャックから抜き、HP All-in-One の背面の 2-EXT と書かれているポートに差し込みます。
3. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記 付属のコードで電話コンセントと HP All-in-One を接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

4. モデムのソフトウェアで、ファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

   注記 モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、HP All-in-One でファクスを受信できなくなります。

5. **自動応答** の設定をオンにします。
6. (オプション)[**応答呼出し回数**] 設定を最小設定 (呼び出し 2 回) に変更します。
7. ファクス テストを実行します。

電話が鳴ると、[**応答呼出し回数**] で設定した数だけ呼び出し音が鳴った後に HP All-in-One が自動応答します。そして、ファクス受信トーンを送信側ファクスに対して発信し、ファクスを受信します。

ケース H：電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話回線にコンピュータ ダイヤルアップ モデムも接続する場合は、次のように HP All-in-One を設定します。

コンピュータ ダイヤルアップ モデムが電話回線を HP All-in-One と共有しているので、モデムと HP All-in-One の両方を同時に使用することができません。たとえば、コンピュータ ダイヤルアップ モデムを使用して電子メールを送信したりインターネットにアクセスしたりしている場合、HP All-in-One をファクスには使用できません。

コンピュータの電話ポートの数により、コンピュータに HP All-in-One をセットアップする方法は 2 種類あります。はじめる前に、コンピュータの電話ポートが 1 つか 2 つかを確認してください。

- コンピュータに 1 つの電話ポートしかない場合、以下に示すようにパラレル スプリッター (カプラーとも呼びます) を購入する必要があります(パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の

電話スプリッター、シリアル スプリッター、またはパラレル スプリッターは使用しないでください)。

図 4-7 パラレル スプリッターの例

- コンピュータの電話ポートが 2 つなら、下記の手順で HP All-in-One をセット アップしてください。

図 4-8 HP All-in-One の背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	コンピュータの "IN" 電話ポート
3	コンピュータの "OUT" 電話ポート
4	電話
5	モデム搭載コンピュータ
6	"1-LINE"ポート接続用に HP All-in-One 付属の電話コードを使用します。

電話ポートが 2 つあるコンピュータと同じ電話回線上に HP All-in-One をセットアップするには

1. HP All-in-One の背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. コンピュータ (コンピュータのダイヤルアップ モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。そのコードを壁側のモジュラージャックから抜き、HP All-in-One の背面の 2-EXT と書かれているポートに差し込みます。
3. 電話をコンピュータ ダイヤルアップ モデムの背面の"OUT"ポートにつなぎます。

4. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記 付属のコードで電話コンセントと HP All-in-One を接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

5. モデムのソフトウェアで、ファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

   注記 モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、HP All-in-One でファクスを受信できなくなります。

6. ここで、HP All-in-One でのファクス呼び出し音の応答方法を、自動または手動に決めます。
   - 着信に **自動** で応答する設定の場合は、HP All-in-One がすべての着信に応答し、ファクスを受信します。この場合、HP All-in-One は、ファクスと電話を区別できません。着信が電話であると思われる場合、HP All-in-One が着信に応答する前に自分で応答する必要があります。HP All-in-One で着信を自動的に受信するには、**自動応答** 設定をオンにします。
   - ファクスを **手動** で受信する設定の場合は、ファクス受信に直接応答しなければ、HP All-in-One でファクスを受信できません。手動で着信に応答するように HP All-in-One を設定するには、**自動応答** をオフにします。

7. ファクス テストを実行します。

HP All-in-One が着信に応答する前に受話器を取って、送信側ファクス機からのファクス トーンが聞こえた場合は、手動でファクスに応答します。

ケース I：電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話番号で留守番電話も接続する場合は、次のように HP All-in-One を設定します。

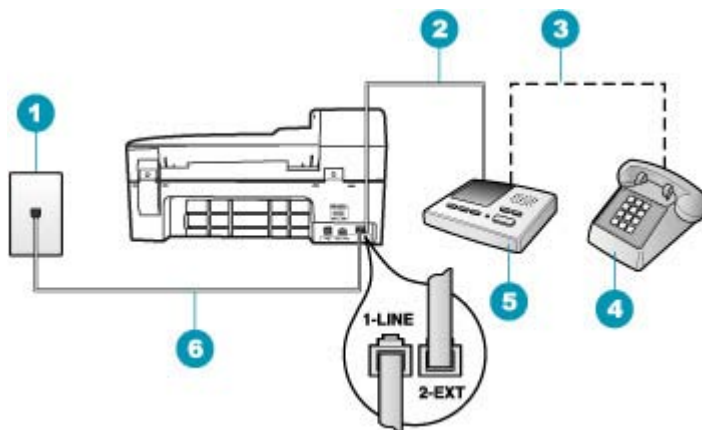



図 4-9 HP All-in-One の背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	留守番電話の "IN" ポート
3	留守番電話の "OUT" ポート
4	電話機 (オプション)
5	留守番電話
6	"1-LINE"ポート接続用に HP All-in-One 付属の電話コードを使用します。

電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する環境で HP All-in-One をセットアップするには

1. HP All-in-One の背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. 留守番電話のコードを壁側モジュラー ジャックから抜き、HP All-in-One の背面の 2-EXT と書かれているポートに差し込みます。

   注記　HP All-in-One に留守番電話を直接接続していないと、送信側ファクスからのファクス トーンが留守番電話に記録されてしまい、HP All-in-One でファクスを受信できないことがあります。

3. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記　付属のコードで電話コンセントと HP All-in-One を接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

4. (オプション) 留守番電話に電話が内蔵されていない場合は、必要に応じて留守番電話の背面にある "OUT" ポートに電話をつなぐこともできます。

> **注記** 留守番電話が外部の電話に接続できない場合、留守番電話と電話の両方を HP All-in-One に接続するためにパラレル スプリッター (カプラーとも呼ぶ) を購入および使用します。これらの接続には、標準の電話コードを使用できます。

5. **自動応答** の設定をオンにします。
6. 少ない呼び出し回数で応答するように留守番電話を設定します。
7. HP All-in-One の [**応答呼出し回数**] 設定を変更し、呼び出し回数をサポートしている最大数に設定します(呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります)。
8. ファクス テストを実行します。

電話が鳴ると、設定済みの呼び出し回数後に留守番電話が応答し、録音しておいた応答メッセージが再生されます。この間、HP All-in-One は呼び出し音を監視し、ファクス トーンが鳴らないか聞いています。ファクス受信トーンを検出すると、HP All-in-One はファクス受信トーンを発信し、ファクスを受信します。ファクス トーンが検出されないと、HP All-in-One は回線の監視を中止し、留守番電話は音声メッセージを録音できます。

ケース J : 電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムと留守番電話を一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話回線にコンピュータ ダイヤルアップ モデムと留守番電話も接続する場合は、次のように HP All-in-One を設定します。

コンピュータ ダイヤルアップ モデムが電話回線を HP All-in-One と共有しているので、モデムと HP All-in-One の両方を同時に使用することができません。たとえば、コンピュータ ダイヤルアップ モデムを使用して電子メールを送信したりインターネットにアクセスしたりしている場合、HP All-in-One をファクスには使用できません。

コンピュータの電話ポートの数により、コンピュータに HP All-in-One をセットアップする方法は 2 種類あります。はじめる前に、コンピュータの電話ポートが 1 つか 2 つかを確認してください。

• コンピュータに 1 つの電話ポートしかない場合、以下に示すようにパラレル スプリッター (カプラーとも呼びます) を購入する必要があります(パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の

電話スプリッター、シリアル スプリッター、またはパラレル スプリッターは使用しないでください)。

図 4-10 パラレル スプリッターの例

- コンピュータの電話ポートが 2 つなら、下記の手順で HP All-in-One をセットアップしてください。

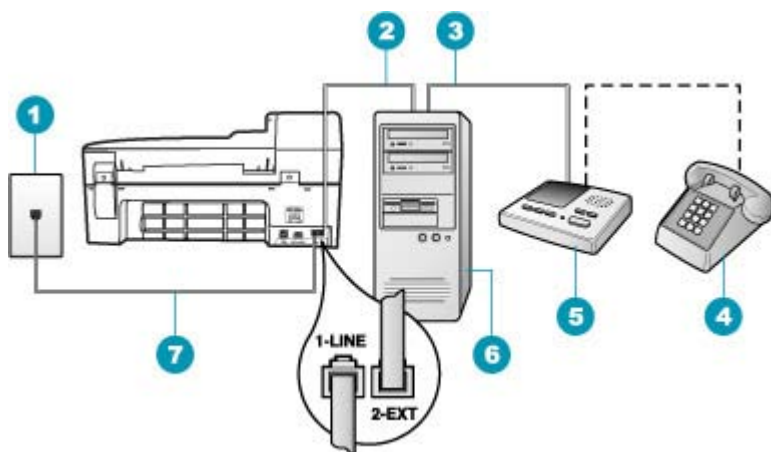



図 4-11 HP All-in-One の背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	コンピュータの "IN" 電話ポート
3	コンピュータの "OUT" 電話ポート
4	電話機 (オプション)
5	留守番電話
6	モデム搭載コンピュータ
7	"1-LINE"ポート接続用に HP All-in-One 付属の電話コードを使用します

電話ポートが 2 つあるコンピュータと同じ電話回線上に HP All-in-One をセットアップするには

1. HP All-in-One の背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. コンピュータ (コンピュータのダイヤルアップ モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。そのコードを壁側のモジュラージャックから抜き、HP All-in-One の背面の 2-EXT と書かれているポートに差し込みます。
3. 留守番電話のコードを壁側のモジュラージャックから抜き、コンピュータ モデムの背面の "OUT" ポートに接続します。
   こうすると、たとえコンピュータ モデムの方が先に回線に接続されていても、HP All-in-One と留守番電話の間を直接接続できます。

   > 注記 留守番電話をこのように接続していないと、送信側ファクスからのファクス トーンが留守番電話に記録されてしまい、HP All-in-One でファクスを受信できないことがあります。

4. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   > 注記 付属のコードで電話コンセントと HP All-in-One を接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

5. (オプション) 留守番電話に電話が内蔵されていない場合は、必要に応じて留守番電話の背面にある "OUT" ポートに電話をつなぐこともできます。

   > 注記 留守番電話が外部の電話に接続できない場合、留守番電話と電話の両方を HP All-in-One に接続するためにパラレル スプリッター (カプラーとも呼ぶ) を購入および使用します。これらの接続には、標準の電話コードを使用できます。

6. モデムのソフトウェアで、ファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

   > 注記 モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、HP All-in-One でファクスを受信できなくなります。

7. **自動応答** の設定をオンにします。
8. 少ない呼び出し回数で応答するように留守番電話を設定します。
9. HP All-in-One の [**応答呼出し回数**] 設定を変更し、呼び出し回数をサポートしている最大数に設定します (呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります)。
10. ファクス テストを実行します。

電話が鳴ると、設定済みの呼び出し回数後に留守番電話が応答し、録音しておいた応答メッセージが再生されます。この間、HP All-in-One は呼び出し音を

監視し、ファクス トーンが鳴らないか聞いています。ファクス受信トーンを検出すると、HP All-in-One はファクス受信トーンを発信し、ファクスを受信します。ファクス トーンが検出されないと、HP All-in-One は回線の監視を中止し、留守番電話は音声メッセージを録音できます。

ケース K： 電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムとボイス メールを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話回線でコンピュータ ダイヤルアップ モデムも利用して電話会社からボイスメール サービスも利用する場合は、次のように HP All-in-One を設定します。

注記 ファクスと同じ電話番号でボイス メール サービスを利用している場合、ファクスを自動受信することはできません。すべてのファクスを手動で受信する必要があります。受信ファクスの着信に応答するためにその場にいる必要があります。これ以外にファクスを自動受信するには、電話会社に問い合わせて着信識別を利用するか、ファクス専用の別回線を取得してください。

コンピュータ ダイヤルアップ モデムが電話回線を HP All-in-One と共有しているので、モデムと HP All-in-One の両方を同時に使用することができません。たとえば、コンピュータ ダイヤルアップ モデムを使用して電子メールを送信したりインターネットにアクセスしたりしている場合、HP All-in-One をファクスには使用できません。

コンピュータの電話ポートの数により、コンピュータに HP All-in-One をセットアップする方法は 2 種類あります。 はじめる前に、コンピュータの電話ポートが 1 つか 2 つかを確認してください。

- コンピュータに 1 つの電話ポートしかない場合、以下に示すようにパラレル スプリッター (カプラーとも呼びます) を購入する必要があります (パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。 前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の電話スプリッター、シリアル スプリッター、またはパラレル スプリッターは使用しないでください)。

図 4-12 パラレル スプリッターの例

• コンピュータの電話ポートが 2 つなら、下記の手順で HP All-in-One をセット アップしてください。

図 4-13 HP All-in-One の背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	コンピュータの "IN" 電話ポート
3	コンピュータの "OUT" 電話ポート
4	電話
5	モデム搭載コンピュータ
6	"1-LINE"ポート接続用に HP All-in-One 付属の電話コードを使用します。

電話ポートが 2 つあるコンピュータと同じ電話回線上に HP All-in-One をセットアップするには

1. HP All-in-One の背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. コンピュータ (コンピュータのダイヤルアップ モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。そのコードを壁側のモジュラージャックから抜き、HP All-in-One の背面の 2-EXT と書かれているポートに差し込みます。
3. 電話をコンピュータ ダイヤルアップ モデムの背面の "OUT" ポートにつなぎます。
4. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記 付属のコードで電話コンセントと HP All-in-One を接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

5. モデムのソフトウェアで、ファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

 注記 モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、HP All-in-One でファクスを受信できなくなります。

6. **自動応答** の設定をオフにします。
7. ファクス テストを実行します。

ファクス着信に直接応答してください。 そうしないと HP All-in-One でファクスを受信できなくなります。

ファクスを受信するように HP All-in-One の設定を変更

ファクスを正しく受信するためには、HP All-in-One の一部設定の変更が必要になる場合があります。個々のファクス オプションについて選択すべき設定がわからない場合は、説明書にあるファクスの設定に関する詳細説明をご覧ください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- セットアップに適した推奨応答モードを選択
- 応答モードの設定
- 応答までの呼び出し回数を設定
- 着信識別応答呼出し音のパターンの変更

セットアップに適した推奨応答モードを選択

家庭やオフィス用のセットアップで、ファクス受信の応答方法を決定するには、下の表を参照してください。表の最初の列で、オフィス設定に該当する機器とサービスの種類を選択します。それに対して、2 列目の設定を参照してください。3 列目には、HP All-in-One が着信にどのように応答するかが示されます。

家庭やオフィス用の推奨応答モード設定を決定した後の詳細については、応答モードの設定を参照してください。

ファクスと一緒に利用するその他の機器やサービス	推奨 自動応答 設定	説明
なし (ファクス受信のみを受信する、個別の電話回線がある場合)	オン	**[応答呼出し回数]** 設定を使用して、HP All-in-One が、すべての受信に自動で応答します。
電話とファクスが共用で、留守番電話はない (電話とファクスの両方を受信する、共有の回線がある場合)	オフ	HP All-in-One は着信に自動で応答しません。 **ファクス スタート - モノクロ** または **ファクス スタート - カラー** を押して、ファクスを受信する必要があります。 電話の着信が多く、あまりファクスを受信しない場合はこの設定を使用します。
電話会社が提供するボイス メール サービス	オフ	HP All-in-One は着信に自動で応答しません。 **ファクス スタート - モノクロ** または **ファクス スタート -**

(続き)

ファクスと一緒に利用するその他の機器やサービス	推奨 自動応答 設定	説明
		カラー を押して、ファクスを受信する必要があります。
留守番電話と、電話とファクスが共用の回線	オン	HP All-in-One は着信に自動で応答しません。その代わりに、HP All-in-One は着信に対する人や留守番電話による応答がないか電話回線をモニタします。HP All-in-One がファクス受信音を検出した場合は、HP All-in-One はファクスを受信します。着信が電話の場合は、留守番電話が着信のメッセージを録音します。 **自動応答** 設定の場合、HP All-in-One が応答するまでの呼び出し回数 は、留守番電話で応答する回数よりも多い回数を設定して、 留守番電話が HP All-in-One より前に応答するようにします。
着信識別サービス	オン	HP All-in-One が、すべての受信に自動で応答します。 電話会社がファクス回線に設定した呼び出し音のパターンが、HP All-in-One に設定された [**応答呼出し音のパターン**] 設定と一致することを確認してください。

関連トピック

- 応答までの呼び出し回数を設定
- ファクスの手動受信
- 着信識別応答呼出し音のパターンの変更

応答モードの設定

応答モードでは、HP All-in-One が電話の着信に自動で応答するかどうかについての設定を行います。

- HP All-in-One でファクスに**自動的に**応答するには、**自動応答** をオンにします。HP All-in-One が、すべての受信電話とファクスに自動で応答します。
- ファクスに**手動で**応答するには、**自動応答** をオフにします。受信ファクスに応答するには、ユーザーが手動で受信操作をしなければなりません。この操作を行わないと、HP All-in-One はファクスを受信しません。

応答モードを設定するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **4** を押し、[**ファクスの基本設定**] を呼び出します。
3. **自動応答** の設定項目を選び、オンまたはオフを選択します。
4. **OK** を押して設定します。

関連トピック

- ファクスの手動受信
- セットアップに適した推奨応答モードを選択

応答までの呼び出し回数を設定

自動応答 設定をオンにすると、HP All-in-One が自動的に着信音に応答するまでの呼び出し回数を指定できます。

[**応答呼出し回数**] 設定は、特に HP All-in-One と同じ電話回線で留守番電話を使用している場合に重要です。HP All-in-One が応答する前に留守番電話で応答する必要があるからです。 HP All-in-One の応答するまでの呼び出し回数を、留守番電話が応答するまでの回数よりも多く設定する必要があります。

たとえば、留守番電話の呼び出し回数を少なくし、HP All-in-One の呼び出し回数をサポートしている最大数に設定します (呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります)。 この設定では、留守番電話が電話に応答し、HP All-in-One が電話回線を監視します。 HP All-in-One がファクス受信音を検出した場合は、HP All-in-One はファクスを受信します。 音声の場合には、留守番電話が着信メッセージを録音します。

コントロール パネルで応答までの呼び出し回数を設定するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **4** を押し、[**ファクスの基本設定**] を呼び出します。
3. [**応答呼出し回数**] の設定項目を選び、キーパッドを使用して呼び出し回数を入力するか、◀ または ▶ を押して呼び出し回数を変更します。
4. **OK** を押して設定します。

関連トピック

応答モードの設定

着信識別応答呼出し音のパターンの変更

多くの電話会社から、1 本の電話回線で複数の電話番号を持てる着信識別音機能が提供されています。この着信識別サービスでは、番号ごとに呼び出し音のパターンが異なります。HP All-in-One が特定の呼び出し音の着信に応答するように設定することができます。

着信識別音が設定されている電話回線に HP All-in-One を接続する場合は、電話会社に音声着信の呼び出し音とファクス受信の呼び出し音を、それぞれ別に割り当ててもらいます。ファクス番号には、2 回または 3 回の呼び出し音を割り当てることをお勧めします。HP All-in-One は、指定した呼び出し音のパターンを検出したときに、ファクスの受信を開始します。

着信識別サービスを使用していない場合は、デフォルトの呼び出し音パターン [**すべての呼び出し**] を使用してください。

コントロール パネルで応答呼び出し音のパターンを変更するには

1. HP All-in-One がファクスの呼び出しに自動応答するよう設定されていることを確認します。
2. **セットアップ** を押します。

3. **5** を押し、次に **1** を押します。
これで、[**ファクスの詳細設定**] と [**応答呼出し音のパターン**] が続けて選択されます。
4. ▶ を押してオプションを選択し、**OK** を押します。
ファクス回線に割り当てられた呼び出し音で電話が鳴ると、HP All-in-One は着信に応答して、ファクスを受信します。

関連トピック

応答モードの設定

ファクス設定のテスト

ファクス設定をテストして HP All-in-One の状態を調べ、正常にファクス送信できるように設定されたことを確認することができます。このテストは、HP All-in-One のファクス機能のセットアップが完了した後に実行してください。テストの内容は次のとおりです。

- ファクスのハードウェアをテストする
- 正しい種類の電話コードが HP All-in-One に接続されていることを確認する
- 電話線が正しいポートに接続されていることを確認する
- ダイヤル トーンを検出する
- アクティブな電話回線を検出する
- 電話回線の接続状態をテストする

テスト結果は、レポートとして HP All-in-One から印刷されます。テストに失敗した場合、レポートを参照して、問題の解決方法を確認し、テストを再実行してください。

コントロール パネルからファクス機能のセットアップをテストするには

1. 家庭やオフィスなど、お使いになる用途に合わせた指示に従って、HP All-in-One のファクス機能をセットアップします。
2. テストを行う前に、プリント カートリッジを取り付け、給紙トレイに普通紙をセットします。
3. **セットアップ** を押します。
4. **6** を押し、もう一度 **6** を押します。
これで、[**ツール**] メニューと [**ファクス テストを実行**] が続けて選択されます。
HP All-in-One のディスプレイにテストの状態が表示され、レポートが印刷されます。

5. レポートを確認します。
    - テストに合格してもファクスの問題が解消されない場合は、レポートに記載されているファクス設定を調べて、正しく設定されていることを確認します。ファクス設定が行われていない、または不適切な場合は、ファクスに問題が発生する可能性があります。
    - テストに失敗した場合は、レポートを参照して問題の解決方法を確認してください。
6. HP All-in-One からファクス レポートを取り出した後、**OK** を押します。
   必要ならば、見つかった問題を解決して、テストを再実行します。

ファクスヘッダーの設定

ファクスのヘッダーを使用すると、すべての送信ファクスの上部に名前とファクス番号が印刷されます。HP All-in-One 用にインストールしたソフトウェアを使用して、ファクス ヘッダーを設定することをお勧めします。ここに記されているとおり、コントロール パネルからファクスのヘッダーを設定することもできます。

注記 一部の国または地域では、法令等によりファクスのヘッダー情報の明記が義務付けられています。

コントロール パネルからデフォルトのファクスのヘッダーを設定するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **4** を押し、次に **1** を押します。
   これで、[**ファクスの基本設定**] と [**ファクスのヘッダー**] が続けて選択されます。
3. 個人または会社名を入力し、次に **OK** をクリックします。
4. キーパッドを使用してファクス番号を入力し、**OK** を押します。

HP Photosmart Studio (Mac) ソフトウェアでデフォルトのファクスのヘッダーを設定するには

1. **[Dock]** の **[HP デバイス マネージャ]** をクリックします。
   [HP デバイス マネージャ] ウィンドウが表示されます。
2. **[情報と設定]** ポップアップ メニューで、**[ファクス設定]**を選択します。
   [デバイス設定] ダイアログ ボックスが開きます。
3. ポップアップ メニューから、**[ファクス全般]** を選択します。
4. **[ファクス ヘッダー]** に、会社名とファクス番号を入力します。

   注記 **[個人情報]** 領域に入力した情報は、カバー ページを送信するときに使用されます。この情報はファクスのヘッダー情報には含まれません。
5. **[適用]** か **[OK]** をクリックします。
   送信するファクスすべてに、ファクス見出しの情報が印刷されます。

関連トピック

文字と記号

短縮ダイヤルの設定

よく使うファクス番号を短縮ダイヤルに登録できます。そうすれば、コントロール パネルからすぐにダイヤルすることができます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 個別の短縮ダイヤルの設定
- グループ短縮ダイヤルの設定
- 短縮ダイヤル番号の削除
- 短縮ダイヤルリストの印刷

個別の短縮ダイヤルの設定

よく使うファクス番号を短縮ダイヤルに登録できます。必要に応じて、登録した短縮ダイヤルの名前やファクス番号を編集できます。

ヒント　グループ短縮ダイヤル番号に、個別の短縮ダイヤル番号を追加することができます。これによりファクスをグループまたは複数の相手に一度に送信することが可能になります(グループ短縮ダイヤルに登録できる個別の短縮ダイヤル番号の最大数は、モデルによって異なります)。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 個別短縮ダイヤル番号の登録
- 個別の短縮ダイヤルの編集

個別短縮ダイヤル番号の登録

HP All-in-One 用にインストールしたソフトウェアを使用すると、コントロール パネルやコンピュータから短縮ダイヤル番号を登録できます。

コントロール パネルから短縮ダイヤル番号を登録するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **3** を押し、次に **1** を押します。
   これで、[**短縮ダイヤルの設定**] と [**個別の短縮ダイヤル**] が続けて選択されます。
   登録されていない最初の短縮ダイヤル番号がディスプレイに表示されます。
3. 表示された短縮ダイヤル番号を選択するには **OK** を押します。登録されていない別の短縮ダイヤルを選択するには、◀ または ▶ を押して、次に **OK** を押します。
4. その短縮ダイヤル番号に登録するファクス番号を入力し、**OK** を押します。
5. 名前を入力し、**OK** をクリックします。
6. 別の番号を設定する場合は **1** を、短縮ダイヤルの登録を終了する場合は **2** を押します。

HP Photosmart Studio (Mac) ソフトウェアから短縮ダイヤル番号を登録するには

1. **[Dock]** の **[HP デバイス マネージャ]** をクリックします。
   [HP デバイス マネージャ] ウィンドウが表示されます。
2. **[デバイス]**ポップアップ メニューから HP All-in-One を選択します。
3. **[情報と設定]** ポップアップ メニューで、**[ファクス設定]**を選択します。
4. **[ファクス短縮ダイヤル]** ダイアログ ボックスの短縮ダイヤル一覧で、未登録の番号を選択します。
5. **[個人を追加]** をクリックします。
   [個人を追加] ダイアログ ボックスが表示されます。
6. **[名前]** ボックスで個人の名前を入力します。
7. **[ファクス番号]** ボックスでファクス番号を入力します。
8. **[OK]** をクリックします。
   ファクス短縮ダイヤル一覧に個人の名前が表示されます。
9. 短縮ダイヤルの登録を終了したら、**[適用]** または **[OK]** をクリックします。

関連トピック

文字と記号

個別の短縮ダイヤルの編集

HP All-in-One 用にインストールしたソフトウェアを使用して、コントロール パネルやコンピュータから短縮ダイヤルの名前やファクス番号を編集できます。

コントロール パネルで短縮ダイヤルを編集するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **3** を押し、次に **1** を押します。
   これで、[**短縮ダイヤルの設定**] と [**個別の短縮ダイヤル**] が続けて選択されます。
3. ◀ または ▶ を押して短縮ダイヤルをスクロールして目的の項目を探し、**OK** を押して選択します。
4. 現在のファクス番号が表示されたら、◀ を押してそれを消去します。
5. 新しいファクス番号を入力し、**OK** を押します。

   ヒント 入力するファクス番号間に一定の間隔を加えるには、**リダイヤル/ポーズ** を押すか、ディスプレイにダッシュ記号 ([**-**]) が表示されるまで、**記号 (*)** ボタンを繰り返し押します。

6. 名前を入力し、**OK** をクリックします。
7. 別の短縮ダイヤル番号を更新する場合は **1** を、終了する場合は **2** を押します。

HP Photosmart Studio (Mac) ソフトウェアで短縮ダイヤルを編集するには

1. **[Dock]** の **[HP デバイス マネージャ]** をクリックします。
   [HP デバイス マネージャ] ウィンドウが表示されます。
2. **[情報と設定]** ポップアップ メニューで、**[ファクス設定]**を選択します。
3. **[ファクス短縮ダイヤル]** ダイアログ ボックスで、編集する短縮ダイヤルを選択して、**[入力内容を編集]** をクリックします。
4. 変更を加えて、**[OK]** をクリックします。
5. 短縮ダイヤルの編集を終了したら、**[適用]** または **[OK]** をクリックします。

関連トピック

文字と記号

グループ短縮ダイヤルの設定

設定済みの個別短縮ダイヤル番号をグループ短縮ダイヤルに追加して、複数の受信者に一度に同じ文書をファクスすることができます (グループ短縮ダイヤルに登録できる個別の短縮ダイヤル番号の最大数は、モデルによって異なります)。

注記　グループ短縮ダイヤルに追加する番号は、HP All-in-One の個別短縮ダイヤルに既に登録されている必要があります。

コントロール パネルからグループ短縮ダイヤル番号を登録するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **3** を押し、次に **2** を押します。
   これで、[**短縮ダイヤルの設定**] と ['**グループ短縮ダイヤル**] が続けて選択されます。
   登録されていない最初の短縮ダイヤル番号がディスプレイに表示されます。
3. 表示された短縮ダイヤル番号を選択するには **OK** を押します。登録されていない別の短縮ダイヤルを選択するには、◀ または ▶ を押して、次に **OK** を押します。
4. ◀ または ▶ を押して設定した個別短縮ダイヤルをスクロールし、**OK** を押して選択します。
5. 別の個別短縮ダイヤル番号を追加する場合は **1** を、終了する場合は **2** を押します。
6. グループ短縮ダイヤル名を入力して、**OK** をクリックします。
7. 別のグループを追加する場合は **1** を、終了する場合は **2** を押します。

HP Photosmart Studio (Mac) ソフトウェアからグループ短縮ダイヤル番号を登録するには

1. **[Dock]** の **[HP デバイス マネージャ]** をクリックします。
   [HP デバイス マネージャ] ウィンドウが表示されます。
2. **[情報と設定]** ポップアップ メニューで、**[ファクス設定]**を選択します。

3. **[ファクス短縮ダイヤル]** ダイアログ ボックスの短縮ダイヤル一覧で、未登録の番号を選択します。
4. **[グループを追加]** をクリックします。
   [短縮ダイヤルグループを追加] ダイアログ ボックスが開きます。
5. **[グループ名]** ボックスに名前を入力します。
6. グループに追加する個別の短縮ダイヤル番号を選択し、**[グループに追加]** をクリックします。
7. **[OK]** をクリックします。
   ファクス短縮ダイヤル一覧に、矢印アイコンの付いたグループ名が表示されます。矢印をクリックすると、そのグループのメンバー一覧が表示されます。
8. 完了したら、**[適用]** または **[OK]** をクリックします。

関連トピック

- 個別の短縮ダイヤルの設定
- 文字と記号

短縮ダイヤル番号の削除

短縮ダイヤル番号は個別でもグループでも削除できます。短縮ダイヤル番号を削除する場合は、以下の点に注意してください。

- 個別短縮ダイヤル番号を削除すると、割当先のグループからもすべて削除されます。
- グループ短縮ダイヤル番号を削除しても、そのグループに登録されていた個別短縮ダイヤルは削除されません。グループがなくなっても、個別短縮ダイヤル番号を使ってファクスを送信できます。

コントロール パネルから短縮ダイヤル番号を削除するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **3** を押し、もう一度 **3** を押します。
   これで、[**短縮ダイヤルの設定**] と [**短縮ダイヤルを削除**] が続けて選択されます。
3. 削除する短縮ダイヤルが表示されるまで ◀ か ▶ を押し、次に **OK** を押して削除します。

HP Photosmart Studio (Mac) ソフトウェアから短縮ダイヤル番号を削除するには

1. **[Dock]** の **[HP デバイス マネージャ]** をクリックします。
   [HP デバイス マネージャ] ウィンドウが表示されます。
2. **[デバイス]**ポップアップ メニューから HP All-in-One を選択します。
3. **[情報と設定]** ポップアップ メニューで、**[ファクス設定]**を選択します。
4. **[ファクス短縮ダイヤル]** ダイアログ ボックスで、削除する短縮ダイヤルを選択して、**[消去]** をクリックします。

5. **[OK]** をクリックします。
6. 短縮ダイヤルの削除が終了したら、**[適用]** または **[OK]** をクリックします。

短縮ダイヤルリストの印刷

HP All-in-One に登録されている短縮ダイヤル番号リストを印刷することができます。

短縮ダイヤルリストを印刷するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **3** を押し、次に **4** を押します。
   これで、[**短縮ダイヤルの設定**] と [**短縮ダイヤルリストを印刷**] が続けて選択されます。

   ヒント　このリストは、[**レポートの印刷**] メニューから [**短縮ダイヤルリスト**] を選択して印刷することもできます。**セットアップ**、**2** を押し、次に **7** を押します。

電話帳の設定

よく使う番号を短縮ダイヤルとして登録するほかに、HP Photosmart Studio (Mac) ソフトウェアに付属の **[電話帳]**、Mac OS X に付属の **[アドレス帳]** でファクス番号を登録することができます。HP Photosmart Studio (Mac) を使用してファクスを送信する場合は、**[電話帳]** または **[アドレス帳]** から該当するエントリを選択するだけで、連絡先情報が自動的に差し込まれます。

ファクス受信者の情報を記録するには、**[電話帳]** よりも **[アドレス帳]** の使用をお勧めします。 受信者を **[アドレス帳]** に追加する方法については、Mac OS X のオンスクリーン ヘルプを参照してください。

注記　**[電話帳]** と **[アドレス帳]** は、HP Photosmart Studio (Mac) ソフトウェアからファクスを送信するときのみ使用できます。 短縮ダイヤルは、ファクスを送信するとき HP Photosmart Studio (Mac) と HP All-in-One のコントロール パネルのどちらからでも利用できます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

電話帳の番号の登録

次の手順に従って電話帳の番号を追加してください。

HP Photosmart Studio (Mac) ソフトウェアから電話帳の番号を登録するには

1. **[Dock]** の **[HP デバイス マネージャ]** をクリックします。
   [HP デバイス マネージャ] ウィンドウが表示されます。
2. **[情報と設定]** ドロップダウン メニューで、**[ファクス短縮ダイヤル設定]**を選択します。
3. ポップアップ メニューから、**[ファクス番号リスト]** を選択します。
   [ファクス番号リスト] ダイアログ ボックスが開きます。
4. **[個人を追加]** をクリックし、ファクス番号と受信者に関するその他の情報を入力します。
5. **[OK]** をクリックします。
   受信者が **[電話帳]** に追加されます。

電話帳の番号の編集または削除

次の手順に従って、電話帳の番号を編集または削除してください。

HP Photosmart Studio (Mac) ソフトウェアから電話帳の番号を編集または削除するには

1. **[Dock]** の **[HP デバイス マネージャ]** をクリックします。
   [HP デバイス マネージャ] ウィンドウが表示されます。
2. **[情報と設定]** ドロップダウン メニューで、**[ファクス短縮ダイヤル設定]**を選択します。
3. ポップアップ メニューから、**[ファクス番号リスト]** を選択します。
   [ファクス番号リスト] ダイアログ ボックスが開きます。
4. 編集または削除する電話帳の番号を選択します。
   - 電話帳の番号を編集するには、**[入力内容を編集]** をクリックし、変更を加えます。 **[OK]** をクリックします。
   - 電話帳の番号を削除するには **[削除]** をクリックし、次に **[OK]** を押します。
5. **[適用]** または **[OK]** をクリックします。

ファクス番号のエクスポートおよびインポート

電話帳を他の人と共有する場合は、ファイルをエクスポートして、別のアプリケーションにインポートすることができます。 名前やファクス番号が別のア

プリケーションで管理されていて、それをタブ区切りのテキスト ファイル形式で保存できる場合は、HP All-in-One の電話帳にインポートできます。

HP Photosmart Studio (Mac) ソフトウェアで電話帳をエクスポートするには

1. HP Photosmart Studio タスク バーで、**[デバイス]** をクリックします。
   [HP デバイス マネージャ] ウィンドウが表示されます。
2. **[デバイスの選択]** で、HP All-in-One のアイコンをクリックします。
3. **[デバイス オプション]** 領域で、**[設定]** をクリックし、**[ファクス短縮ダイヤル設定]** をクリックします。
4. ポップアップ メニューから、**[ファクス番号リスト]** を選択します。
5. **[エクスポート]** をクリックします。
6. エクスポートするファイルの名前と場所を選択し、**[保存]** をクリックします。
   指定した場所に電話帳のファイルが保存されます。
7. **[適用]** または **[OK]** をクリックします。

HP Photosmart Studio (Mac) ソフトウェアから電話帳やテキスト ファイルをインポートするには

1. **[Dock]** の **[HP デバイス マネージャ]** をクリックします。
   [HP デバイス マネージャ] ウィンドウが表示されます。
2. **[情報と設定]** ドロップダウン メニューで、**[ファクス短縮ダイヤル設定]**を選択します。
3. ポップアップ メニューから、**[ファクス番号リスト]** を選択します。
4. **[インポート]** をクリックします。
   [インポートの種類の選択] ダイアログ ボックスが表示されます。
5. 次のいずれかを選択します。
   - **[HP AiO 電話帳のインポート]**: このオプションはエクスポートした HP AiO 電話帳ファイルを使用する場合に選択します。
   - **[タブ区切りのテキスト ファイルのインポート]**: このオプションは外部のソフトウェアで作成したタブ区切りのテキストファイルを使用する場合に選択します。

   [タブ区切りのテキスト ファイルのインポート] を選択した場合は、プルダウン リストでファイルの内容を確認します。
6. **[OK]** をクリックします。
7. インポートするファイルを選択し、**[開く]** をクリックします。
   電話帳や外部のファイルがインポートされ、電話帳に番号が表示されます。

5　原稿および用紙のセット

HP All-in-One には、A4 またはレター用紙、フォト用紙、OHP フィルム、封筒などのさまざまなサイズと種類の用紙をセットできます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

原稿のセット

コピー、ファクス、スキャンする原稿は、自動ドキュメント フィーダまたはガラス板にセットします。自動ドキュメントフィーダにセットされた原稿は、HP All-in-One に自動的に給紙されます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

自動ドキュメント フィーダに原稿をセット

原稿をドキュメント フィーダ トレイにセットすると、単一または複数ページのレター サイズ、A4 サイズの文書 (普通紙で最大 35 ページ)、またはリーガル サイズの文書 (普通紙で最大 20 ページ) をコピー、スキャン、ファクスすることができます。

△ **注意**　自動ドキュメント フィーダには写真をセットしないでください。写真が破損する恐れがあります。

注記　**[ページに合わせる]** コピーなど、一部の機能は原稿を自動ドキュメント フィーダにセットすると動作しません。原稿はガラス板にセットしてください。

ドキュメント フィーダ トレイに原稿をセットするには

1. ドキュメント フィーダ トレイに、印刷面を上にして原稿をセットします。自動ドキュメント フィーダに用紙をスライドさせます。正しくセットされると、ビープ音が鳴るか、ディスプレイに HP All-in-One がセットした用紙を認識したことを示すメッセージが表示されます。

   ヒント　原稿を自動ドキュメント フィーダにセットする方法については、ドキュメント フィーダ トレイにある図を参照してください。

2. 用紙の両端に当たって止まるまで、用紙ガイドをスライドさせます。

注記 HP All-in-One のカバーを持ち上げる前に、ドキュメント フィーダ トレイから原稿をすべて取り出してください。

関連トピック

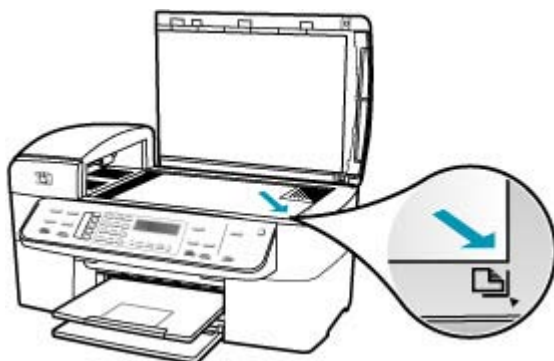
ガラス板への原稿のセット

ガラス板への原稿のセット

ガラス板に原稿をセットすると、最大で A4 サイズまたはレター用紙までの原稿をコピー、スキャン、またはファクスすることができます。原稿にリーガル サイズまたは複数の用紙サイズのページがある場合は、自動ドキュメント フィーダにセットしてください。

注記 ガラス板や原稿押さえに汚れが付着していると、多くの特殊機能が正常に機能しなくなる可能性があります。

ガラス面に原稿をセットするには

1. すべての原稿をドキュメント フィーダ トレイから取り出してから、HP All-in-One のカバーを持ち上げてください。
2. 印刷面を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。

3. カバーを閉じます。

関連トピック

- 自動ドキュメント フィーダに原稿をセット
- HP All-in-One のクリーニング

印刷メディアの選択

このデバイスはほとんどの種類のオフィス用紙に対応しています。大量の用紙を購入する場合は、実際に購入する前にさまざまな種類の用紙で実際に印刷を試してみることをお勧めします。最適な印刷品質をお求めの場合は HP 用紙をご使用ください。HP 用紙の詳細については、HP Web サイト www.hp.com をご覧ください。

- 印刷用紙の選択、使用に関するヒント
- サポートする用紙の仕様について
- 最小マージンの設定
- 使ってはいけない用紙

印刷用紙の選択、使用に関するヒント

最高の印刷結果を得るには、次の注意事項に従ってください。

- プリンタの仕様に適合した用紙を必ず使用してください。詳細については、サポートする用紙の仕様についてを参照してください。
- トレイにセットする用紙は一度に 1 種類だけにしてください。

- トレイ 1 とトレイ 2 には、印刷面を下にして、トレイの右端と後端に用紙をぴたりと合わせてセットします。トレイ 2 は一部のモデルにのみ付属しています。詳細については、サポートする用紙の種類と重量についてを参照してください。
- トレイ 2 は普通紙専用です。
- トレイに用紙を入れすぎないようにしてください。詳細については、サポートする用紙の仕様についてを参照してください。
- 紙詰まり、印刷品質の低下など印刷上の問題を防止するため、以下の用紙の使用はおやめください。
  - 複写用紙
  - 傷がある、カールしている、またはしわのある用紙
  - 切り抜きやミシン目のある用紙
  - 目の粗い用紙、エンボス加工した用紙、またはインクをよく吸わない用紙
  - 重量の軽い用紙、または簡単に伸縮する用紙

カードと封筒

- 表面がつるつるしすぎていたり、粘着性が強いものや、留め具付き、窓付きの封筒は避けてください。厚手のもの、形がいびつなもの、端がカールしていたり、しわや折れ、破れなどの傷があるカードや封筒も使用しないでください。
- しっかりと組み立てられた封筒を使用し、きちんと折り目がついていることを確認してください。
- ふたを上にして封筒をセットします。

フォト用紙

- 写真の印刷には **[高画質]** モードをご使用ください。このモードの場合、印刷時間が長くなり、コンピュータのメモリをより多く必要とします。
- 印刷の終わるたびに用紙を取り出して、乾燥するまで置いておきます。まだ湿っている用紙を重ねて置くとインク汚れの原因になる場合があります。

OHP フィルム

- OHP フィルムはざらついた面を下にして、粘着テープがプリンタ後部を向くようにして挿入します。
- OHP フィルムの印刷には **きれい** モードをご使用ください。このモードは乾燥時間が長くなるため、次のページが排紙トレイに排出される前にインクを完全に乾かすことができます。
- 印刷の終わるたびに用紙を取り出して、乾燥するまで置いておきます。まだ湿っている用紙を重ねて置くとインク汚れの原因になる場合があります。

ユーザ定義サイズ用紙

- プリンタがサポートするユーザ定義サイズ用紙のみをご使用ください。
- お使いのアプリケーションがユーザ定義サイズ用紙をサポートする場合、文書を印刷する前にアプリケーションで用紙サイズを設定しておきます。もしサポートしない場合は、プリンタ ドライバで用紙サイズを設定します。ユーザ定義サイズ用紙に正しく印刷するには、既存の文書の書式変更が必要になる場合があります。

サポートする用紙の仕様について

サポートするサイズについて および サポートする用紙の種類と重量について の表で、本プリンタがサポートする正しい用紙ならびに対応する機能を確認してください。

- サポートするサイズについて
- サポートする用紙の種類と重量について

サポートするサイズについて

用紙サイズ	トレイ 1	両面印刷モジュール	自動ドキュメントフィーダ
標準の用紙サイズ			
U.S. レター (216 x 279 mm、8.5 x 11 インチ)	✔	✔	✔
U.S. リーガル (216 x 356 mm、8.5 x 14 インチ)	✔		✔
A4 (210 x 297 mm、8.3 x 11.7 インチ)	✔	✔	✔
U.S. エグゼクティブ (184 x 267 mm、7.25 x 10.5 インチ)	✔	✔	✔
B5 (182 x 257 mm、 7.17 x 10.12 インチ)	✔	✔	✔
A5 (148 x 210mm、 5.8 x 8.3 インチ)	✔	✔	✔
フチ無し A4 (210 x 297 mm、8.3 x 11.7 インチ)*	✔		
フチ無し A5 (148 x 210mm、5.8 x 8.3 インチ)*	✔		
フチ無し B5 (182 x 257 mm、7.17 x 10.12 インチ)*	✔		
封筒			
U.S. #10 封筒 (105 x 241 mm、4.12 x 9.5 インチ)*	✔		
A2 封筒 (111 x 146 mm、4.37 x 5.75 インチ)*	✔		

(続き)

用紙サイズ	トレイ 1	両面印刷モジュール	自動ドキュメントフィーダ
DL 封筒 (110 x 220 mm、 4.3 x 8.7 インチ)*	✓		
C6 封筒 (114 x 162 mm、 4.5 x 6.4 インチ)*	✓		
封筒 長形 2 号(119 x 277 mm、 4.7 x 10.9 インチ)*	✓		
封筒 長形 3 号(120 x 235 mm、 4.7 x 9.3 インチ)*	✓		
封筒 長形 4 号(90 x 205 mm、 3.5 x 8.1 インチ)*	✓		
カード			
インデックス カード (76.2 x 127 mm、 3 x 5 インチ)*	✓		
インデックス カード (102 x 152 mm、 4 x 6 インチ)*	✓	✓	
インデックス カード (127 x 203 mm、 5 x 8 インチ)*	✓	✓	
A6 カード (105 x 148.5 mm) 4.13 x 5.83 インチ)*	✓	✓	
フチ無し A6 カード (105 x 148.5 mm) 4.13 x 5.83 インチ)*	✓		
はがき (100 x 148 mm、 3.9 x 5.8 インチ)*	✓		
往復はがき (200 x 148 mm、 7.9 x 5.8 インチ)*	✓		
フォト用紙			
フォト用紙 (102 x 152 mm、 4 x 6 インチ)*	✓		
フォト用紙 (5 x 17.78 cm)*	✓		
フォト用紙 (8 x 25.40 cm)*	✓		
フォト用紙 (10 x 20 cm)*	✓		
フォト用紙 (4 x 20.32 cm)*	✓		
フォト用紙 HV*	✓		
フォト用紙 キャビネット判 (165 x 120 mm、 6.5 x 4.7 インチ)*	✓		
フォト用紙 2L 判 (178 x 127 mm、 7 x 5 インチ)*	✓		

(続き)

用紙サイズ	トレイ 1	両面印刷モジュール	自動ドキュメントフィーダ
フォト用紙 (13 x 18 cm)*	✔		
フォト用紙 B7 (88 x 125 mm、 3.5 x 4.9 インチ)*	✔		
写真 L 判 (89 x 127 mm、 3.5 x 5 インチ)*	✔		
フチ無しフォト用紙 (102 x 152 mm、 4 x 6 インチ)*	✔		
フチ無しフォト用紙 (10 x 20 cm)*	✔		
フチ無しフォト用紙 (4 x 8 インチ)*	✔		
フチ無し HV*	✔		
フチ無し キャビネット判 (165 x 120 mm、 6.5 x 4.7 インチ)*	✔		
フチ無し 2L 判 (178 x 127 mm、 7 x 5 インチ)*	✔		
フチ無しフォト用紙 (5 x 7 インチ)*	✔		
フチ無しフォト用紙 (8 x 10 インチ)*	✔		
フチ無しフォト用紙 (8.5 x 11 インチ)*	✔		
フチ無しフォト用紙 (13 x 18 cm)*	✔		
フチ無し B7 (88 x 125 mm、 3.5 x 4.9 インチ)*	✔		
フチ無しはがき (100 x 148mm)*	✔		
フチ無し写真 L 判 (89 x 127 mm、 3.5 x 5 インチ)*	✔		
その他の用紙			
幅 76.2 ～ 216 mm、長さ 127 ～ 594 mm (幅 3 ～ 8.5 インチ、長さ 5 ～ 23 インチ) のユーザ定義サイズ用紙*	✔		
幅 127 ～ 216 mm、長さ 241 ～ 305 mm (幅 5 ～ 8.5 インチ、長さ 9.5 ～ 12 インチ) のユーザ定義サイズ用紙 (自動ドキュメント フィーダ)			✔
パノラマ (4 x 10 インチ、4 x 11 インチ、4 x 12 インチ、ダブル A4) *	✔		
フチ無しパノラマ (4 x 10 インチ、4 x 11 インチ、4 x 12 インチ、ダブル A4) *	✔		

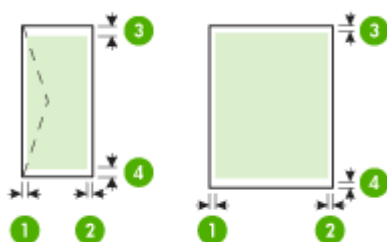
* 片面または両面印刷の場合、自動ドキュメントフィーダの使用には対応していません。

** 本プリンタは日本郵政公社の普通ハガキおよびインクジェットハガキにのみ対応しています。日本郵政公社の写真用ハガキには対応していません。

サポートする用紙の種類と重量について

トレイ	種類	重量	収容枚数
トレイ 1	用紙	60 ～ 105 g/m^2 (16 ～ 28 ポンド ボンド紙)	普通紙 250 枚まで (重ねた状態で 25 mm または 1 インチ)
	OHP フィルム		最高 70 枚 (重ねた状態で 17 mm または 0.67 インチ)
	フォト用紙	280 g/m^2 (75 ポンド ボンド紙)	最高 100 枚 (重ねた状態で 17 mm または 0.67 インチ)
	ラベル		最高 100 枚 (重ねた状態で 17 mm または 0.67 インチ)
	封筒	75 ～ 90 g/m^2 (20 ～ 24 ポンド ボンド封筒)	最高 30 枚 (重ねた状態で 17 mm または 0.67 インチ)
	カード	200 g/m^2 まで (110 ポンド インデックス)	最高 80 枚
両面印刷モジュール	用紙	60 ～ 105 g/m^2 (16 ～ 28 ポンド ボンド紙)	該当なし
排紙ビン	サポートするすべての用紙		普通紙 150 枚まで (テキスト印刷)

最小マージンの設定

文書のマージンは、縦方向に指定された最小マージン以上に設定する必要があります。

メディア	(1) 左マージン	(2) 右マージン	(3) 上マージン	(4) 下マージン
U.S. レター U.S. リーガル A4 フォト用紙	2 mm （0.12 インチ）	2 mm （0.12 インチ）	1.8 mm （0.07 インチ）	2 mm （0.12 インチ）
U.S. エグゼクティブ B5 A5 カード	2 mm （0.12 インチ）	2 mm （0.12 インチ）	1.8 mm （0.07 インチ）	6 mm （0.24 インチ）
封筒	3.3 mm （0.13 インチ）	3.3 mm （0.13 インチ）	16.5 mm （0.65 インチ）	16.5 mm （0.65 インチ）

* Windows を実行するコンピュータでこのマージンを設定する場合は、プリント ドライバの **[詳細設定]** タブをクリックし、**[マージンの最小化]** を選択します。

注記 両面印刷モジュール (一部のモデルに付属) を使用している場合、上下の最小マージンは 12 mm (0.47 インチ) 以上に設定してください。

使ってはいけない用紙

薄すぎる用紙、厚すぎる用紙、表面がつるつるの用紙、伸縮性のある用紙などを使用すると、紙詰まりが起こりやすくなります。表面がでこぼこした用紙やインクをはじく用紙を使用すると、印刷された画像がこすれたりにじんだり、あるいはかすれたりすることがあります。

印刷にもコピーにも使ってはいけない紙

- 技術仕様の章に記載されたサイズ以外の用紙。詳細については、用紙サイズを参照してください。
- 切り抜きやミシン目のある用紙 (HP インクジェット デバイスで使用できるように設計されている場合を除く)。
- リネンなど、肌触りの粗い紙均等に印刷されないこともあり、用紙の上にインクがにじむこともあります。
- HP All-in-One で使用するようデザインされていない、極端になめらかな用紙や光沢のある用紙、あるいは極端なコーティングがされている用紙。HP All-in-One に紙詰まりが起きたり、インクが定着しないことがあります。
- 複写用紙 (2 枚重ねあるいは 3 枚重ねの複写用紙など)。しわ、紙詰まり、インク汚れなどの原因になります。
- 留め具付きの封筒や窓付き封筒。ローラーに引っかかって紙詰まりの原因となる場合があります。
- バナー用紙。

コピーに使ってはいけないその他の紙

- 封筒。
- プレミアム OHP フィルムまたはプレミアム プラス インクジェット OHP フィルム以外の OHP フィルム。
- アイロンプリント紙。
- グリーティングカード用紙。

用紙のセット

このセクションでは、コピー、印刷、ファクスに使用するさまざまな種類およびサイズの用紙を HP All-in-One にセットする手順を説明します。

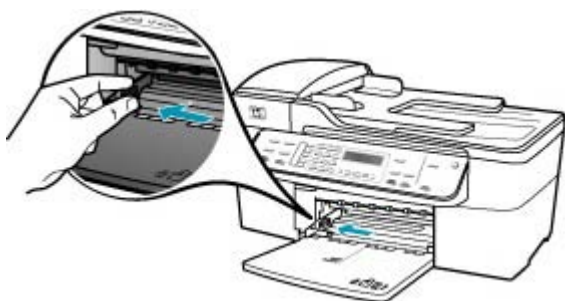
ヒント 破れ、しわ、波打ち、折れ曲がりを防ぐには、用紙をジッパー付きの袋に入れ、平らな状態で保管してください。正しく保管していないと、温度や湿度の急激な変化によって用紙がそり返り、HP All-in-One で利用できなくなる場合があります。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- フルサイズ用紙のセット
- フォト用紙のセット
- インデックス カードのセット
- 封筒のセット

フルサイズ用紙のセット

HP All-in-One の給紙トレイには、A4 サイズ、レター サイズ、リーガル サイズなど、さまざまな種類の用紙をセットできます。

フルサイズの用紙をセットするには

1. 排紙トレイを取り外します。

2. 横方向用紙ガイドを一番外側の位置までスライドさせます。

3. 平らな面で用紙の端を揃え、次の点を確認します。
   - 用紙に破れ、ほこり、しわ、端の折れや波打ちがないこと
   - セットするすべての用紙が同じサイズ、同じ種類であること

4. 印刷面を下にして、用紙の短辺を給紙トレイに挿入します。用紙の束の先端が止まるまで奥に差し込んでください。

△ **注意**　給紙トレイに用紙をセットするときは、HP All-in-One が停止し、静かになっていることを確認してください。HP All-in-One がプリントカートリッジをクリーニングしていたり、その他のタスクを実行していると、用紙が途中で止まり、正しく装着されない場合があります。用紙を手動で押し込むと、HP All-in-One から空白のページが排紙されます。

ヒント　レター ヘッドを使用する場合は、ページの上側から先に入れ、印刷面を下にしてください。フルサイズ用紙およびレターヘッドのセット方法については、給紙トレイの底面にある図を参照してください。

5. 横方向用紙ガイドを、用紙の端に当たって止まるまでスライドさせます。
給紙トレイに用紙を入れすぎないようにしてください。用紙の束がきちんと給紙トレイの中に収まり、横方向用紙ガイドの上端より低いことを確認してください。

6. 排紙トレイを元に戻します。

7. 延長排紙トレイを手前に跳ね上げます。

> **注記** リーガル サイズの用紙を使用する場合は、用紙補助トレイを閉じておいてください。

フォト用紙のセット

フォト用紙を HP All-in-One の給紙トレイにセットできます。より美しく仕上げるために、プレミアム フォト用紙またはプレミアム プラス フォト用紙を使用してください。

> **ヒント** 破れ、しわ、波打ち、折れ曲がりを防ぐには、用紙をジッパー付きの袋に入れ、平らな状態で保管してください。正しく保管していないと、温度や湿度の急激な変化によって用紙がそり返り、HP All-in-One で利用できなくなる場合があります。

印刷を美しく仕上げるためには、コピーまたは印刷する前に用紙の種類と用紙サイズを設定してください。

フォト用紙を給紙トレイにセットするには

1. 排紙トレイを取り外します。
2. 給紙トレイから用紙をすべて取り出します。

3. フォト用紙の短辺を奥にし、印刷面を下にして給紙トレイの右端に挿入します。フォト用紙の先端が止まるまで奥に差し込んでください。
   タブが手前になるようにフォト用紙をセットします。

   > ヒント 小さいフォト用紙のセットについては、給紙トレイの底面にあるフォト用紙セット用のガイドを参照してください。

4. 横方向用紙ガイドを、フォト用紙に当たって止まるまでスライドさせます。
   給紙トレイに用紙を入れすぎないようにしてください。用紙の束がきちんと給紙トレイの中に収まり、横方向用紙ガイドの上端より低いことを確認してください。

5. 排紙トレイを元に戻します。

関連トピック

- サポートする用紙の仕様について
- コピー用紙の種類の設定

インデックス カードのセット

HP All-in-One の給紙トレイにインデックス カードをセットし、メモやレシピーなどを印刷することもできます。

印刷を美しく仕上げるためには、コピーまたは印刷する前に用紙の種類と用紙サイズを設定してください。

給紙トレイにインデックス カードをセットするには

1. 排紙トレイを取り外します。
2. 給紙トレイから用紙をすべて取り出します。
3. 印刷面を下に、給紙トレイの右端に寄せてカードの束を装着します。カードの束を奥まで差し込んでください。

4. 横方向用紙ガイドを、カードに当たって止まるまでスライドさせます。
   給紙トレイに用紙を入れすぎないようにしてください。カードの束がきちんと給紙トレイの中に収まり、横方向用紙ガイドの上端より低いことを確認してください。

5. 排紙トレイを元に戻します。

関連トピック

- フォト用紙のセット
- コピー用紙の種類の設定

封筒のセット

HP All-in-One の給紙トレイには、複数の封筒をセットすることができます。光沢紙を使った封筒やエンボス加工された封筒、あるいは留め具付きの封筒や窓付き封筒は使わないでください。

注記　封筒に印刷するための書式設定については、お使いのワープロ ソフトのヘルプ ファイルを参照してください。より美しく仕上げるために、封筒の差出人住所にはラベルの使用をお勧めします。

封筒をセットするには

1. 排紙トレイを取り外します。
2. 給紙トレイから用紙をすべて取り出します。
3. 給紙トレイの右端に封筒を入れ、封筒のふたを上に向け、ふた側を左側にしてセットします。封筒の束を奥まで差し込んでください。

   ヒント　封筒のセット方法については、給紙トレイの底面にある図を参照してください。

4. 横方向用紙ガイドを、封筒に当たって止まるまでスライドさせます。
給紙トレイに用紙を入れすぎないようにしてください。封筒の束がきちんと給紙トレイの中に収まり、横方向用紙ガイドの上端より低いことを確認してください。

5. 排紙トレイを元に戻します。

紙詰まりの防止

紙詰まりを起こさないようにするには、以下の注意に従ってください。

- 排紙トレイから印刷された用紙を頻繁に取り除くようにしてください。
- 未使用の用紙はジッパー付きの袋に平らに入れ、用紙が波打ったり、しわが寄ったりしないように保管してください。
- 用紙を給紙トレイに平らに置き、端が折れたり破れたりしないようにセットしてください。
- 給紙トレイに種類やサイズの異なる用紙を一緒にセットしないでください。給紙トレイにセットする用紙は、すべて同じサイズと種類でなければなりません。
- 用紙がぴったり収まるように、給紙トレイの横方向用紙ガイドを調整してください。横方向用紙ガイドで給紙トレイの用紙を折らないようにしてください。
- 用紙を給紙トレイの奥に入れすぎないでください。
- ご使用の HP All-in-One で推奨している用紙の種類をお使いください。詳細については、サポートする用紙の仕様についてを参照してください。
- ガラス板に原稿をセットしたままにしないでください。ガラス板の上に原稿があるときに原稿を自動ドキュメント フィーダにセットすると、自動ドキュメント フィーダの中で原稿が詰まることがあります。

6　コンピュータからの印刷

HP All-in-One は印刷が可能であれば、どのソフトウェアからでも使用できます。フチ無し印刷、ニュース レター、グリーティング カード、アイロン プリント紙、ポスターなどのさまざまな用途の印刷に対応しています。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

ソフトウェア アプリケーションからの印刷

ほとんどの印刷設定はソフトウェア アプリケーションによって自動的に設定されます。印刷品質の変更、特定の種類の用紙やフィルムへの印刷、特殊機能の使用の場合にのみ、手動で設定を変更する必要があります。

ソフトウェア アプリケーションからプリントするには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. お使いのソフトウェア アプリケーションで、**[ファイル]** メニューの **[ページ設定]** をクリックします。
   [ページ設定] ダイアログ ボックスが表示され、用紙のサイズ、方向、倍率を指定することができます。
3. HP All-in-One が使用するプリンタとして選択されていることを確認します。
4. ページ属性を指定します。
   - 用紙のサイズを選択します。
   - 用紙の方向を選択します。
   - 拡大/縮小の比率を入力します。
5. **[OK]** をクリックします。
6. お使いのソフトウェア アプリケーションで、**[ファイル]** メニューの **[プリント]** をクリックします。
   [プリント] ダイアログ ボックスが表示され、**[印刷部数と印刷ページ]** パネルが開きます。
7. 印刷するプロジェクトに合わせて、ポップアップ メニューでそれぞれのオプションの印刷設定を変更します。

   注記　写真を印刷するときは、用紙の種類および写真の画質補正で正しいオプションを選択する必要があります。

8. 印刷を開始するには、**[プリント]** をクリックします。

印刷設定の変更

HP All-in-One の印刷設定をカスタマイズして、さまざまな印刷タスクを行うことができます。

• Mac ユーザー

Mac ユーザー

印刷ジョブの設定を変更するには、**[ページ設定]** と **[プリント]** ダイアログ ボックスを使用します。 使用するダイアログ ボックスは、設定の変更によります。

用紙のサイズ、方向、倍率 (%) を変更するには

1. お使いのソフトウェア アプリケーションの **[ファイル]** メニューで **[ページ設定]** を選択します。
2. HP All-in-One が使用するプリンタとして選択されていることを確認します。
3. 用紙のサイズ、方向、倍率 (%) の設定を変更し、**[OK]** をクリックします。

その他のすべての印刷設定を変更するには

1. お使いのソフトウェア アプリケーションで、**[ファイル]** メニューの **[プリント]** をクリックします。
2. HP All-in-One が使用するプリンタとして選択されていることを確認します。
3. **[印刷部数と印刷ページ]** でプリントオプションのすべてのリストを表示します。印刷設定を変更し、**[プリント]** をクリックしてジョブを印刷します。

印刷ジョブの中止

印刷ジョブを中止する場合は、HP All-in-One とコンピュータの両方から操作できますが、HP All-in-One から中止することをお勧めします。

HP All-in-One から印刷ジョブを中止するには

▲ コントロール パネルの **キャンセル** を押します。印刷ジョブが停止しない場合は、**キャンセル** をもう一度押します。
印刷のキャンセルにはしばらく時間がかかることがあります。

7 コピー機能の使用

HP All-in-One を使用すると、高品質のカラー コピーおよびモノクロ コピーを、OHP フィルムを含め、さまざまな種類の用紙に作成できます。原稿のサイズを特定の用紙サイズに合わせて拡大/縮小したり、コピーの濃淡を調整したり、特別なコピー機能を使用してフチ無しコピーなど、写真の高品質コピーを作成したりすることもできます。

ヒント 通常のコピー作業でコピーを美しく仕上げるには、用紙のサイズを [**レター**] または [**A4**]、用紙の種類を [**普通紙**]、コピー品質を [**はやい**] に設定します。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

コピーの作成

コントロール パネルから高画質のコピーを作成できます。ドキュメント フィーダ トレイに複数ページの原稿をセットします。

コントロール パネルからコピーを作成するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. ガラス板の右下隅に合わせて原稿の印刷面を下にして、またはドキュメント フィーダ トレイに原稿の印刷面を上にして置きます。
   ドキュメント フィーダ トレイを使用する場合は、文書の先頭が最初になるようにページを置きます。
3. 次のいずれかの操作を行います。
   - モノクロ コピーを行うには、**コピー スタート - モノクロ** を押します。
   - カラー コピーを行うには、**コピー スタート - カラー** を押します。

   注記 カラー原稿の場合は、**コピー スタート - モノクロ** を押すとモノクロ コピーになり、**コピー スタート - カラー** を押すとフルカラー コピーになります。

部数の設定

[**コピー枚数**] で、印刷するコピー枚数を設定できます。

コントロール パネルからコピー枚数を設定するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. ガラス板の右下隅に合わせて原稿の印刷面を下にして、またはドキュメント フィーダ トレイに原稿の印刷面を上にして置きます。
   ドキュメント フィーダ トレイを使用する場合は、文書の先頭が最初になるようにページを置きます。
3. コピー 領域で、**メニュー** を繰り返し押して、[**コピー枚数**] を表示します。
4. ▶ を押すか、キーパッドを使用して、コピー枚数を入力します (最大コピー枚数は、お使いのモデルによって異なります)。

   ヒント 矢印ボタンを押し続けるとコピー枚数が 5 枚ずつ増えるので、コピー枚数が多い場合に便利です。

5. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

HP Photosmart Studio (Mac) ソフトウェアからコピー部数を設定するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. ガラス板の右下隅に合わせて原稿の印刷面を下にして、またはドキュメント フィーダ トレイに原稿の印刷面を上にして置きます。
   ドキュメント フィーダ トレイを使用する場合は、文書の先頭が最初になるようにページを置きます。
3. **[Dock]** の **[HP デバイス マネージャ]** をクリックします。
   [HP デバイス マネージャ] ウィンドウが表示されます。
4. **[タスク]** メニューで、**[コピーの作成]** をダブルクリックします。
   [HP コピー] ダイアログ ボックスが表示されます。

5. **[コピー枚数]** ボックスで、希望のコピー枚数を入力するかクリックします。
   最大コピー枚数は、モデルに応じて異なります。
6. **[モノクロ コピー]** または **[カラー コピー]** をクリックします。

コピー用紙サイズの設定

HP All-in-One の用紙サイズを設定できます。用紙サイズは、給紙トレイにセットした用紙に合わせて設定します。

コントロール パネルから用紙サイズを設定するには

1. コピー 領域で、**メニュー** を繰り返し押して、[**コピー用紙サイズ**] を表示します。
2. 目的の用紙サイズが表示されるまで、▶ を押します。
3. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

HP Photosmart Studio (Mac) ソフトウェアから用紙サイズを設定するには

1. **[Dock]** の **[HP デバイス マネージャ]** をクリックします。
   [HP デバイス マネージャ] ウィンドウが表示されます。
2. **[タスク]** 領域で、**[コピーの作成]** をダブルクリックします。
   [HP コピー] ダイアログ ボックスが表示されます。
3. **[用紙サイズ]** ポップアップ メニューから用紙サイズを選択します。

コピー用紙の種類の設定

HP All-in-One の用紙の種類を設定できます。

コピーする用紙の種類を設定するには

1. コピー 領域で、**メニュー** を繰り返し押して、[**用紙の種類**] を表示します。
2. 目的の用紙の種類が表示されるまで、▶ を押します。
3. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

HP Photosmart Studio (Mac) ソフトウェアから用紙の種類を設定するには

1. **[Dock]** の **[HP デバイス マネージャ]** をクリックします。
   [HP デバイス マネージャ] ウィンドウが表示されます。
2. **[タスク]** 領域で、**[コピーの作成]** をダブルクリックします。
   [HP コピー] ダイアログ ボックスが表示されます。
3. **[用紙の種類]** ポップアップ メニューから用紙の種類を選択します。

次の表を参照して、給紙トレイにセットされている用紙に対応する用紙の種類の設定を選択してください。

用紙の種類	コントロール パネルの設定
コピー用紙またはレターヘッド	普通紙
インクジェット用上質普通紙	普通紙
プレミアム プラス フォト用紙 (光沢)	プレミアムフォト用紙
プレミアム プラス フォト用紙 (つや消し)	プレミアムフォト用紙
プレミアム プラス フォト用紙 L 判	プレミアムフォト用紙
HP プレミアム OHP フィルムまたはプレミアム プラス インクジェット OHP フィルム	OHP フィルム
その他の OHP フィルム	OHP フィルム
普通はがき	普通紙
光沢はがき	プレミアムフォト用紙
L 判	プレミアム フォト用紙

コピー速度と品質の変更

HP All-in-One には、コピー速度およびコピーの品質に関する 3 つのオプションがあります。

- **高画質** は、各種用紙をより美しく印刷し、塗りつぶし領域に縞模様が出ないように仕上げます。**高画質** を使用すると、他の品質設定よりもコピーに時間がかかります。
- **きれい** は、ほとんどのコピーに適した、高画質な出力設定です。**きれい** は **高画質** よりも短時間でコピーできます。これがデフォルト設定値です。
- **はやい** は **きれい** よりも短時間でコピーできます。文字の印刷品質は **きれい** 設定と変わりませんが、グラフィックスの品質は低下します。**はやい** 設定でコピーをすると、インクの消費量が少ないので、プリント カートリッジの寿命が延びます。

コピー品質を変更するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. ガラス板の右下隅に合わせて原稿の印刷面を下にして、またはドキュメント フィーダ トレイに原稿の印刷面を上にして置きます。
   ドキュメント フィーダ トレイを使用する場合は、文書の先頭が最初になるようにページを置きます。
3. コピー 領域で、適切な品質設定が点灯するまで **品質** を繰り返し押します。
4. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

HP Photosmart Studio (Mac) ソフトウェアからコピー品質を変更するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. ガラス板の右下隅に合わせて原稿の印刷面を下にして、またはドキュメント フィーダ トレイに原稿の印刷面を上にして置きます。
   ドキュメント フィーダ トレイを使用する場合は、文書の先頭が最初になるようにページを置きます。
3. **[Dock]** の **[HP デバイス マネージャ]** をクリックします。
   [HP デバイス マネージャ] ウィンドウが表示されます。
4. **[デバイス]** ポップアップ メニューで、HP All-in-One を選択し、**[コピーの作成]** をダブルクリックします。
   [HP コピー] ダイアログ ボックスが表示されます。
5. **[品質]** の **[高画質]**、**[きれい]**、**[はやい]** のいずれかを選択してください。
   詳細については、前述の説明を参照してください。
6. **[モノクロ コピー]** または **[カラー コピー]** をクリックします。

デフォルトのコピー設定の変更

コントロール パネルからコピー設定を変更すると、その変更は現在のコピー ジョブにのみ適用されます。今後すべてのコピー ジョブにこのコピー設定を適用するには、その設定をデフォルト設定として保存します。

コントロール パネルからデフォルトのコピー設定を行うには

1. コピー設定に必要な変更を加えます。
2. コピー 領域で、**メニュー** を繰り返し押して、[**新しいデフォルトの設定**] を表示します。
3. [**はい**] が表示されるまで、▶ を押します。

注記 ここで指定した設定は、HP All-in-One 本体にのみ保存されます。ソフトウェアの設定には適用されません。HP All-in-One 用にインストールしたソフトウェアを使用すると、頻繁に使用する設定を保存できます。

HP Photosmart Studio (Mac) ソフトウェアからデフォルトのコピー設定をセットするには

1. **[Dock]** の **[HP デバイス マネージャ]** をクリックします。
   [HP デバイス マネージャ] ウィンドウが表示されます。
2. **[デバイス]** ポップアップ メニューで、HP All-in-One を選択し、**[コピーの作成]** をダブルクリックします。
   [HP コピー] ダイアログ ボックスが表示されます。
3. 該当する設定を変更します。
4. **[デフォルトに設定]** をクリックして、変更内容を保存します。
   このダイアログ ボックスで設定したデフォルトは、Mac からのコピー ジョブにのみ適用されます。

注記　用紙サイズは、プリンタを設定した国/地域により、A4 サイズまたはレターサイズに設定されます。

L 判用紙への写真のフチ無しコピー

高画質で写真をコピーするときは、給紙トレイにフォト用紙をセットします。次に、コピー設定を適切な用紙の種類および写真の強調に変更します。また、フォト プリント カートリッジを使用すると、さらに印刷品質を高めることができます。カラー プリント カートリッジとフォト プリント カートリッジをセットすることで、6 色インク システムが実現します。

コントロール パネルから写真をフチ無しコピーするには

1. L 判のフォト用紙を給紙トレイにセットします。
2. 印刷面を下にしてガラス板の右下隅に合わせて写真をセットします。
   ガラス板の端に示されているガイドに従って、写真の長い辺をガラス板の底辺に合わせます。

3. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。
   HP All-in-One で、写真原稿が L 判の用紙にフチ無しコピーされます。

   注記　給紙トレイにタブ付きの用紙をセットした場合は、インクが完全に乾いてから印刷した写真のタブを取り除いてください。

   ヒント　フチ無しにしない場合は、用紙の種類を [**プレミアム フォト用紙**] に設定し、もう一度コピーしてください。

HP Photosmart Studio (Mac) ソフトウェアから写真をフチ無しコピーするには

1. L 判のフォト用紙を給紙トレイにセットします。

 ヒント　フチ無しコピーを作成するには、フォト用紙または専用紙をセットしてください。

2. 印刷面を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。

3. HP Photosmart Studio (Mac) タスク バーで、**[デバイス]** をクリックします。
   [HP デバイス マネージャ] ウィンドウが表示されます。
4. **[Dock]** の **[HP デバイス マネージャ]** をクリックします。
   [HP デバイス マネージャ] ウィンドウが表示されます。
5. **[コピーの作成]** をクリックします。
6. **[タスク]** 領域で、**[コピーの作成]** をダブルクリックします。
   [HP コピー] ダイアログ ボックスが表示されます。
7. **[用紙サイズ]** ポップアップ メニューから L 判用紙サイズ オプションを選択します。
8. **[用紙の種類]** ポップアップ メニューから、給紙トレイにセットしたフォト用紙の種類を選択します。
9. 希望に応じて、その他の設定を変更します。
10. **[モノクロ コピー]** または **[カラー コピー]** をクリックします。
    HP All-in-One で、写真原稿が L 判の用紙にフチ無しコピーされます。

 注記　給紙トレイにタブ付きの用紙をセットした場合は、インクが完全に乾いてから印刷した写真のタブを取り除いてください。

関連トピック

- フォト用紙のセット
- コピー用紙の種類の設定
- フォト プリント カートリッジの使用

レターまたは A4 用紙に合わせて原稿のサイズを変更

原稿の画像や文字がページ全体に配置されて、余白がない場合は、**[ページに合わせる]** または **[ページ全体 91%]** を使用すると、原稿を縮小でき、端の文字や画像が不必要にトリミングされることを防ぐことができます。

ヒント　また、**[ページに合わせる]** で用紙サイズの印刷可能領域内に合わせて、小さな写真を拡大することもできます。ただし、原稿の縦横比を変えずに拡大する、または端をトリミングせずに拡大するため、HP All-in-One では用紙の端に不均等な余白がそのまま残ることがあります。

コントロール パネルから文書のサイズを調整するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. ガラス板の右下隅に合わせて原稿の印刷面を下にして、またはドキュメント フィーダ トレイに原稿の印刷面を上にして置きます。
   ドキュメント フィーダ トレイを使用する場合は、文書の先頭が最初になるようにページを置きます。
3. コピー 領域で、**縮小/拡大** を押します。
4. 次のいずれかの操作を行います。
   - ドキュメント フィーダ トレイまたはガラス板に原稿をセットした場合は、**[ページ全体 91%]** が表示されるまで ▶ を押します。
   - ガラス板にフルサイズまたはスモールサイズの原稿をセットした場合は、**[ページに合わせる]** が表示されるまで ▶ を押します。
5. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

HP Photosmart Studio (Mac) ソフトウェアで文書のサイズを調整するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. 原稿をセットします。
3. **[Dock]** の **[HP デバイス マネージャ]** をクリックします。
   [HP デバイス マネージャ] ウィンドウが表示されます。

4. **[タスク]** 領域で、**[コピーの作成]** をダブルクリックします。
   [HP コピー] ダイアログ ボックスが表示されます。
5. **[縮小/拡大]** 領域で、**[ページに合わせる]** を選択します。
6. **[モノクロ コピー]** または **[カラー コピー]** をクリックします。

カスタム設定による原稿のサイズ調整

文書のコピーを縮小または拡大する際にカスタム設定を使用できます。

コントロール パネルからカスタム サイズを設定するには

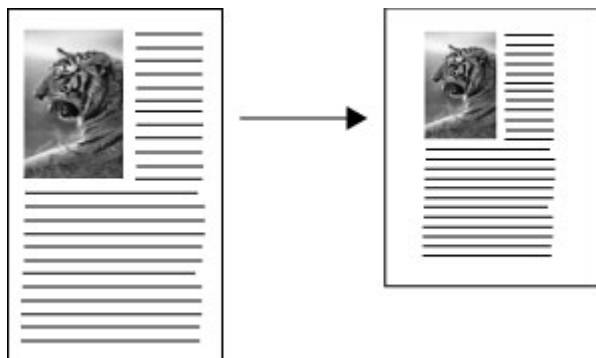
1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. 印刷面を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。
   ドキュメント フィーダ トレイを使用する場合は、文書の先頭が最初になるようにページを置きます。
3. コピー 領域で、**縮小/拡大** を押します。
4. [**カスタム 100%**] が表示されるまで、▶ を押します。
5. **OK** を押します。
6. ▶ を押すか、キーパッドを使用して、コピーの縮小または拡大の倍率 (%) を入力します。
   (サイズ調整の最小倍率および最大倍率は、モデルによって異なります。)
7. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

HP Photosmart Studio (Mac) ソフトウェアからカスタム サイズを設定するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. 原稿をセットします。
3. **[Dock]** の **[HP デバイス マネージャ]** をクリックします。
   [HP デバイス マネージャ] ウィンドウが表示されます。
4. **[タスク]** 領域で、**[コピーの作成]** をダブルクリックします。
   [HP コピー] ダイアログ ボックスが表示されます。
5. **[縮小/拡大]** 領域で、**[カスタム]** を選択し、パーセンテージを入力します。
6. **[モノクロ コピー]** または **[カラー コピー]** をクリックします。

リーガル サイズの文書をレター用紙にコピーする

[**リーガル>レター 72%**] 設定を使用して、レター用紙に合うようにリーガルサイズの文書のコピーを縮小できます。

注記　例に表示されている倍率は [**リーガル>レター 72%**]、ディスプレイの表示とは一致しない場合があります。

リーガル サイズの文書をレター用紙にコピーするには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. ドキュメント フィーダ トレイに、リーガルサイズのドキュメントを印刷面を上にしてセットします。
   文書の先頭が最初にくるようにドキュメント フィーダ トレイにセットします。
3. コピー 領域で、[**縮小/拡大**] を押します。
4. [**リーガル>レター 72%**] が表示されるまで、▶ を押します。
5. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

コピーの濃淡の調整

[**薄く/濃く**] オプションを使用すると、コピーのコントラストを調整できます。

コントロール パネルからコピーのコントラストを調整するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. ガラス板の右下隅に合わせて原稿の印刷面を下にして、またはドキュメント フィーダ トレイに原稿の印刷面を上にして置きます。
   ドキュメント フィーダ トレイを使用する場合は、文書の先頭が最初になるようにページを置きます。
3. コピー 領域で、**メニュー** を繰り返し押して、[**薄く/濃く**] を表示します。
4. 次のいずれかの操作を行います。
   - ▶ を押して、コピーを濃くします。
   - ◀ を押して、コピーを薄くします。
5. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

HP Photosmart Studio (Mac) ソフトウェアからコピーのコントラストを調整するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. ガラス板の右下隅に合わせて原稿の印刷面を下にして、またはドキュメント フィーダ トレイに原稿の印刷面を上にして置きます。
   ドキュメント フィーダ トレイを使用する場合は、文書の先頭が最初になるようにページを置きます。
3. **[Dock]** の **[HP デバイス マネージャ]** をクリックします。
4. **[タスク]** 領域で、**[コピーの作成]** をダブルクリックします。
   [HP コピー] ダイアログ ボックスが表示されます。
5. **[コピー印字品質]** で、**[コントラスト]** のつまみを右にドラッグすると暗くなります。

   注記　つまみを左に動かして明るくすることもできます。

6. **[モノクロ コピー]** または **[カラー コピー]** をクリックします。

コピーの不鮮明な部分を強調

[**強調**] 機能を使用すると、モノクロ文字の輪郭がはっきりし、テキスト文書の品質を調整したり、白に見えてしまう薄い色を強調して、写真を調整することができます。

デフォルトのオプションは [**写真と文字**] の強調です。[**写真と文字**] 強調を使用すると、ほとんどの原稿の輪郭をくっきりさせることができます。

コントロール パネルから不鮮明な文書をコピーするには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. 写真の長い辺をガラス板の底辺に合わせて置きます。
   ガラス板の右下隅に合わせて原稿の印刷面を下にして、またはドキュメント フィーダ トレイに原稿の印刷面を上にして置きます。
3. コピー 領域で、**メニュー** を繰り返し押して、[**強調**] を表示します。
4. [**文字**] 設定が表示されるまで、▶ を押します。
5. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

次のような場合は、[**写真**] または [**なし**] を選択して [**文字**] の強調をオフにすることができます。

- コピー上で色のドットが文字の回りにはみ出している。
- 大きいモノクロ文字がまだらで、なめらかでない。
- カラーの細かい図または線に、黒い部分がある。
- ライト グレーからミディアム グレーの部分に、グレーがかったまたは白い帯状の横線が現れる。

コピーの薄い部分を強調

[**写真**] 強調を使用すると、白に見えてしまう薄い色を強調することができます。[**写真**] 強調でコピーするときに起こりやすい次のような問題を解消または軽減するには、[**文字**] 強調を使用するのも有効です。

- コピー上で色のドットが文字の回りにはみ出している。
- 大きいモノクロ文字がまだらで、なめらかでない。
- カラーの細かい図または線に、黒い部分がある。
- ライト グレーからミディアム グレーの部分に、グレーがかったまたは白い帯状の横線が現れる。

露出過度の写真をコピーするには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. 印刷面を下にしてガラス板の右下隅に合わせて写真をセットします。
   写真の長い辺をガラス板の底辺に合わせて置きます。
3. コピー 領域で、**メニュー** を繰り返し押して、[**強調**] を表示します。
4. [**写真**] 強調設定が表示されるまで、▶ を押します。
5. **コピー スタート - カラー** を押します。

コピーの中止

コピーを中止するには

▲ コントロール パネルの **キャンセル** を押します。

8 スキャン機能の使用

スキャンとは、コンピュータで使用できるように、文字や写真を電子的な形式に変換するプロセスのことです。 HP All-in-One のガラス面に傷をつけないように注意すれば、写真、雑誌記事、書類など、さまざまなものをスキャンできます。

HP All-in-One のスキャン機能を使用すると、次のようなことが可能です。

- 記事からテキストをワード プロセッサにスキャンして記事の内容をレポートに取り込む。
- ロゴをスキャンし、パブリッシング ソフトウェアで使用して、名刺やカタログを印刷する。
- お気に入りの写真をスキャンして E メールに添付し、友人や家族に送信する。
- 自宅やオフィスのデータをアルバムのように記録する。
- 大切な写真を電子スクラップブックとして保存する。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 画像のスキャン
- スキャンしたプレビュー画像の編集
- スキャンした画像の印刷
- デフォルトのスキャン設定の変更

画像のスキャン

スキャンはコンピュータからでも、HP All-in-One からでも行うことができます。

スキャン機能を使用するには、HP All-in-One とコンピュータとを接続して電源をオンにする必要があります。また、スキャンを実行する前に、コンピュータに HP All-in-One ソフトウェアをインストールし、実行しておく必要があります。Mac の場合、HP All-in-One ソフトウェアは常に動作しています。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 原稿をコンピュータにスキャンする
- スキャンの中止

原稿をコンピュータにスキャンする

コントロール パネルを使って、ガラス板またはドキュメント フィーダ トレイに置いた原稿をスキャンできます。

コンピュータにスキャンするには

1. ガラス板の右下隅に合わせて原稿の印刷面を下にして、またはドキュメント フィーダ トレイに原稿の印刷面を上にして置きます。
2. **スキャンの送信先** を押します。ソフトウェア アプリケーションを含む送信先一覧がディスプレイに表示されます。
3. **OK** を押してスキャン画像を受信するデフォルトのアプリケーションを選択するか、▶ を押して別のアプリケーションを選択し、**OK** を押します。
   スキャンのプレビュー画像がコンピュータに表示され、そこで画像を編集することができます。
4. プレビュー画像に必要な編集を加え、作業が終了したら **[受け付ける]** をクリックします。
   スキャン画像が HP All-in-One から選択したアプリケーションに送信されます。

スキャンの中止

スキャンを中止するには

▲ コントロール パネルの **キャンセル** を押します。

スキャンしたプレビュー画像の編集

[HP Scan Pro] ウィンドウのツールを使用して、プレビュー画像を修正できます。明度、画像の種類、解像度などの変更は、このスキャン セッションのみに適用されます。

[HP Scan Pro] ソフトウェアでは、以下のことが行えます。

- 画像の一部の選択
- 画像の種類と品質の変更
- 解像度の変更
- 画像のトリミングまたはズレの修正
- 明度やコントラストの調整
- カラーや彩度の調整
- 画像の鮮明度の調整
- 画像の回転
- 画像のサイズ変更

詳細については、**[HP Photosmart Mac ヘルプ]** の **[HP Scan Pro]** セクションを参照してください。

スキャンした画像の印刷

スキャンした画像を **[HP Scan Pro]** スキャン プレビュー ソフトウェアから印刷できます。詳細については、**[HP Photosmart Mac ヘルプ]** の **[HP Scan Pro]** セクションを参照してください。

デフォルトのスキャン設定の変更

HP All-in-One 用にインストールしたソフトウェアのツールを使用すると、すべてのスキャン セッションに適用される特定の設定を変更して、固定できます。

希望のアプリケーションでスキャンした画像を表示できるように、デフォルトの送信先に設定することもできます。HP All-in-One の **[スキャン]** ボタンとコントロール パネルの **スキャンの送信先** ボタンに関連付けたデフォルトの送信先アプリケーションを変更することができます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 新しい画像の保存先の追加
- デフォルト送信先の変更
- 画像の保存先の変更
- 解像度または画像の種類の変更
- テキスト編集/OCR モードの変更
- 画像プレビュー設定の変更

新しい画像の保存先の追加

HP All-in-One 用にインストールしたソフトウェアでは、スキャン画像の送信先一覧に、新しいアプリケーションを追加することができます。 アプリケーションを追加すると、**[HP Scan Pro]** のウィンドウに、スキャンの送信先としてそのアプリケーションが表示されます。 写真編集ソフトウェア、E メールソフトウェア、OCR ソフトウェアなど、種類の異なる新しいアプリケーションを追加することができます。

図の編集または E メールの送信先一覧に新しいアプリケーションを追加するには

1. HP Photosmart Studio タスク バーで、**[デバイス]** をクリックします。
   [HP デバイス マネージャ] ウィンドウが表示されます。
2. **[デバイス]**ポップアップ メニューから HP All-in-One を選択します。
3. **[情報と設定]** ポップアップ メニューから、**[スキャンの環境設定]**を選択します。
   [スキャン先設定] ダイアログ ボックスが開きます。
4. **[新規]** をクリックします。
   [スキャン先の作成] ダイアログ ボックスが開きます。
5. **[図編集アプリケーション]** または **[E メール アプリケーション]** を選択します。
6. **[次へ]** をクリックします。
7. スキャンの送信先の名前を入力します。
8. 一覧からアプリケーションを選択するか、**[参照]** をクリックしてアプリケーションを検索します。
9. ポップアップ メニューから文書形式を選択します。
10. **[完了]** をクリックします。

テキスト/OCR の送信先一覧に新しいアプリケーションを追加するには

1. **[Dock]** の **[HP デバイス マネージャ]** をクリックします。
   [HP デバイス マネージャ] ウィンドウが表示されます。
2. **[デバイス]**ポップアップ メニューから HP All-in-One を選択します。
3. **[情報と設定]** ポップアップ メニューで、**[スキャンの環境設定]**を選択します。
   [スキャン先設定] ダイアログ ボックスが開きます。
4. **[新規]** をクリックします。
   [スキャン先の作成] ダイアログ ボックスが開きます。
5. **[テキスト編集／OCR アプリケーション]** を選択します。
6. **[次へ]** をクリックします。
7. スキャン先の名称を入力します。
8. 一覧からアプリケーションを選択するか、**[参照]** をクリックしてアプリケーションを検索します。
   [自動モード] チェック ボックスはデフォルトで選択されます。このモードでは、Readiris OCR ソフトウェアは画像をテキストに自動的に変換してから、テキストの編集と保存が可能なテキスト エディタに送信します。テキスト エディタでは、原稿のレイアウトと形式ができる限り維持されます。
   [自動モード] を選択しなかった場合、スキャン結果は Readiris OCR ウィンドウに残るので、変換または送信する前に操作することができます。
9. (オプション) スキャンした文書をテキストに変換したり、テキスト エディタに送信したりする前に **[Readiris OCR]** ソフトウェアで操作する場合は、**[自動モード]** の選択を解除します。
10. **[完了]** をクリックします。

デフォルト送信先の変更

HP All-in-One 用にインストールしたソフトウェアを使用すると、スキャン画像のデフォルトの送信先を変更することができます。

デフォルト送信先を変更するには

1. HP Photosmart Studio タスク バーで、**[デバイス]** をクリックします。
   [HP デバイス マネージャ] ウィンドウが表示されます。
2. **[デバイス]**ポップアップ メニューから HP All-in-One を選択します。
3. **[情報と設定]** ポップアップ メニューから、**[スキャンの環境設定]**を選択します。
   [スキャン先設定] ダイアログ ボックスが開きます。

4. **[カスタム スキャン設定]** 領域で、次のいずれかを実行します。
    - **[画像のスキャン 設定]** をクリックして、**[画像のスキャン]** ボタンに関連付けられているデフォルトの送信先の設定を変更します。
    - **[ドキュメントのスキャンの設定]** をクリックして、**[ドキュメント スキャン]** ボタンに関連付けられているデフォルトの送信先の設定を変更します。
    - **[フロントパネル スキャン設定]** をクリックして、HP All-in-One のコントロール パネルの **スキャン スタート** ボタンに関連付けられているデフォルトの送信先の設定を変更します。
    [カスタム スキャン設定] ダイアログ ボックスが開きます。
5. **[送信先]** ポップアップ メニューから、デフォルトに設定する送信先を選択します。
6. **[OK]** をクリックします。

画像の保存先の変更

既存の送信先に対して、送信先名、送信先アプリケーション、文書の形式など、一部の設定を変更することができます。

送信先のプロパティを編集するには

1. HP Photosmart Studio タスク バーで、**[デバイス]** をクリックします。
    [HP デバイス マネージャ] ウィンドウが表示されます。
2. **[デバイス]**ポップアップ メニューから HP All-in-One を選択します。
3. **[情報と設定]** ポップアップ メニューから、**[スキャンの環境設定]**を選択します。
    [スキャン先設定] ダイアログ ボックスが開きます。
4. **[表示されているスキャン先]** 領域で、送信先を選択してから、**[編集]** をクリックします。
    [スキャン先の編集] ダイアログ ボックスが開きます。
5. 次のいずれかを実行します。
    - スキャン先の名前を変更します。
    - 一覧から別の送信先を選択します。
    - ポップアップ メニューから別の文書形式を選択します。
6. **[完了]** をクリックします。

解像度または画像の種類の変更

既存の送り先の解像度や画像の種類を変更して、その設定を固定したい場合もあります。

解像度や画像の種類を変更するには

1. HP Photosmart Studio タスク バーで、**[デバイス]** をクリックします。
    [HP デバイス マネージャ] ウィンドウが表示されます。
2. **[デバイス]**ポップアップ メニューから HP All-in-One を選択します。

3. **[情報と設定]** ポップアップ メニューから、**[スキャンの環境設定]**を選択します。
   [スキャン先設定] ダイアログ ボックスが開きます。
4. **[カスタム スキャン設定]** 領域で、次のいずれかを実行します。
   - **[画像のスキャン 設定]** をクリックして、**[画像のスキャン]** ボタンに関連付けられているデフォルトの送信先の設定を変更します。
   - **[ドキュメントのスキャンの設定]** をクリックして、**[ドキュメント スキャン]** ボタンに関連付けられているデフォルトの送信先の設定を変更します。
   - **[フロントパネル スキャン設定]** をクリックして、HP All-in-One のコントロール パネルの **スキャン スタート** ボタンに関連付けられているデフォルトの送信先の設定を変更します。

   [カスタム スキャン設定] ダイアログ ボックスが開きます。
5. 次のいずれかを実行します。
   - ポップアップ メニューから、別の方法を選択します。
   - ポップアップ メニューから、別の画像の種類を選択します。
6. **[OK]** をクリックします。

テキスト編集/OCR モードの変更

OCR ソフトウェアでは、スキャンした文書をプレビューして編集してから、テキストに自動変換して送信先に送信することができます。たとえば、テキストの一部を削除することができます。HP Photosmart Studio で **[テキスト/OCR 送信先]** を編集すると、自動モードのオン/オフを切り替えることができます。

テキスト/OCR 送信先の自動モードをオフにするには

1. **[Dock]** の **[HP デバイス マネージャ]** をクリックします。
   [HP デバイス マネージャ] ウィンドウが表示されます。
2. **[デバイス]**ポップアップ メニューから HP All-in-One を選択します。
3. **[情報と設定]** ポップアップ メニューから、**[スキャンの環境設定]**を選択します。
   [スキャン先設定] ダイアログ ボックスが開きます。
4. **[表示されているスキャン先]** 領域で、送信先を選択してから、**[編集]** をクリックします。
   [スキャン先の編集] ダイアログ ボックスが開きます。
5. **[テキスト編集／OCR アプリケーション]** を選択します。
6. **[編集]** をクリックします。
   [スキャン先の編集] ダイアログ ボックスが開きます。
7. **[自動モード]** の選択を解除します。
8. **[完了]** をクリックします。

画像プレビュー設定の変更

[HP Scan Pro] ウィンドウで何も変更を加えないで、スキャン画像をデフォルトの送信先に自動的に送信するようにスキャン ソフトウェアを設定することができます。

プレビューをスキップするには

1. **[Dock]** の **[HP デバイス マネージャ]** をクリックします。
   [HP デバイス マネージャ] ウィンドウが表示されます。
2. **[デバイス]**ポップアップ メニューから HP All-in-One を選択します。
3. **[情報と設定]** ポップアップ メニューから、**[スキャンの環境設定]**を選択します。
   [スキャン先設定] ダイアログ ボックスが開きます。
4. **[カスタム スキャン設定]** 領域で、次のいずれかを実行します。
   • **[画像のスキャン 設定]** をクリックして、**[画像のスキャン]** ボタンに関連付けられているデフォルトの送信先の設定を変更します。
   • **[ドキュメントのスキャンの設定]** をクリックして、**[ドキュメント スキャン]** ボタンに関連付けられているデフォルトの送信先の設定を変更します。
   • **[コントロール パネル スキャン設定]** をクリックして、HP All-in-One のコントロール パネルの **スキャン スタート** ボタンに関連付けられているデフォルトの送信先の設定を変更します。
   [カスタム スキャン設定] ダイアログ ボックスが開きます。
5. **[スキャンプレビュー画面をスキップ]**を選択します。
6. **[OK]** をクリックします。

9 ファクス機能の使用

HP All-in-One を使用して、カラー ファクスを含むファクスの送受信ができます。よく使用するファクス番号にすばやく簡単にファクスを送信するには、短縮ダイヤル番号を設定できます。コントロール パネルで、解像度や送信するファクスの薄さ/濃さのコントラストなど、さまざまなファクスのオプションも設定できます。

注記 ファクス機能を使用する前に、HP All-in-One のファクス機能を正しく設定しておいてください。初期セットアップで、コントロール パネルまたは HP All-in-One 付属のソフトウェアを使って、既に設定されている場合もあります。

ファクス機能が正しく設定されているかどうかは、コントロール パネルからファクス セットアップ テストを実行して確かめることができます。このテストは、セットアップ メニューからアクセスできます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ファクスの送信
- ファクスの受信
- 迷惑ファクス番号の拒否
- IP 電話を使ったインターネット経由のファクス
- レポートの印刷
- ファクスの中止

ファクスの送信

さまざまな方法でファクスを送信できます。コントロール パネルを使用すれば、HP All-in-One からモノクロまたはカラーでファクスを送信できます。付属の電話機から手動でファクスを送信することもできます。この方法では、ファクスを送信する前に受信者と通話することができます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 基本的なファクスの送信
- 短縮ダイヤルでのファクス送信
- 電話からのファクスの手動送信
- ダイヤル モニタリングを使用したファクス送信
- メモリ内のファクス送信
- 後で送信するためのファクスのスケジュール設定
- 複数の受信者にファクスを送信する
- カラー原稿または写真付きファクスの送信
- コンピュータでのファクス送信

- ファクス解像度と[薄く/濃く]設定の変更
- エラー補正モードでのファクス送信

基本的なファクスの送信

ここで説明するように、1 ページまたは複数ページのモノクロ ファクスをコントロール パネルを使って簡単に送信できます。

注記 ファクスの送信に成功したことを示す確認メッセージを印刷する必要がある場合は、ファクスを送信する**前に**ファクス送受信の確認を有効にします。

ヒント 電話からダイヤルするか、コントロール パネルのダイヤル モニタ機能を使用してファクスを手動で送信することもできます。この機能では、ダイヤルするペースを指定できます。通話料金をコーリング カードで支払いたいときなど、ダイヤル中にトーン音に応答する必要があるときに、この機能は役に立ちます。

コントロール パネルから基本的なファクスを送信するには

1. ドキュメント フィーダ トレイに、印刷面を上にして原稿をセットします。 ファクスを 1 枚のみ送信する場合は、ガラス板に印刷面を下にしてセットし、送信することもできます。

   注記 複数のページをファクスする場合は、送信する原稿をドキュメント フィーダ トレイにセットします。ガラス板から複数ページの原稿をファクス送信することはできません。

2. キーパッドを使ってファクス番号を入力するか、**短縮ダイヤル** またはワンタッチ短縮ダイヤル ボタンを押して短縮ダイヤルを選択するか、**リダイヤル/ポーズ** を押して最後にダイヤルした番号をリダイヤルします。

   ヒント 入力するファクス番号間に一定の間隔を加えるには、**リダイヤル/ポーズ** を押すか、ディスプレイにダッシュ記号 (**[-]**) が表示されるまで、**記号 (*)** ボタンを繰り返し押します。

3. **ファクス スタート - モノクロ** を押します。
   - **装置が自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出すると、** HP All-in-One は入力した番号にドキュメントを送信します。
   - **装置が自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出できないと、[ガラス板からファクス送信?]** メッセージが表示されます。原稿が印刷面を下にしてガラス板にセットされていることを確認し、**1** を押して **[はい]** を選択します。

   ヒント 受信者からの知らせで、送信したファクスの品質に問題があることがわかった場合は、ファクスの解像度やコントラストを変えてみます。

関連トピック

- 電話からのファクスの手動送信
- ダイヤル モニタリングを使用したファクス送信
- ファクス解像度と[薄く/濃く]設定の変更
- ファクス確認レポートの印刷
- カラー原稿または写真付きファクスの送信

短縮ダイヤルでのファクス送信

短縮ダイヤルを使って HP All-in-One またはコンピュータからモノクロやカラーのファクスを簡単に送信できます。コントロール パネルから、**短縮ダイヤル** またはワンタッチ短縮ダイヤル ボタンを押して、登録された短縮ダイヤル番号にアクセスします。ワンタッチ短縮ダイヤル ボタンには、短縮ダイヤルに設定した最初の 5 件が登録されています。

短縮ダイヤル番号は、短縮ダイヤルが設定されるまで表示されません。

コントロール パネルから短縮ダイヤルでファクスを送信するには

1. ドキュメント フィーダ トレイに、印刷面を上にして原稿をセットします。 ファクスを 1 枚のみ送信する場合は、ガラス板に印刷面を下にしてセットし、送信することもできます。

   注記 複数のページをファクスする場合は、送信する原稿をドキュメント フィーダ トレイにセットします。ガラス板から複数ページの原稿をファクス送信することはできません。

2. 次のいずれかの操作を行います。
   - 短縮ダイヤルの最初の 5 つの番号のいずれかに送るには、ワンタッチ短縮ダイヤル ボタンを押します。
   - 目的の短縮ダイヤルが表示されるまで、**短縮ダイヤル** を繰り返し押します。

     ヒント ◀ または ▶ を押して短縮ダイヤル番号をスクロールすることも、コントロール パネルのキーパッドから短縮ダイヤルコードを入力して、番号を直接指定することもできます。

3. **ファクス スタート - モノクロ** または **ファクス スタート - カラー** を押します。
   - **装置が自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出すると、** HP All-in-One は入力した番号にドキュメントを送信します。
   - **装置が自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出できないと、[ガラス板からファクス送信?]** メッセージが表示されます。原稿がガラス板にセットされていることを確認し、**1** を押して **[はい]** を選択します。

HP Photosmart Studio (Mac) ソフトウェアで短縮ダイヤルを使いファクスを送信するには

1. ドキュメント フィーダ トレイに、印刷面を上にして原稿をセットします。 ファクスを 1 枚のみ送信する場合は、ガラス板に印刷面を下にしてセットし、送信することもできます。
2. **[Dock]** の **[HP デバイス マネージャ]** をクリックします。
   [HP デバイス マネージャ] ウィンドウが表示されます。
3. **[タスク]** メニューから、**[ファクス送信]** をダブルクリックします。
   [プリント] ダイアログ ボックスを開きます。
4. **[プリンタ]** ポップアップ メニューから、HP All-in-One (ファクス) を選択します。
5. ポップアップ メニューから、**[ファクス受信者]** を選択します。
6. **[短縮ダイヤルを開く]** をクリックします。
7. リストから短縮ダイヤルを選択し、**[受信者に追加]** をクリックします。
8. **[完了]** をクリックします。
   [受取人リスト] に追加した短縮ダイヤルが表示されます。
9. **[今すぐファクスを送信する]** をクリックします。

関連トピック

短縮ダイヤルの設定

電話からのファクスの手動送信

電話のダイヤル ボタンのほうが HP All-in-One のコントロール パネルのキーパッドよりもダイヤルしやすい場合など、HP All-in-One と同一電話回線上の電話からファクスを送信することができます。このようなファクスの送信方法は、手動でのファクス送信と呼びます。ファクスを手動で送信するときは、発信音、音声ガイダンス、その他の音声が電話の受話器から聞こえます。このため、ファクスの送信にコーリング カードが使用しやすくなります。

受信者側のファクス機の設定状態によって、受信者が電話に出たり、ファクス機が応答する場合があります。受信者が電話に出たら、ファクスを送信する前に会話をすることができます。ファクス機が応答した場合、受信中のファクス機からトーン音が聞こえてから、そのファクス機に直接ファクスを送信できます。

電話から手動でファクスを送信するには

1. ドキュメント フィーダ トレイに、印刷面を上にして原稿をセットします。

   注記　ガラス板に原稿をセットした場合、この機能は使用できません。原稿はドキュメント フィーダ トレイにセットしてください。

2. HP All-in-One に接続された電話のダイヤルキーから、番号をダイヤルします。

   注記　手動でファクスを送信するときは、HP All-in-One のコントロール パネルのキーパッドは使用しないでください。受信者の番号をダイヤルするには、電話機のダイヤルを押します。

3. 受信者が応答した場合、ファクスを送信する前に会話をすることができます。

   注記　ファクス機が応答すると、受信中のファクス機からファクスのトーン音が聞こえます。次の手順に進んで、ファクスを送信します。

4. ファクスを送信する準備ができたら、**ファクス スタート - モノクロ** または **ファクス スタート - カラー** を押します。

   注記　画面の指示に従い、**1** を押して [**ファクス送信**] を選択し、**ファクス スタート - モノクロ** または **ファクス スタート - カラー** をもう一度押します。

   ファクス送信前に受信者と話している場合は、ファクスのトーン音が聞こえたらファクス機のスタートボタンを押すように、前もって受信者に知らせてください。
   ファクスの送信中は、電話回線は無音になります。この時点で、受話器を置くことができます。ファクス受信が完了した後、受信者と続けて話をする場合は、電話を切らないでください。

ダイヤル モニタリングを使用したファクス送信

ダイヤル モニタリングを使用すると、通常電話するように、コントロール パネルから番号をダイヤルすることができます。ファクスをダイヤル モニタリングで送信するときは、発信音、音声ガイダンス、その他の音声が HP All-in-One のスピーカーから聞こえます。これにより、ダイヤル中に音声ガイダンスに応答することも、ダイヤルするペースを指定することもできます。

ヒント　コーリング カードの PIN の入力に時間がかかると、HP All-in-One からファクス トーンの送信が開始されてしまい、コーリング カード サービス会社が PIN を認識できない場合があります。その場合は、短縮ダイヤル番号を使用して、コーリング カードの PIN をあらかじめ登録しておいてください。

注記　音量をオンにしないと、ダイヤル トーンは聞こえません。

コントロール パネルからダイヤルのモニタ機能を使用してファクスを送信するには

1. ドキュメント フィーダ トレイに、印刷面を上にして原稿をセットします。 ファクスを 1 枚のみ送信する場合は、ガラス板に印刷面を下にしてセットし、送信することもできます。

   注記　複数のページをファクスする場合は、送信する原稿をドキュメント フィーダ トレイにセットします。ガラス板から複数ページの原稿をファクス送信することはできません。

2. **ファクス スタート - モノクロ** または **ファクス スタート - カラー** を押します。
   - **装置が自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出すると、**ダイヤル トーンが聞こえます。
   - **装置が自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出できないと、**[**ガラス板からファクス送信?**] メッセージが表示されます。原稿がガラス板にセットされていることを確認し、**1** を押して [**はい**] を選択します。
3. ダイヤル トーンが聞こえたら、コントロール パネルのキーパッドで番号を入力します。
4. 音声ガイダンスがあれば、従ってください。

   ヒント　コーリング カード PIN を短縮ダイヤルに登録し、コーリング カードを使ってファクスを送信する場合は、PIN の入力を求めるメッセージに対して **短縮ダイヤル** またはワンタッチ短縮ダイヤル ボタンを押し、PIN を登録した短縮ダイヤル番号を選択します。

   受信側のファクス機が応答すると、ファクスが送信されます。

関連トピック

- 音量の調整
- 短縮ダイヤルの設定

メモリ内のファクス送信

モノクロ ファクスをメモリに読み込んで、メモリからファクスを送信することができます。この機能は、これから送信しようとしているファクス番号が通話中、または一時的に通話不能な場合に便利です。HP All-in-One は原稿をメモリに読み込み、受信するファクス機に接続が完了した時点で送信を行います。原稿のスキャンが完了したら、すぐに原稿をドキュメント フィーダ トレイから取り除くことができます。

メモリ内のファクスを送信するには

1. ドキュメント フィーダ トレイに、印刷面を上にして原稿をセットします。

   注記 ガラス板に原稿をセットした場合、この機能は使用できません。原稿はドキュメント フィーダ トレイにセットしてください。

2. ファクス 領域で、**メニュー** を押します。
   [**番号を入力**] メッセージが表示されます。
3. キーパッドを使ってファクス番号を入力するか、**短縮ダイヤル** またはワンタッチ短縮ダイヤル ボタンを押して短縮ダイヤルを選択するか、**リダイヤル/ポーズ** を押して最後にダイヤルした番号をリダイヤルします。
4. ファクス 領域で、**メニュー** を繰り返し押して、[**ファクス方法**] を表示します。
5. [**スキャンとファクス**] が表示されるまで ▶ を押し、**OK** を押します。
6. **ファクス スタート - モノクロ** を押します。

   注記 **ファクス スタート - カラー** を押すと、モノクロ ファクスが送信され、ディスプレイにメッセージが表示されます。

   HP All-in-One は原稿をメモリに読み込んで、相手側ファクス機が受信可能なときにファクスを送信します。

後で送信するためのファクスのスケジュール設定

モノクロのファクスを 24 時間以内に送信するようスケジュール設定することができます。これにより、たとえば電話回線の混雑が少なく、電話料金が割安の夜間にモノクロのファクスを送信できます。ファクスの送信をスケジュール設定する場合は、ガラス板ではなく、ドキュメント フィーダ トレイに原稿をセットする必要があります。HP All-in-One が、指定された時刻に自動的にファクスを送信します。

ファクスのスケジュール設定ができる原稿は、一度に 1 件のみです。ファクスのスケジュール設定がされている状態でも、通常のファクスは送信が可能です。

注記 メモリ容量の制限により、カラー ファクスのスケジュール設定は行えません。

コントロール パネルからファクスをスケジュール設定するには

1. ドキュメント フィーダ トレイに、印刷面を上にして原稿をセットします。

   注記 ガラス板ではなく、ドキュメント フィーダ トレイに原稿をセットします。ガラス板に原稿をセットした場合、この機能は使用できません。

2. ファクス 領域で、**メニュー** を繰り返し押して、[**ファクス方法**] を表示します。
3. [**後からファクスを送信**] が表示されるまで ▶ を押し、**OK** を押します。

4. テンキーパッドを使用して送信時刻を入力し、**OK** を押します。画面の指示に従い、[**午前**] の場合は **1**、[**午後**] の場合は **2** を押します。
5. キーパッドを使ってファクス番号を入力するか、**短縮ダイヤル** またはワンタッチ短縮ダイヤル ボタンを押して短縮ダイヤルを選択するか、**リダイヤル/ポーズ** を押して最後にダイヤルした番号をリダイヤルします。
6. **ファクス スタート - モノクロ** を押します。
   HP All-in-One がすべてのページをスキャンし、ディスプレイにスケジュール設定された時刻が表示されます。HP All-in-One はスケジュール設定された時刻にファクスを送信します。

スケジュールされたファクスをキャンセルするには

1. ファクス 領域で、**メニュー** を繰り返し押して、[**ファクス方法**] を表示します。
2. [**後からファクスを送信**] が表示されるまで ▶ を押し、**OK** を押します。
   スケジュールされたファクスがある場合は、ディスプレイに **キャンセル** メッセージが表示されます。
3. **1** を押して [**はい**] を選択します。

> **注記** スケジュール設定された時刻がディスプレイに表示されているときに、コントロール パネルで **キャンセル** を押しても、スケジュール ファクスをキャンセルすることができます。

複数の受信者にファクスを送信する

個別短縮ダイヤル番号をグループ短縮ダイヤル番号にまとめることにより、1 つのファクスを複数の受信者に一度に送信できます。

コントロール パネルから複数の受信者にファクスを一斉送信するには

1. ドキュメント フィーダ トレイに、印刷面を上にして原稿をセットします。 ファクスを 1 枚のみ送信する場合は、ガラス板に印刷面を下にしてセットし、送信することもできます。

   注記 複数のページをファクスする場合は、送信する原稿をドキュメント フィーダ トレイにセットします。ガラス板から複数ページの原稿をファクス送信することはできません。

2. 目的の短縮ダイヤルが表示されるまで、**短縮ダイヤル** を繰り返し押します。

   ヒント ◀ または ▶ を押して短縮ダイヤル番号をスクロールすることも、コントロール パネルのキーパッドから短縮ダイヤルコードを入力して、番号を直接指定することもできます。

3. **ファクス スタート - モノクロ** を押します。
   - **装置が自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出すると、** HP All-in-One はグループ短縮ダイヤルの各番号にドキュメントを送信します。
   - **装置が自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出できないと、**[**ガラス板からファクス送信?**] メッセージが表示されます。原稿がガラス板にセットされていることを確認し、**1** を押して [**はい**] を選択します。

   注記 メモリの量に制限があるため、グループ短縮ダイヤル番号は、モノクロ ファクスの送信にのみ使用できます。HP All-in-One はファクスをメモリにスキャンしてから、最初の番号をダイヤルします。接続したらファクスを送信し、次の番号をダイヤルします。送信先が話し中または応答なしの場合は、[**ビジー リダイヤル**] および [**応答なしリダイヤル**] の設定に従って動作します。接続できない場合は、次の番号がダイヤルされ、エラー レポートが作成されます。

HP Photosmart Studio (Mac) ソフトウェアから複数の受信者にファクスを一斉送信するには

1. ドキュメント フィーダ トレイに、印刷面を上にして原稿をセットします。 ファクスを 1 枚のみ送信する場合は、ガラス板に印刷面を下にしてセットし、送信することもできます。
2. **[Dock]** の **[HP デバイス マネージャ]** をクリックします。
   [HP デバイス マネージャ] ウィンドウが表示されます。
3. **[デバイス]** ポップアップメニューで、HP All-in-One を選択し、**[ファクス送信]** をダブルクリックします。
   [プリント] ダイアログ ボックスを開きます。
4. **[プリンタ]** ポップアップ メニューから、HP All-in-One (ファクス) を選択します。
5. ポップアップ メニューから、**[ファクス受信者]** を選択します。

6. 受信者の情報を入力し、**[受信者に追加]** をクリックします。

> 注記　受信者は、**[電話帳]** や **[アドレス帳]** からでも追加できます。**[アドレス帳]** から受信者を選択するには、**[アドレス帳を開く]** をクリックして、**[ファクス受信者]** に受信者をドラッグ アンド ドロップします。

7. 受信者を選択するごとに **[受信者に追加]** をクリックし、受信者全員を **[受取人リスト]** に追加するまでこれを繰り返します。
8. **[今すぐファクスを送信する]** をクリックします。

関連トピック

- グループ短縮ダイヤルの設定
- ファクス確認レポートの印刷

カラー原稿または写真付きファクスの送信

HP All-in-One から、カラー原稿や写真をファクスすることができます。
HP All-in-One は、受信者のファクス機がモノクロ ファクスにしか対応していないことを検出すると、ファクスをモノクロで送信します。

カラー ファクス送信には、カラー原稿のみを使用することをお勧めします。

コントロール パネルからカラー原稿や写真をファクス送信するには

1. ドキュメント フィーダ トレイに、印刷面を上にして原稿をセットします。 ファクスを 1 枚のみ送信する場合は、ガラス板に印刷面を下にしてセットし、送信することもできます。

> 注記　複数のページをファクスする場合は、送信する原稿をドキュメント フィーダ トレイにセットします。ガラス板から複数ページの原稿をファクス送信することはできません。
>
> ヒント　写真を中央に配置するには、まず A4 かレター サイズの白紙の中央に写真を置いてから、それをガラス板にセットします。

2. ファクス 領域で、**メニュー** を押します。
   [**番号を入力**] メッセージが表示されます。

3. キーパッドを使ってファクス番号を入力するか、**短縮ダイヤル** またはワンタッチ短縮ダイヤル ボタンを押して短縮ダイヤルを選択するか、**リダイヤル/ポーズ** を押して最後にダイヤルした番号をリダイヤルします。
4. **ファクス スタート - カラー** を押します。
   - **装置が自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出すると、** HP All-in-One は入力した番号にドキュメントを送信します。
   - **装置が自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出できないと、[ガラス板からファクス送信?]** メッセージが表示されます。原稿がガラス板にセットされていることを確認し、**1** を押して **[はい]** を選択します。

   注記 受信者のファクス機がモノクロ ファクスにしか対応していない場合、HP All-in-One は自動的にモノクロでファクスを送信します。ファクスの送信後に、ファクスがモノクロで送信されたことを示すメッセージが表示されます。**OK** を押してメッセージを消去します。

コンピュータでのファクス送信

写真などのモノクロまたはカラーの文書を HP All-in-One にセットし、HP All-in-One 付属の HP Photosmart Studio (Mac) ソフトウェアを使って、カバー ページと一緒にファクスとして送信できます。コンピュータからソフトウェア アプリケーションを使用して、ファイルを直接ファクスとして送信することもできます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- HP Photosmart Studio (Mac) ソフトウェアでのファクス送信
- ソフトウェア アプリケーションからファクス送信する
- コンピュータで作成したカバー ページ 1 枚だけをファクス送信する

HP Photosmart Studio (Mac) ソフトウェアでのファクス送信

モノクロまたはカラーの文書を 自動ドキュメント フィーダまたは HP All-in-One のガラス板にセットし、HP Photosmart Studio (Mac) ソフトウェアを使って、カバー ページと一緒にファクスとして送信できます。

HP Photosmart Studio (Mac) ソフトウェアでファクスを送信するには

1. ドキュメント フィーダ トレイに、印刷面を上にして原稿をセットします。 ファクスを 1 枚のみ送信する場合は、ガラス板に印刷面を下にしてセットし、送信することもできます。

   注記 複数のページをファクスする場合は、送信する原稿をドキュメント フィーダ トレイにセットします。ガラス板から複数ページの原稿をファクス送信することはできません。

2. **[Dock]** の **[HP デバイス マネージャ]** をクリックします。
   [HP デバイス マネージャ] ウィンドウが表示されます。

3. **[タスク]** メニューから、**[ファクス送信]** をダブルクリックします。
   [プリント] ダイアログ ボックスを開きます。
4. **[プリンタ]** ポップアップ メニューから、HP All-in-One (ファクス) を選択します。
5. ポップアップ メニューから、**[ファクス受信者]** を選択します。
   [ファクス受信者] ダイアログ ボックスが開きます。
6. **[宛先]** 領域でファクス番号と受信者に関するその他の情報を入力し、**[受信者に追加]** をクリックします。
   受信者が **[受取人リスト]** に追加されます。

   注記　受信者は、**[電話帳]** や **[アドレス帳]** からでも追加できます。**[アドレス帳]** から受信者を選択するには、**[アドレス帳を開く]** をクリックして、**[ファクス受信者]** に受信者をドラッグ アンド ドロップします。

7. カラー ファクスを送信する場合は、**[ファクス機能]** ポップアップ メニューから **[カラー]** を選択します。
8. ドキュメント フィーダ トレイに原稿をセットしている場合は、**[ファクスページから]** ポップアップ メニューから、**[ドキュメント フィーダ]** を選択します。
9. カバー ページを含める場合は、以下を実行します。
   a. ポップアップ メニューから、**[HP ファクス カバーページ]** を選択します。
      [HP ファクス カバーページ] ダイアログ ボックスが開きます。
   b. **[カバー ページをプリント]** 領域で、ドキュメントをファクス送信する前か後にカバー ページを印刷するかどうかを選択します。
   c. **[カバー ページ テンプレート]** ポップアップ メニューから、使用するテンプレートを選択します。
10. **[今すぐファクスを送信する]** をクリックします。

ソフトウェア アプリケーションからファクス送信する

ワード プロセッサやスプレッドシート プログラムなど、コンピュータで使用しているソフトウェア アプリケーションから、ファイルを直接ファクスとして送信できます。

ソフトウェア アプリケーションからファクスを送信するには

1. ネイティブ ソフトウェア アプリケーションでファクス送信するファイルを開きます。
2. ご使用のソフトウェア アプリケーションの **[ファイル]** メニューで **[プリント]** を選択します。
   [プリント] ダイアログ ボックスを開きます。
3. **[プリンタ]** ポップアップ メニューから、HP All-in-One (ファクス) を選択します。

4. **[印刷部数と印刷ページ]** 領域で、次のいずれかの操作を実行します。
   - 文書のすべてのページをファクスするには、**[すべて]** を選択します。
   - 文書の一部だけをファクスする場合は、ページ範囲を指定します。
5. ポップアップ メニューから、**[ファクス受信者]** を選択します。
   [ファクス受信者] ダイアログ ボックスが開きます。
6. **[宛先]** 領域でファクス番号と受信者に関するその他の情報を入力し、**[受信者に追加]** をクリックします。
   受信者が **[受取人リスト]** に追加されます。

   注記　受信者は、**[電話帳]** や **[アドレス帳]** からでも追加できます。**[アドレス帳]** から受信者を選択するには、**[アドレス帳を開く]** をクリックして、**[ファクス受信者]** に受信者をドラッグ アンド ドロップします。

7. カラー ファクスを送信する場合は、**[ファクス モード]** 領域で **[カラー]** を選択します。
8. カバー ページを含める場合は、以下を実行します。
   a. ポップアップ メニューから、**[HP ファックス カバー ページ]** を選択します。
      [HP ファックス カバー ページ] ダイアログ ボックスが開きます。
   b. **[カバー ページ テンプレート]** ポップアップ メニューから、使用するテンプレートを選択します。
      テンプレートのプレビューが **[カバー ページ]** ダイアログ ボックスの **[プレビュー]** に表示されます。
   c. 各ボックスに必要な情報を入力します。
9. **[今すぐファクスを送信する]** をクリックします。

コンピュータで作成したカバー ページ 1 枚だけをファクス送信する

HP Photosmart Studio (Mac) ソフトウェアを使用して、カバー ページだけのファクスを作成できます。

コンピュータで作成したカバー ページ 1 枚だけをファクスで送るには

1. **[Dock]** の **[HP デバイス マネージャ]** をクリックします。
   [HP デバイス マネージャ] ウィンドウが表示されます。
2. **[タスク]** メニューで、**[ファクス送信]** をダブルクリックします。
   [プリント] ダイアログ ボックスを開きます。
3. **[プリンタ]** ポップアップ メニューから、HP All-in-One (ファクス) を選択します。
4. ポップアップ メニューから、**[ファクス受信者]** を選択します。
   [ファクス受信者] ダイアログ ボックスが開きます。

5. **[宛先]** 領域でファクス番号と受信者に関するその他の情報を入力し、**[受信者に追加]** をクリックします。
   受信者が **[受取人リスト]** に追加されます。

   注記　受信者は、**[電話帳]** や **[アドレス帳]** からでも追加できます。**[アドレス帳]** から受信者を選択するには、**[アドレス帳を開く]** をクリックして、**[ファクス受信者]** に受信者をドラッグ アンド ドロップします。

6. ポップアップ メニューから、**[カバー ページ]** を選択します。
   [カバー ページ] ダイアログ ボックスが開きます。
7. **[カバー ページ テンプレート]** ポップアップ メニューから、使用するテンプレートを選択します。
   テンプレートのプレビューが **[カバー ページ]** ダイアログ ボックスの **[プレビュー]** に表示されます。
8. 各ボックスに必要な情報を入力します。
9. **[今すぐファクスを送信する]** をクリックします。

ファクス解像度と[薄く/濃く]設定の変更

ファクスするドキュメントに応じて、[**解像度**] と [**薄く/濃く**] の設定を変更できます。

注記　これらのファクス設定は、コピー設定には影響しません。コピーの解像度と濃淡は、ファクスの解像度と濃淡とは別に設定されます。またコントロール パネルでの変更は、コンピュータから送信するファクスには影響しません。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ファクス解像度の変更
- [薄く/濃く] 設定の変更
- 新しいデフォルトの設定

ファクス解像度の変更

[**解像度**] の変更は、ファクス送信されるモノクロ文書の送信速度と印字品質に影響します。受信側のファクス機が HP All-in-One で選択した解像度をサポートしていない場合は、受信側のファクス機でサポートする最高の解像度でファクスが送信されます。

注記　ファクスの解像度は、モノクロ送信に限って変更できます。カラー ファクスはすべて [**高画質**] の解像度で送信されます。

ファクス送信には、次の解像度設定を選択できます。**[高画質]**、**[超高画質]**、**[写真]**、および **[標準]**

- **[高画質]**: ほとんどの文書に適した高品質な文字でファクス送信できます。これがデフォルト設定です。HP All-in-One は、ファクスをカラー送信するときは常に **[高画質]** 設定を使用します。
- **[超高画質]**: 極めて精密な画像の文書をファクス送信する場合に、最高の品質が得られます。**[超高画質]** を選択するとファクスの送信に通常より時間がかかります。また、モノクロでのみ送信可能です。カラー ファクスを送信すると、代わりに **[高画質]** 解像度で送信されます。
- **[写真]**: 写真をモノクロで送信する場合に、最も高品質なファクス送信が可能です。**[写真]** を選択すると、ファクス送信に通常よりも時間がかかります。写真をモノクロで送信するときには、**[写真]** を選択することをお勧めします。
- **[標準]**: ファクス品質は下がりますが、最も速くファクスを送信することができます。

このオプションは、デフォルトとして変更した場合を除いて、ファクス メニューを終了するとデフォルトの設定に戻ります。

コントロール パネルから解像度を変更するには

1. ドキュメント フィーダ トレイに、印刷面を上にして原稿をセットします。 ファクスを 1 枚のみ送信する場合は、ガラス板に印刷面を下にしてセットし、送信することもできます。

   注記 複数のページをファクスする場合は、送信する原稿をドキュメント フィーダ トレイにセットします。ガラス板から複数ページの原稿をファクス送信することはできません。

2. ファクス 領域で、**メニュー** を押します。
   [番号を入力] メッセージが表示されます。
3. キーパッドを使ってファクス番号を入力するか、**短縮ダイヤル** またはワンタッチ短縮ダイヤル ボタンを押して短縮ダイヤルを選択するか、**リダイヤル/ポーズ** を押して最後にダイヤルした番号をリダイヤルします。
4. ファクス 領域で、**メニュー** を繰り返し押して、**[解像度]** を表示します。
5. ▶ を押して、解像度設定を選択し、**OK** を押します。
6. **ファクス スタート - モノクロ** を押します。
   - **装置が自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出すると、** HP All-in-One は入力した番号にドキュメントを送信します。
   - **装置が自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出できないと、[ガラス板からファクス送信?]** メッセージが表示されます。原稿がガラス板にセットされていることを確認し、**1** を押して **[はい]** を選択します。

関連トピック

新しいデフォルトの設定

[薄く/濃く] 設定の変更

ファクスのコントラストの強弱を変更することができます。かすれた文書や色あせた文書、手書きの文書などをファクスするときに役に立ちます。原稿を濃くするには、コントラストを調整します。

注記 [薄く/濃く] 設定はモノクロ ファクスにのみ適用され、カラー ファクスには適用されません。

このオプションは、デフォルトとして変更した場合を除いて、ファクス メニューを終了するとデフォルトの設定に戻ります。

コントロール パネルから [薄く/濃く] 設定を変更するには

1. ドキュメント フィーダ トレイに、印刷面を上にして原稿をセットします。 ファクスを 1 枚のみ送信する場合は、ガラス板に印刷面を下にしてセットし、送信することもできます。

   注記 複数のページをファクスする場合は、送信する原稿をドキュメント フィーダ トレイにセットします。ガラス板から複数ページの原稿をファクス送信することはできません。

2. ファクス 領域で、**メニュー** を押します。
   [**番号を入力**] が表示されます。
3. キーパッドを使ってファクス番号を入力するか、**短縮ダイヤル** またはワンタッチ短縮ダイヤル ボタンを押して短縮ダイヤルを選択するか、**リダイヤル/ポーズ** を押して最後にダイヤルした番号をリダイヤルします。
4. ファクス 領域で、**メニュー** を繰り返し押して、[**薄く/濃く**] を表示します。
5. ファクスを薄くするには ◀ を、濃くするには ▶ を押して、**OK** を押します。
   押した矢印ボタンに応じて、インジケータが左右に動きます。
6. **ファクス スタート - モノクロ** を押します。
   - **装置が自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出すると、** HP All-in-One は入力した番号にドキュメントを送信します。
   - **装置が自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出できないと、**[**ガラス板からファクス送信?**] メッセージが表示されます。原稿がガラス板にセットされていることを確認し、**1** を押して [**はい**] を選択します。

関連トピック

新しいデフォルトの設定

新しいデフォルトの設定

コントロール パネルから、[**解像度**] と [**薄く/濃く**] 設定のデフォルト値を変更することができます。

コントロール パネルから新しいデフォルト設定を行うには

1. [**解像度**] と [**薄く/濃く**] 設定に必要な変更を加えます。
2. ファクス 領域で、**メニュー** を繰り返し押して、[**新しいデフォルトの設定**] を表示します。
3. [**はい**] が表示されるまで ▶ を押し、**OK** を押します。

エラー補正モードでのファクス送信

[**エラー補正モード**] (ECM) では電話回線の問題によるデータ破損に対処するために、データ伝送中に発生したエラーを検出してエラー部分を再伝送するよう自動的に要求します。良好な状態の電話回線においては電話料金に影響が及ぶことはなく、場合によってはむしろ安くなることもあります。電話回線の状態が悪い場合、ECM にすることで送信時間と電話料金は増えますが、送信するデータの信頼性が高くなります。デフォルトの設定は [**オン**] です。電話料金を安くするためにファクスの品質を問わないという場合にのみ、ECM をオフにしてください。

ECM 設定をオフにする前に、以下を検討してください。ECM をオフにした場合

- 送受信するファクスの品質と送信速度に影響があります。
- [**ファクス速度**] が自動的に [**標準**] に設定されます。
- カラーでのファクスの送受信ができなくなります。

コントロール パネルから ECM 設定を変更するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **5** を押し、次に **6** を押します。
   これで、[**ファクスの詳細設定**] と [**エラー補正モード**] が続けて選択されます。
3. ▶ を押して [**オン**] または [**オフ**] を選択します。
4. **OK** を押します。

ファクスの受信

HP All-in-One は、自動でも、手動でもファクスを受信できます。**自動応答** オプションをオフにした場合は、手動でファクスを受信する必要があります。**自動応答** オプションをオンにすると (デフォルトの設定)、HP All-in-One は [**応答呼出し回数**] 設定で指定されている呼び出し回数の後、自動的に着信に応答し、ファクスを受信します (デフォルトの [**応答呼出し回数**] 設定は 5 回です)。

次のように設定した電話で、ファクスを手動受信することができます。

- HP All-in-One の 2-EXT ポートに直接接続された電話
- 同じ電話回線上にあるが、HP All-in-One に直接接続されていない電話

HP All-in-One でリーガル サイズの用紙がセットされていないときに、リーガル サイズのファクスを受信すると、HP All-in-One にセットされている用紙に収まるようにファクスのサイズが自動で縮小されます。[**自動縮小**] 機能を無効

に設定していると、HP All-in-One はファクスを複数のページに分けて印刷する場合があります。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ファクスの手動受信
- バックアップ ファクス受信のセットアップ
- 受信済みファクスのメモリからの再印刷
- ポーリングしてファクスを受信
- 別の番号へのファクスの転送
- ファクス受信用の用紙サイズの設定
- 受信したファクスを自動縮小に設定

注記　写真を印刷できるようフォト プリント カートリッジをセットしている場合、ファクスを受信するときはモノクロ プリント カートリッジに交換するとよいでしょう。

ファクスの手動受信

電話中に接続を維持しながら、通話先の相手からファクスを送ってもらうことができます。これをファクスの手動受信と呼びます。このセクションでは、ファクスを手動受信する方法について説明します。

次のように設定した電話で、ファクスを手動受信することができます。

- HP All-in-One の 2-EXT ポートに直接接続された電話
- 同じ電話回線上にあるが、HP All-in-One に直接接続されていない電話

ファクスを手動で受信するには

1. HP All-in-One の電源がオンになっていて、用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. ドキュメント フィーダ トレイから原稿を取り除きます。
3. HP All-in-One が応答する前に、ユーザーが着信に応答できるように、[**応答呼出し回数**] を多めに設定します。 または、**自動応答** の設定をオフにし、HP All-in-One が自動的に受信ファクスに応答しないようにします。
4. 送信者と電話がつながっている場合は、相手のファクス機で [スタート] を押すように指示します。
5. 送信中のファクス機からファクス トーンが聞こえたら、次の操作を行います。
   a. HP All-in-One のコントロール パネルにある **ファクス スタート - モノクロ** または **ファクス スタート - カラー** を押します。
   b. 画面の指示に従って、**2** を押し、[**ファクス受信**] を選択します。
   c. HP All-in-One のファクス受信が始まったら、受話器を置くことも、通話を続けることもできます。 ファクスの転送中、電話回線は無音になります。

関連トピック

- 応答までの呼び出し回数を設定
- 応答モードの設定

バックアップ ファクス受信のセットアップ

好みとセキュリティ要件に応じて、HP All-in-One が受信したファクスをすべて保存するか、エラー状態の間に受信したファクスのみを保存するか、どのファクスも保存しないかを設定することができます。

以下の [**バックアップ ファクス受信**] モードがあります。

[**オン**]	デフォルトの設定です。 [**バックアップ ファクス受信**] が [**オン**] の場合、HP All-in-One は受信したファクスをすべてメモリに保存します。 こうしておけば、メモリに保存されている最近印刷したファクスを最大 8 件まで再印刷することができます。 **注記**　メモリが少なくなると、HP All-in-One は新たにファクスを受信するたびに、印刷済みのファクスを古い順に消去します。メモリが印刷されていないファクスでいっぱいになると、HP All-in-One は着信ファクスに応答しなくなります。 **注記**　きめの細かいカラー写真など、サイズの大きなファクスを受信した場合は、メモリ容量の制限により、メモリに保存されないことがあります。
[**エラーの場合のみ**]	HP All-in-One は、エラーによってファクスの印刷ができない場合 (用紙切れなど) にのみ、ファクスをメモリに保存します。 HP All-in-One はメモリの容量が許す限り、受信したファクスを保存し続けます (メモリがいっぱいになると、HP All-in-One は着信ファクスに応答しなくなります)。 エラー状態が解消すると、メモリに保存されたファクスは自動的に印刷され、メモリから消去されます。
[**オフ**]	ファクスはメモリにまったく保存されません (セキュリティ保護のために [**バックアップ ファクス受信**] をオフにした場合など)。 印刷できないエラー状態 (用紙切れなど) が発生すると、HP All-in-One は着信ファクスに応答しなくなります。

注記　[**バックアップ ファクス受信**] がオンの状態で HP All-in-One の電源をオフにすると、HP All-in-One のエラー発生中に受信した印刷待ちのファクスも含めて、メモリに保存されたファクスはすべて消去されます。このような場合、印刷していないファクスをもう一度送ってもらうように送信者に依頼してください。受信したファクス一覧を見るには、[**ファクス ログ**] を印刷します。HP All-in-One の電源がオフになっても[**ファクス ログ**]は削除されません。

コントロール パネルから、バックアップ ファクス受信を設定するには

1. セットアップ を押します。
2. **5** を押し、もう一度 **5** を押します。
   これで、[**ファクスの詳細設定**] と [**バックアップ ファクス受信**] が続けて選択されます。

3. ▶ を押して [**オン**]、[**エラーの場合のみ**]、または [**オフ**] を選択します。
4. **OK** を押します。

関連トピック

受信済みファクスのメモリからの再印刷

受信済みファクスのメモリからの再印刷

[**バックアップ ファクス受信**] モードを [**オン**] に設定すると、HP All-in-One は、デバイスにエラーがあるかないかに関係なく、受信したファクスをメモリに保存します。

注記　メモリがいっぱいになると、HP All-in-One は新たにファクスを受信するたびに、印刷済みのファクスを古い順に消去します。保存されたファクスがどれも印刷されていない場合、HP All-in-One は、ファクスを印刷するかメモリから削除するまで、新たなファクス受信に応答しません。セキュリティまたはプライバシー保護のために、メモリ内のファクスを削除することもできます。詳細については、ファクス ログの印刷を参照してください。

受信したファクスは、メモリ内に保存されている限り、いつでも再印刷することができます。たとえば、最後に受信したプリントアウトをなくしても、ファクスを再印刷できます。

コントロール パネルから、メモリに保存されているファクスを再印刷するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. **セットアップ** を押します。
3. **6** を押し、次に **5** を押します。
   これで、[**ツール**] と [**メモリ内のファクスを再印刷**] が続けて選択されます。
4. **[1 件のファクスを印刷]** または **[すべてのファクスを印刷]** をハイライトし、**OK** を押します。
   - **[1 件のファクスを印刷]** を選択した場合、印刷するファクスをハイライトし、**OK** を押します。
   - **[すべてのファクスを印刷]** を選択した場合、受信したときとは逆の順序で、直前に受信したファクスが最初に印刷されます。
5. メモリ内のファクスの印刷を中止する場合は、**キャンセル** を押します。

コントロール パネルから、メモリに保存されたすべてのファクスを削除するには

▲ 電源 ボタンを押して HP All-in-One の電源をオフにします。
HP All-in-One の電源をオフにすると、メモリに保存されているファクスはすべて削除されます。

注記　メモリに保存されているファクスを削除するには、[**ツール**] メニューから [**ファクス ログの消去**] を選択します。これを行うには、**セットアップ** を押し、**6** を押して、次に **7** を押します。

関連トピック

バックアップ ファクス受信のセットアップ

ポーリングしてファクスを受信

ポーリングは、現在 HP All-in-One のキューに入っているファクスの送信を、他のファクス機に要求する機能です。[**ポーリング受信**] 機能を使用すると、HP All-in-One は指定された他のファクス機を呼び出し、ファクスの送信を要求することができます。指定されたファクス機はポーリングの設定がされ、ファクスを送信できる状態である必要があります。

注記 HP All-in-One は、ポーリング パス コードをサポートしていません。ポ ーリング パス コードは、受信側のファクス機に対し、ファクスを受信するために、ポーリングしているデバイスに パス コードを送信するよう要求するセキュリティ機能です。ポーリングしているデバイスでパス コードが設定されていないこと (またはデ フォルト パス コードが変更されていること) を確認してください。パス コードが設定されている場合、HP All-in-One はファクスを受信できません。

コントロール パネルから、ファクスのポーリング受信を設定するには

1. ファクス 領域で、**メニュー** を繰り返し押して、[**ファクス方法**] を表示します。
2. [**ポーリング受信**] が表示されるまで ▶ を押し、**OK** を押します。
3. 他のファクス機のファクス番号を入力します。
4. **ファクス スタート - モノクロ** または **ファクス スタート - カラー** を押します。

   注記 **ファクス スタート - カラー** を押しても、送信者がモノクロでファクスを送信した場合は、HP All-in-One でもモノクロで印刷されます。

別の番号へのファクスの転送

受信したファクスを他のファクス番号に転送するように HP All-in-One を設定することができます。カラー ファクスを受信した場合は、モノクロで転送されます。

転送の前に、転送先のファクス番号を確認することをお勧めします。テストでファクスを送信し、転送先のファクス機がファクスを受信できるか確認してください。

コントロール パネルからファクスを転送するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **5** を押し、次に **8** を押します。
   これで、[**ファクスの詳細設定**] と [**モノクロでファクスを転送**] が続けて選択されます。

3. [**オン - 転送**] または [**オン - 印刷と転送**] が表示されるまで ▶ を押し、**OK** を押します。
    - ファクスのバックアップ コピーを HP All-in-One で印刷せずに、別の番号に転送する場合は [**オン - 転送**] を選択します。

      注記 指定されたファクス機に (電源が入っていない場合など) ファクスを転送できない場合は、HP All-in-One でファクスを印刷します。HP All-in-One が受信ファクスのエラー レポートも印刷するように設定されている場合は、エラー レポートも印刷されます。

    - ファクスのバックアップ コピーを HP All-in-One で印刷し、別の番号に転送もする場合は [**オン - 印刷と転送**] を選択します。
4. 指示画面で、転送先ファクス機の番号を入力します。
5. 指示画面で、開始日時と終了日時を入力します。
6. **OK** を押します。
   [**ファクスの転送**] がディスプレイに表示されます。
   [**ファクスの転送**] の設定中に HP All-in-One の電源が切れても、HP All-in-One は[**ファクスの転送**] 設定と電話番号を保存しています。再び装置の電源が入ると、[**ファクスの転送**] 設定は [**オン**] になっています。

   注記 ファクスの転送をキャンセルするには、ディスプレイに [**ファクスの転送**] メッセージが表示されているときに、コントロール パネルの **キャンセル** を押すか、[**モノクロでファクスを転送**] メニューから [**オフ**] を選択します。

HP Photosmart Studio (Mac) ソフトウェアからファクスを転送するには

1. **[Dock]** の **[HP デバイス マネージャ]** をクリックします。
   [HP デバイス マネージャ] ウィンドウが表示されます。
2. **[情報と設定]** ポップアップ メニューで、**[ファクス設定]**を選択します。
   [デバイス設定] ダイアログ ボックスが開きます。
3. ポップアップ メニューから、**[ファクス転送]** を選択します。
   [ファクス転送] ダイアログ ボックスが表示されます。
4. **[ファクスの転送]** を選択します。
5. **[ファクス番号の転送]** ボックスに転送先の番号を入力します。
6. 完了したら、**[適用]** または **[OK]** をクリックします。

ファクス受信用の用紙サイズの設定

受信ファクスの用紙サイズを選択できます。用紙サイズは、給紙トレイにセットした用紙に合わせて設定します。ファクスはレター用紙、A4 用紙、またはリーガル用紙にのみ印刷できます。

注記　ファクスを受信したときに不適当な用紙サイズが給紙トレイにセットされていると、ファクスを印刷しないで、ディスプレイにエラー メッセージが表示されます。ファクスを印刷するには、レター用紙、A4 用紙、リーガル用紙のいずれかをセットして、**OK** を押します。

コントロール パネルから、ファクス受信用の用紙サイズを設定するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **4** を押し、次に **4** を押します。
   これで、[**ファクスの基本設定**] と [**ファクス用紙サイズ**] が続けて選択されます。
3. ▶ を押してオプションを選択し、**OK** を押します。

受信したファクスを自動縮小に設定

[**自動縮小**] 設定は、受信したファクスがデフォルトの用紙サイズよりも大きい場合に HP All-in-One がどう対応するかの設定です。デフォルトの設定はオンで、受信したファクスの画像が 1 ページに収まるように縮小されます。この設定がオフの場合、1 ページに収まらなかった情報は次のページに印刷されます。[**自動縮小**] は、給紙トレイにレターサイズの用紙が入っているときに、リーガル サイズのファクスを受信したような場合に有効です。

コントロール パネルから自動縮小を設定するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **5** を押し、次に **4** を押します。
   これで、[**ファクスの詳細設定**] と [**自動縮小**] が続けて選択されます。
3. ▶ を押して [**オフ**] または [**オン**] を選択します。
4. **OK** を押します。

迷惑ファクス番号の拒否

電話プロバイダの発信者 ID サービスに加入すると、特定のファクス番号を拒否して、HP All-in-One が今後それらの番号から受信したファクスを印刷しないようにすることができます。ファクスの受信があったとき、HP All-in-One は、その番号を設定した迷惑ファクス番号リストと比較して、その受信を拒否すべきどうか判定します。番号が、拒否ファクス番号リストの番号と一致した場合、ファクスは印刷されません(拒否できるファクス番号の最大数は、モデルによって異なります)。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 迷惑ファクス モードの設定
- 迷惑ファクス一覧に番号を追加
- 迷惑ファクス一覧から番号を削除

注記 この機能は、一部の国/地域ではサポートされていません。お住まいの国/地域でサポートされていない場合、[**ファクスの基本設定**] メニューに [**迷惑ファクスを拒否の設定**] は表示されません。

迷惑ファクス モードの設定

デフォルトの [**迷惑ファクスを拒否**] モード設定は [**オン**] です。電話プロバイダの発信者 ID サービスに加入していない、またはこの機能を使用したくない場合は、設定をオフにすることができます。

迷惑ファクス モードを設定するには

1. **セットアップ** を押します。
2. Press **4**, and then press **7**.
   これで、[**ファクスの基本設定**] と [**迷惑ファクスを拒否の設定**] が続けて選択されます。
3. **4** を押して [**迷惑ファクスを拒否**] を選択します。
4. ▶ を選択して [**オン**] または [**オフ**] を選択し、**OK** を押します。

迷惑ファクス一覧に番号を追加

迷惑ファクス一覧に番号を追加するには 2 通りの方法があります。発信者 ID 履歴から番号を選択するか、または任意の番号を入力します。迷惑ファクス一覧にある番号は、[**迷惑ファクスを拒否**] モードが [**オン**] にセットされている場合に拒否されます。

発信者 ID 一覧から番号を選択するには

1. **セットアップ** を押します。
2. Press **4** and then press **7**.
   これで、[**ファクスの基本設定**] と [**迷惑ファクスを拒否の設定**] が続けて選択されます。
3. **1** を押し、次に **1** を押します。
   これで、[**迷惑リストに番号を追加**] と [**番号を選択**] が続けて選択されます。
4. ▶ を押して、受信したファクス番号をスクロールします。拒否するファクス番号が表示されたら、**OK** を押して選択します。
5. [**次を選択?**] の指示に従って、次のいずれかを行います。
   - **迷惑ファクス番号リストに別の番号を追加する場合**は、**1** を押して [**はい**] を選択し、拒否する番号ごとにステップ 4 を繰り返します。
   - **終了する場合**は、**2** を押して [**いいえ**] を選択します。

拒否する番号を手動で入力するには

1. **セットアップ** を押します。
2. Press **4**, and then press **7**.
   これで、[**ファクスの基本設定**] と [**迷惑ファクスを拒否の設定**] が続けて選択されます。

3. **1** を押し、次に **2** を押します。
これで、[**迷惑リストに番号を追加**] と [**番号を入力**] が続けて選択されます。
4. キーパッドを使ってファクス番号を入力し、**OK** を押します。
受信したファクスのヘッダーに表示されている番号は実際と異なる場合があるので、ヘッダーの番号ではなく、ディスプレイに表示されるファクス番号を入力してください。
5. [**追加しますか？**] の指示に従って、次のいずれかを行います。
   - **迷惑ファクス番号リストに別の番号を追加する場合**は、**1** を押して [**はい**] を選択し、拒否する番号ごとにステップ 4 を繰り返します。
   - **終了する場合**は、**2** を押して [**いいえ**] を選択します。

迷惑ファクス一覧から番号を削除

ファクス番号を拒否する必要がなくなった場合は、その番号を迷惑ファクス一覧から削除することができます。

迷惑ファクス番号リストから番号を削除するには

1. **セットアップ** を押します。
2. Press **4**, and then press **7**.
これで、[**ファクスの基本設定**] と [**迷惑ファクスを拒否の設定**] が続けて選択されます。
3. **2** を押します。
[**迷惑リストから番号を削除**] が選択されます。
4. ▶ を押して、拒否したファクス番号をスクロールします。削除するファクス番号が表示されたら、**OK** を押して選択します。
5. [**削除しますか？**] の指示に従って、次のいずれかを行います。
   - **迷惑ファクス番号リストから別の番号を削除する場合**は、**1** を押して [**はい**] を選択し、削除する番号ごとにステップ 4 を繰り返します。
   - **終了する場合**は、**2** を押して [**いいえ**] を選択します。

IP 電話を使ったインターネット経由のファクス

HP All-in-One を使用して、インターネット経由でファクスを送受信できる低コスト電話サービスを利用できる場合があります。 この方法は、FoIP(Fax over Internet Protocol) と呼ばれます。 次のような場合は、(電話会社が提供する) FoIP サービスを使用しているはずです。

- ファクス番号と一緒に特別のアクセス コードをダイヤルしている
- インターネットに接続する IP コンバータ ボックスがあり、ファクス接続用のアナログ電話ポートがある

注記 ファクスの送受信は、電話コードを HP All-in-One 背面の 1-LINE ポートに接続しているときしか行えません。つまり、インターネット接続は、コンバータ ボックス (ファクス接続用に通常のアナログ電話ジャックを装備) または電話会社経由で行う必要があるということです。

FoIP サービスは、HP All-in-One が高速 (33600bps) でファクスを送受信していると正常に動作しない場合があります。 ファクスの送受信に問題がある場合は､ファクス速度を遅くしてください。 これを行うには、[**ファクス速度**] の設定を [**はやい**] (デフォルト) または [**標準**] に変更します。

また、インターネット電話サービスがファクスをサポートしているか電話会社に確認してください。 インターネット電話サービスがファクスをサポートしていない場合は、インターネット経由でのファクスの送受信が不安定になることがあります。

関連トピック

ファクス速度の設定

レポートの印刷

ファクスの送受信のたびに、エラー レポートと確認のレポートを自動印刷するように、HP All-in-One を設定できます。システム レポートを必要なときだけ手動で印刷することもできます。これらのレポートには、HP All-in-One に関する重要なシステム情報が記載されています。

デフォルトの設定では、ファクスの送受信に問題があった場合にのみ、HP All-in-One でレポートが印刷されます。送受信するたびに、ファクスの送受信に成功したかどうかを示す簡単な確認メッセージがディスプレイに表示されます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ファクス確認レポートの印刷
- ファクス エラー レポートの印刷
- ファクス ログの印刷
- その他のレポートの印刷

ファクス確認レポートの印刷

ファクスの送信に成功したことを示す確認メッセージを印刷する必要がある場合は、以下の手順に従って、ファクスを送信する**前に**、ファクス送受信の確認を有効にします。[**送信**] または [**送受信**] を選択します。

デフォルトのファクス確認設定は、[**オフ**] です。この設定では、ファクスの送受信ごとに確認レポートは印刷されずに、送受信するたびに、ファクスの送受信に成功したかどうかを示す簡単な確認メッセージがディスプレイに表示されます。

コントロール パネルからファクス送受信の確認を有効にするには

1. **セットアップ** を押します。
2. **2** を押し、次に **3** を押します。
   これで、**[レポートの印刷]** と **[ファクスの確認]** が続けて選択されます。
3. ▶ を押して次のいずれかの設定を選択し、**OK** を押します。

[オフ]	ファクスの送受信に問題がない時は、ファクス確認レポートを印刷しません。これがデフォルト設定です。
[送信]	ファクスの送信ごとにファクス確認レポートを印刷します。
[受信]	ファクスの受信ごとにファクス確認レポートを印刷します。
[送受信]	ファクスの送受信ごとにファクス確認レポートを印刷します。

ヒント **[送信]** または **[送受信]** を選択して、メモリから送信するファクスをスキャンする場合は、ファクスの最初のページの画像を**[ファクス送信の確認]** レポートに含めることができます。**セットアップ** を押し、**2** を押して、次にもう一度 **2** を押します。**[ファクス送信レポートの画像]** メニューから **[オン]** を選択します。

ファクス エラー レポートの印刷

送受信中にエラーが起きたときにレポートを自動印刷するように HP All-in-One を設定できます。

ファクス エラー レポートを自動的に印刷するように HP All-in-One を設定するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **2** を押し、次に **3** を押します。
   これで、**[レポートの印刷]** と **[ファクス エラー レポート]** が続けて選択されます。
3. ▶ を押して次のいずれかの設定を選択し、**OK** を押します。

[送受信]	各種ファクス エラーが発生するたびにレポートが印刷されます。これがデフォルト設定です。
[オフ]	ファクス エラー レポートは印刷されません。
[送信]	送信エラーが発生するたびにレポートが印刷されます。
[受信]	受信エラーが発生するたびにレポートが印刷されます。

ファクス ログの印刷

ファクス ログにより、最近の約 30 件のファクス送受信のログを印刷できます。ファクス送受信でエラーが発生した場合は、ファクス ログにエラー コードとして示されます。

必要に応じ (たとえば、セキュリティ保護のため)、メモリからログ全体を簡単にクリアできます。これにより保存されていたファクスもメモリから削除されます。

ファクス ログに表示される可能性のあるエラー コードの詳細については、ファクスのトラブルシューティング を参照してください。

コントロール パネルからファクス ログを印刷するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **2** を押し、次に **6** を押します。
   これで、[**レポートの印刷**] が選択され、ファクス ログが印刷されます。

メモリからファクス ログを消去するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **6** を押し、次に **7** を押します。
   これで、[**ツール**] メニューと [**ファクス ログの消去**] が続けて選択されます。
   ファクス ログとメモリに保存されていたファクスが削除されます。

HP Photosmart Studio (Mac) ソフトウェアからファクス ログを印刷あるいは保存するには

1. **[Dock]** の **[HP デバイス マネージャ]** をクリックします。
   [HP デバイス マネージャ] ウィンドウが表示されます。
2. **[情報と設定]** ドロップダウン メニューで、**[ファクス設定]**を選択します。
3. ポップアップ メニューから、**[ファクス ログ]** を選択します。
4. ポップアップ メニューから、**[受信完了]** または **[送信完了]** を選択します。
   ログは、列の見出しをクリックして並べ替えることができます。
5. ファクス ログ一覧を印刷または保存するには、ログ上の **[プリント]** または **[保存]** ボタンをクリックします。

その他のレポートの印刷

以前に送信したファクスの状態、短縮ダイヤル一覧、自己診断テストなどの HP All-in-One についてのレポートを手動で生成することができます。

コントロール パネルからレポートを印刷するには

1. **セットアップ** を押し、次に **2** を押します。
   [**レポートの印刷**] が選択されます。
2. ▶ を押して次のいずれかの設定を選択し、**OK** を押します。

[**ファクスの確認**]	ファクス確認レポートが自動的に印刷されます。 ヒント [**送信**] または [**送受信**] を選択して、メモリから送信するファクスをスキャンする場合は、ファクスの最初のページの画像を[**ファクス送信の確認**] レポートに含めることができます。**セットアップ** を押し、**2** を押して、次にもう一度 **2** を押します。[**ファクス送信レポートの画像**] メニューから [**オン**] を選択します。
[**ファクス エラー レポート**]	ファクス エラー レポートが自動的に印刷されます。

[セルフテスト レポート]	印刷や調整に関する問題の診断に役立つレポートを印刷します。このレポートには、HP サポートに問い合わせる場合に必要な情報も含まれています。
[最終の処理]	最後のファクス処理についての詳細が印刷されます。
[ファクス ログ]	最近の約 30 件のファクス送受信の一覧が印刷されます。
[短縮ダイヤルリスト]	プログラムされている短縮ダイヤルの番号リストが印刷されます。このレポートは、**[短縮ダイヤルの設定]** メニューから **[短縮ダイヤルリストを印刷]** を選択して印刷することもできます。これを行うには、**セットアップ** を押し、**2** を押して、次に **4** を押します。
[発信者 ID レポート]	電話プロバイダの発信者 ID サービスに加入すると、このレポートには最近の約 30 件のファクス受信番号一覧が印刷されます。レポートには電話番号、日付、時刻が示されているほか、電話プロバイダが発信者 ID 情報の送信に使用する形式によっては、送信者の名前も含まれます。 注記　この機能は、一部の国/地域ではサポートされていません。お住まいの国/地域でサポートされていない場合、**[レポートの印刷]** メニューに **[発信者 ID レポート]** は表示されません。

関連トピック

- ファクス確認レポートの印刷
- ファクス エラー レポートの印刷
- ファクス ログの印刷
- セルフテスト レポートの印刷

ファクスの中止

送受信中のファクスはいつでもキャンセルすることができます。

コントロール パネルからファクスの送受信を中止するには

▲ 送受信しているファクスを中止するには、コントロール パネルで **キャンセル** を押します。ファクスの送受信が停止しない場合は、**キャンセル** をもう一度押します。
HP All-in-One は、既に印刷を開始したページをすべて印刷してから、残りのファクスをキャンセルします。しばらく時間がかかる場合があります。

番号のダイヤルを中止するには

▲ ダイヤルを中止するには、**キャンセル** を押します。

HP Photosmart Studio (Mac) ソフトウェアでファクスをキャンセルするには

1. **[プリンタ設定ユーティリティ]** (OS 10.3 以降) を **[アプリケーション:ユーティリティ]** フォルダから開きます。
2. HP All-in-One (ファクス) が選択されていることを確認します。
3. **[プリンタ]** メニューから、**[ジョブを表示]** をクリックします。

4. キャンセルするファクスを選択します。
5. **[ジョブを停止]** をクリックします。

10 HP All-in-One の保守

HP All-in-One にはメンテナンスがほとんど不要です。 時々ガラス板と原稿押さえに付着したほこりを掃除し、コピーとスキャンがきれいに行えるようにしてください。 適宜プリント カートリッジを交換、調整、またはクリーニングする必要があります。 このセクションでは、HP All-in-One を最高の状態に保つための方法について説明します。 必要に応じて簡単なメンテナンス手順を実行してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- HP All-in-One のクリーニング
- 推定インク残量の確認
- セルフテスト レポートの印刷
- プリント カートリッジのメンテナンス

HP All-in-One のクリーニング

きれいにコピーやスキャンをするには、ガラス板と原稿押さえをクリーニングしてください。 また、HP All-in-One の外側のほこりも拭き取ってください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ガラス板のクリーニング
- 原稿押さえのクリーニング
- 外側のクリーニング
- 自動ドキュメント フィーダのクリーニング

ガラス板のクリーニング

指紋、しみ、髪の毛、ほこりなどがガラス板の表面に付着していると、性能が落ち、[**ページに合わせる**] などの正確性に悪影響を及ぼす場合があります。

ガラス板の表面だけでなく、自動ドキュメント フィーダの下にある小さい帯状のガラス部分もクリーニングしてください。自動ドキュメント フィーダ内部のガラス部分が汚れていると、筋が入る場合があります。

ガラス板をクリーニングするには

1. HP All-in-One の電源をオフにし、カバーを開けます。
2. 非摩耗性のガラス クリーナーを使用し、少し湿らせた柔らかい布かスポンジでガラス板を拭きます。

   △ **注意** 研磨剤、アセトン、ベンゼン、四塩化炭素などでガラス板を拭かないでください。ガラス板を傷める可能性があります。また、液体を直接ガラス板にかけないでください。ガラス板の下に液体が入り込んで本体を傷める可能性があります。

3. 乾いた糸くずの出ない柔らかい布でガラス板の水分をふき取り、しみが残らないようにします。
4. HP All-in-One の電源をオンにします。

原稿押さえのクリーニング

HP All-in-One のカバーの裏側にある白い原稿押さえの表面に、微少な塵がたまることがあります。

原稿押さえをクリーニングするには

1. HP All-in-One の電源をオフにし、電源コードを外し、カバーを上げます。

   注記 HP All-in-One のプラグを長い時間抜いていると、日付と時刻が消える場合があります。その場合は、後で電源ケーブルを元通りに差し込んだときに、日付と時刻を再設定してください。

   ---

2. 刺激性の少ないせっけんとぬるま湯で、少し湿らせた柔らかい布かスポンジで原稿押さえを拭きます。
   原稿押さえを軽く拭いて汚れを落とします。力を入れてこすらないでください。
3. 乾いた糸くずの出ない柔らかい布で拭いて乾かします。

   注意 原稿押さえを傷つける可能性があるので、紙でできたクロスは使用しないでください。

   ---

4. さらにクリーニングが必要な場合には、イソプロピル (消毒用) アルコールを使用して上記の手順を繰り返してから、湿らせた布でカバーの裏側に残ったアルコールを完全に拭き取ってください。

   注意 ガラス板や HP All-in-One の塗装部品にアルコールをこぼさないように注意してください。デバイスに損傷を与える場合があります。

外側のクリーニング

柔らかい布か、または少し湿らせたスポンジで、外側のほこり、しみ、汚れなどを拭き取ります。HP All-in-One の内側はクリーニングの必要はありません。HP All-in-One のコントロール パネルや内側に液体がかからないようにしてください。

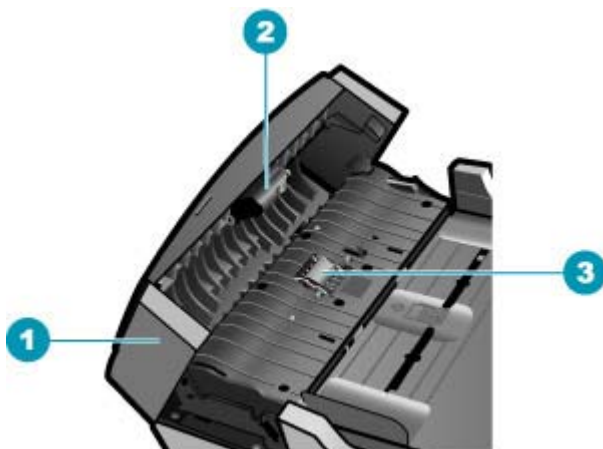
注意 アルコールやアルコール系のクリーニング剤は使用しないでください。HP All-in-One の表面を傷める可能性があります。

自動ドキュメント フィーダのクリーニング

自動ドキュメント フィーダが一度に用紙をまとめて給紙してしまったり、普通紙をまったく給紙しない場合、ローラーやセパレータ パッドをクリーニン

グしてください。 自動ドキュメント フィーダのカバーを開き、ローラーとセパレータ パッドをクリーニングして、カバーを閉じてください。

ローラーやセパレータ パッドをクリーニングするには

1. ドキュメント フィーダ トレイから原稿をすべて取り除きます。
2. 自動ドキュメント フィーダのカバー (1) を外します。
   このようにするとローラー (2) と セパレータ パッド (3) に簡単にアクセスできます。

1	自動ドキュメント フィーダ カバー
2	ローラー
3	セパレータ パッド

3. きれいな糸くずの出ない布を蒸留水に浸し、余分な水分を絞ります。
4. 湿った布を使用して、ローラーやセパレータ パッドからカスを拭き取ります。

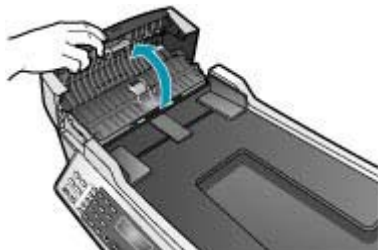
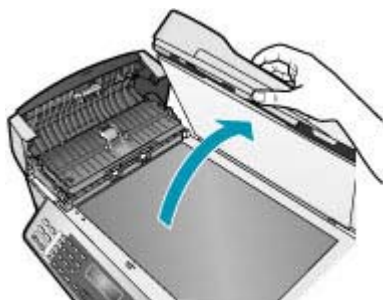
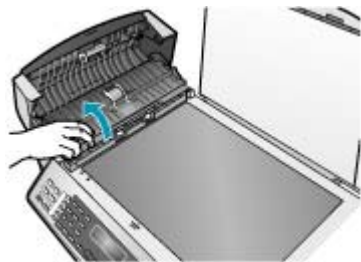
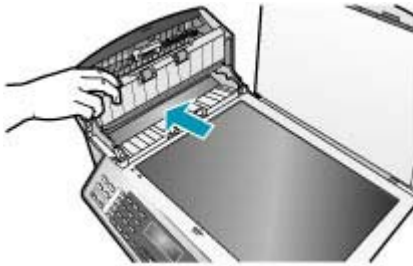
   注記 蒸留水でカスが取れない場合は、イソプロピル (消毒用) アルコールを使用してみます。

5. 自動ドキュメント フィーダのカバーを閉じます。

自動ドキュメント フィーダ内部の帯状のガラス部分をクリーニングするには

1. HP All-in-One の電源を切り、電源コードを抜きます。

   注記　HP All-in-One のプラグを長い時間抜いていると、日付と時刻が消える場合があります。その場合は、後で電源ケーブルを元通りに差し込んだときに、日付と時刻を再設定してください。

2. 自動ドキュメント フィーダのカバーを外します。

3. ガラス板に原稿をセットするように、カバーを持ち上げます。

4. 自動ドキュメント フィーダ装置を外します。

帯状のガラス部分は自動ドキュメント フィーダの下にあります。

5. 非摩耗性のガラス クリーナーを使用し、少し湿らせた柔らかい布かスポンジで帯状のガラス部分を拭きます。

   △ **注意** 研磨剤、アセトン、ベンゼン、四塩化炭素などでガラス板を拭かないでください。ガラス板を傷める可能性があります。また、液体を直接ガラス板にかけないでください。ガラス板の下に液体が入り込んで本体を傷める可能性があります。

6. 自動ドキュメント フィーダ装置を下げ、自動ドキュメント フィーダのカバーを閉じます。
7. カバーを閉じます。
8. 電源コードを差し込み、HP All-in-One の電源を入れます。

推定インク残量の確認

インクの残量を簡単に確認でき、プリント カートリッジの交換時期を知ることができます。インク残量には、プリント カートリッジの推定インク残量が表示されます。

ヒント セルフテスト レポートを印刷して、プリント カートリッジの交換が必要かどうかを調べることもできます。

注記 HP All-in-One がインク残量を検出できるのは、純正 HP インクに限られます。補充した、または別のデバイスで使用したプリント カートリッジのインク残量は正確に計量できません。

注記 表示されるインク レベルは推定残量です。実際のインク残量とは異なる場合があります。

HP Photosmart Studio (Mac) ソフトウェアからインク残量を確認するには

1. **[Dock]** の **[HP デバイス マネージャ]** をクリックします。
   [HP デバイス マネージャ] ウィンドウが表示されます。
2. **[デバイス]** ポップアップ メニューで HP All-in-One が選択されていることを確認します。

3. **[情報と設定]** ポップアップ メニューから、**[プリンタの保守]**を選択します。
   [プリンタの選択] ウィンドウが表示されます。
4. **[出力プリンタ]** ダイアログ ボックスが表示されたら、HP All-in-One を選択して **[ユーティリティを起動]** をクリックします。
5. **[サプライ用品のステータス]** をクリックします。
   プリント カートリッジの推定インク残量が表示されます。

関連トピック

セルフテスト レポートの印刷

セルフテスト レポートの印刷

印刷時に問題が発生した場合は、プリント カートリッジを交換する前に、セルフテスト レポートを印刷してください。このレポートには、プリンタ カートリッジなど、本体に関する役立つ情報があります。

セルフテスト レポートを印刷するには

1. 給紙トレイに、レター、A4、またはリーガルサイズの未使用の白い普通紙をセットします。
2. **セットアップ** を押します。
3. **2** を押し、次に **4** を押します。
   これで、[**レポートの印刷**] と [**セルフテスト レポート**] が続けて選択されます。
   HP All-in-One でセルフテスト レポートが印刷されます。このレポートから印刷時の問題の原因が分かる場合があります。レポートにインク テストのサンプルがある場合は、以下のことを示します。
4. カラーのラインがページ幅いっぱいに印刷されていることを確認します。

黒いラインにかすれ、筋、線がある場合、または黒いラインが消えている場合、右側のスロットに入っている黒プリント カートリッジに問題がある可能性があります。
残りの 3 本のラインが欠けている、かすれている、筋が出ている、または縞模様が現れている状態の場合、左スロットのカラー プリント カートリッジに問題がある可能性があります。

カラー バーに黒、シアン、マゼンタ、イエローのカラーが表示されない場合は、プリント カートリッジをクリーニングしてください。プリント カートリッジをクリーニングしても問題が解決しない場合は、プリント カートリッジの交換が必要になることがあります。

関連トピック

- プリント カートリッジのクリーニング
- プリント カートリッジの交換
- プリント カートリッジの調整

プリント カートリッジのメンテナンス

HP All-in-One の印刷が常に美しく仕上がるようにするには、簡単なメンテナンス手順を実行する必要があります。また、ディスプレイにプリント カートリッジの交換のメッセージが表示されたら、プリント カートリッジを交換してください。

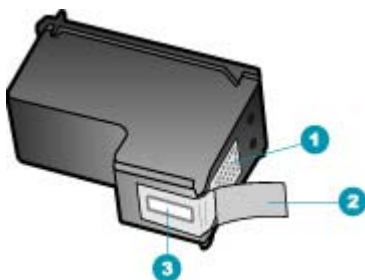
注記 カートリッジ内のインクは、印刷処理のさまざまな場面で消費されます。初期化処理で、デバイスとカートリッジの印刷準備を行う際や、プリントヘッドのクリーニングで、プリント ノズルをクリーニングしてインクの流れをスムーズにする際にも消費されます。また、使用済みカートリッジ内にはある程度のインクが残っています。

詳細は、www.hp.com/go/inkusage を参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- プリント カートリッジの取り扱い
- プリント カートリッジの交換
- フォト プリント カートリッジの使用
- プリント カートリッジ ケースの使用
- プリント カートリッジの調整
- プリント カートリッジのクリーニング
- プリント カートリッジの接点のクリーニング
- インク ノズル周辺のクリーニング

プリント カートリッジの取り扱い

プリント カートリッジを交換したり、クリーニングしたりする前に、プリント カートリッジの部品の名前や取り扱い方を知っておく必要があります。

1	銅色の接点
2	ピンクのつまみの付いた保護テープ (本体に取り付ける前に取り外してください)
3	テープの下にあるインク ノズル

ラベルを上にして、プリント カートリッジの黒いプラスチックの部分の横を持ちます。銅色の接点やインク ノズルには触れないでください。

注記 プリント カートリッジは注意深く取り扱ってください。カートリッジを落としたり振ったりすると、印刷が不調になったり、場合によっては印刷できなくなることもあります。

プリント カートリッジの交換

インク残量が少なくなっている場合は、以下の指示に従ってください。

注記 プリント カートリッジのインクの残量が低下すると、ディスプレイにメッセージが表示されます。インクの残量は、HP Photosmart Studio (Mac) ソフトウェアを使用して、コンピュータで確認することもできます。

注記 プリント カートリッジのインクの残量が低下すると、ディスプレイにメッセージが表示されます。コンピュータにインストールした HP ソリューション センター ソフトウェア、または **[印刷のプロパティ]** ダイアログ ボックスにある **[プリンタ ツールボックス]** を使って、コンピュータでインクの残量を確認することもできます。

インク残量の低下を警告するメッセージがディスプレイに表示されたら、プリント カートリッジを交換してください。文字がかすれたり、プリント カート

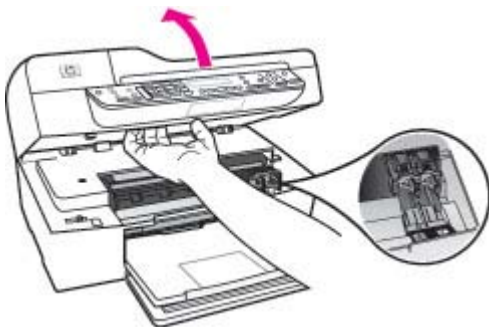
リッジが原因で印刷の品質に問題が生じたりした場合にも、プリント カートリッジを交換してください。

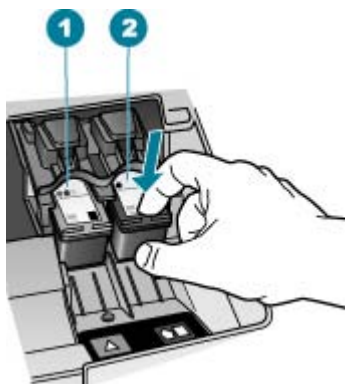
HP All-in-One 用のプリント カートリッジを注文するには、www.hp.com/learn/suresupply にアクセスしてください。メッセージに従って、お住まいの国/地域を選択し、製品を選択して、ページ上のショッピング リンクの 1 つをクリックします。

プリント カートリッジを交換するには

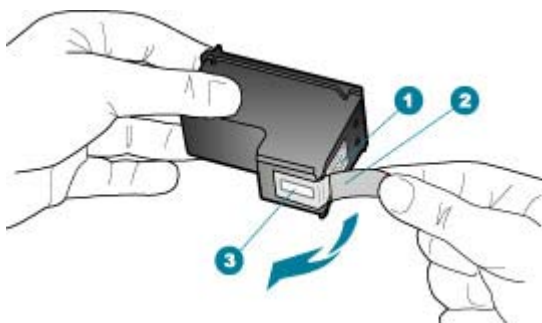
1. HP All-in-One の電源がオンになっていることを確認します。

   △ 注意　プリント カートリッジを交換する場合、HP All-in-One がオフのときにプリント カートリッジ ドアを開けても、HP All-in-One ではプリント カートリッジの固定は解除されません。プリント カートリッジを取り外すときにカートリッジがきちんと止まっていないと、HP All-in-One が破損するおそれがあります。

2. プリント カートリッジ アクセスドアを開きます。
   インクホルダーが HP All-in-One の右端に移動します。インクホルダーが右端に移動しない場合は、ドアを閉めます。HP All-in-One の電源をいったんオフにして入れ直します。

3. インクホルダーが停止して静かになってから、プリント カートリッジを静かに押して外します。
   カラー プリント カートリッジを交換する場合は、左側のスロットからプリント カートリッジを取り外します。

黒プリント カートリッジを交換する場合は、右側のスロットからプリント カートリッジを取り外します。

1	カラー プリント カートリッジのプリント カートリッジ スロット
2	黒プリント カートリッジのプリント カートリッジ スロット

4. プリント カートリッジを手前に引き、スロットから外します。
5. インク不足またはインク切れで取り外したプリント カートリッジはリサイクルしてください。 HP のインクジェット消耗品リサイクル プログラムは多くの国/地域で利用可能であり、これを使用すると使用済みのプリント カートリッジを無料でリサイクルすることができます。 詳細については、次の Web サイトを参照してください。
www.hp.com/recycle

6. 新しいプリント カートリッジをパッケージから出した後、黒いプラスチックの部分以外に触れないように注意して、ピンクのつまみを持って保護テープをゆっくりはがします。

1	銅色の接点
2	ピンクのつまみの付いた保護テープ (本体に取り付ける前に取り外してください)
3	テープの下にあるインク ノズル

△ **注意** 銅色の接点やインク ノズルにはさわらないでください。この部分に手を触れると、目詰まり、インクの吹き付け不良、および電気的な接触不良が発生することがあります。

7. 新しいプリント カートリッジを、空きスロットにスライドさせながら挿入します。 プリント カートリッジの上部をそっと押し、カチッと音がするまで中に入れてください。
   カラー プリント カートリッジを装着する場合は、左側のスロットに入れます。

黒カートリッジを装着する場合は、右側のスロットに入れます。

8. プリント カートリッジ アクセスドアを閉めます。

9. 新しいプリント カートリッジを取り付けた場合、プリント カートリッジ調整プロセスが始まります。
10. 給紙トレイに普通紙をセットしていることを確認してから、**OK** を押します。
    HP All-in-One がプリント カートリッジ調整シートを印刷します。
11. プリント カートリッジ調整シートをドキュメント フィーダ トレイの中央に、印刷面を上にして頭から先にセットして、**OK** を押します。
    HP All-in-One がプリント カートリッジの位置を調整します。プリント カートリッジ調整シートを再利用するか破棄してください。

関連トピック

- 推定インク残量の確認
- プリント カートリッジの注文

フォト プリント カートリッジの使用

フォト プリント カートリッジを使用すると、HP All-in-One で印刷またはコピーするカラー写真が美しく仕上がります。黒プリント カートリッジを取り外し、代わりにフォト プリント カートリッジを取り付けてください。カラー プリント カートリッジとフォト プリント カートリッジの両方をセットすると、6 色インク システムになり、写真がよりきれいに印刷できます。

通常のテキスト文書を印刷するには、モノクロ プリント カートリッジに入れ替えてください。使用していないプリント カートリッジは、プリント カートリッジ ケースまたは密閉プラスチック容器に入れて安全に保管してください。

関連トピック

- プリント カートリッジの注文
- プリント カートリッジの交換
- プリント カートリッジ ケースの使用

プリント カートリッジ ケースの使用

国/地域によっては、フォト プリント カートリッジを購入するとプリント カートリッジ ケースも付属してきます。付属していない国/地域では、プリント カートリッジ ケースは、HP All-in-One に付属しています。プリント カートリッジにも HP All-in-One にもプリント カートリッジ ケースが付属していない場合は、密閉プラスチック容器に入れてプリント カートリッジを保護してください。

プリント カートリッジ ケースは、使用していないプリント カートリッジを安全に保管できて、乾燥を防止できるように設計されています。HP All-in-One からプリント カートリッジを取り外し、後でまた利用する場合、プリント カートリッジ ケースに入れて保管してください。たとえば、カラー プリント カートリッジとフォト プリント カートリッジを使用して高品質の写真を印刷するために、黒プリント カートリッジを外す場合、黒プリント カートリッジはプリント カートリッジ ケースに保管します。

プリント カートリッジをプリント カートリッジ ケースに入れるには

▲ プリント カートリッジを少し角度を付けてケースに差し込み、カチッと音がするまで押し込みます。

プリント カートリッジをプリント カートリッジ ケースから取り外すには

▲ プリント カートリッジ ケースの上部を押し下げ、プリント カートリッジの固定を解除します。その後、プリント カートリッジ ケースからプリント カートリッジをそっと取り出します。

プリント カートリッジの調整

HP All-in-One では、プリント カートリッジを取り付けたり取り換えたりするたびに、カートリッジの調整を求めるメッセージが表示されます。コントロール パネルまたは HP All-in-One 用にインストールしたソフトウェアを使用して、いつでもプリント カートリッジを調整できます。プリント カートリッジを調整することで、高品質の印刷に仕上がります。

注記 プリント カートリッジを取り外した後、もう一度 HP All-in-One に取り付けた場合には、プリント カートリッジの調整のメッセージは表示されません。HP All-in-One にはプリント カートリッジに合わせて調整した値が記憶されるので、プリント カートリッジの再調整は必要ありません。

メッセージに従って本体のコントロール パネルからプリント カートリッジを調整するには

1. 給紙トレイに、レター、A4、またはリーガルサイズの未使用の白い普通紙をセットします。

   注記 プリント カートリッジを調整するときに、色付きの用紙が給紙トレイにセットされていると、調整に失敗します。給紙トレイに未使用の白い普通紙をセットしてから、調整をやり直してください。

   まだ調整に失敗する場合は、センサーかプリント カートリッジが故障している可能性があります。HP サポートにお問い合わせください。www.hp.com/support にアクセスしてください。メッセージが表示されたら、お住まいの国または地域を選択し、**[お問い合わせ]** をクリックして、テクニカル サポートまでお問い合わせください。

   HP All-in-One がプリント カートリッジ調整シートを印刷します。
2. プリント カートリッジ調整シートをドキュメント フィーダ トレイの中央に、印刷面を下にして頭から先にセットして、**OK** を押します。
   HP All-in-One がプリント カートリッジの位置を調整します。プリント カートリッジ調整シートを再利用するか破棄してください。

任意の時点で本体のコントロール パネルからカートリッジを調整するには

1. 給紙トレイに、レター、A4、またはリーガルサイズの未使用の白い普通紙をセットします。

   注記 プリント カートリッジを調整するときに、色付きの用紙が給紙トレイにセットされていると、調整に失敗します。給紙トレイに未使用の白い普通紙をセットしてから、調整をやり直してください。

   まだ調整に失敗する場合は、センサーかプリント カートリッジが故障している可能性があります。HP サポートにお問い合わせください。www.hp.com/support にアクセスしてください。メッセージが表示されたら、お住まいの国または地域を選択し、**[お問い合わせ]** をクリックして、テクニカル サポートまでお問い合わせください。

2. **セットアップ** を押します。
3. **6** を押し、次に **2** を押します。
   これで、[**ツール**] と [**プリント カートリッジの調整**] が続けて選択されます。
   HP All-in-One がプリント カートリッジ調整シートを印刷します。
4. プリント カートリッジ調整シートをドキュメント フィーダ トレイの中央に、印刷面を下にして頭から先にセットして、**OK** を押します。
   HP All-in-One がプリント カートリッジの位置を調整します。プリント カートリッジ調整シートを再利用するか破棄してください。

HP Photosmart Studio (Mac) ソフトウェアからプリント カートリッジを調整するには

1. 給紙トレイに、レター、A4、またはリーガルサイズの未使用の白い普通紙をセットします。
2. **[Dock]** の **[HP デバイス マネージャ]** をクリックします。
   [HP デバイス マネージャ] ウィンドウが表示されます。
3. **[デバイス]** ポップアップ メニューで HP All-in-One が選択されていることを確認します。
4. **[情報と設定]** ポップアップメニューが表示されたら、**[プリンタの保守]** を選択します。
   [プリンタの選択] ウィンドウが表示されます。
5. **[出力プリンタ]** ダイアログ ボックスが表示されたら、HP All-in-One を選択して **[ユーティリティを起動]** をクリックします。
6. **[コンフィギュレーション設定パネル]** の **[位置調整]** をクリックします。
7. **[位置調整]** をクリックします。
   HP All-in-One がプリント カートリッジ調整シートを印刷します。
8. 結果に満足した場合は、**[完了]** をクリックします。または **[位置調整]** をやり直してください。

プリント カートリッジのクリーニング

はじめてプリント カートリッジを装着した後、セルフテスト レポートでインクの筋、カラーの帯に白いラインが表示される場合、またはカラーがにごっている場合は、この機能を使用します。必要以上にプリント カートリッジのクリーニングをしないでください。インクの無駄になり、インク ノズルの寿命を縮めます。

コントロール パネルからプリント カートリッジをクリーニングするには

1. 給紙トレイに、レター、A4、またはリーガルサイズの未使用の白い普通紙をセットします。
2. **セットアップ** を押します。
3. **6** を押し、次に **1** を押します。
   これで、[**ツール**] と [**プリント カートリッジのクリーニング**] が続けて選択されます。
   HP All-in-One で 1 枚の用紙が印刷されます。この用紙は再利用するか捨ててください。
   プリント カートリッジをクリーニングしても、コピーや印刷がきれいに仕上がらない場合は、プリント カートリッジを交換する前に、問題のプリント カートリッジの接点をクリーニングしてください。

HP Photosmart Studio (Mac) ソフトウェアからプリント カートリッジをクリーニングするには

1. 給紙トレイに、レター、A4、またはリーガルサイズの未使用の白い普通紙をセットします。
2. **[Dock]** の **[HP デバイス マネージャ]** をクリックします。
   [HP デバイス マネージャ] ウィンドウが表示されます。
3. **[デバイス]** ポップアップ メニューで HP All-in-One が選択されていることを確認します。
4. **[情報と設定]** ポップアップ メニューから、**[プリンタの保守]**を選択します。
   [プリンタの選択] ウィンドウが表示されます。
5. **[出力プリンタ]** ダイアログ ボックスが表示されたら、HP All-in-One を選択して **[ユーティリティを起動]** をクリックします。
   [HP プリンタユーティリティ] ウィンドウが表示されます。
6. **[コンフィギュレーション設定パネル]** の **[クリーニング]** をクリックします。
7. **[クリーニング]**をクリックします。
8. 出力の品質に満足するまで指示に従って操作を行い、**[HP プリンタ ユーティリティ]** を閉じます。
   プリント カートリッジをクリーニングしても、コピーや印刷がきれいに仕上がらない場合は、プリント カートリッジを交換する前に、問題のプリント カートリッジの接点をクリーニングしてください。

関連トピック

- プリント カートリッジの接点のクリーニング
- プリント カートリッジの交換

プリント カートリッジの接点のクリーニング

プリント カートリッジの接点のクリーニングは、プリント カートリッジのクリーニングと調整をしても、ディスプレイにプリント カートリッジの確認のメッセージが繰り返し表示される場合にのみ実行してください。

プリント カートリッジの接点をクリーニングする前に、プリント カートリッジを取り外し、プリント カートリッジの接点に何も付着していないことを確認してから元に戻してください。プリント カートリッジの確認のメッセージがその後も表示される場合は、プリント カートリッジの接点をクリーニングします。

次のものを用意してください。

- 乾いたスポンジ棒、糸くずの出ない布、または繊維がちぎれたり残ったりしない柔らかい布。

ヒント　コーヒー用のフィルタは糸くずが出ないため、プリント カートリッジのクリーニングに適しています。

- 蒸留水、ろ過水、ミネラルウォーターのいずれか (水道水にはプリント カートリッジを傷める汚染物質が含まれている恐れがあります。)

注意　プリント カートリッジの接点のクリーニングには、プラテン クリーナやアルコールを**使用しないでください**。それらは、プリント カートリッジや HP All-in-One を傷めるおそれがあります。

プリント カートリッジの接点をクリーニングするには

1. HP All-in-One の電源を入れ、プリント カートリッジ アクセスドアを開きます。
   インクホルダーが HP All-in-One の右端に移動します。
2. インクホルダーが停止して静かになってから、HP All-in-One の背面から電源コードを抜きます。

   注記　HP All-in-One のプラグを長い時間抜いていると、日付と時刻が消える場合があります。その場合は、後で電源ケーブルを元通りに差し込んだときに、日付と時刻を再設定してください。

3. プリント カートリッジを静かに下げて固定を解除してから、カートリッジを手前に引いてカートリッジ スロットから取り外します。

   注記　両方のプリント カートリッジを同時に取り外さないでください。取り外してクリーニングする作業は、一度に 1 つずつ行ってください。プリント カートリッジを 30 分以上 HP All-in-One から外しておかないでください。

4. プリント カートリッジの接点に、インクや汚れが付着していないか調べます。
5. 汚れていないスポンジ棒または糸くずの出ない布を蒸留水に浸し、かたく絞ります。
6. プリント カートリッジの側面を持ちます。

7. 銅色の接点のみをクリーニングします。 プリント カートリッジが乾くまで、10 分ほど待ちます。

1	銅色の接点
2	インク ノズル (クリーニングしないでください)

8. プリント カートリッジを、スロットにスライドさせながら装着します。 きちんとはまるまでプリント カートリッジを押し込んでください。
9. 必要であれば、もう一方のプリンタ カートリッジについても同じ作業をします。
10. プリント カートリッジ アクセスドアを静かに閉め、HP All-in-One の背面に電源コードを差し込みます。

関連トピック

インク ノズル周辺のクリーニング

インク ノズル周辺のクリーニング

ほこりっぽい環境で HP All-in-One を使用すると、本体の中にもゴミが入り込むことがあります。ちり、髪の毛、カーペットや衣類の繊維などが含まれます。このようなゴミがプリント カートリッジに付着すると、印刷したページにインクの筋やにじみが出ることがあります。インク縞は、ここで説明されているとおりにインク ノズル周辺のクリーニングを行うことで改善できます。

注記 コントロール パネルまたは HP All-in-One 用にインストールしたソフトウェアを使用してプリント カートリッジをクリーニングしても印刷したページの筋やにじみが消えない場合にのみ、インク ノズルの周辺部をクリーニングします。

次のものを用意してください。

- 乾いたスポンジ棒、糸くずの出ない布、または繊維がちぎれたり残ったりしない柔らかい布

  ヒント　コーヒー用のフィルタは糸くずが出ないため、プリント カートリッジのクリーニングに適しています。

- 蒸留水、ろ過水、ミネラルウォーターのいずれか (水道水にはプリント カートリッジを傷める汚染物質が含まれている恐れがあります。)

  注意　銅色の接点やインク ノズルにはさわらないでください。この部分に手を触れると、目詰まり、インクの吹き付け不良、および電気的な接触不良が発生することがあります。

インク ノズル周辺をクリーニングするには

1. HP All-in-One の電源を入れ、プリント カートリッジのドアを開きます。
   インクホルダーが HP All-in-One の右端に移動します。
2. インクホルダーが停止して静かになってから、HP All-in-One の背面から電源コードを抜きます。

   注記　HP All-in-One のプラグを長い時間抜いていると、日付と時刻が消える場合があります。その場合は、後で電源ケーブルを元通りに差し込んだときに、日付と時刻を再設定してください。

3. プリント カートリッジを静かに下げて固定を解除してから、カートリッジを手前に引いてカートリッジ スロットから取り外します。

   注記　両方のプリント カートリッジを同時に取り外さないでください。取り外してクリーニングする作業は、一度に 1 つずつ行ってください。プリント カートリッジを 30 分以上 HP All-in-One から外しておかないでください。

4. インク ノズルの表面を上にして、1 枚の用紙の上にプリント カートリッジを置いてください。
5. きれいなスポンジ棒を蒸留水で軽く湿らします。

6. 下図のように、スポンジ棒でインク ノズル周辺の表面と端部をクリーニングします。

1	ノズル プレート (クリーニングしないでください)
2	インク ノズル周辺の表面と端

△ 注意 ノズル プレートは**クリーニングしない**でください。

7. プリント カートリッジを、スロットにスライドさせながら挿入します。 きちんとはまるまでプリント カートリッジを押し込んでください。
8. 必要であれば、もう一方のプリンタ カートリッジについても同じ作業をします。
9. プリント カートリッジのドアをゆっくり閉め、HP All-in-One の背面に電源コードを差し込みます。

関連トピック

プリント カートリッジのクリーニング

11 トラブルシューティング

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- トラブルシューティングのヒント
- 印刷品質のトラブルシューティング
- 印刷のトラブルシューティング
- ファクスのトラブルシューティング
- コピーのトラブルシューティング
- スキャンのトラブルシューティング
- デバイスの更新
- エラー

トラブルシューティングのヒント

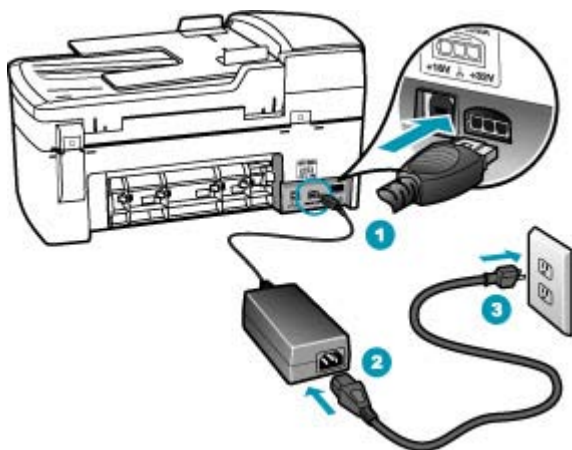
このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- HP All-in-One の電源が入らない
- USB 接続による通信の問題
- プリント カートリッジに関する情報
- 用紙に関する情報
- 自動ドキュメント フィーダの使用に関するヒント
- 紙詰まりの解消
- プリント カートリッジのトラブルシューティング

HP All-in-One の電源が入らない

原因: HP All-in-One が電源に正しく接続されていません。

解決方法:

- 電源コードが、HP All-in-One と電源アダプタの両方に正しく接続されていることを確認してください。電源コードは、アース付き電源コンセントか、サージ保護器か、テーブルタップに差し込んでください。

1	電源コネクタ
2	電源コードおよびアダプタ
3	電源コンセント

- テーブル タップを使用している場合は、テーブル タップがオンになっていることを確認してください。 または、HP All-in-One の電源コードを電源コンセントに直接接続してみてください。
- 電源コンセントをテストして、正しく機能していることを確認してください。 作動することが確認できている電気製品を接続して、電力が供給されているか確認します。 電源が入らない場合は、電源コンセントに問題があります。
- スイッチ付きの電源コンセントに HP All-in-One をつないでいる場合は、そのスイッチが入っていることを確認してください。 スイッチがオンにも関わらず電力が供給されない場合は、電源コンセントに問題があります。

原因: 電源 ボタンの押し方が短すぎます。

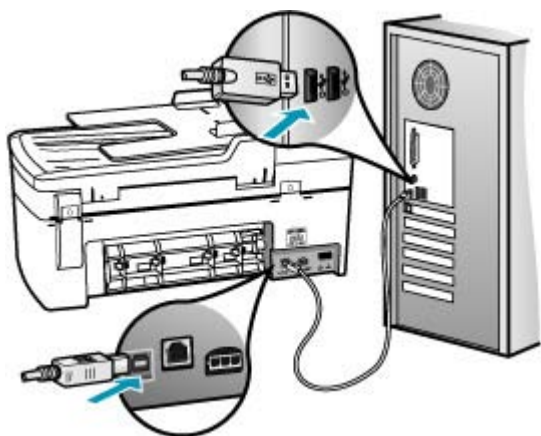
解決方法: 電源 ボタンの押し方が短すぎると HP All-in-One が応答しないことがあります。電源 ボタンを一回押します。HP All-in-One の電源をオン

にするにはしばらく時間がかかることがあります。この時間中に 電源 ボタンを再度押すと、デバイスの電源がオフになる場合があります。

△ **注意** 以上の操作を行ってもまだ HP All-in-One の電源がオンにならないときは、機械的な故障が考えられます。HP All-in-One から電源コードを外し、HP へご連絡ください。お問い合わせ先は、次のサイトを参照してください。www.hp.com/support 情報の入力を要求された場合は、国または地域を選択して、**[お問い合わせ]**をクリックして情報を参照しテクニカルサポートにお問合せください。

USB 接続による通信の問題

HP All-in-One とコンピュータが互いに通信できない場合は、次のことを行ってください。

- HP All-in-One のディスプレイを見てください。ディスプレイに何も表示されず、電源 ボタンが点灯していない場合は、HP All-in-One の電源が入っていません。HP All-in-One の電源コードが電源コンセントにきちんと差し込まれていることを確認してください。電源 ボタンを押して、HP All-in-One の電源をオンにしてください。
- USB ケーブルを確認します。古いケーブルを使用している場合は、正しく動作しないことがあります。別の製品に接続して、その USB ケーブルが使用できるかどうか確認してください。問題が発生した場合、USB ケーブルを交換する必要があります。また、USB ケーブルの長さが 3 メートル 以下であることを確認してください。
- HP All-in-One からコンピュータまでの接続状態を確認します。USB ケーブルが HP All-in-One の背面にある USB ポートに正しく接続されていることを確認してください。また USB ケーブルのもう一方の端がコンピュータの USB ポートに正しく接続されていることを確認します。USB ケーブルを正しく接続した後、HP All-in-One の電源を入れ直してください。

- システム プロファイラを確認して、USB 接続を検証します。HP All-in-One が USB 画面に表示された場合は、コンピュータと HP All-in-One の間の USB 接続は機能しています。機能している場合は、ソフトウェアの問題の可能性があります。HP Photosmart Studio (Mac) ソフトウェア付属の設定アシストを使って、HP All-in-One を検出できるかどうかを確かめます。システム プロファイラにアクセスする手順については、お使いの OS に付属しているヘルプを参照してください。
- USB ハブを介して HP All-in-One に接続している場合、ハブの電源が入っていることを確認してください。ハブの電源が入っている場合、コンピュータに直接接続します。
- 他のプリンタやスキャナを確認します。コンピュータから古い製品の接続を外さなければならない場合があります。
- USB ケーブルをコンピュータの別の USB ポートに接続してみてください。接続を確認したら、コンピュータを再起動してください。HP All-in-One の電源をいったんオフにして入れ直します。
- 必要なら、HP All-in-One 用にインストールしたソフトウェアをアンインストールしてから、インストールし直します。

HP All-in-One のセットアップとコンピュータへの接続方法については、HP All-in-One に付属の『セットアップ ガイド』を参照してください。

プリント カートリッジに関する情報

印刷をより美しく仕上げるには、HP プリント カートリッジを使用してください。印刷の品質を保つために、HP プリント カートリッジの取り扱い方について、次のことに注意してください。

- プリント カートリッジはパッケージを未開封のまま保管し、使用するときに開封してください。
- プリントカートリッジは、常温 (15.6 ～ 26.6゜C または 60 ～ 78゜F) で保管してください。
- プリント カートリッジの保護テープは、一度外したら付け直さないでください。保護テープを付け直すと、プリント カートリッジを損傷する可能性があります。保護テープを外したら、プリント カートリッジをすぐに HP All-in-One に取り付けてください。すぐに取り付けられない場合は、プリント カートリッジ ケースまたは気密性の高いプラスチック容器に保管してください。
- プリント カートリッジは、交換用のプリント カートリッジが取り付け可能になるまで HP All-in-One に入れておいてください。
- コントロール パネルの操作で HP All-in-One の電源を切ってください。テーブル タップをオフにしたり、電源コードを HP All-in-One から抜いたりしないでください。誤った方法で HP All-in-One の電源を切ると、プリント カートリッジが正しい位置に戻らないため、プリント カートリッジが乾燥してしまう可能性があります。

- 必要な場合以外は、プリント カートリッジ アクセスドアを開けないでください。 ドアを開けると、プリント カートリッジが空気に触れてしまい、プリント カートリッジの寿命が短くなります。

  注記 プリント カートリッジ アクセスドアを長時間開けたままにすると、HP All-in-One はプリント カートリッジにキャップをかぶせて、空気にさらされないようにします。

- 印刷品質が著しく低下した場合は、プリント カートリッジのクリーニングを行ってください。

  ヒント プリント カートリッジを長期間使用しないと、印刷品質が低下することがあります。

- 不必要にプリント カートリッジのクリーニングを行わないでください。インクの無駄になり、カートリッジの寿命を縮めます。

プリント カートリッジの詳細については、プリント カートリッジのトラブルシューティングを参照してください。

用紙に関する情報

HP All-in-One では、ほとんどの種類の用紙を利用することができます。用紙をまとめて購入する前にいろいろな用紙でテストし、印刷がきれいに仕上がり、入手しやすい用紙の種類を見つけてください。HP プレミアム用紙は、より美しく印刷されるように設計されています。次のヒントも参考にしてください。

- 薄すぎる用紙や表面がつるつるした用紙、伸縮性のある用紙は使用しないでください。正しく給紙されない可能性があり、紙詰まりの原因になることがあります。
- フォト用紙は、元の袋に戻し、その上からさらにジッパー付きのビニール袋に入れてください。また温度が低く湿気のない平らな場所で保管してください。印刷の準備ができたら、すぐに使用する分の用紙だけを取り出します。印刷が完了したら、未使用のフォト用紙をプラスチックの袋に戻してください。
- 未使用のフォト用紙を給紙トレイに置いたままにしないでください。用紙が曲がり、印刷品質が低下することがあります。曲がった用紙は紙詰まりの原因になることがあります。
- フォト用紙の側面を持つようにしてください。フォト用紙に指紋が付くと、印刷の品質が低下する場合があります。
- 目の粗い用紙は使用しないでください。グラフィックやテキストが正しく印刷されないことがあります。

- 給紙トレイに種類やサイズの異なる用紙を一緒にセットしないでください。給紙トレイにセットした用紙は、すべて同じサイズと種類でなければなりません。
- 印刷した写真はガラス板の下か収納アルバムに入れておくと、高湿度による経年劣化とにじみを防止することができます。 最高画質の印刷結果を得るには、HP プレミアム プラス フォト用紙を使用してください。

自動ドキュメント フィーダの使用に関するヒント

以下の簡単な指示に従って、自動ドキュメント フィーダを使用する際の一般的な問題を予防します。

- 原稿にホチキスやクリップが付いている場合は、取り除いてください。
- HP All-in-One が処理できないほど厚い用紙や薄い用紙を使用しないでください。
- ドキュメント フィーダ トレイに原稿を入れすぎないようにしてください。 ドキュメント フィーダ トレイには、レター サイズと A4 サイズの用紙は最大 20 枚、リーガル サイズは最大 15 枚までセットできます。
- 曲がった紙や擦り切れた紙を使用しないでください。螺旋綴じ式のバインダーから取った用紙を使用する場合は、端を切り取ってください。
- 自動ドキュメント フィーダには写真をセットしないでください。自動ドキュメント フィーダでは写真を傷める可能性があります。写真は必ずガラス板にセットしてスキャンまたはコピーしてください。
- ドキュメント フィーダ トレイの横方向用紙ガイドが、用紙を折らずに用紙の端にぴったりと沿っていることを確認してください。
- ドキュメント フィーダ トレイに、印刷面を上にして原稿をセットします。

紙詰まりの解消

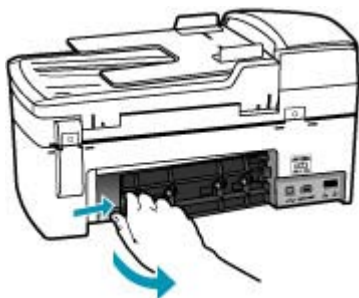
給紙トレイに用紙をセットした場合は、後部アクセスドアを開けて、詰まった用紙を取り除いてください。

自動ドキュメント フィーダで紙詰まりを起こす場合もあります。 次のような行為は、自動ドキュメント フィーダで紙詰まりを起こす原因となります。

- ドキュメント フィーダ トレイに紙を入れすぎている。自動ドキュメント フィーダーの最大収容可能枚数については、技術情報を参照してください。
- HP All-in-One で厚すぎたり薄すぎたりする用紙を使用する。
- HP All-in-One が給紙中にドキュメント フィーダ トレイに用紙を追加する。

後部アクセスドアから詰まった紙を取り除くには

1. 後部アクセスドアの左側にあるタブを押して、ドアの固定を解除します。HP All-in-One からドアを引いて取り外します。

> △ **注意** HP All-in-One の正面側から詰まった紙を取り除くと、プリンタが損傷する場合があります。 必ず後部アクセスドアを開けて、詰まった用紙をプリンタから取り除いてください。

2. 詰まっている用紙をローラーからゆっくり引き出します。

△ 注意　ローラーから引き出している途中に用紙が破れた場合は、ローラーとホイールを点検して、本体の中に紙切れが残っていないか確認してください。HP All-in-One に紙切れが残っていると、紙詰まりが起こりやすくなります。

3. 後部アクセスドアを元に戻します。 カチッと音がするまで、ドアをゆっくり押し込みます。
4. 現在のジョブを続行するには、**OK** をクリックします。

自動ドキュメント フィーダから詰まった紙を取り除くには

1. 自動ドキュメント フィーダのカバーを外します。

2. 詰まっている用紙をローラーからゆっくり引き出します。

△ 注意　ローラーから引き出している途中に用紙が破れた場合は、ローラーとホイールを点検して、本体の中に紙切れが残っていないか確認してください。HP All-in-One に紙切れが残っていると、紙詰まりが起こりやすくなります。

3. 自動ドキュメント フィーダのカバーを閉じます。

プリント カートリッジのトラブルシューティング

印刷時に問題が発生した場合は、プリント カートリッジのいずれかに問題がある可能性があります。

プリント カートリッジのトラブルシューティングを行うには

1. 右側のスロットから黒プリント カートリッジを取り外します。銅色の接点やインク ノズルには触れないでください。銅色の接点やインク ノズルに損傷がないか確認します。
   保護テープがはがされていることを確認します。インク ノズルがテープで固定されている場合は、ピンクのつまみを持ってテープを慎重にはがしてください。
2. プリント カートリッジを、再度スロットにスライドさせながら取り付けます。カチッと音がするまで、プリント カートリッジを押し込んでください。

3. 左側のカラー プリント カートリッジに対しても、手順 1 と 2 を繰り返します。
4. 問題が続く場合は、セルフテスト レポートを印刷して、プリント カートリッジに問題がないか確認します。
   このレポートには、ステータス情報など、プリント カートリッジに関する役立つ情報が表示されます。
5. セルフテスト レポートで問題が確認された場合、プリント カートリッジのクリーニングを行ってください。
6. 問題が解決しない場合は、プリント カートリッジの銅色の接点を糸くずのつかない、蒸留水で少し湿らせた布でクリーニングします。
7. 以上の操作を行っても印刷の問題が解決しない場合は、どのプリント カートリッジに問題があるか確認してそのカートリッジを交換します。

詳細については、次を参照してください。

- プリント カートリッジの交換
- セルフテスト レポートの印刷
- プリント カートリッジのクリーニング
- プリント カートリッジの接点のクリーニング

印刷品質のトラブルシューティング

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- インクがにじんだり、しみになる
- 自動ドキュメント フィーダが一度にたくさんのページを給紙してしまう、またはまったく給紙しない
- 文字やグラフィックの一部にインクが定着しない
- 文字のフチがギザギザになる
- 印刷したページの下部に水平方向の歪みがある
- 印刷出力の色が混じる
- 横方向の縞模様または筋が現れる
- 色が薄いまたはくすんでいる
- ファクスの印刷がぼやけてはっきりしない
- 縦方向の縞模様が入る
- 斜めまたは歪んで印刷される
- 受信したファクスの印刷品質が悪い
- 受信したファクスの一部のページが薄い、または白紙になる
- 写真のコピーや印刷時にインクがはみ出す
- 給紙トレイから用紙が給紙されない

インクがにじんだり、しみになる

原因: 用紙の種類が HP All-in-One に適していません。

解決方法: HP プレミアム用紙 または HP All-in-One に適したその他の用紙の種類を使用してください。

原因: プリント カートリッジのクリーニングが必要です。

解決方法: セルフテスト レポートを印刷し、プリント カートリッジに問題がないか確認してください。セルフテスト レポートで問題が確認された場合、プリント カートリッジのクリーニングを行ってください。問題が解消されない場合は、プリント カートリッジの交換が必要です。

プリント カートリッジの詳細については、プリント カートリッジのトラブルシューティングを参照してください。

原因: 印刷中の用紙がプリント カートリッジに近づきすぎます。

解決方法: 印刷中に用紙がプリント カートリッジに近づきすぎると、インクがにじむことがあります。用紙に盛り上がりやしわがあったり、厚みがある場合に、この現象が発生することがあります。用紙が給紙トレイに平らにセットされていることと、しわがないことを確認してください。

自動ドキュメント フィーダが一度にたくさんのページを給紙してしまう、またはまったく給紙しない

原因: 自動ドキュメント フィーダ内部のセパレータ パッドやローラーのクリーニングの必要があります。手書き原稿やインクを多量に使用した原稿をコピーする場合、あるいは長期間の使用後には、鉛筆の芯、ロウ、インクがローラーやセパレータ パッドに蓄積する場合があります。

- 自動ドキュメント フィーダがまったく給紙しない場合、自動ドキュメント フィーダ内のローラーをクリーニングする必要があります。
- 自動ドキュメント フィーダが、1 枚ずつではなく何枚も給紙する場合、自動ドキュメント フィーダ内のセパレータ パッドをクリーニングする必要があります。

解決方法: 未使用のフルサイズ普通紙を 1、2 枚ドキュメント フィーダ トレイにセットし、**コピー スタート - モノクロ** を押します。 普通紙が自動ドキュメント フィーダを通過するときに、ローラーとセパレータ パッドに付いたカスを吸着します。

ヒント 自動ドキュメント フィーダが普通紙を給紙しない場合は、前面ローラーをクリーニングしてみてください。柔らかく、糸くずの出ない布を蒸留水で湿らせてローラーを拭きます。

問題が解決しない場合や、自動ドキュメント フィーダが普通紙を給紙しない場合、ローラーやセパレータ パッドを手動でクリーニングしてください。

詳細については、自動ドキュメント フィーダのクリーニングを参照してください。

文字やグラフィックの一部にインクが定着しない

原因: プリント カートリッジのクリーニングが必要です。またはインク切れの可能性があります。

解決方法: プリント カートリッジのインク残量レベルをチェックします。プリント カートリッジのインク残量が少ない、またはインクがまったくない場合、プリント カートリッジの交換が必要になることがあります。

プリント カートリッジのインク残量が十分であるのに問題が解消されない場合は、セルフテスト レポートを印刷し、プリント カートリッジに問題があるかどうかを判断します。セルフテスト レポートで問題が確認された場合、プリント カートリッジのクリーニングを行ってください。問題が解消されない場合は、プリント カートリッジの交換が必要です。

プリント カートリッジの詳細については、プリント カートリッジのトラブルシューティングを参照してください。

原因: [**用紙の種類**] 設定が正しくありません。

解決方法:　給紙トレイにセットされた用紙の種類に合わせて、**[用紙の種類]** 設定を変更します。

コピーする用紙の種類を設定するには

1. コピー 領域で、**メニュー** を繰り返し押して、**[用紙の種類]** を表示します。
2. 目的の用紙の種類が表示されるまで、▶ を押します。
3. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

プリントする用紙の種類を設定するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. お使いのソフトウェア アプリケーションで、**[ファイル]** メニューの **[プリント]** をクリックします。
3. HP All-in-One が使用するプリンタとして選択されていることを確認します。
4. ポップアップ メニューから、**[用紙の種類/品質]** を選択します。
5. **[用紙]** タブをクリックします。
6. **[用紙の種類]** ポップアップ メニューから、給紙トレイにセットされた用紙の種類を選択します。

原因:　HP All-in-One の印刷またはコピーの品質設定が低すぎます。

解決方法:　品質設定を確認してください。 設定品質を高くして、印刷またはコピーに使用するインクの量を増やします。

印刷速度と品質を変更するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. お使いのソフトウェア アプリケーションで、**[ファイル]** メニューの **[プリント]** をクリックします。
3. HP All-in-One が使用するプリンタとして選択されていることを確認します。
4. ポップアップ メニューから、**[用紙の種類/品質]** を選択します。
5. **[用紙]** タブをクリックします。
6. **[用紙の種類]** ポップアップ メニューから、給紙トレイにセットされた用紙の種類を選択します。
7. **[品質]** ポップアップ メニューから、プロジェクトに適した品質設定を選択します。

コピー品質を変更するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. ガラス板の右下隅に合わせて原稿の印刷面を下にして、またはドキュメント フィーダ トレイに原稿の印刷面を上にして置きます。
   ドキュメント フィーダ トレイを使用する場合は、文書の先頭が最初になるようにページを置きます。
3. コピー 領域で、適切な品質設定が点灯するまで **品質** を繰り返し押します。
4. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

文字のフチがギザギザになる

原因: フォントがカスタム サイズのフォントです。

解決方法: ソフトウェア アプリケーションの中には、拡大したときや印刷したときに文字の輪郭がギザギザになる独自のフォントを使うものもあります。また、ビットマップで表現された文字を印刷する場合も、拡大や印刷を行うと、輪郭がギザギザになることがあります。

印刷したページの下部に水平方向の歪みがある

原因: ページの下部分の画像の色調が、水色、灰色、または茶色です。

解決方法: 給紙トレイに高品質用紙をセットし、**[高画質]**、**[最大 dpi]**、または **[高解像度]** などの高画質設定で画像を印刷します。 印刷する用紙が平らであることを必ず確認してください。 画像を最高画質で印刷するには、HP プレミアム プラス フォト用紙を使用します。

それでも問題の解決しない場合は、HP All-in-One 用にインストールしたソフトウェアまたは別のソフトウェア プリケーションを使って、画像の水色、灰色、または茶色の色調がページの下部分に印刷されないように、画像を 180 度回転させてください。6 色インク印刷を使用して画像を印刷します。そのためには、黒プリント カートリッジの代わりにフォト プリント カートリッジをセットします。フォト プリント カートリッジとカラー プリント カートリッジの両方をセットすると、6 色インク システムになり、写真の品質がさらに向上します。

プリント カートリッジの詳細については、プリント カートリッジのトラブルシューティングを参照してください。

用紙の詳細については、サポートする用紙の仕様についてを参照してください。

印刷出力の色が混じる

原因: HP All-in-One にセットされている用紙の種類に対して品質の設定が高すぎます。

解決方法: 品質設定を確認してください。 設定品質を低くして、印刷またはコピーに使用するインクの量を減らします。

印刷速度と品質を変更するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. お使いのソフトウェア アプリケーションで、**[ファイル]** メニューの **[プリント]** をクリックします。
3. HP All-in-One が使用するプリンタとして選択されていることを確認します。
4. ポップアップ メニューから、**[用紙の種類/品質]** を選択します。
5. **[用紙]** タブをクリックします。
6. **[用紙の種類]** ポップアップ メニューから、給紙トレイにセットされた用紙の種類を選択します。
7. **[品質]** ポップアップ メニューから、プロジェクトに適した品質設定を選択します。

コピー品質を変更するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. ガラス板の右下隅に合わせて原稿の印刷面を下にして、またはドキュメント フィーダ トレイに原稿の印刷面を上にして置きます。
   ドキュメント フィーダ トレイを使用する場合は、文書の先頭が最初になるようにページを置きます。
3. コピー 領域で、適切な品質設定が点灯するまで **品質** を繰り返し押します。
4. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

原因: 用紙の種類が HP All-in-One に適していません。

解決方法: HP プレミアム用紙 または HP All-in-One に適したその他の用紙の種類を使用してください。

用紙の選択の詳細については、サポートする用紙の仕様についてを参照してください。

原因: 用紙の裏面に印刷している可能性があります。

解決方法: 用紙は印刷面を下にしてセットしてください。たとえば、光沢フォト用紙をセットする場合には、光沢面を下にして用紙をセットします。

原因: HP 製以外のインクを使用しています。

解決方法: HP では、純正 HP プリント カートリッジの使用を推奨しています。純正 HP プリント カートリッジは、HP プリンタで最高の性能が得られるように設計され、何度もテストされています。

注記 HP では、他社製インクの品質または信頼性を保証することはできません。他社製インクの使用に起因するプリンタ障害や損傷の結果として必要となるプリンタの修理は、保証の対象外となります。

原因: プリント カートリッジのクリーニングが必要です。

解決方法: セルフテスト レポートを印刷し、プリント カートリッジに問題がないか確認してください。セルフテスト レポートで問題が確認された場合、プリント カートリッジのクリーニングを行ってください。問題が解消されない場合は、プリント カートリッジの交換が必要です。

プリント カートリッジの詳細については、プリント カートリッジのトラブルシューティングを参照してください。

横方向の縞模様または筋が現れる

原因: 用紙が正しく給紙されていないか、または給紙トレイに正しくセットされていません。

解決方法: 用紙が正しくセットされていることを確認してください。

フルサイズの用紙をセットするには

1. 排紙トレイを取り外します。

2. 横方向用紙ガイドを一番外側の位置までスライドさせます。

3. 平らな面で用紙の端を揃え、次の点を確認します。
   - 用紙に破れ、ほこり、しわ、端の折れや波打ちがないこと
   - セットするすべての用紙が同じサイズ、同じ種類であること
4. 印刷面を下にして、用紙の短辺を給紙トレイに挿入します。用紙の束の先端が止まるまで奥に差し込んでください。

△ **注意** 給紙トレイに用紙をセットするときは、HP All-in-One が停止し、静かになっていることを確認してください。HP All-in-One がプリント カートリッジをクリーニングしていたり、その他のタスクを実行していると、用紙が途中で止まり、正しく装着されない場合があります。用紙を手動で押し込むと、HP All-in-One から空白のページが排紙されます。

ヒント レター ヘッドを使用する場合は、ページの上側から先に入れ、印刷面を下にしてください。フルサイズ用紙およびレターヘッドのセット方法については、給紙トレイの底面にある図を参照してください。

---

5. 横方向用紙ガイドを、用紙の端に当たって止まるまでスライドさせます。
   給紙トレイに用紙を入れすぎないようにしてください。用紙の束がきちんと給紙トレイの中に収まり、横方向用紙ガイドの上端より低いことを確認してください。

6. 排紙トレイを元に戻します。

7. 延長排紙トレイを手前に跳ね上げます。

> **注記** リーガル サイズの用紙を使用する場合は、用紙補助トレイを閉じておいてください。

原因: HP All-in-One の印刷またはコピーの品質設定が低すぎます。

解決方法: 品質設定を確認してください。 設定品質を高くして、印刷またはコピーに使用するインクの量を増やします。

印刷速度と品質を変更するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. お使いのソフトウェア アプリケーションで、**[ファイル]** メニューの **[プリント]** をクリックします。
3. HP All-in-One が使用するプリンタとして選択されていることを確認します。
4. ポップアップ メニューから、**[用紙の種類/品質]** を選択します。
5. **[用紙]** タブをクリックします。
6. **[用紙の種類]** ポップアップ メニューから、給紙トレイにセットされた用紙の種類を選択します。
7. **[品質]** ポップアップ メニューから、プロジェクトに適した品質設定を選択します。

コピー品質を変更するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. ガラス板の右下隅に合わせて原稿の印刷面を下にして、またはドキュメント フィーダ トレイに原稿の印刷面を上にして置きます。
   ドキュメント フィーダ トレイを使用する場合は、文書の先頭が最初になるようにページを置きます。
3. コピー 領域で、適切な品質設定が点灯するまで **品質** を繰り返し押します。
4. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

原因: プリント カートリッジのクリーニングが必要です。またはインク切れの可能性があります。

解決方法: プリント カートリッジのインク残量レベルをチェックします。プリント カートリッジのインク残量が少ない、またはインクがまったくない場合、プリント カートリッジの交換が必要になることがあります。

プリント カートリッジのインク残量が十分であるのに問題が解消されない場合は、セルフテスト レポートを印刷し、プリント カートリッジに問題があるかどうかを判断します。セルフテスト レポートで問題が確認された場合、プリント カートリッジのクリーニングを行ってください。問題が解消されない場合は、プリント カートリッジの交換が必要です。

プリント カートリッジの詳細については、プリント カートリッジのトラブルシューティングを参照してください。

原因: プリント カートリッジのインク ノズル部分の周囲に、繊維やほこりがたまっている可能性があります。

解決方法: プリント カートリッジを確認します。インク ノズルの周囲に繊維やほこりがあるように見える場合は、プリント カートリッジのインク ノズル部分をクリーニングします。

インク ノズル周辺をクリーニングするには

1. HP All-in-One の電源を入れ、プリント カートリッジのドアを開きます。
   インクホルダーが HP All-in-One の右端に移動します。
2. インクホルダーが停止して静かになってから、HP All-in-One の背面から電源コードを抜きます。

   注記 HP All-in-One のプラグを長い時間抜いていると、日付と時刻が消える場合があります。その場合は、後で電源ケーブルを元通りに差し込んだときに、日付と時刻を再設定してください。

3. プリント カートリッジを静かに下げて固定を解除してから、カートリッジを手前に引いてカートリッジ スロットから取り外します。

   注記 両方のプリント カートリッジを同時に取り外さないでください。取り外してクリーニングする作業は、一度に 1 つずつ行ってください。プリント カートリッジを 30 分以上 HP All-in-One から外しておかないでください。

4. インク ノズルの表面を上にして、1 枚の用紙の上にプリント カートリッジを置いてください。
5. きれいなスポンジ棒を蒸留水で軽く湿らします。
6. 下図のように、スポンジ棒でインク ノズル周辺の表面と端部をクリーニングします。

1	ノズル プレート (クリーニングしないでください)
2	インク ノズル周辺の表面と端

   注意 ノズル プレートは**クリーニングしない**でください。

7. プリント カートリッジを、スロットにスライドさせながら挿入します。 きちんとはまるまでプリント カートリッジを押し込んでください。

8. 必要であれば、もう一方のプリンタ カートリッジについても同じ作業をします。
9. プリント カートリッジのドアをゆっくり閉め、HP All-in-One の背面に電源コードを差し込みます。

原因: 送信側のファクス機に問題があります。

解決方法: 送信者に、送信側のファクス機に問題がないか確認するように依頼してください。

原因: 電話回線の接続ノイズが発生しています。雑音が多い電話回線は、印刷品質の問題が発生する原因となることがあります。

解決方法: 障害の原因が電話回線のノイズの場合は、送信者にファクスの再送信を依頼してください。2 回目の印刷品質は 1 回目の品質よりも向上することがあります。電話機を壁側のモジュラージャックに接続して、静的ノイズなどのノイズの有無を聞き取ると、電話回線の音質を確認できます。問題が解消されない場合は、[**エラー補正モード**] (ECM) をオフにして、電話会社に連絡してください。

コントロール パネルから ECM 設定を変更するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **5** を押し、次に **6** を押します。
   これで、[**ファクスの詳細設定**] と [**エラー補正モード**] が続けて選択されます。
3. ▶ を押して [**オン**] または [**オフ**] を選択します。
4. **OK** を押します。

色が薄いまたはくすんでいる

原因: プリント カートリッジのクリーニングが必要です。またはインク切れの可能性があります。

解決方法: プリント カートリッジのインク残量レベルをチェックします。プリント カートリッジのインク残量が少ない、またはインクがまったくない場合、プリント カートリッジの交換が必要になることがあります。

プリント カートリッジのインク残量が十分であるのに問題が解消されない場合は、セルフテスト レポートを印刷し、プリント カートリッジに問題があるかどうかを判断します。セルフテスト レポートで問題が確認された場合、プリント カートリッジのクリーニングを行ってください。問題が解消されない場合は、プリント カートリッジの交換が必要です。

プリント カートリッジの詳細については、プリント カートリッジのトラブルシューティングを参照してください。

原因: HP All-in-One の印刷またはコピーの品質設定が低すぎます。

解決方法:　品質設定を確認してください。 設定品質を高くして、印刷またはコピーに使用するインクの量を増やします。

コピー品質を変更するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. ガラス板の右下隅に合わせて原稿の印刷面を下にして、またはドキュメント フィーダ トレイに原稿の印刷面を上にして置きます。
   ドキュメント フィーダ トレイを使用する場合は、文書の先頭が最初になるようにページを置きます。
3. コピー 領域で、適切な品質設定が点灯するまで **品質** を繰り返し押します。
4. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

印刷速度と品質を変更するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. お使いのソフトウェア アプリケーションで、**[ファイル]** メニューの **[プリント]** をクリックします。
3. HP All-in-One が使用するプリンタとして選択されていることを確認します。
4. ポップアップ メニューから、**[用紙の種類/品質]** を選択します。
5. **[用紙]** タブをクリックします。
6. **[用紙の種類]** ポップアップ メニューから、給紙トレイにセットされた用紙の種類を選択します。
7. **[品質]** ポップアップ メニューから、プロジェクトに適した品質設定を選択します。

品質設定の変更の詳細については、**[HP Photosmart ソフトウェア ヘルプ]**の**[J5700 series ヘルプ]**セクションを参照してください。

原因:　用紙の種類が HP All-in-One に適していません。

解決方法:　あまり表面の粗い用紙を使うと、用紙の印刷面に HP All-in-One のインクが完全に定着しないことがあります。 HP プレミアム用紙 または HP All-in-One に対応するその他の用紙を使用してください。

用紙の選択の詳細については、サポートする用紙の仕様についてを参照してください。

原因:　HP All-in-One の[**薄く/濃く**] コピー設定が明るすぎます。

解決方法:　コピーの濃淡を調整します。

コントロール パネルからコピーのコントラストを調整するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. ガラス板の右下隅に合わせて原稿の印刷面を下にして、またはドキュメント フィーダ トレイに原稿の印刷面を上にして置きます。
   ドキュメント フィーダ トレイを使用する場合は、文書の先頭が最初になるようにページを置きます。
3. コピー 領域で、**メニュー** を繰り返し押して、**[薄く/濃く]** を表示します。
4. 次のいずれかの操作を行います。
   • ▶ を押して、コピーを濃くします。
   • ◀ を押して、コピーを薄くします。
5. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

原因:　**[用紙の種類]** 設定が正しくありません。

解決方法:　給紙トレイにセットされた用紙の種類に合わせて、**[用紙の種類]** 設定を変更します。

コピーする用紙の種類を設定するには

1. コピー 領域で、**メニュー** を繰り返し押して、**[用紙の種類]** を表示します。
2. 目的の用紙の種類が表示されるまで、▶ を押します。
3. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

プリントする用紙の種類を設定するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. お使いのソフトウェア アプリケーションで、**[ファイル]** メニューの **[プリント]** をクリックします。
3. HP All-in-One が使用するプリンタとして選択されていることを確認します。
4. ポップアップ メニューから、**[用紙の種類/品質]** を選択します。
5. **[用紙]** タブをクリックします。
6. **[用紙の種類]** ポップアップ メニューから、給紙トレイにセットされた用紙の種類を選択します。

原因:　新聞の写真など画質の良くない写真をコピーすると、筋、格子、しま模様などの模様がコピーに現れます。これは、モアレ パターンと呼ばれます。

解決方法:　モアレ パターンを防ぐには、ガラス板に透明なプラスチック製保護シートを直接敷き、その上に、印刷する面を下にして原稿をセットしてください。

原因:　ガラス板の表面や原稿カバーの裏面にほこりが付着している可能性があります。 そうすると、コピー品質が悪くなり、動作が遅くなります。

解決方法:

ガラス板をクリーニングするには

1. HP All-in-One の電源をオフにし、カバーを開けます。
2. 非摩耗性のガラス クリーナーを使用し、少し湿らせた柔らかい布かスポンジでガラス板を拭きます。

   △ **注意**　研磨剤、アセトン、ベンゼン、四塩化炭素などでガラス板を拭かないでください。ガラス板を傷める可能性があります。また、液体を直接ガラス板にかけないでください。ガラス板の下に液体が入り込んで本体を傷める可能性があります。

3. 乾いた糸くずの出ない柔らかい布でガラス板の水分をふき取り、しみが残らないようにします。
4. HP All-in-One の電源をオンにします。

原稿押さえをクリーニングするには

1. HP All-in-One の電源をオフにし、電源コードを外し、カバーを上げます。

   注記　HP All-in-One のプラグを長い時間抜いていると、日付と時刻が消える場合があります。その場合は、後で電源ケーブルを元通りに差し込んだときに、日付と時刻を再設定してください。

2. 刺激性の少ないせっけんとぬるま湯で、少し湿らせた柔らかい布かスポンジで原稿押さえを拭きます。
   原稿押さえを軽く拭いて汚れを落とします。力を入れてこすらないでください。

3. 乾いた糸くずの出ない柔らかい布で拭いて乾かします。

△ 注意　原稿押さえを傷つける可能性があるので、紙でできたクロスは使用しないでください。

4. さらにクリーニングが必要な場合には、イソプロピル (消毒用) アルコールを使用して上記の手順を繰り返してから、湿らせた布でカバーの裏側に残ったアルコールを完全に拭き取ってください。

△ 注意　ガラス板や HP All-in-One の塗装部品にアルコールをこぼさないように注意してください。デバイスに損傷を与える場合があります。

ファクスの印刷がぼやけてはっきりしない

原因:　送信者が低解像度を使用しています。または、印刷品質の良くない原稿で送信しました。

解決方法:　送信者に解像度を上げて原稿の品質を確認するように依頼してください。

原因:　HP All-in-One に適さない用紙が、給紙トレイにセットされています。

解決方法:　あまり表面の粗い用紙を使うと、用紙の印刷面に HP All-in-One のインクが完全に定着しないことがあります。 HP プレミアム用紙 または HP All-in-One に対応するその他の用紙を使用してください。

用紙の選択の詳細については、サポートする用紙の仕様についてを参照してください。

原因:　**[用紙の種類]** コピーまたは印刷設定が正しくありません。

解決方法:　給紙トレイにセットされた用紙の種類に合わせて、**[用紙の種類]** 設定を変更します。

コピーする用紙の種類を設定するには

1. コピー 領域で、**メニュー** を繰り返し押して、**[用紙の種類]** を表示します。
2. 目的の用紙の種類が表示されるまで、▶ を押します。
3. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

プリントする用紙の種類を設定するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. お使いのソフトウェア アプリケーションで、**[ファイル]** メニューの **[プリント]** をクリックします。

3. HP All-in-One が使用するプリンタとして選択されていることを確認します。
4. ポップアップ メニューから、**[用紙の種類/品質]** を選択します。
5. **[用紙]** タブをクリックします。
6. **[用紙の種類]** ポップアップ メニューから、給紙トレイにセットされた用紙の種類を選択します。

原因: HP All-in-One の印刷またはコピーの品質設定が低すぎます。

解決方法: 品質設定を確認してください。 設定品質を高くして、印刷またはコピーに使用するインクの量を増やします。

印刷速度と品質を変更するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. お使いのソフトウェア アプリケーションで、**[ファイル]** メニューの **[プリント]** をクリックします。
3. HP All-in-One が使用するプリンタとして選択されていることを確認します。
4. ポップアップ メニューから、**[用紙の種類/品質]** を選択します。
5. **[用紙]** タブをクリックします。
6. **[用紙の種類]** ポップアップ メニューから、給紙トレイにセットされた用紙の種類を選択します。
7. **[品質]** ポップアップ メニューから、プロジェクトに適した品質設定を選択します。

コピー品質を変更するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. ガラス板の右下隅に合わせて原稿の印刷面を下にして、またはドキュメント フィーダ トレイに原稿の印刷面を上にして置きます。
   ドキュメント フィーダ トレイを使用する場合は、文書の先頭が最初になるようにページを置きます。
3. コピー 領域で、適切な品質設定が点灯するまで **品質** を繰り返し押します。
4. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

原因: 用紙の裏面に印刷している可能性があります。

解決方法: 用紙は印刷面を下にしてセットしてください。たとえば、光沢フォト用紙をセットする場合には、光沢面を下にして用紙をセットします。

縦方向の縞模様が入る

原因: 用紙の種類が HP All-in-One に適していません。

解決方法: あまり表面の粗い用紙を使うと、用紙の印刷面に HP All-in-One のインクが完全に定着しないことがあります。 HP プレミアム用紙 または HP All-in-One に対応するその他の用紙を使用してください。

用紙の選択の詳細については、サポートする用紙の仕様についてを参照してください。

原因: 送信側のファクス機のガラス板または自動ドキュメント フィーダ (ADF) が汚れています。

解決方法: ファクスに縦方向の縞模様や筋が入る場合、送信側のファクス機のガラス板または自動ドキュメント フィーダ (ADF) が汚れている可能性があります。送信者にガラス板または自動ドキュメント フィーダ (ADF) に汚れがないかを確認してください。

斜めまたは歪んで印刷される

原因: 用紙が正しく給紙されていないか、または給紙トレイに正しくセットされていません。

解決方法: 用紙が正しくセットされていることを確認してください。

フルサイズの用紙をセットするには

1. 排紙トレイを取り外します。

2. 横方向用紙ガイドを一番外側の位置までスライドさせます。

3. 平らな面で用紙の端を揃え、次の点を確認します。
   - 用紙に破れ、ほこり、しわ、端の折れや波打ちがないこと
   - セットするすべての用紙が同じサイズ、同じ種類であること
4. 印刷面を下にして、用紙の短辺を給紙トレイに挿入します。用紙の束の先端が止まるまで奥に差し込んでください。

△ **注意** 給紙トレイに用紙をセットするときは、HP All-in-One が停止し、静かになっていることを確認してください。HP All-in-One がプリント カートリッジをクリーニングしていたり、その他のタスクを実行していると、用紙が途中で止まり、正しく装着されない場合があります。用紙を手動で押し込むと、HP All-in-One から空白のページが排紙されます。

ヒント レター ヘッドを使用する場合は、ページの上側から先に入れ、印刷面を下にしてください。フルサイズ用紙およびレターヘッドのセット方法については、給紙トレイの底面にある図を参照してください。

5. 横方向用紙ガイドを、用紙の端に当たって止まるまでスライドさせます。
   給紙トレイに用紙を入れすぎないようにしてください。用紙の束がきちんと給紙トレイの中に収まり、横方向用紙ガイドの上端より低いことを確認してください。

6. 排紙トレイを元に戻します。

7. 延長排紙トレイを手前に跳ね上げます。

> **注記** リーガル サイズの用紙を使用する場合は、用紙補助トレイを閉じておいてください。

原因: 送信側のファクス機に、原稿が正しくセットされていません。

解決方法: 送信者に、ファクスが正しく送信されたことを確認してください。

原因: 給紙トレイに複数の種類の用紙がセットされています。

解決方法: 複数の種類の用紙を同時にセットしないでください。ファクスを印刷する場合は、給紙トレイにレター、A4、またはリーガルの用紙がセットされていることを確認してください。

受信したファクスの印刷品質が悪い

原因: 電話回線の接続ノイズが発生しています。

解決方法: 障害の原因が電話回線のノイズの場合は、送信者にファクスの再送信を依頼してください。2 回目の印刷品質は 1 回目の品質よりも向上することがあります。電話機を壁側のモジュラージャックに接続して、静的ノイズなどのノイズの有無を聞き取ると、電話回線の音質を確認できま

す。問題が解消されない場合は、[**エラー補正モード**] (ECM) をオフにして、電話会社に連絡してください。

コントロール パネルから ECM 設定を変更するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **5** を押し、次に **6** を押します。
   これで、[**ファクスの詳細設定**] と [**エラー補正モード**] が続けて選択されます。
3. ▶ を押して [**オン**] または [**オフ**] を選択します。
4. **OK** を押します。

原因: 送信側のファクス機に問題があります。

解決方法: 送信者に、送信側のファクス機に問題があるかどうか確認するように依頼してください。また、他の送信者からのファクスの品質にも同じ問題があるかどうかを確認してください。

原因: 送信側のファクス機のガラス板または自動ドキュメント フィーダ (ADF) が汚れています。

解決方法: ファクスに縦方向の縞模様や筋が入る場合、送信側のファクス機のガラス板または自動ドキュメント フィーダ (ADF) が汚れている可能性があります。 送信者にガラス板または自動ドキュメント フィーダ (ADF) に汚れがないかを確認してください。

原因: プリント カートリッジのクリーニングが必要です。またはインク切れの可能性があります。

解決方法: プリント カートリッジのインク残量レベルをチェックします。プリント カートリッジのインク残量が少ない、またはインクがまったくない場合、プリント カートリッジの交換が必要になることがあります。

プリント カートリッジのインク残量が十分であるのに問題が解消されない場合は、セルフテスト レポートを印刷し、プリント カートリッジに問題があるかどうかを判断します。セルフテスト レポートで問題が確認された場合、プリント カートリッジのクリーニングを行ってください。問題が解消されない場合は、プリント カートリッジの交換が必要です。

プリント カートリッジの詳細については、プリント カートリッジのトラブルシューティングを参照してください。

受信したファクスの一部のページが薄い、または白紙になる

原因: プリント カートリッジのクリーニングが必要です。またはインク切れの可能性があります。

解決方法: プリント カートリッジのインク残量レベルをチェックします。プリント カートリッジのインク残量が少ない、またはインクがまったくない場合、プリント カートリッジの交換が必要になることがあります。

プリント カートリッジのインク残量が十分であるのに問題が解消されない場合は、セルフテスト レポートを印刷し、プリント カートリッジに問題があるかどうかを判断します。セルフテスト レポートで問題が確認された場合、プリント カートリッジのクリーニングを行ってください。問題が解消されない場合は、プリント カートリッジの交換が必要です。

プリント カートリッジの詳細については、プリント カートリッジのトラブルシューティングを参照してください。

原因: 送信者が送信側のファクス機に原稿を正しくセットしませんでした。

解決方法: 送信者に問い合わせて、送信側のファクス機に原稿を正しくセットしたか、または誤って白紙のページを送信していないか確認してください。

原因: HP All-in-One がファクスの印刷時に用紙を 2 枚給紙しています。

解決方法: HP All-in-One の用紙の残りが少なくなった場合は、給紙トレイに用紙を追加してください。給紙トレイに用紙が十分ある場合は、用紙を取り除いて、平らな面で用紙の端を揃えて、給紙トレイに再度用紙をセットしてください。

原因: ファクスに適さない用紙が、給紙トレイにセットされています。

解決方法: あまり表面の粗い用紙を使うと、用紙の印刷面に HP All-in-One のインクが完全に定着しないことがあります。 HP プレミアム用紙 または HP All-in-One に対応するその他の用紙を使用してください。

用紙の選択の詳細については、サポートする用紙の仕様についてを参照してください。

写真のコピーや印刷時にインクがはみ出す

原因: 写真のコピーを作成する場合、少量 (数ミリメートル) のはみ出しは一般的です。オーバースプレイが数ミリを超える場合は、HP All-in-One がセットされた用紙を実際の幅より広く認識している可能性があります。

ヒント 用紙に対してインクを使いすぎかどうかを判断する方法の 1 つは、コピーまたは印刷が完了した後で、印刷しているページの裏側をチェックすることです。ページの裏側にインクの筋が入る場合は、直前のコピーまたは印刷ジョブで HP All-in-One のインクが出すぎている可能性があります。

解決方法: 用紙サイズの設定を確認します。 プリンタの給紙トレイにセットした用紙と同じ用紙サイズに設定してください。

コントロール パネルから用紙サイズを設定するには

1. コピー 領域で、**メニュー** を繰り返し押して、[**コピー用紙サイズ**] を表示します。
2. 目的の用紙サイズが表示されるまで、▶ を押します。
3. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

給紙トレイから用紙が給紙されない

原因: 給紙トレイに十分な用紙がありません。

解決方法: HP All-in-One に用紙がなくなったり、残りが数枚になった場合は、給紙トレイに用紙を追加してください。給紙トレイに用紙がある場合は、用紙を取り除いて、平らな面で用紙の端を揃えて、給紙トレイにもう一度用紙をセットしてください。印刷ジョブを続けるには、HP All-in-One のコントロール パネルにある **OK** を押します。

印刷のトラブルシューティング

このセクションでは、次のような印刷の問題を解決します。

- 封筒が正しく印刷されない
- フチ無し印刷が指定どおり印刷されない
- HP All-in-One が応答しない
- HP All-in-One が無意味な文字を印刷する
- 印刷しようとしても何も動作しない
- 文書が印刷されない
- 余白が指定どおりに印刷されない
- 文字やグラフィックがページの端で欠ける
- 印刷中に空白ページが排紙される
- 写真を印刷するときに、HP All-in-One の内部がインクで汚れる

封筒が正しく印刷されない

原因: 封筒が正しくセットされていません。

解決方法: 給紙トレイから用紙をすべて取り出します。封筒のふたが上向きで左側にくるように、封筒を給紙トレイの奥まで入れてセットします。

注記 封筒のとじ目を内側に折り込んでおくと、紙詰まりを防ぐことができます。

封筒をセットするには

1. 排紙トレイを取り外します。
2. 給紙トレイから用紙をすべて取り出します。
3. 給紙トレイの右端に封筒を入れ、封筒のふたを上に向け、ふた側を左側にしてセットします。封筒の束を奥まで差し込んでください。

 ヒント　封筒のセット方法については、給紙トレイの底面にある図を参照してください。

4. 横方向用紙ガイドを、封筒に当たって止まるまでスライドさせます。
 給紙トレイに用紙を入れすぎないようにしてください。封筒の束がきちんと給紙トレイの中に収まり、横方向用紙ガイドの上端より低いことを確認してください。

5. 排紙トレイを元に戻します。

原因:　セットされた封筒の種類が間違っています。

解決方法:　光沢紙を使った封筒やエンボス加工された封筒、あるいは留め具付きの封筒や窓付き封筒は使わないでください。

原因:　封筒にインクがにじんでいます。

解決方法:　封筒に印刷するとインクがにじむ場合は、ふたを封筒の内側に折り込んでください。それでも問題が解決しない場合は、黒プリント カー

トリッジを取り外して、カラー プリント カートリッジだけをセットした状態で印刷してください。

フチ無し印刷が指定どおり印刷されない

原因: HP 以外のソフトウェア アプリケーションを使用して画像のフチ無し印刷を実行すると、予想通りの印刷結果が得られないことがあります。

解決方法: HP All-in-One 付属のフォト イメージング ソフトウェアの画像を使って印刷してみてください。

HP All-in-One が応答しない

原因: HP All-in-One が別のタスクでビジー状態です。

解決方法: HP All-in-One がコピー、ファクス、スキャンなどのほかの処理を行っている場合は、HP All-in-One が現在の処理を完了するまで印刷ジョブが遅延します。

印刷に時間のかかる原稿もあります。HP All-in-One に印刷ジョブの実行を命令してから、数分間何も印刷されない場合は、HP All-in-One のディスプレイを見てメッセージがないか確認してください。

原因: HP All-in-One が紙詰まりを起こしています。

解決方法: 紙詰まりの解消方法については、紙詰まりの解消を参照してください。

原因: HP All-in-One のトレイに用紙がありません。

解決方法: 給紙トレイに用紙をセットしてください。

フルサイズの用紙をセットするには

1. 排紙トレイを取り外します。

2. 横方向用紙ガイドを一番外側の位置までスライドさせます。

3. 平らな面で用紙の端を揃え、次の点を確認します。
   - 用紙に破れ、ほこり、しわ、端の折れや波打ちがないこと
   - セットするすべての用紙が同じサイズ、同じ種類であること
4. 印刷面を下にして、用紙の短辺を給紙トレイに挿入します。用紙の束の先端が止まるまで奥に差し込んでください。

△ **注意**　給紙トレイに用紙をセットするときは、HP All-in-One が停止し、静かになっていることを確認してください。HP All-in-One がプリント カートリッジをクリーニングしていたり、その他のタスクを実行していると、用紙が途中で止まり、正しく装着されない場合があります。用紙を手動で押し込むと、HP All-in-One から空白のページが排紙されます。

ヒント　レター ヘッドを使用する場合は、ページの上側から先に入れ、印刷面を下にしてください。フルサイズ用紙およびレターヘッドのセット方法については、給紙トレイの底面にある図を参照してください。

---

5. 横方向用紙ガイドを、用紙の端に当たって止まるまでスライドさせます。
   給紙トレイに用紙を入れすぎないようにしてください。用紙の束がきちんと給紙トレイの中に収まり、横方向用紙ガイドの上端より低いことを確認してください。

6. 排紙トレイを元に戻します。

7. 延長排紙トレイを手前に跳ね上げます。

注記 リーガル サイズの用紙を使用する場合は、用紙補助トレイを閉じておいてください。

原因: インクホルダーが停止しています。

解決方法: HP All-in-One の電源をオフにし、インクホルダーをふさいでいるもの (梱包材など) を取り除いてから、電源を再度オンにします。

原因: コンピュータ が HP All-in-One と通信できていません。

解決方法: HP All-in-One がコンピュータに正しく接続されていないと通信エラーの起きることがあります。次のように、USB ケーブルが HP All-in-One とコンピュータに接続されていることを確認してください。

HP Photosmart Studio (Mac) ソフトウェアからテスト ページを印刷すると、HP All-in-One と Mac の間の接続が正常に機能していることを確認できます。このテスト ページは、コントロール パネルから印刷できるセルフテスト レポートとは異なります。

テスト ページを印刷するには (Mac)

1. **[Dock]** の **[HP デバイス マネージャ]** をクリックします。
   [HP デバイス マネージャ] ウィンドウが表示されます。
2. **[情報と設定]** ドロップダウン メニューで、**[プリンタの保守]**を選択します。
3. HP All-in-One、**[ユーティリティを起動]** を続けて選択します。
4. **[テスト ページの印刷]** をクリックします。
   接続が確立して正常に機能している場合、テスト ページが印刷されます。HP All-in-One のセットアップの詳細については、HP All-in-One 付属の『セットアップ ガイド』を参照してください。

原因: HP All-in-One の電源がオフになっています。

解決方法: HP All-in-One のディスプレイを見てください。ディスプレイに何も表示されず、電源 ボタンの横のランプが点灯していない場合は、HP All-in-One の電源が入っていません。HP All-in-One の電源コードが電源コンセントにきちんと差し込まれていることを確認してください。電源 ボタンを押して、HP All-in-One の電源をオンにしてください。

原因: HP All-in-One にエラーが発生しました。

解決方法: HP All-in-One の電源を切り、電源コードを抜きます。電源コードを再び差し込み、電源 ボタンを押して、HP All-in-One の電源をオンにします。

> **注記** HP All-in-One のプラグを長い時間抜いていると、日付と時刻が消える場合があります。その場合は、後で電源ケーブルを元通りに差し込んだときに、日付と時刻を再設定してください。

HP All-in-One が無意味な文字を印刷する

原因: HP All-in-One のメモリがいっぱいです。

解決方法: HP All-in-One とコンピュータの電源を両方ともオフにし、そのまま 60 秒間待ってから両方ともオンに戻し、もう一度印刷してください。

原因: 文書が破損しています。

解決方法: 同じソフトウェア アプリケーションから別の文書を印刷してください。この印刷が正常に行われる場合は、以前に保存した文書 (破損していない文書) を印刷してください。

印刷しようとしても何も動作しない

原因: HP All-in-One の電源がオフになっています。

解決方法: HP All-in-One のディスプレイを見てください。ディスプレイに何も表示されず、電源 ボタンの横のランプが点灯していない場合は、HP All-in-One の電源が入っていません。HP All-in-One の電源コードが電源コンセントにきちんと差し込まれていることを確認してください。電源 ボタンを押して、HP All-in-One の電源をオンにしてください。

原因: HP All-in-One が別のタスクでビジー状態です。

解決方法: HP All-in-One がコピー、ファクス、スキャンなどのほかの処理を行っている場合は、HP All-in-One が現在の処理を完了するまで印刷ジョブが遅延します。

印刷に時間のかかる原稿もあります。HP All-in-One に印刷ジョブの実行を命令してから、数分間何も印刷されない場合は、HP All-in-One のディスプレイを見てメッセージがないか確認してください。

原因: HP All-in-One が、デフォルトのプリンタとして選択されていません。

解決方法: HP All-in-One がソフトウェア アプリケーションでデフォルトのプリンタとして選択されていることを確認してください。

原因: コンピュータ が HP All-in-One と通信できていません。

解決方法: HP All-in-One がコンピュータに正しく接続されていないと通信エラーの起きることがあります。次のように、USB ケーブルが HP All-in-One とコンピュータに接続されていることを確認してください。

HP Photosmart Studio (Mac) ソフトウェアからテスト ページを印刷すると、HP All-in-One と Mac の間の接続が正常に機能していることを確認できます。このテスト ページは、コントロール パネルから印刷できるセルフテスト レポートとは異なります。

テスト ページを印刷するには (Mac)

1. **[Dock]** の **[HP デバイス マネージャ]** をクリックします。
   [HP デバイス マネージャ] ウィンドウが表示されます。
2. **[情報と設定]** ドロップダウン メニューで、**[プリンタの保守]**を選択します。
3. HP All-in-One、**[ユーティリティを起動]** を続けて選択します。
4. **[テスト ページの印刷]** をクリックします。
   接続が確立して正常に機能している場合、テスト ページが印刷されます。HP All-in-One のセットアップの詳細については、HP All-in-One 付属の『セットアップ ガイド』を参照してください。

原因: HP All-in-One が紙詰まりを起こしています。

解決方法: 紙詰まりの解消方法については、紙詰まりの解消を参照してください。

原因: インクホルダーが停止しています。

解決方法: HP All-in-One の電源をオフにし、インクホルダーをふさいでいるもの (梱包材など) を取り除いてから、電源を再度オンにします。

原因: HP All-in-One のトレイに用紙がありません。

解決方法:　給紙トレイに用紙をセットしてください。

フルサイズの用紙をセットするには

1. 排紙トレイを取り外します。

2. 横方向用紙ガイドを一番外側の位置までスライドさせます。

3. 平らな面で用紙の端を揃え、次の点を確認します。
   - 用紙に破れ、ほこり、しわ、端の折れや波打ちがないこと
   - セットするすべての用紙が同じサイズ、同じ種類であること

4. 印刷面を下にして、用紙の短辺を給紙トレイに挿入します。用紙の束の先端が止まるまで奥に差し込んでください。

△ **注意** 給紙トレイに用紙をセットするときは、HP All-in-One が停止し、静かになっていることを確認してください。HP All-in-One がプリント カートリッジをクリーニングしていたり、その他のタスクを実行していると、用紙が途中で止まり、正しく装着されない場合があります。用紙を手動で押し込むと、HP All-in-One から空白のページが排紙されます。

ヒント レター ヘッドを使用する場合は、ページの上側から先に入れ、印刷面を下にしてください。フルサイズ用紙およびレターヘッドのセット方法については、給紙トレイの底面にある図を参照してください。

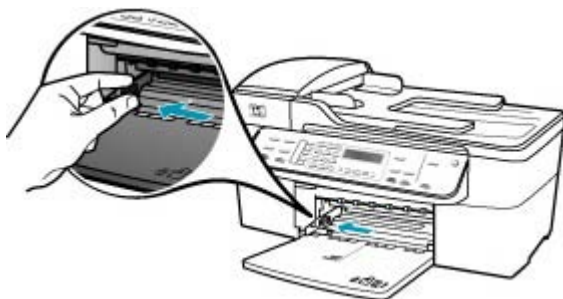
5. 横方向用紙ガイドを、用紙の端に当たって止まるまでスライドさせます。
給紙トレイに用紙を入れすぎないようにしてください。用紙の束がきちんと給紙トレイの中に収まり、横方向用紙ガイドの上端より低いことを確認してください。

6. 排紙トレイを元に戻します。

7. 延長排紙トレイを手前に跳ね上げます。

注記 リーガル サイズの用紙を使用する場合は、用紙補助トレイを閉じておいてください。

文書が印刷されない

原因: 給紙トレイが空であるかまたは紙詰まりが発生しています。

解決方法: 給紙トレイに用紙がセットされていて、紙詰まりがないことを確認してください。

フルサイズの用紙をセットするには

1. 排紙トレイを取り外します。

2. 横方向用紙ガイドを一番外側の位置までスライドさせます。

3. 平らな面で用紙の端を揃え、次の点を確認します。
   - 用紙に破れ、ほこり、しわ、端の折れや波打ちがないこと
   - セットするすべての用紙が同じサイズ、同じ種類であること
4. 印刷面を下にして、用紙の短辺を給紙トレイに挿入します。用紙の束の先端が止まるまで奥に差し込んでください。

△ **注意**　給紙トレイに用紙をセットするときは、HP All-in-One が停止し、静かになっていることを確認してください。HP All-in-One がプリント カートリッジをクリーニングしていたり、その他のタスクを実行していると、用紙が途中で止まり、正しく装着されない場合があります。用紙を手動で押し込むと、HP All-in-One から空白のページが排紙されます。

ヒント　レター ヘッドを使用する場合は、ページの上側から先に入れ、印刷面を下にしてください。フルサイズ用紙およびレターヘッドのセット方法については、給紙トレイの底面にある図を参照してください。

---

5. 横方向用紙ガイドを、用紙の端に当たって止まるまでスライドさせます。
   給紙トレイに用紙を入れすぎないようにしてください。用紙の束がきちんと給紙トレイの中に収まり、横方向用紙ガイドの上端より低いことを確認してください。

6. 排紙トレイを元に戻します。

7. 延長排紙トレイを手前に跳ね上げます。

> 注記　リーガル サイズの用紙を使用する場合は、用紙補助トレイを閉じておいてください。

紙詰まりの解消方法については、紙詰まりの解消を参照してください。

原因:　プリントカートリッジがインク切れの可能性があります。

解決方法:　プリント カートリッジのインク残量レベルをチェックします。プリント カートリッジのインク残量が少ない、またはインクがまったくない場合、プリント カートリッジの交換が必要になることがあります。

プリント カートリッジの詳細については、プリント カートリッジのトラブルシューティングを参照してください。

余白が指定どおりに印刷されない

原因:　お使いのソフトウェア アプリケーションで余白が正しく設定されていません。

解決方法:　プリンタ マージンを確認します。

余白の設定値を確認するには

1. HP All-in-One に印刷の実行を命令する前に、印刷ジョブを確認します。
2. 余白を確認します。
   HP All-in-One では、ソフトウェア アプリケーションで設定された余白が HP All-in-One の最小余白より大きい場合は、アプリケーション側の設定値が使われます。
3. 余白が条件を満たしていない場合は、印刷ジョブをキャンセルして、ソフトウェア アプリケーションで余白を調整します。

原稿の余白設定値は、HP All-in-One の印刷可能領域を超えないようにしてください。

原因:　用紙サイズが正しく設定されていません。

解決方法:　目的に合った正しい用紙サイズ設定を選んでいることを確認してください。必要なサイズの用紙が給紙トレイにセットされていることを確認してください。

原因:　給紙ガイドの位置が正しくありません。

解決方法: 給紙トレイから用紙をすべて取り出し、以下の手順に従って再度セットします。

フルサイズの用紙をセットするには

1. 排紙トレイを取り外します。

2. 横方向用紙ガイドを一番外側の位置までスライドさせます。

3. 平らな面で用紙の端を揃え、次の点を確認します。
   - 用紙に破れ、ほこり、しわ、端の折れや波打ちがないこと
   - セットするすべての用紙が同じサイズ、同じ種類であること

4. 印刷面を下にして、用紙の短辺を給紙トレイに挿入します。用紙の束の先端が止まるまで奥に差し込んでください。

△ **注意** 給紙トレイに用紙をセットするときは、HP All-in-One が停止し、静かになっていることを確認してください。HP All-in-One がプリント カートリッジをクリーニングしていたり、その他のタスクを実行していると、用紙が途中で止まり、正しく装着されない場合があります。用紙を手動で押し込むと、HP All-in-One から空白のページが排紙されます。

ヒント レター ヘッドを使用する場合は、ページの上側から先に入れ、印刷面を下にしてください。フルサイズ用紙およびレターヘッドのセット方法については、給紙トレイの底面にある図を参照してください。

---

5. 横方向用紙ガイドを、用紙の端に当たって止まるまでスライドさせます。
給紙トレイに用紙を入れすぎないようにしてください。用紙の束がきちんと給紙トレイの中に収まり、横方向用紙ガイドの上端より低いことを確認してください。

6. 排紙トレイを元に戻します。

7. 延長排紙トレイを手前に跳ね上げます。

> 注記 リーガル サイズの用紙を使用する場合は、用紙補助トレイを閉じておいてください。

原因: 封筒が正しくセットされていません。

解決方法: 給紙トレイから用紙をすべて取り出します。封筒のふたが上向きで左側にくるように、封筒を給紙トレイの奥まで入れてセットします。

> 注記 封筒のとじ目を内側に折り込んでおくと、紙詰まりを防ぐことができます。

文字やグラフィックがページの端で欠ける

原因:　お使いのソフトウェア アプリケーションで余白が正しく設定されていません。

解決方法:　原稿の余白設定値は、HP All-in-One の印刷可能領域を超えないようにしてください。

余白の設定値を確認するには

1. HP All-in-One に印刷の実行を命令する前に、印刷ジョブを確認します。
2. 余白を確認します。
   HP All-in-One では、ソフトウェア アプリケーションで設定された余白が HP All-in-One の最小余白より大きい場合は、アプリケーション側の設定値が使われます。
3. 余白が条件を満たしていない場合は、印刷ジョブをキャンセルして、ソフトウェア アプリケーションで余白を調整します。

原因:　印刷している文書のサイズが、給紙トレイにセットされている用紙のサイズより大きいサイズです。

解決方法:　印刷しようとしている文書のレイアウトが、HP All-in-One がサポートしている用紙サイズに収まることを確認してください。

印刷レイアウトのプレビューを表示するには

1. 正しいサイズの用紙を給紙トレイにセットします。
2. HP All-in-One で印刷する前に、印刷ジョブのプレビューを表示します。
3. 文書のグラフィックを見て、現在のサイズが HP All-in-One の印刷可能領域内に収まることを確認してください。
4. グラフィックがページの印刷可能領域内に収まらない場合は、印刷ジョブをキャンセルします。

ヒント　ソフトウェア アプリケーションによっては、現在選択されている用紙サイズに合わせて文書のサイズを調整することができるものもあります。また、印刷の **[用紙設定]** ダイアログ ボックスから、文書のサイズを調整することもできます。

原因:　用紙が正しくセットされていません。

解決方法:　給紙エラーが発生すると、ドキュメントの一部が欠ける可能性があります。

給紙トレイから用紙をすべて取り出し、以下の手順に従って再度セットします。

フルサイズの用紙をセットするには

1. 排紙トレイを取り外します。

2. 横方向用紙ガイドを一番外側の位置までスライドさせます。

3. 平らな面で用紙の端を揃え、次の点を確認します。
   - 用紙に破れ、ほこり、しわ、端の折れや波打ちがないこと
   - セットするすべての用紙が同じサイズ、同じ種類であること

4. 印刷面を下にして、用紙の短辺を給紙トレイに挿入します。用紙の束の先端が止まるまで奥に差し込んでください。

△ **注意** 給紙トレイに用紙をセットするときは、HP All-in-One が停止し、静かになっていることを確認してください。HP All-in-One がプリント カートリッジをクリーニングしていたり、その他のタスクを実行していると、用紙が途中で止まり、正しく装着されない場合があります。用紙を手動で押し込むと、HP All-in-One から空白のページが排紙されます。

ヒント レター ヘッドを使用する場合は、ページの上側から先に入れ、印刷面を下にしてください。フルサイズ用紙およびレターヘッドのセット方法については、給紙トレイの底面にある図を参照してください。

---

5. 横方向用紙ガイドを、用紙の端に当たって止まるまでスライドさせます。
   給紙トレイに用紙を入れすぎないようにしてください。用紙の束がきちんと給紙トレイの中に収まり、横方向用紙ガイドの上端より低いことを確認してください。

6. 排紙トレイを元に戻します。

7. 延長排紙トレイを手前に跳ね上げます。

注記　リーガル サイズの用紙を使用する場合は、用紙補助トレイを閉じておいてください。

印刷中に空白ページが排紙される

原因:　黒い文字を印刷している場合に HP All-in-One から何も印刷されずに排紙されるときは、黒プリント カートリッジが空になっている可能性があります。

解決方法:　プリント カートリッジのインク残量レベルをチェックします。プリント カートリッジのインク残量が少ない、またはインクがまったくない場合、プリント カートリッジの交換が必要になることがあります。

プリント カートリッジのインク残量が十分であるのに問題が解消されない場合は、セルフテスト レポートを印刷し、プリント カートリッジに問題があるかどうかを判断します。セルフテスト レポートで問題が確認された場合、プリント カートリッジのクリーニングを行ってください。問題が解消されない場合は、プリント カートリッジの交換が必要です。

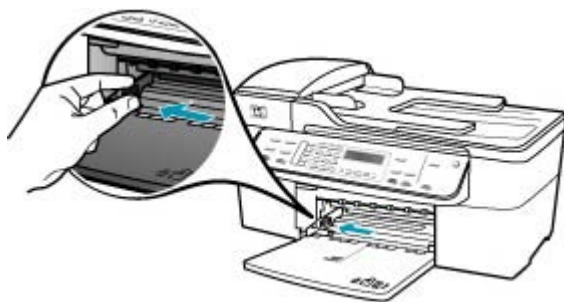
詳細については、プリント カートリッジのトラブルシューティングを参照してください。

原因:　印刷している文書に、余分な空白ページが含まれています。

解決方法: ソフトウェア アプリケーションで文書ファイルを開き、文書の終わりに余分なページまたは線が入っていないか確認してください。

原因: HP All-in-One が用紙を 2 枚給紙しています。

解決方法: HP All-in-One の用紙の残りが少なくなった場合は、給紙トレイに用紙を追加してください。給紙トレイに用紙が十分ある場合は、用紙を取り除いて、平らな面で用紙の端を揃えて、給紙トレイに再度用紙をセットしてください。印刷ジョブを続けるには、HP All-in-One のコントロール パネルにある **OK** ボタンを押します。

フルサイズの用紙をセットするには

1. 排紙トレイを取り外します。

2. 横方向用紙ガイドを一番外側の位置までスライドさせます。

3. 平らな面で用紙の端を揃え、次の点を確認します。
   - 用紙に破れ、ほこり、しわ、端の折れや波打ちがないこと
   - セットするすべての用紙が同じサイズ、同じ種類であること

4. 印刷面を下にして、用紙の短辺を給紙トレイに挿入します。用紙の束の先端が止まるまで奥に差し込んでください。

△ **注意** 給紙トレイに用紙をセットするときは、HP All-in-One が停止し、静かになっていることを確認してください。HP All-in-One がプリント カートリッジをクリーニングしていたり、その他のタスクを実行していると、用紙が途中で止まり、正しく装着されない場合があります。用紙を手動で押し込むと、HP All-in-One から空白のページが排紙されます。

ヒント レター ヘッドを使用する場合は、ページの上側から先に入れ、印刷面を下にしてください。フルサイズ用紙およびレターヘッドのセット方法については、給紙トレイの底面にある図を参照してください。

5. 横方向用紙ガイドを、用紙の端に当たって止まるまでスライドさせます。
給紙トレイに用紙を入れすぎないようにしてください。用紙の束がきちんと給紙トレイの中に収まり、横方向用紙ガイドの上端より低いことを確認してください。

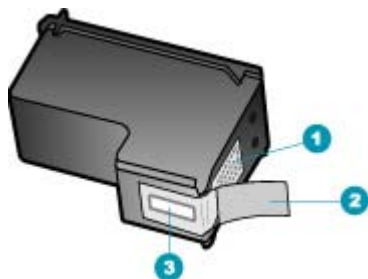
6. 排紙トレイを元に戻します。

7. 延長排紙トレイを手前に跳ね上げます。

> 注記　リーガル サイズの用紙を使用する場合は、用紙補助トレイを閉じておいてください。

原因:　保護用プラスチック テープの一部がプリント カートリッジに残っています。

解決方法:　各プリント カートリッジを確認してください。保護テープを銅色の接点から取り外しても、インク ノズルをふさいでいる可能性があります。テープがインク ノズルをふさいでいる場合は、プリント カートリッジ

からテープを注意深く取り除いてください。銅色の接点やインク ノズルには触れないでください。

1	銅色の接点
2	ピンクのつまみの付いた保護テープ (本体に取り付ける前に取り外してください)
3	テープの下にあるインク ノズル

写真を印刷するときに、HP All-in-One の内部がインクで汚れる

原因: フチ無し印刷設定では、給紙トレイにフォト用紙をセットする必要があります。フチ無し印刷設定では、フォト用紙をセットしてください。

解決方法: フチ無し印刷を実行する前に、給紙トレイにフォト用紙がセットされていることを確認してください。

ファクスのトラブルシューティング

このセクションでは、次のようなファクスの問題を解決します。

- HP All-in-One でファクスの送受信がうまくできない
- HP All-in-One でファクスを送信できないが、受信はできる
- HP All-in-One で手動によるファクスの送信がうまくできない
- 送信したファクスの一部のページが欠ける
- 送信したファクスの品質が悪い
- 送信したファクスの一部が欠ける

- 送信したファクスが相手側では白紙で受信された
- ファクスの伝送速度が遅い
- HP All-in-One でファクスを受信できないが、送信はできる
- HP All-in-One で手動によるファクスの受信がうまくできない
- ファクス トーンが留守番電話に録音されている
- HP All-in-One が受信ファクスに応答しない
- 受信したファクスに抜けているページがある
- ファクスは受信しているのに印刷が始まらない
- 受信したファクスの一部が欠けている
- 接続しているコンピュータには電話ポートが 1 つしかない
- HP All-in-One を接続したあと、電話回線上で雑音が聞こえる
- ファクス テストに失敗した
- IP 電話を使ったインターネット経由のファクスの送受信がうまくできない
- ファクス ログ レポートでエラーが出力される

HP All-in-One でファクスの送受信がうまくできない

原因: HP All-in-One のファクス機能のセットアップが正しく行われていません。

解決方法: HP All-in-One と同じ電話回線上で他の機器やサービスを使用している場合、HP All-in-One で正しくファクスするには、指示に従って設定します。次に、ファクス テストを実行して、HP All-in-One の状態を確認し、ファクス機能のセットアップが正しく行われていることを確認します。詳細については、HP All-in-One でファクスをセットアップするを参照してください。

テスト結果は、レポートとして HP All-in-One から印刷されます。テストに失敗した場合、レポートを参照して、問題の解決方法を確認してください。

コントロール パネルからファクス機能のセットアップをテストするには

1. 家庭やオフィスなど、お使いになる用途に合わせた指示に従って、HP All-in-One のファクス機能をセットアップします。
2. テストを行う前に、プリント カートリッジを取り付け、給紙トレイに普通紙をセットします。
3. **セットアップ** を押します。
4. **6** を押し、もう一度 **6** を押します。
   これで、[**ツール**] メニューと [**ファクス テストを実行**] が続けて選択されます。
   HP All-in-One のディスプレイにテストの状態が表示され、レポートが印刷されます。

5. レポートを確認します。
    - テストに合格してもファクスの問題が解消されない場合は、レポートに記載されているファクス設定を調べて、正しく設定されていることを確認します。ファクス設定が行われていない、または不適切な場合は、ファクスに問題が発生する可能性があります。
    - テストに失敗した場合は、レポートを参照して問題の解決方法を確認してください。
6. HP All-in-One からファクス レポートを取り出した後、**OK** を押します。必要ならば、見つかった問題を解決して、テストを再実行します。

原因: HP All-in-One の電源がオフになっています。

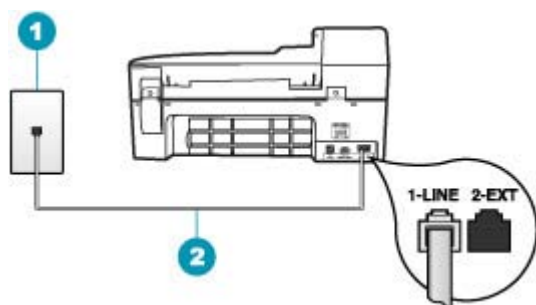
解決方法: HP All-in-One のディスプレイを見てください。ディスプレイに何も表示されず、電源 ボタンが点灯していない場合は、HP All-in-One の電源が入っていません。HP All-in-One の電源コードが電源コンセントにきちんと差し込まれていることを確認してください。電源 ボタンを押して、HP All-in-One の電源をオンにしてください。

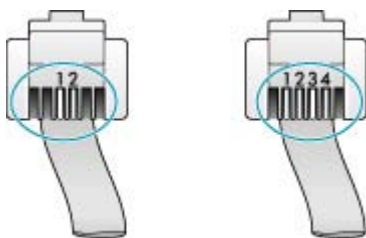
原因: HP All-in-One の接続に使用された電話コードが正しくありません。または、電話コードが間違ったポートに接続されています。

解決方法:

注記 この解決策は、2 線式電話コードが HP All-in-One に同梱されている次の国または地域にのみ適用されます。アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、カナダ、チリ、中国、コロンビア、ギリシャ、インド、インドネシア、アイルランド、日本、韓国、ラテン アメリカ、マレーシア、メキシコ、フィリピン、ポーランド、ポルトガル、ロシア、サウジアラビア、シンガポール、スペイン、台湾、タイ、米国、ベネズエラ、ベトナム。

HP All-in-One に付属の電話コードを使用して、壁側のモジュラージャックに接続していることを確認してください。下図のように、特殊な 2 線式電

話コードの一方の端を HP All-in-One の後部にある 1-LINE と書かれたポートに接続し、もう一方の端を壁側のモジュラージャックに接続します。

1	壁側のモジュラージャック
2	HP All-in-One に付属の電話コードを使用

このコードは専用の 2 線式電話コードです。オフィスで一般的に見られる 4 線式電話コードとは異なります。コードの端を確認して、下図に示されている 2 種類のコードと比較してください。

4 線式コードを使用している場合は、それを取り外し、付属の 2 線式コードを HP All-in-One の後部にある 1-LINE と書かれたポートに接続します。

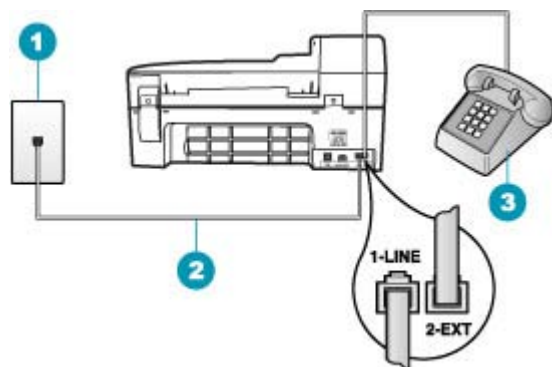
HP All-in-One に 2 線式電話コード アダプタが付属している場合、付属の 2 線式電話コードが短すぎるときには、4 線式電話コードにそのアダプタを装着して使用することができます。 2 線式電話コード アダプタを HP All-in-One の後部にある 1-LINE と書かれたポートに取り付けます。 4 線式電話コードをアダプタの空きポートと壁側のモジュラージャックに接続します。 2 線式電話コード アダプタの使用方法については、付属のマニュアルを参照してください。

原因:　HP All-in-One と一緒に使用する他のオフィス機器 (留守番電話や電話機など) が正しく設定されていません。

解決方法:

> 注記　この解決策は、2 線式電話コードが HP All-in-One に同梱されている次の国または地域にのみ適用されます。アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、カナダ、チリ、中国、コロンビア、ギリシャ、インド、インドネシア、アイルランド、日本、韓国、ラテン アメリカ、マレーシア、メキシコ、フィリピン、ポーランド、ポルトガル、ロシア、サウジアラビア、シンガポール、スペイン、台湾、タイ、米国、ベネズエラ、ベトナム。

HP All-in-One が壁側のモジュラージャックに正しく接続されていること、および HP All-in-One と電話回線を共有するその他の機器および設備が正しく接続されていることを確認してください。

壁側のモジュラージャックと接続するには、HP All-in-One の後部にある 1-LINE と書かれたポートを使用します。下図のように、留守番電話や電話機などその他の機器と接続するには、2-EXT と書かれたポートを使用します。

1	壁側のモジュラージャック
2	HP All-in-One に付属の電話コードを使用
3	電話機 (オプション)

原因:　電話回線スプリッターを使用しています。

解決方法:　電話回線スプリッターがファクス使用時の問題の原因となることがあります(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです)。スプリッターを取り除き、HP All-in-One を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。

原因:　壁側のモジュラージャックが正しく機能していません。

解決方法:　正常に機能する電話機と電話コードを、HP All-in-One に使用している壁側のモジュラージャックに接続し、発信音の有無を確認します。発信音が聞こえない場合、電話会社にお問い合わせください。

原因: 電話回線の接続ノイズが発生しています。電話回線の音質が悪い (ノイズがある) と、ファクスの使用時に問題が発生することがあります。

解決方法: 障害の原因が電話回線のノイズの場合は、送信者にファクスの再送信を依頼してください。2 回目の印刷品質は 1 回目の品質よりも向上することがあります。電話機を壁側のモジュラージャックに接続して、静的ノイズなどのノイズの有無を聞き取ると、電話回線の音質を確認できます。問題が解消されない場合は、[**エラー補正モード**] (ECM) をオフにして、電話会社に連絡してください。

ファクスの問題が解決しない場合は、[**ファクス速度**] の速度を遅くし、[**標準**] または [**ゆっくり**] などに設定します。

コントロール パネルから ECM 設定を変更するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **5** を押し、次に **6** を押します。
   これで、[**ファクスの詳細設定**] と [**エラー補正モード**] が続けて選択されます。
3. ▶ を押して [**オン**] または [**オフ**] を選択します。
4. **OK** を押します。

コントロール パネルからファクス速度を設定するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **5** を押し、次に **7** を押します。
   これで、[**ファクスの詳細設定**] と [**ファクス速度**] が続けて選択されます。
3. ▶ を押して次のいずれかの設定を選択し、**OK** を押します。

ファクス速度の設定	ファクス速度
[はやい]	v.34 (33600 ボー)
[標準]	v.17 (14400 ボー)
[ゆっくり]	v.29 (9600 ボー)

原因: HP All-in-One と同じ電話回線の他の機器が使用中である可能性があります。

解決方法: 内線電話 (同じ電話回線を使用している電話で、HP All-in-One に接続されていないもの) またはその他の機器が使用中でないこと、受話器が外れていないことを確認してください。内線電話の受話器が外れている場合や、コンピュータのモデムを経由して E メールの送信やインターネットへのアクセスを実行している場合、HP All-in-One のファクス機能は使用できません。

原因: HP All-in-One と同じ電話回線を使用している DSL サービスの DSL フィルタが接続されていません。

解決方法: DSL サービスの使用時は、DSL フィルタが接続されていることを確認してください。接続されていないと、ファクスを使用することができません。DSL サービスでは、HP All-in-One と干渉し、HP All-in-One によるファクスの送受信を妨害するデジタル信号が電話回線で発信されます。DSL フィルタは、このデジタル信号を除去して、HP All-in-One が電話回線と正しく交信できるようにします。フィルタが接続済みであるかの確認は、電話回線の音または発信音を聞いてください。電話回線でノイズまたは静電ノイズが聞こえる場合、DSL フィルタが設置されていないか、または設置方法が正しくありません。DSL フィルタは、DSL プロバイダから入手してください。DSL フィルタを入手済みの場合、正しく接続されていることを確認してください。

原因: 他の処理が原因で、HP All-in-One でエラーが発生しました。

解決方法: ディスプレイまたはコンピュータで、問題とその解決法のエラー メッセージを確認してください。エラーが解決するまで、HP All-in-One はファクスの送受信をすることができません。

エラー メッセージの詳細については、エラーを参照してください。

原因: PBX または ISDN コンバータ/ターミナル アダプタを使用しています。

解決方法:

- HP All-in-One がファクスと電話用のポートに接続されていることを確認します。 また、ターミナル アダプタがお住まいの国/地域に対応したスイッチ タイプに設定されていることも確認してください。

  > 注記 ISDN システムの中には、ユーザーが特定の電話機器に応じてポートを設定できるようになっているものがあります。たとえば、電話と G3 規格のファクスに 1 つのポートを割り当て、多目的用に別のポートを割り当てることができます。ISDN コンバータのファクス/電話ポートに接続すると問題が発生する場合は、多用途向けのポートを使用してみてください。ポートには、"multi-combi" などのようなラベルが付けられています。

- [**ファクス速度**] を [**標準**] または [**ゆっくり**] に設定してみます。

原因: [**ファクス速度**] 設定が速すぎます。

解決方法: ファクスの送受信を現在の設定よりも遅い速度で実行する必要があります。 次のいずれかを使用する場合は、[**ファクス速度**] を [**標準**] または [**ゆっくり**] に設定してみます。

- インターネット電話サービス
- PBX システム

• FoIP (Fax over IP)
• ISDN サービス

コントロール パネルからファクス速度を設定するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **5** を押し、次に **7** を押します。
   これで、[**ファクスの詳細設定**] と [**ファクス速度**] が続けて選択されます。
3. ▶ を押して次のいずれかの設定を選択し、**OK** を押します。

ファクス速度の設定	ファクス速度
[はやい]	v.34 (33600 ボー)
[標準]	v.17 (14400 ボー)
[ゆっくり]	v.29 (9600 ボー)

原因: HP All-in-One が、デジタル電話用にセットアップされた壁側のモジュラージャックに接続されている可能性があります。

解決方法: HP All-in-One をアナログ電話回線に接続していることを確認してください。アナログ電話回線に接続していないと、ファクスを送受信できません。電話回線がデジタルであるかどうかを確認するには、回線に通常のアナログ電話を接続してダイヤルトーンを聞きます。通常のダイヤル音が聞こえない場合は、デジタル電話用に設定された電話回線の場合があります。HP All-in-One をアナログ回線に接続し、ファクスの送受信を試します。

原因: HP All-in-One は、DSL サービスと同じ電話回線を使用しており、DSL モデムが正しく接地されていない可能性があります。

解決方法: DSL モデムが正しく接地されていない場合、電話回線にノイズが発生することがあります。電話回線の音質が悪い (ノイズがある) と、ファクスの使用時に問題が発生することがあります。電話機を壁側のモジュラージャックに接続して、静的ノイズなどのノイズの有無を聞き取ると、電話回線の音質を確認できます。

ノイズが聞こえる場合

1. DSL モデムの電源を切り、少なくとも 15 分間は完全に通電を断ちます。
2. DSL モデムの電源を再び入れます。
3. 再びダイヤルトーンを聞きます。ダイヤルトーンがはっきり聞こえる (ノイズや空電雑音がない) 場合は、ファクスを送受信してみてください。

注記 今後、電話回線で再び雑音が聞こえる場合があります。
HP All-in-One でファクスの送受信ができない場合は、この手順を繰り返してください。

電話回線のノイズが消えない場合、電話会社に連絡してください。DSL モデムをオフにする方法については、DSL プロバイダにお問い合わせください。

原因: IP 電話を使ってインターネット経由でファクスを送信していますが、転送に問題が発生しました。

解決方法: 後で再度ファクスを送信してみてください。 また、お使いのインターネット サービス プロバイダが FoIP をサポートしていることを確認してください。

問題が解決しない場合、インターネット サービス プロバイダに連絡してください。

HP All-in-One でファクスを送信できないが、受信はできる

原因: HP All-in-One のファクス機能のセットアップが正しく行われていません。

解決方法: HP All-in-One と同じ電話回線上で他の機器やサービスを使用している場合、HP All-in-One で正しくファクスするには、指示に従って設定します。次に、ファクス テストを実行して、HP All-in-One の状態を確認し、ファクス機能のセットアップが正しく行われていることを確認します。詳細については、HP All-in-One でファクスをセットアップするを参照してください。

テスト結果は、レポートとして HP All-in-One から印刷されます。テストに失敗した場合、レポートを参照して、問題の解決方法を確認してください。

コントロール パネルからファクス機能のセットアップをテストするには

1. 家庭やオフィスなど、お使いになる用途に合わせた指示に従って、HP All-in-One のファクス機能をセットアップします。
2. テストを行う前に、プリント カートリッジを取り付け、給紙トレイに普通紙をセットします。
3. **セットアップ** を押します。
4. **6** を押し、もう一度 **6** を押します。
   これで、[**ツール**] メニューと [**ファクス テストを実行**] が続けて選択されます。
   HP All-in-One のディスプレイにテストの状態が表示され、レポートが印刷されます。

5. レポートを確認します。
   - テストに合格してもファクスの問題が解消されない場合は、レポートに記載されているファクス設定を調べて、正しく設定されていることを確認します。ファクス設定が行われていない、または不適切な場合は、ファクスに問題が発生する可能性があります。
   - テストに失敗した場合は、レポートを参照して問題の解決方法を確認してください。
6. HP All-in-One からファクス レポートを取り出した後、**OK** を押します。必要ならば、見つかった問題を解決して、テストを再実行します。

原因:　HP All-in-One のダイヤルする速度が速すぎるか、またはダイヤルの間隔が短すぎます。

解決方法:　ファクス番号の途中に間隔の挿入が必要になることがあります。たとえば、電話番号をダイヤルする前に外線にアクセスする必要がある場合、外線番号の後ろに間隔を挿入してください。ダイヤルする番号が 95555555 で、9 が外線へのアクセス番号である場合、9-555-5555 のように間隔を挿入します。 9-555-5555. 入力するファクス番号間に一定の間隔を入れるには、カラー グラフィック ディスプレイにダッシュ記号 ([-]) が表示されるまで、**リダイヤル/ポーズ** を押すか、**スペース** ボタンを繰り返し押します。

ファクスを送信する際に短縮ダイヤルを使用している場合、番号の途中に間隔を含めるため、短縮ダイヤルを更新してください。

ダイヤルのモニタ機能を使用してファクスを送信できます。これにより、ダイヤル時に電話回線の音を聞くことができます。ダイヤルのペースを設定し、ダイヤル時にプロンプトに応答できます。

原因:　ファクス送信の際に入力したファクス番号の形式が正しくありません。

解決方法:　入力したファクス番号とその形式が間違っていないか確認してください。たとえば、電話システムによっては番号の最初に「9」を加えてダイヤルする必要があります。

電話回線で PBX システムを使用している場合は、ファクス番号をダイヤルする前に外線用の番号をダイヤルしていることを確認してください。

原因:　受信側のファクス機に問題があります。

解決方法:　電話機からファクス番号をダイヤルし、ファクス トーンを聞いてください。ファクス トーンが聞こえない場合は、受信側のファクス機の電源が入っていなかったり、接続されていなかったりする場合があります。また、ボイス メール サービスが、受信側の電話回線を妨害している場合もあります。受信者に、受信側のファクス機に問題がないか確認するように依頼してください。

HP All-in-One で手動によるファクスの送信がうまくできない

原因: 受信側のファクス機が手動によるファクスの受信をサポートしていない可能性があります。

解決方法: 受信者に、受信側のファクス機がファクスを手動で受信できるか確認してください。

原因: ファクス トーンが聞こえてから 3 秒以内に **ファクス スタート - モノクロ** または **ファクス スタート - カラー** が押されませんでした。

解決方法: 手動でファクスを送信する場合、受信側のファクス トーンが聞こえてから 3 秒以内に **ファクス スタート - モノクロ** または **ファクス スタート - カラー** を押してください。3 秒を超えると送信できません。

電話から手動でファクスを送信するには

1. ドキュメント フィーダ トレイに、印刷面を上にして原稿をセットします。

   注記 ガラス板に原稿をセットした場合、この機能は使用できません。原稿はドキュメント フィーダ トレイにセットしてください。

2. HP All-in-One に接続された電話のダイヤルキーから、番号をダイヤルします。

   注記 手動でファクスを送信するときは、HP All-in-One のコントロール パネルのキーパッドは使用しないでください。受信者の番号をダイヤルするには、電話機のダイヤルを押します。

3. 受信者が応答した場合、ファクスを送信する前に会話をすることができます。

   注記 ファクス機が応答すると、受信中のファクス機からファクスのトーン音が聞こえます。次の手順に進んで、ファクスを送信します。

4. ファクスを送信する準備ができたら、**ファクス スタート - モノクロ** または **ファクス スタート - カラー** を押します。

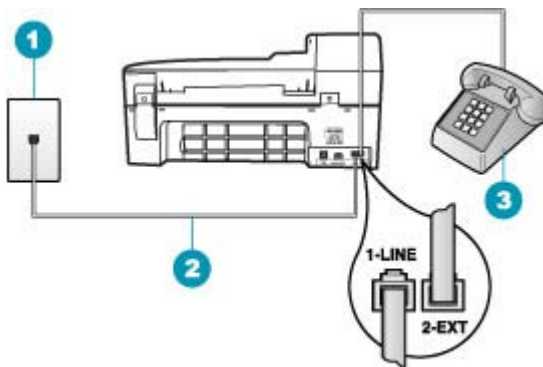
   注記 画面の指示に従い、**1** を押して [**ファクス送信**] を選択し、**ファクス スタート - モノクロ** または **ファクス スタート - カラー** をもう一度押します。

   ファクス送信前に受信者と話している場合は、ファクスのトーン音が聞こえたらファクス機のスタートボタンを押すように、前もって受信者に知らせてください。
   ファクスの送信中は、電話回線は無音になります。この時点で、受話器を置くことができます。ファクス受信が完了した後、受信者と続けて話をする場合は、電話を切らないでください。

原因: ファクスを実行するために使用する電話機が HP All-in-One に直接接続されていません。または、接続が正しくありません。

解決方法:

注記　この解決策は、2 線式電話コードが HP All-in-One に同梱されている次の国または地域にのみ適用されます。アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、カナダ、チリ、中国、コロンビア、ギリシャ、インド、インドネシア、アイルランド、日本、韓国、ラテン アメリカ、マレーシア、メキシコ、フィリピン、ポーランド、ポルトガル、ロシア、サウジアラビア、シンガポール、スペイン、台湾、タイ、米国、ベネズエラ、ベトナム。

ファクスを手動で送信するには、下図のように、HP All-in-One の後部にある 2-EXT と書かれたポートに電話機を直接接続してください。

1	壁側のモジュラージャック
2	HP All-in-One に付属の電話コードを使用
3	電話

原因:　**[ファクス速度]** 設定が速すぎる可能性があります。

解決方法: [**ファクス速度**] を [**標準**] または [**ゆっくり**] に設定し、ファクスを再送します。

コントロール パネルからファクス速度を設定するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **5** を押し、次に **7** を押します。
   これで、[**ファクスの詳細設定**] と [**ファクス速度**] が続けて選択されます。
3. ▶ を押して次のいずれかの設定を選択し、**OK** を押します。

ファクス速度の設定	ファクス速度
[はやい]	v.34 (33600 ボー)
[標準]	v.17 (14400 ボー)
[ゆっくり]	v.29 (9600 ボー)

原因: HP All-in-One がドキュメント フィーダ トレイにセットされている原稿を検出できません。

解決方法: ドキュメント フィーダ トレイに原稿をセットしていない、または原稿を十分奥まで差し込んでいない場合は、ファクスを手動で送信することはできません。 ドキュメント フィーダ トレイに原稿をセットするか、または原稿をトレイの奥まで差し込んでください。 HP All-in-One が原稿を検出すると、ディスプレイに確認メッセージが表示されます。

送信したファクスの一部のページが欠ける

原因: ドキュメント フィーダ トレイから一度に 2 枚以上給紙されています。

解決方法: [**最終の処理**] レポートを印刷し、送信したページ数を確認します。複数ページが重なっており、同時にドキュメント フィーダ トレイから給紙された場合、レポートに記載されるページ数は、実際のページ数と一致しません。レポートのページ番号が実際のページ番号と一致していない場合、セパレータ パッドをクリーニングする必要があります。

[最終の処理] レポートを印刷するには

1. **セットアップ** を押し、次に **2** を押します。
   [**レポートの印刷**] が選択されます。
2. ▶ を押して [**最終の処理**] を選択し、**OK** を押します。

プリント カートリッジのクリーニング方法については、自動ドキュメント フィーダのクリーニングを参照してください。

原因: 受信側のファクス機に問題があります。

解決方法: 電話機からファクス番号をダイヤルし、ファクス トーンを聞いてください。ファクス トーンが聞こえない場合は、受信側のファクス機の電源が入っていなかったり、接続されていなかったりする場合があります。また、ボイス メール サービスが、受信側の電話回線を妨害している場合もあります。受信側のファクス機のメモリがいっぱいになっているか、用紙切れになっている可能性があります。受信者に、受信側のファクス機に問題がないか確認するように依頼してください。

原因: 電話回線の接続ノイズが発生しています。電話回線の音質が悪い (ノイズがある) と、ファクスの使用時に問題が発生することがあります。

解決方法: 障害の原因が電話回線のノイズの場合は、送信者にファクスの再送信を依頼してください。2 回目の印刷品質は 1 回目の品質よりも向上することがあります。電話機を壁側のモジュラージャックに接続して、静的ノイズなどのノイズの有無を聞き取ると、電話回線の音質を確認できます。問題が解消されない場合は、[**エラー補正モード**] (ECM) をオフにして、電話会社に連絡してください。

コントロール パネルから ECM 設定を変更するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **5** を押し、次に **6** を押します。
   これで、[**ファクスの詳細設定**] と [**エラー補正モード**] が続けて選択されます。
3. ▶ を押して [**オン**] または [**オフ**] を選択します。
4. **OK** を押します。

送信したファクスの品質が悪い

原因: 電話回線の接続ノイズが発生しています。電話回線の音質が悪い (ノイズがある) と、ファクスの使用時に問題が発生することがあります。

解決方法: 障害の原因が電話回線のノイズの場合は、送信者にファクスの再送信を依頼してください。2 回目の印刷品質は 1 回目の品質よりも向上することがあります。電話機を壁側のモジュラージャックに接続して、静的ノイズなどのノイズの有無を聞き取ると、電話回線の音質を確認できます。問題が解消されない場合は、[**エラー補正モード**] (ECM) をオフにして、電話会社に連絡してください。

問題が続く場合は、[**エラー補正モード**] (ECM) が [**オン**] になっていることを確認してください。なっていない場合は、ECM 設定を [**オン**] に変更します。ファクスの送信時間は長くなりますが、受信ファクスの印刷品質が改善します。

それでも印刷品質が悪い場合は、ECM をオフにしてから、電話プロバイダに連絡してください。

コントロール パネルから ECM 設定を変更するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **5** を押し、次に **6** を押します。
   これで、[**ファクスの詳細設定**] と [**エラー補正モード**] が続けて選択されます。
3. ▶ を押して [**オン**] または [**オフ**] を選択します。
4. **OK** を押します。

原因: ファクスの解像度の設定が、[**標準**] などの低い解像度に設定されています。

解決方法: ファクスの品質を高めるため、ファクス解像度を [**高画質**]、[**超高画質**] (可能な場合)、または [**写真**] (モノクロ写真) に変更します。

コントロール パネルから解像度を変更するには

1. ドキュメント フィーダ トレイに、印刷面を上にして原稿をセットします。 ファクスを 1 枚のみ送信する場合は、ガラス板に印刷面を下にしてセットし、送信することもできます。

   注記 複数のページをファクスする場合は、送信する原稿をドキュメント フィーダ トレイにセットします。ガラス板から複数ページの原稿をファクス送信することはできません。

2. ファクス 領域で、**メニュー** を押します。
   [**番号を入力**] メッセージが表示されます。
3. キーパッドを使ってファクス番号を入力するか、**短縮ダイヤル** またはワンタッチ短縮ダイヤル ボタンを押して短縮ダイヤルを選択するか、**リダイヤル/ポーズ** を押して最後にダイヤルした番号をリダイヤルします。
4. ファクス 領域で、**メニュー** を繰り返し押して、[**解像度**] を表示します。
5. ▶ を押して、解像度設定を選択し、**OK** を押します。
6. **ファクス スタート - モノクロ** を押します。
   - **装置が自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出すると**、HP All-in-One は入力した番号にドキュメントを送信します。
   - **装置が自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出できないと**、[**ガラス板からファクス送信?**] メッセージが表示されます。原稿がガラス板にセットされていることを確認し、**1** を押して [**はい**] を選択します。

原因: HP All-in-One のガラスが汚れています。

解決方法: ガラス板からファクスを送信する場合は、コピーを行って、プリントアウトの品質を確認してください。印刷の品質が悪い場合、ガラスをクリーニングしてください。

コントロール パネルからコピーを作成するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. ガラス板の右下隅に合わせて原稿の印刷面を下にして、またはドキュメント フィーダ トレイに原稿の印刷面を上にして置きます。
   ドキュメント フィーダ トレイを使用する場合は、文書の先頭が最初になるようにページを置きます。
3. 次のいずれかの操作を行います。
   - モノクロ コピーを行うには、**コピー スタート - モノクロ** を押します。
   - カラー コピーを行うには、**コピー スタート - カラー** を押します。

   注記 カラー原稿の場合は、**コピー スタート - モノクロ** を押すとモノクロ コピーになり、**コピー スタート - カラー** を押すとフルカラー コピーになります。

ガラス板をクリーニングするには

1. HP All-in-One の電源をオフにし、カバーを開けます。
2. 非摩耗性のガラス クリーナーを使用し、少し湿らせた柔らかい布かスポンジでガラス板を拭きます。

   注意 研磨剤、アセトン、ベンゼン、四塩化炭素などでガラス板を拭かないでください。ガラス板を傷める可能性があります。また、液体を直接ガラス板にかけないでください。ガラス板の下に液体が入り込んで本体を傷める可能性があります。

3. 乾いた糸くずの出ない柔らかい布でガラス板の水分をふき取り、しみが残らないようにします。
4. HP All-in-One の電源をオンにします。

原因: 受信側のファクス機に問題があります。

解決方法: 電話機からファクス番号をダイヤルし、ファクス トーンを聞いてください。ファクス トーンが聞こえない場合は、受信側のファクス機の電源が入っていなかったり、接続されていなかったりする場合があります。また、ボイス メール サービスが、受信側の電話回線を妨害している場合もあります。 受信者に、受信側のファクス機に問題がないか確認するように依頼してください。

原因: **[薄く/濃く]** 設定が明るすぎます。 かすれ字、退色、または手書きのファクスを送信する場合、またはドキュメントに透かし (朱印やスタンプなど) がある場合は、**[薄く/濃く]** 設定を変更して、原稿よりも濃くしてファクスを送信します。

解決方法: コピーを行って、印刷の品質を確認してください。印刷の濃度が薄すぎる場合は、ファクスの送信時に [**薄く/濃く**] 設定を調整して濃くします。

コントロール パネルから [薄く/濃く] 設定を変更するには

1. ドキュメント フィーダ トレイに、印刷面を上にして原稿をセットします。 ファクスを 1 枚のみ送信する場合は、ガラス板に印刷面を下にしてセットし、送信することもできます。

   注記 複数のページをファクスする場合は、送信する原稿をドキュメント フィーダ トレイにセットします。ガラス板から複数ページの原稿をファクス送信することはできません。

2. ファクス 領域で、**メニュー** を押します。
   [**番号を入力**] が表示されます。
3. キーパッドを使ってファクス番号を入力するか、**短縮ダイヤル** またはワンタッチ短縮ダイヤル ボタンを押して短縮ダイヤルを選択するか、**リダイヤル/ポーズ** を押して最後にダイヤルした番号をリダイヤルします。
4. ファクス 領域で、**メニュー** を繰り返し押して、[**薄く/濃く**] を表示します。
5. ファクスを薄くするには ◀ を、濃くするには ▶ を押して、**OK** を押します。
   押した矢印ボタンに応じて、インジケータが左右に動きます。
6. **ファクス スタート - モノクロ** を押します。
   - **装置が自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出すると**、HP All-in-One は入力した番号にドキュメントを送信します。
   - **装置が自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出できないと**、[**ガラス板からファクス送信?**] メッセージが表示されます。原稿がガラス板にセットされていることを確認し、**1** を押して [**はい**] を選択します。

送信したファクスの一部が欠ける

原因: レター サイズまたは A4 用紙よりサイズの大きい原稿をファクスしています。

解決方法: 一部のファクス機は、レターまたは A4 の用紙より大きいファクスの受信に対応していません。受信側のファクス機が、送信文書のサイズに対応しているか確認してください。対応していない場合、受信側のファクス機に受信ファクスをレターまたは A4 サイズなどの標準用紙サイズに合わせて縮小できる機能がついているか受信者に確認してください。

送信したファクスが相手側では白紙で受信された

原因:　原稿がセットされていません。または、正しくセットされていません。

解決方法:　ドキュメント フィーダ トレイに原稿をセットします。ファクスを 1 枚のみ送信する場合、ガラス板にセットして送信することもできます。

ドキュメント フィーダ トレイに原稿をセットするには

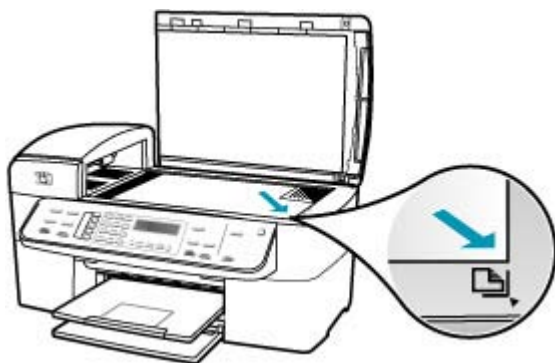
1. ドキュメント フィーダ トレイに、印刷面を上にして原稿をセットします。自動ドキュメント フィーダに用紙をスライドさせます。正しくセットされると、ビープ音が鳴るか、ディスプレイに HP All-in-One がセットした用紙を認識したことを示すメッセージが表示されます。

   ヒント　原稿を自動ドキュメント フィーダにセットする方法については、ドキュメント フィーダ トレイにある図を参照してください。

2. 用紙の両端に当たって止まるまで、用紙ガイドをスライドさせます。

注記　HP All-in-One のカバーを持ち上げる前に、ドキュメント フィーダ トレイから原稿をすべて取り出してください。

ガラス面に原稿をセットするには

1. すべての原稿をドキュメント フィーダ トレイから取り出してから、HP All-in-One のカバーを持ち上げてください。
2. 印刷面を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。

3. カバーを閉じます。

ファクスの伝送速度が遅い

原因: ファクスをカラーで送信しています。

解決方法: ファクスをカラーで送信すると、モノクロで送信する場合より時間がかかります。モノクロで送信してください。

原因: 文書に多くの画像や細かいデータが含まれています。

解決方法: 高速送信するには、[**標準**] 解像度を使用します。この設定では、ファクスの品質を下げて、送信速度を速くします。デフォルトの解像度は [**高画質**] で、送信に時間がかかる場合があります。

コントロール パネルから解像度を変更するには

1. ドキュメント フィーダ トレイに、印刷面を上にして原稿をセットします。 ファクスを 1 枚のみ送信する場合は、ガラス板に印刷面を下にしてセットし、送信することもできます。

   注記 複数のページをファクスする場合は、送信する原稿をドキュメント フィーダ トレイにセットします。ガラス板から複数ページの原稿をファクス送信することはできません。

2. ファクス 領域で、**メニュー** を押します。
   [**番号を入力**] メッセージが表示されます。

3. キーパッドを使ってファクス番号を入力するか、**短縮ダイヤル** またはワンタッチ短縮ダイヤル ボタンを押して短縮ダイヤルを選択するか、**リダイヤル/ポーズ** を押して最後にダイヤルした番号をリダイヤルします。
4. ファクス 領域で、**メニュー** を繰り返し押して、[**解像度**] を表示します。
5. ▶ を押して、解像度設定を選択し、**OK** を押します。
6. **ファクス スタート - モノクロ** を押します。
   - **装置が自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出すると**、HP All-in-One は入力した番号にドキュメントを送信します。
   - **装置が自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出できないと**、[**ガラス板からファクス送信?**] メッセージが表示されます。原稿がガラス板にセットされていることを確認し、**1** を押して [**はい**] を選択します。

原因: 電話回線の接続ノイズが発生しています。電話回線の音質が悪い (ノイズがある) と、ファクスの使用時に問題が発生することがあります。

解決方法: 障害の原因が電話回線のノイズの場合は、送信者にファクスの再送信を依頼してください。2 回目の印刷品質は 1 回目の品質よりも向上することがあります。電話機を壁側のモジュラージャックに接続して、静的ノイズなどのノイズの有無を聞き取ると、電話回線の音質を確認できます。問題が解消されない場合は、[**エラー補正モード**] (ECM) をオフにして、電話会社に連絡してください。

コントロール パネルから ECM 設定を変更するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **5** を押し、次に **6** を押します。
   これで、[**ファクスの詳細設定**] と [**エラー補正モード**] が続けて選択されます。
3. ▶ を押して [**オン**] または [**オフ**] を選択します。
4. **OK** を押します。

原因: ファクス解像度の設定が、[**高画質**] (デフォルト) や [**写真**] など高く設定されています。

解決方法: 高速送信するには、[**標準**] 解像度を使用します。この設定では、ファクスの品質を下げて、送信速度を速くします。

コントロール パネルから解像度を変更するには

1. ドキュメント フィーダ トレイに、印刷面を上にして原稿をセットします。 ファクスを 1 枚のみ送信する場合は、ガラス板に印刷面を下にしてセットし、送信することもできます。

   注記 複数のページをファクスする場合は、送信する原稿をドキュメント フィーダ トレイにセットします。ガラス板から複数ページの原稿をファクス送信することはできません。

2. ファクス 領域で、**メニュー** を押します。
   [**番号を入力**] メッセージが表示されます。
3. キーパッドを使ってファクス番号を入力するか、**短縮ダイヤル** またはワンタッチ短縮ダイヤル ボタンを押して短縮ダイヤルを選択するか、**リダイヤル/ポーズ** を押して最後にダイヤルした番号をリダイヤルします。
4. ファクス 領域で、**メニュー** を繰り返し押して、[**解像度**] を表示します。
5. ▶ を押して、解像度設定を選択し、**OK** を押します。
6. **ファクス スタート - モノクロ** を押します。
   - **装置が自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出すると**、HP All-in-One は入力した番号にドキュメントを送信します。
   - **装置が自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出できないと**、[**ガラス板からファクス送信?**] メッセージが表示されます。原稿がガラス板にセットされていることを確認し、**1** を押して [**はい**] を選択します。

原因: 受信側のファクス機に問題があります。

解決方法: 電話機からファクス番号をダイヤルし、ファクス トーンを聞いてください。ファクス トーンが聞こえない場合は、受信側のファクス機の電源が入っていなかったり、接続されていなかったりする場合があります。また、ボイス メール サービスが、受信側の電話回線を妨害している場合もあります。受信者に、受信側のファクス機に問題がないか確認するように依頼してください。

原因: [**ファクス速度**] オプションが低い送信速度に設定されています。

解決方法: [**ファクス速度**] オプションが [**はやい**] または [**標準**] に設定されていることを確認します。

コントロール パネルからファクス速度を設定するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **5** を押し、次に **7** を押します。
   これで、[**ファクスの詳細設定**] と [**ファクス速度**] が続けて選択されます。
3. ▶ を押して次のいずれかの設定を選択し、**OK** を押します。

ファクス速度の設定	ファクス速度
[はやい]	v.34 (33600 ボー)
[標準]	v.17 (14400 ボー)
[ゆっくり]	v.29 (9600 ボー)

HP All-in-One でファクスを受信できないが、送信はできる

原因: HP All-in-One のファクス機能のセットアップが正しく行われていません。

解決方法: HP All-in-One と同じ電話回線上で他の機器やサービスを使用している場合、HP All-in-One で正しくファクスするには、指示に従って設定します。次に、ファクス テストを実行して、HP All-in-One の状態を確認し、ファクス機能のセットアップが正しく行われていることを確認します。詳細については、HP All-in-One でファクスをセットアップするを参照してください。

テスト結果は、レポートとして HP All-in-One から印刷されます。テストに失敗した場合、レポートを参照して、問題の解決方法を確認してください。

コントロール パネルからファクス機能のセットアップをテストするには

1. 家庭やオフィスなど、お使いになる用途に合わせた指示に従って、HP All-in-One のファクス機能をセットアップします。
2. テストを行う前に、プリント カートリッジを取り付け、給紙トレイに普通紙をセットします。
3. **セットアップ** を押します。
4. **6** を押し、もう一度 **6** を押します。
   これで、[**ツール**] メニューと [**ファクス テストを実行**] が続けて選択されます。
   HP All-in-One のディスプレイにテストの状態が表示され、レポートが印刷されます。

5. レポートを確認します。
   • テストに合格してもファクスの問題が解消されない場合は、レポートに記載されているファクス設定を調べて、正しく設定されていることを確認します。ファクス設定が行われていない、または不適切な場合は、ファクスに問題が発生する可能性があります。
   • テストに失敗した場合は、レポートを参照して問題の解決方法を確認してください。
6. HP All-in-One からファクス レポートを取り出した後、**OK** を押します。必要ならば、見つかった問題を解決して、テストを再実行します。

原因: [**自動応答**] がオフのため、HP All-in-One は受信ファクスに応答しません。受信ファクスに応答するには、ユーザーが手動で受信操作をしなければなりません。この操作を行わないと、HP All-in-One は受信ファクスに応答しません。

解決方法: オフィスのセットアップによっては、受信ファクスに自動応答するように HP All-in-One を設定できる場合があります。お使いのオフィスのセットアップに適した応答モードを選択するには、セットアップに適した推奨応答モードを選択を参照してください。

[**自動応答**] をオフにしておく必要がある場合は、ファクスを受信するときに **ファクス スタート - モノクロ** または **ファクス スタート - カラー** を押す必要があります。

ヒント HP All-in-One が遠くにありコントロール パネルに手が届かない場合は、数秒後に、電話で **1 2 3** と押します。HP All-in-One のファクス受信が始まらない場合は、さらに数秒間待って、再び **1 2 3** と押します。HP All-in-One のファクス受信が始まったら、受話器を置いてください。

原因: ファクスと同じ電話番号でボイス メール サービスを利用しています。

解決方法: ファクスの着信に手動で応答するように HP All-in-One を設定します。ファクスと同じ電話番号でボイス メール サービスを利用している場合、ファクスを自動受信することはできません。すべてのファクスを手動で受信する必要があります。受信ファクスの着信に応答するためにその場にいる必要があります。

ボイスメール サービスをお使いの場合に HP All-in-One でファクスをセットアップする方法の詳細については、HP All-in-One でファクスをセットアップする を参照してください。

原因: HP All-in-One と同じ電話回線でコンピュータ モデムを使用しています。

解決方法:　HP All-in-One と同じ電話回線上にコンピュータ モデムがある場合は、モデムに付属のソフトウェアが、ファクスを自動受信するような設定になっていないことを確認してください。ファクスを自動受信するよう設定されたモデムは、すべての受信ファクスを受け取るため、自動的に電話回線を引き継ぐので、HP All-in-One がファクス呼び出しを受信できなくなります。

原因:　HP All-in-One と同じ電話回線上に留守番電話がある場合は、以下のいずれかの問題が発生している可能性があります。

- 発信メッセージが長すぎる、または発信メッセージの音量が大きすぎるために HP All-in-One がファクス トーンを検出できず、それが原因で送信元のファクス機が切断される。
- HP All-in-One がファクス トーンを検出できるだけの充分な時間が、留守番電話の発信メッセージの後にない。この問題は、デジタル留守番電話の場合に最もよく発生します。

解決方法:　HP All-in-One と同じ電話回線上に留守番電話がある場合は、以下の処置を実行してください。

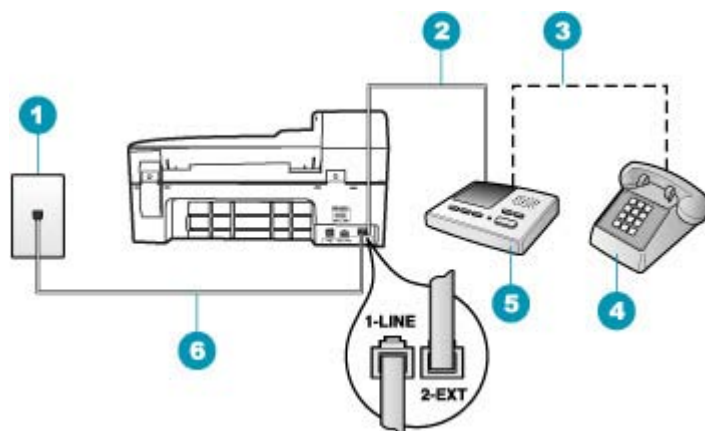
- 留守番電話の接続を解除し、ファクスを受信してみる。この状態でファクスの受信に成功した場合は、留守番電話が原因である可能性があります。
- 留守番電話をもう一度接続し、発信メッセージを録音し直します。約 10 秒の長さのメッセージを録音します。メッセージを録音するときには、低い音量で、ゆっくりと話してください。音声メッセージの後、沈黙した状態で 5 秒以上録音を続けます。この沈黙時間を録音するときには、バックグラウンド ノイズが入らないよう注意します。 もう一度ファクスを受信してください。

原因:　留守番電話が HP All-in-One に対して適切にセットアップされていません。

解決方法:

注記　この解決策は、2 線式電話コードが HP All-in-One に同梱されている次の国または地域にのみ適用されます。アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、カナダ、チリ、中国、コロンビア、ギリシャ、インド、インドネシア、アイルランド、日本、韓国、ラテン アメリカ、マレーシア、メキシコ、フィリピン、ポーランド、ポルトガル、ロシア、サウジアラビア、シンガポール、スペイン、台湾、タイ、米国、ベネズエラ、ベトナム。

ファクスと同じ電話回線で留守番電話を使用する場合、下図のように、2-EXT と書かれたポートを使用して、留守番電話を HP All-in-One に直接接

続してください。また留守番電話と HP All-in-One の両方に対して、適切な呼び出し回数を設定します。

1	壁側のモジュラージャック
2	留守番電話の IN ポートへの接続
3	留守番電話の OUT ポートへの接続
4	電話機 (オプション)
5	留守番電話
6	HP All-in-One に付属の電話コードを使用

HP All-in-One のファクス機能が自動受信に設定されていることと [**応答呼出し回数**] 設定が適切であることを確認してください。HP All-in-One の応答するまでの呼び出し回数を、留守番電話が応答するまでの回数よりも多く設定する必要があります。 留守番電話の呼び出し回数を少なくし、HP All-in-One の呼び出し回数をサポートしている最大数に設定します (呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります)。この設定では、留守番電話が電話に応答し、HP All-in-One が電話回線を監視します。
HP All-in-One がファクス受信音を検出した場合は、HP All-in-One はファクスを受信します。音声の場合には、留守番電話が着信メッセージを録音します。

コントロール パネルで応答までの呼び出し回数を設定するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **4** を押し、[**ファクスの基本設定**] を呼び出します。
3. [**応答呼出し回数**] の設定項目を選び、キーパッドを使用して呼び出し回数を入力するか、◀ または ▶ を押して呼び出し回数を変更します。
4. **OK** を押して設定します。

応答モードを設定するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **4** を押し、[**ファクスの基本設定**] を呼び出します。
3. **自動応答** の設定項目を選び、オンまたはオフを選択します。
4. **OK** を押して設定します。

原因: ファクス用電話番号の呼び出し音のパターンが特殊なため (電話会社を通じて着信識別サービスを使用している)、HP All-in-One の [**応答呼出し音のパターン**] 設定が合致していません。

解決方法: ファクス用電話番号の呼び出し音のパターンが特殊な場合 (電話会社を通じて着信識別サービスを使用している場合) は、それに合致するように HP All-in-One の [**応答呼出し音のパターン**] 設定を確認してください。たとえば、電話会社からファクス番号に 2 回の呼び出し音パターンが割り当てられている場合は、[**応答呼出し音のパターン**] 設定として [**呼び出し 2 回**] が選択されていることを確認します。

注記 短音と長音を交互に繰り返すパターンなど、HP All-in-One では一部の呼び出し音パターンを認識することができません。このようなタイプの呼び出し音パターンを使っているときに問題が生じる場合は、電話会社に、交互型でない呼び出し音パターンを割り当てを依頼してください。

着信識別サービスを使用していない場合は、HP All-in-One の [**応答呼出し音のパターン**] 設定が [**すべての呼び出し**] になっていることを確認します。

コントロール パネルで応答呼び出し音のパターンを変更するには

1. HP All-in-One がファクスの呼び出しに自動応答するよう設定されていることを確認します。
2. **セットアップ** を押します。
3. **5** を押し、次に **1** を押します。
   これで、[**ファクスの詳細設定**] と [**応答呼出し音のパターン**] が続けて選択されます。
4. ▶ を押してオプションを選択し、**OK** を押します。
   ファクス回線に割り当てられた呼び出し音で電話が鳴ると、HP All-in-One は着信に応答して、ファクスを受信します。

原因: [**応答呼出し音のパターン**] 設定が [**すべての呼び出し**] ではありません (着信識別サービスも使用していません)。

解決方法: 着信識別サービスを使用していない場合は、HP All-in-One の [**応答呼出し音のパターン**] 設定が [**すべての呼び出し**] になっていることを確認します。

原因: ファクスの信号レベルが不十分であるため、ファクスの受信に問題が発生している可能性があります。

解決方法: HP All-in-One が、留守番電話やコンピュータ モデム、マルチポート スイッチ ボックスなど、その他のタイプの電話機器と同じ電話回線を共有している場合は、ファクスの信号レベルが減衰することがあります。 スプリッターを使ったり、別のケーブルをつないで電話コードを延長しても信号レベルは低下します。 ファクスの信号レベルが低下すると、ファクスの受信に問題が発生する場合があります。

- スプリッターまたは延長ケーブルを使用している場合は、それを外して HP All-in-One を直接壁のモジュラージャックに接続してみてください。
- ほかの機器が問題の原因となっているかどうかを調べるには、HP All-in-One 以外のすべてのものを電話回線から取り外し、ファクスを受信してみてください。他の機器を接続しないでファクスを正常に受信できた場合は、機器のいずれかが問題の原因になっています。機器を 1 つずつ追加し、問題の原因となっている機器を識別してください。

原因: HP All-in-One のメモリがいっぱいです。

解決方法: **[バックアップ ファクス受信]** がオンで、HP All-in-One にエラー状態がある場合は、メモリがまだ印刷されていないファクスでいっぱいになり、HP All-in-One が留守番電話を停止します。HP All-in-One がファクスを印刷するのを妨げるエラーが発生している場合は、コントロール パネルのディスプレイの表示を見て、エラーの内容を確認してください。次の点についても確認してください。

- HP All-in-One のファクス機能のセットアップが正しく行われていません。詳細については、HP All-in-One でファクスをセットアップするを参照してください。
- 給紙トレイに用紙がありません。
- 紙詰まりが発生しています。

- プリント カートリッジ アクセスドアが開いています。次に示すように、プリント カートリッジ アクセスドアを閉じます。

- インクホルダーが途中で停止しています。 HP All-in-One の電源をオフにし、インクホルダーをふさいでいるもの (梱包材など) を取り除いてから、電源を再度オンにします。

問題を解決してください。HP All-in-One は、印刷されていないすべてのファクスを、メモリから自動的に印刷し始めます。メモリをクリアするため、HP All-in-One をオフにして、メモリ内に保存されたファクスを削除することもできます。

原因: エラーが発生し、HP All-in-One がファクスを受信することができず、[**バックアップ ファクス受信**] が [**オフ**] にセットされています。

解決方法: 次の問題がないか確認してください。

- HP All-in-One の電源がオフになっています。電源 ボタンを押して、デバイスの電源を入れてください。
- HP All-in-One のファクス機能のセットアップが正しく行われていません。詳細については、HP All-in-One でファクスをセットアップするを参照してください。
- 給紙トレイに用紙がありません。
- 紙詰まりが発生しています。

- プリント カートリッジ アクセスドアが開いています。プリント カートリッジ アクセスドアを閉じます。
- インクホルダーが途中で停止しています。 HP All-in-One の電源をオフにし、インクホルダーをふさいでいるもの (梱包材など) を取り除いてから、電源を再度オンにします。

注記 **[バックアップ ファクス受信]** がオンの状態で HP All-in-One の電源をオフにすると、HP All-in-One のエラー発生中に受信した印刷待ちのファクスも含めて、メモリに保存されたファクスはすべて消去されます。このような場合、印刷していないファクスをもう一度送ってもらうように送信者に依頼してください。受信したファクス一覧を見るには、**[ファクス ログ]**を印刷します。HP All-in-One の電源がオフになっても**[ファクス ログ]**は削除されません。

確認された問題を解決すると、HP All-in-One は受信ファクスに応答できるようになります。

HP All-in-One で手動によるファクスの受信がうまくできない

原因: ドキュメント フィーダ トレイに原稿がセットされています。

解決方法: 原稿がドキュメント フィーダ トレイに置かれている場合、HP All-in-One では手動でファクスを受信できません。HP All-in-One は、ファクスの受信ではなく、ドキュメント フィーダ トレイに置かれている原稿の送信を試みます。ファクスを手動で受信する前に、原稿を取り除いてください。

また、送信側のファクス機に原稿がセットされているかどうかを送信者に問い合わせることもできます。

原因: **[ファクス速度]** 設定が速すぎる可能性があります。

解決方法: **[ファクス速度]** を **[標準]** または **[ゆっくり]** に設定し、送信者に連絡を取って、ファクスを再送してもらいます。

コントロール パネルからファクス速度を設定するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **5** を押し、次に **7** を押します。
   これで、**[ファクスの詳細設定]** と **[ファクス速度]** が続けて選択されます。
3. ▶ を押して次のいずれかの設定を選択し、**OK** を押します。

ファクス速度の設定	ファクス速度
[はやい]	v.34 (33600 ボー)
[標準]	v.17 (14400 ボー)

ファクス速度の設定	ファクス速度
[ゆっくり]	v.29 (9600 ボー)

原因: ディスプレイにエラー メッセージまたはその他のプロンプトが表示されます。

解決方法: ディスプレイで、問題とその解決法が示されたエラー メッセージまたはプロンプトを確認してください。ディスプレイにエラー メッセージまたはプロンプトがある場合は、エラー状態が解決され、メッセージが消えるまで、HP All-in-One は、ファクスを手動で受信しません。

HP All-in-One に調整メッセージが表示されている場合は、**OK** を押してメッセージをクリアし、ファクス受信を再開してください。エラー メッセージの詳細については、調整が必要または調整に失敗を参照してください。

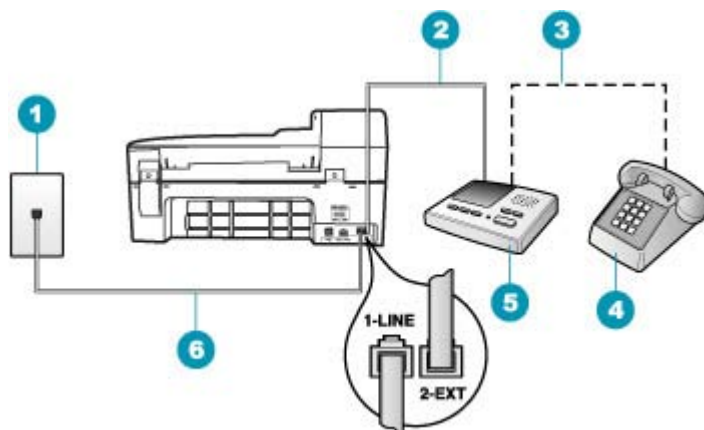
エラー メッセージの詳細については、エラーを参照してください。

ファクス トーンが留守番電話に録音されている

原因: 留守番電話と HP All-in-One が適切にセットアップされていません。または、[**応答呼出し回数**] 設定が正しくありません。

解決方法:

注記 この解決策は、2 線式電話コードが HP All-in-One に同梱されている次の国または地域にのみ適用されます。アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、カナダ、チリ、中国、コロンビア、ギリシャ、インド、インドネシア、アイルランド、日本、韓国、ラテン アメリカ、マレーシア、メキシコ、フィリピン、ポーランド、ポルトガル、ロシア、サウジアラビア、シンガポール、スペイン、台湾、タイ、米国、ベネズエラ、ベトナム。

ファクスと同じ電話回線で留守番電話を使用する場合、下図のように、2-EXT と書かれたポートを使用して、留守番電話を HP All-in-One に直接接続してください。

1	壁側のモジュラージャック
2	留守番電話の IN ポートへの接続
3	留守番電話の OUT ポートへの接続
4	電話機 (オプション)
5	留守番電話
6	HP All-in-One に付属の電話コードを使用

HP All-in-One のファクス機能が自動受信に設定されていることと [**応答呼出し回数**] 設定が適切であることを確認してください。HP All-in-One の応答するまでの呼び出し回数を、留守番電話が応答するまでの回数よりも多く設定する必要があります。留守番電話と HP All-in-One の応答するまでの呼び出し回数が同じ回数に設定されていると、電話とファクスの両方が着信に応答してしまうため、ファクス トーンが留守番電話に録音されます。

留守番電話の呼び出し回数を少なくし、HP All-in-One の呼び出し回数をサポートしている最大数に設定します (呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります)。この設定では、留守番電話が電話に応答し、HP All-in-One が電話回線を監視します。HP All-in-One がファクス受信音を検出した場合は、HP All-in-One はファクスを受信します。音声の場合には、留守番電話が着信メッセージを録音します。

応答モードを設定するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **4** を押し、[**ファクスの基本設定**] を呼び出します。
3. **自動応答** の設定項目を選び、オンまたはオフを選択します。
4. **OK** を押して設定します。

コントロール パネルで応答までの呼び出し回数を設定するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **4** を押し、**[ファクスの基本設定]** を呼び出します。
3. **[応答呼出し回数]** の設定項目を選び、キーパッドを使用して呼び出し回数を入力するか、◀ または ▶ を押して呼び出し回数を変更します。
4. **OK** を押して設定します。

原因: HP All-in-One が手動でファクスを受信するように設定されているため、HP All-in-One が受信ファクスに応答しません。受信ファクスに応答するには、ユーザーが手動で受信操作をしなければなりません。この操作を行わないと、HP All-in-One はファクスを受信せず、留守番電話にファクス トーンが録音されます。

解決方法: **[自動応答]** をオンにして、着信を自動的に受信するように HP All-in-One を設定してください。このオプションがオフの場合、HP All-in-One は受信ファクスを監視しないため、ファクスは受信されません。この場合、留守番電話がファクスに応答してしまうため、ファクス トーンが留守番電話に録音されます。

留守番電話をお使いの場合に HP All-in-One でファクスをセットアップする方法については、HP All-in-One でファクスをセットアップする を参照してください。

HP All-in-One が受信ファクスに応答しない

原因: HP All-in-One の電源がオフになっています。

解決方法: HP All-in-One のディスプレイを見てください。ディスプレイに何も表示されず、電源 ボタンが点灯していない場合は、HP All-in-One の電源が入っていません。HP All-in-One の電源コードが電源コンセントにきちんと差し込まれていることを確認してください。電源 ボタンを押して、HP All-in-One の電源をオンにしてください。

原因: **[自動応答]** がオフのため、HP All-in-One は受信ファクスに応答しません。受信ファクスに応答するには、ユーザーが手動で受信操作をしなければなりません。この操作を行わないと、HP All-in-One は受信ファクスに応答しません。

解決方法: オフィスのセットアップによっては、受信ファクスに自動応答するように HP All-in-One を設定できる場合があります。お使いのオフィスのセットアップに適した応答モードを選択するには、セットアップに適した推奨応答モードを選択を参照してください。

[自動応答] をオフにしておく必要がある場合は、ファクスを受信するときに **ファクス スタート - モノクロ** または **ファクス スタート - カラー** を押す必要があります。

ヒント　HP All-in-One が遠くにありコントロール パネルに手が届かない場合は、数秒後に、電話で **1 2 3** と押します。HP All-in-One のファクス受信が始まらない場合は、さらに数秒間待って、再び **1 2 3** と押します。HP All-in-One のファクス受信が始まったら、受話器を置いてください。

原因:　ファクス用電話番号の呼び出し音のパターンが特殊なため (電話会社を通じて着信識別サービスを使用している)、HP All-in-One の [**応答呼出し音のパターン**] 設定が合致していません。

解決方法:　ファクス用電話番号の呼び出し音のパターンが特殊な場合 (電話会社を通じて着信識別サービスを使用している場合) は、HP All-in-One の [**応答呼出し音のパターン**] 機能がそれに合致するように設定されていることを確認してください。たとえば、電話会社からファクス番号に 2 回の呼び出し音パターンが割り当てられている場合は、[**応答呼出し音のパターン**] 設定として [**呼び出し 2 回**] が選択されていることを確認します。

注記　短音と長音を交互に繰り返すパターンなど、HP All-in-One では一部の呼び出し音パターンを認識することができません。このようなタイプの呼び出し音パターンを使っているときに問題が生じる場合は、電話会社に、交互型でない呼び出し音パターンを割り当てを依頼してください。

着信識別サービスを使用していない場合は、HP All-in-One の [**応答呼出し音のパターン**] 機能が [**すべての呼び出し**] になっていることを確認します。

コントロール パネルで応答呼び出し音のパターンを変更するには

1. HP All-in-One がファクスの呼び出しに自動応答するよう設定されていることを確認します。
2. **セットアップ** を押します。
3. **5** を押し、次に **1** を押します。
   これで、[**ファクスの詳細設定**] と [**応答呼出し音のパターン**] が続けて選択されます。
4. ▶ を押してオプションを選択し、**OK** を押します。
   ファクス回線に割り当てられた呼び出し音で電話が鳴ると、HP All-in-One は着信に応答して、ファクスを受信します。

原因:　[**応答呼出し音のパターン**] 機能が [**すべての呼び出し**] に設定されていません (着信識別サービスも使用していません)。

解決方法:　着信識別サービスを使用していない場合は、HP All-in-One の [**応答呼出し音のパターン**] 機能が [**すべての呼び出し**] になっていることを確認します。

原因:　HP All-in-One のメモリがいっぱいです。

解決方法: 印刷されていないファクスでメモリがいっぱいになると、HP All-in-One はファクスに応答しなくなります。HP All-in-One がファクスを印刷するのを妨げるエラーが発生している場合は、コントロール パネルのディスプレイの表示を見て、エラーの内容を確認してください。次の点についても確認してください。

- HP All-in-One のファクス機能のセットアップが正しく行われていません。詳細については、HP All-in-One でファクスをセットアップするを参照してください。
- 給紙トレイに用紙がありません。
- 紙詰まりが発生しています。
- プリント カートリッジ アクセスドアが開いています。次に示すように、プリント カートリッジ アクセスドアを閉じます。

- インクホルダーが途中で停止しています。 HP All-in-One の電源をオフにし、インクホルダーをふさいでいるもの (梱包材など) を取り除いてから、電源を再度オンにします。

注記 [**バックアップ ファクス受信**] がオンの状態で HP All-in-One の電源をオフにすると、HP All-in-One のエラー発生中に受信した印刷待ちのファクスも含めて、メモリに保存されたファクスはすべて消去されます。このような場合、印刷していないファクスをもう一度送ってもらうように送信者に依頼してください。受信したファクス一覧を見るには、[**ファクス ログ**]を印刷します。HP All-in-One の電源がオフになっても[**ファクス ログ**]は削除されません。

問題を解決してください。メモリを消去するには、メモリに保存されたファクスを印刷するか削除します。

コントロール パネルから、メモリに保存されているファクスを再印刷するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. **セットアップ** を押します。
3. **6** を押し、次に **5** を押します。
   これで、[**ツール**] と [**メモリ内のファクスを再印刷**] が続けて選択されます。
   受信したときとは逆の順序で、直前に受信したファクスが最初に印刷されます。
4. メモリ内のファクスの印刷を中止する場合は、**キャンセル** を押します。

コントロール パネルから、メモリに保存されたすべてのファクスを削除するには

▲ 電源 ボタンを押して HP All-in-One の電源をオフにします。
HP All-in-One の電源をオフにすると、メモリに保存されているファクスはすべて削除されます。

> 注記　メモリに保存されているファクスを削除するには、[**ツール**] メニューから [**ファクス ログの消去**] を選択します。これを行うには、**セットアップ** を押し、**6** を押して、次に **7** を押します。

原因:　エラーが発生し、HP All-in-One がファクスを受信することができず、[**バックアップ ファクス受信**] が [**オフ**] にセットされています。

解決方法:　次の問題がないか確認してください。

- HP All-in-One の電源がオフになっています。電源 ボタンを押して、デバイスの電源を入れてください。
- HP All-in-One のファクス機能のセットアップが正しく行われていません。詳細については、HP All-in-One でファクスをセットアップするを参照してください。
- 給紙トレイに用紙がありません。
- 紙詰まりが発生しています。
- プリント カートリッジ アクセスドアが開いています。プリント カートリッジ アクセスドアを閉じます。
- インクホルダーが途中で停止しています。 HP All-in-One の電源をオフにし、インクホルダーをふさいでいるもの (梱包材など) を取り除いてから、電源を再度オンにします。

確認された問題を解決すると、HP All-in-One は受信ファクスに応答できるようになります。

受信したファクスに抜けているページがある

原因:　用紙が給紙トレイに正しくセットされていません。

解決方法:　用紙が正しくセットされていることを確認してください。

フルサイズの用紙をセットするには

1. 排紙トレイを取り外します。

2. 横方向用紙ガイドを一番外側の位置までスライドさせます。

3. 平らな面で用紙の端を揃え、次の点を確認します。
   - 用紙に破れ、ほこり、しわ、端の折れや波打ちがないこと
   - セットするすべての用紙が同じサイズ、同じ種類であること

4. 印刷面を下にして、用紙の短辺を給紙トレイに挿入します。用紙の束の先端が止まるまで奥に差し込んでください。

△ **注意** 給紙トレイに用紙をセットするときは、HP All-in-One が停止し、静かになっていることを確認してください。HP All-in-One がプリント カートリッジをクリーニングしていたり、その他のタスクを実行していると、用紙が途中で止まり、正しく装着されない場合があります。用紙を手動で押し込むと、HP All-in-One から空白のページが排紙されます。

ヒント レター ヘッドを使用する場合は、ページの上側から先に入れ、印刷面を下にしてください。フルサイズ用紙およびレターヘッドのセット方法については、給紙トレイの底面にある図を参照してください。

5. 横方向用紙ガイドを、用紙の端に当たって止まるまでスライドさせます。
給紙トレイに用紙を入れすぎないようにしてください。用紙の束がきちんと給紙トレイの中に収まり、横方向用紙ガイドの上端より低いことを確認してください。

6. 排紙トレイを元に戻します。

7. 延長排紙トレイを手前に跳ね上げます。

> 注記　リーガル サイズの用紙を使用する場合は、用紙補助トレイを閉じておいてください。

[**バックアップ ファクス受信**] をオンに設定している場合、HP All-in-One は、受信したファクスをメモリに保存します。メイン トレイに用紙を正しくセットすると、HP All-in-One が、印刷されていないすべてのファクスを、受信した順番で、メモリから自動的に印刷し始めます。[**バックアップ ファクス受信**] をオンに設定していない場合、または何らかの理由 (たとえば、HP All-in-One のメモリが不足している場合) でファクスがメモリに保存されなかった場合、送信者にファクスの再送信を依頼する必要があります。

原因:　送信側のファクス機に問題があります。

解決方法:　送信者に送信したページ数を確認してください。送信側のファクス機が故障して、送信できなかったページがある可能性があります。

ファクスは受信しているのに印刷が始まらない

原因:　HP All-in-One に紙詰まりがあるか、用紙が切れています。

解決方法:　[**バックアップ ファクス受信**] をオンに設定している場合、HP All-in-One は、受信したファクスをメモリに保存します。紙詰まりを解消するか、用紙をメイン トレイにセットすると、HP All-in-One が、印刷さ

れていないすべてのファクスを、受信した順番で、メモリから自動的に印刷し始めます。[**バックアップ ファクス受信**] をオンに設定していない場合、または何らかの理由 (たとえば、HP All-in-One のメモリが不足している場合) でファクスがメモリに保存されなかった場合、送信者にファクスの再送信を依頼してください。

紙詰まりの解消方法については、紙詰まりの解消を参照してください。

原因: 他の処理が原因で、HP All-in-One でエラーが発生しました。

解決方法: ディスプレイまたはコンピュータで、問題とその解決法のエラー メッセージを確認してください。エラーがある場合、HP All-in-One では、エラー状態が解決されるまでファクスを印刷できません。

エラー メッセージの詳細については、エラーを参照してください。

原因: プリントカートリッジがインク切れの可能性があります。

解決方法: プリント カートリッジのインク残量レベルをチェックします。プリント カートリッジのインク残量が少ない、またはインクがまったくない場合、プリント カートリッジの交換が必要になることがあります。

プリント カートリッジのインク残量が十分であるのに問題が解消されない場合は、セルフテスト レポートを印刷し、プリント カートリッジに問題があるかどうかを判断します。セルフテスト レポートで問題が確認された場合、プリント カートリッジのクリーニングを行ってください。問題が解消されない場合は、プリント カートリッジの交換が必要です。

プリント カートリッジの詳細については、プリント カートリッジのトラブルシューティングを参照してください。

原因: インクホルダーが途中で停止しています。

解決方法: HP All-in-One の電源をオフにし、インクホルダーをふさいでいるもの (梱包材など) を取り除いてから、電源を再度オンにします。

> 注記 [**バックアップ ファクス受信**] がオンの状態で HP All-in-One の電源をオフにすると、HP All-in-One のエラー発生中に受信した印刷待ちのファクスも含めて、メモリに保存されたファクスはすべて消去されます。このような場合、印刷していないファクスをもう一度送ってもらうように送信者に依頼してください。受信したファクス一覧を見るには、[**ファクス ログ**]を印刷します。HP All-in-One の電源がオフになっても [**ファクス ログ**]は削除されません。

受信したファクスの一部が欠けている

原因: 送信側のファクス機に問題があります。

解決方法: 送信者に、送信側のファクス機に問題があるか確認してください。

原因: [**自動縮小**] オプションがオフになっているときに、リーガル サイズの用紙など、大きなサイズのファクスが送信されました。

解決方法: ファクスをリーガル サイズの用紙に印刷したり、可能であれば [**自動縮小**] 機能を設定して画像のサイズを小さくしてページに収まるようにすることができます。

リーガル用紙にファクスを印刷するには

1. 給紙トレイにリーガル用紙をセットします。
2. 受信ファクスの用紙サイズをリーガルに変更します。
3. [**自動縮小**] をオフにします。

原因: 横方向用紙ガイドを正しい位置にセットする必要があります。

解決方法: 用紙が正しくセットされていることを確認してください。

フルサイズの用紙をセットするには

1. 排紙トレイを取り外します。

2. 横方向用紙ガイドを一番外側の位置までスライドさせます。

3. 平らな面で用紙の端を揃え、次の点を確認します。
   - 用紙に破れ、ほこり、しわ、端の折れや波打ちがないこと
   - セットするすべての用紙が同じサイズ、同じ種類であること
4. 印刷面を下にして、用紙の短辺を給紙トレイに挿入します。用紙の束の先端が止まるまで奥に差し込んでください。

△ **注意** 給紙トレイに用紙をセットするときは、HP All-in-One が停止し、静かになっていることを確認してください。HP All-in-One がプリント カートリッジをクリーニングしていたり、その他のタスクを実行していると、用紙が途中で止まり、正しく装着されない場合があります。用紙を手動で押し込むと、HP All-in-One から空白のページが排紙されます。

ヒント レター ヘッドを使用する場合は、ページの上側から先に入れ、印刷面を下にしてください。フルサイズ用紙およびレターヘッドのセット方法については、給紙トレイの底面にある図を参照してください。

5. 横方向用紙ガイドを、用紙の端に当たって止まるまでスライドさせます。
   給紙トレイに用紙を入れすぎないようにしてください。用紙の束がきちんと給紙トレイの中に収まり、横方向用紙ガイドの上端より低いことを確認してください。

6. 排紙トレイを元に戻します。

7. 延長排紙トレイを手前に跳ね上げます。

> 注記 リーガル サイズの用紙を使用する場合は、用紙補助トレイを閉じておいてください。

原因: 大きなグラフィックなど、超微細な内容を含むリーガルサイズのファクスが送信され、給紙トレイにはレターサイズの用紙がセットされています。

解決方法: 大きなグラフィックなど、超微細な内容を含むリーガルサイズのファクスが送信された場合は、HP All-in-One は 1 ページのファクスに収まるように、画像の縮小を試みます (自動縮小機能が有効な場合)。メモリがいっぱいになると、HP All-in-One は画像を縮小できなくなり、画像は切れて次のページに印刷されます。メモリをクリアして、送信者にファクスを再送信してもらうことができます。

> 注記 メモリを消去すると、印刷されていないファクスも含めて、メモリに保存されているすべてのファクスが削除されます。情報もれを防ぐには、メモリ内のファクスをすべて印刷してください。

コントロール パネルから、メモリに保存されているファクスを再印刷するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. **セットアップ** を押します。

3. **6** を押し、次に **5** を押します。
   これで、[**ツール**] と [**メモリ内のファクスを再印刷**] が続けて選択されます。
   受信したときとは逆の順序で、直前に受信したファクスが最初に印刷されます。
4. メモリ内のファクスの印刷を中止する場合は、**キャンセル** を押します。

コントロール パネルから、メモリに保存されたすべてのファクスを削除するには

▲ 電源 ボタンを押して HP All-in-One の電源をオフにします。
HP All-in-One の電源をオフにすると、メモリに保存されているファクスはすべて削除されます。

> 注記 メモリに保存されているファクスを削除するには、[**ツール**] メニューから [**ファクス ログの消去**] を選択します。これを行うには、**セットアップ** を押し、**6** を押して、次に **7** を押します。

原因: [**ファクス用紙サイズ**] の設定と異なるサイズの用紙が給紙トレイにセットされています。

解決方法: [**ファクス用紙サイズ**] の設定と同じサイズの用紙が給紙トレイにセットされていることを確認してください。

接続しているコンピュータには電話ポートが 1 つしかない

原因: コンピュータ モデムとの共有音声/ファクス回線で HP All-in-One をセットアップしており、コンピュータに 1 つの電話ポートしかありません。

解決方法:

> 注記 この解決策は、2 線式電話コードが HP All-in-One に同梱されている次の国または地域にのみ適用されます。アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、カナダ、チリ、中国、コロンビア、ギリシャ、インド、インドネシア、アイルランド、日本、韓国、ラテン アメリカ、マレーシア、メキシコ、フィリピン、ポーランド、ポルトガル、ロシア、サウジアラビア、シンガポール、スペイン、台湾、タイ、米国、ベネズエラ、ベトナム。

コンピュータの電話ポートが 1 つだけの場合、下記に示すように、パラレル スプリッター (カプラーと呼ばれます) を購入する必要があります(パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の

電話スプリッター、シリアル スプリッター、またはパラレル スプリッターは使用しないでください)。

図 11-1 パラレル スプリッターの例

図 11-2 HP All-in-One の背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	2-EXT ポートに接続した電話コード
3	パラレル スプリッター
4	電話機 (オプション)
5	モデム搭載コンピュータ
6	HP All-in-One に同梱されている電話コードを 1-LINE ポートに接続

電話ポートが 1 つのコンピュータに HP All-in-One をセットアップするには

1. コンピュータ (コンピュータのダイヤルアップ モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。そのコードを壁側のモジュラージャックから抜き、HP All-in-One の背面の 2-EXT と書かれているポートに差し込みます。
2. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記　付属のコードで電話コンセントと HP All-in-One を接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

3. HP All-in-One の背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
4. 別の電話コードを使用して、HP All-in-One の背面の 2-EXT と書かれたポートに一方の端を接続します。電話コードのもう一方の端は、パラレル スプリッターの電話ポートが 1 つある側に接続します。
5. コンピュータ モデムのコードを壁側のモジュラー ジャックから抜き、パラレル スプリッターの電話ポートが 2 つある側に接続します。
6. モデムのソフトウェアで、ファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

   注記　モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、HP All-in-One でファクスを受信できなくなります。

7. (オプション) 電話をパラレル スプリッターのもう一方の電話ポートに接続します。
8. ここで、HP All-in-One でのファクス呼び出し音の応答方法を、自動または手動に決めます。
   - 着信に **自動** で応答する設定の場合は、HP All-in-One がすべての着信に応答し、ファクスを受信します。この場合、HP All-in-One は、ファクスと電話を区別できません。着信が電話であると思われる場合、HP All-in-One が着信に応答する前に自分で応答する必要があります。HP All-in-One で着信を自動的に受信するには、**自動応答** 設定をオンにします。
   - ファクスを **手動** で受信する設定の場合は、ファクス受信に直接応答しなければ、HP All-in-One でファクスを受信できません。手動で着信に応答するように HP All-in-One を設定するには、**自動応答** をオフにします。
9. ファクス テストを実行します。

HP All-in-One が着信に応答する前に受話器を取って、送信側ファクス機からのファクス トーンが聞こえた場合は、手動でファクスに応答します。

原因: コンピュータ モデムおよび留守番電話との共有音声/ファクス回線で HP All-in-One をセットアップしており、コンピュータに 1 つの電話ポートしかありません。

解決方法:

注記 この解決策は、2 線式電話コードが HP All-in-One に同梱されている次の国または地域にのみ適用されます。アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、カナダ、チリ、中国、コロンビア、ギリシャ、インド、インドネシア、アイルランド、日本、韓国、ラテン アメリカ、マレーシア、メキシコ、フィリピン、ポーランド、ポルトガル、ロシア、サウジアラビア、シンガポール、スペイン、台湾、タイ、米国、ベネズエラ、ベトナム。

コンピュータに 1 つの電話ポートしかない場合、パラレル スプリッター (カプラーとも呼びます) を購入する必要があります(パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の電話スプリッター、シリアル スプリッター、またはパラレル スプリッターは使用しないでください)。

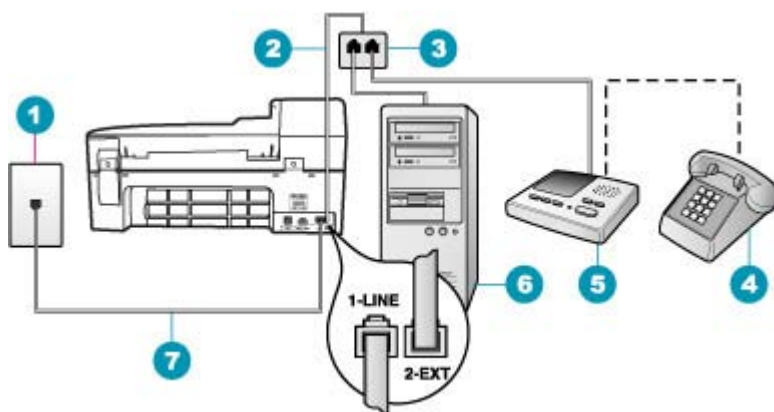



図 11-3 HP All-in-One の背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	2-EXT ポートに接続した電話コード
3	パラレル スプリッター
4	電話機 (オプション)
5	留守番電話
6	モデム搭載コンピュータ
7	HP All-in-One に同梱されている電話コードを 1-LINE ポートに接続

電話ポートが 1 つのコンピュータに HP All-in-One をセットアップするには

1. コンピュータ (コンピュータのダイヤルアップ モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。そのコードを壁側のモジュラージャックから抜き、HP All-in-One の背面の 2-EXT と書かれているポートに差し込みます。
2. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記　付属のコードで電話コンセントと HP All-in-One を接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

3. HP All-in-One の背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
4. 別の電話コードを使用して、HP All-in-One の背面の 2-EXT と書かれたポートに一方の端を接続します。電話コードのもう一方の端は、パラレル スプリッターの電話ポートが 1 つある側に接続します。
5. コンピュータ モデムのコードを壁側のモジュラー ジャックから抜き、パラレル スプリッターの電話ポートが 2 つある側に接続します。
6. 留守番電話をパラレル スプリッターのもう一方の電話ポートに接続します。

   注記　留守番電話をこのように接続していないと、送信側ファクスからのファクス トーンが留守番電話に記録されてしまい、HP All-in-One でファクスを受信できないことがあります。

7. (オプション) 留守番電話に電話が内蔵されていない場合は、必要に応じて留守番電話の背面にある "OUT" ポートに電話をつなぐこともできます。
8. モデムのソフトウェアで、ファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

   注記　モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、HP All-in-One でファクスを受信できなくなります。

9. **自動応答** の設定をオンにします。
10. 少ない呼び出し回数で応答するように留守番電話を設定します。
11. HP All-in-One の [**応答呼出し回数**] 設定を変更し、呼び出し回数をサポートしている最大数に設定します (呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります)。
12. ファクス テストを実行します。

電話が鳴ると、設定済みの呼び出し回数後に留守番電話が応答し、録音しておいた応答メッセージが再生されます。この間、HP All-in-One は呼び出し音を監視し、ファクス トーンが鳴らないか聞いています。ファクス受信

トーンを検出すると、HP All-in-One はファクス受信トーンを発信し、ファクスを受信します。ファクス トーンが検出されないと、HP All-in-One は回線の監視を中止し、留守番電話は音声メッセージを録音できます。

原因:　コンピュータ モデムおよびボイス メール サービスとの共有音声/ファクス回線で HP All-in-One をセットアップしており、コンピュータに 1 つの電話ポートしかありません。

解決方法:

注記　この解決策は、2 線式電話コードが HP All-in-One に同梱されている次の国または地域にのみ適用されます。アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、カナダ、チリ、中国、コロンビア、ギリシャ、インド、インドネシア、アイルランド、日本、韓国、ラテン アメリカ、マレーシア、メキシコ、フィリピン、ポーランド、ポルトガル、ロシア、サウジアラビア、シンガポール、スペイン、台湾、タイ、米国、ベネズエラ、ベトナム。

コンピュータに 1 つの電話ポートしかない場合、パラレル スプリッター (カプラーとも呼びます) を購入する必要があります(パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の電話スプリッター、

シリアル スプリッター、またはパラレル スプリッターは使用しないでください)。

図 11-4 HP All-in-One の背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	2-EXT ポートに接続した電話コード
3	パラレル スプリッター
4	電話機 (オプション)
5	モデム搭載コンピュータ
6	HP All-in-One に同梱されている電話コードを 1-LINE ポートに接続

電話ポートが 1 つのコンピュータに HP All-in-One をセットアップするには

1. コンピュータ (コンピュータのダイヤルアップ モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。そのコードを壁側のモジュラージャックから抜き、HP All-in-One の背面の 2-EXT と書かれているポートに差し込みます。
2. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記 付属のコードで電話コンセントと HP All-in-One を接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

3. HP All-in-One の背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
4. 別の電話コードを使用して、HP All-in-One の背面の 2-EXT と書かれたポートに一方の端を接続します。電話コードのもう一方の端は、パラレル スプリッターの電話ポートが 1 つある側に接続します。

5. コンピュータ モデムのコードを壁側のモジュラー ジャックから抜き、パラレル スプリッターの電話ポートが 2 つある側に接続します。
6. 留守番電話をパラレル スプリッターのもう一方の電話ポートに接続します。

   注記 留守番電話をこのように接続していないと、送信側ファクスからのファクス トーンが留守番電話に記録されてしまい、HP All-in-One でファクスを受信できないことがあります。

7. (オプション) 留守番電話に電話が内蔵されていない場合は、必要に応じて留守番電話の背面にある "OUT" ポートに電話をつなぐこともできます。
8. モデムのソフトウェアで、ファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

   注記 モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、HP All-in-One でファクスを受信できなくなります。

9. **自動応答** の設定をオンにします。
10. 少ない呼び出し回数で応答するように留守番電話を設定します。
11. HP All-in-One の [**応答呼出し回数**] 設定を変更し、呼び出し回数をサポートしている最大数に設定します (呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります)。
12. ファクス テストを実行します。

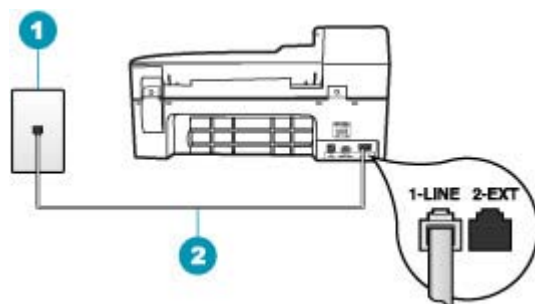
電話が鳴ると、設定済みの呼び出し回数後に留守番電話が応答し、録音しておいた応答メッセージが再生されます。この間、HP All-in-One は呼び出し音を監視し、ファクス トーンが鳴らないか聞いています。ファクス受信トーンを検出すると、HP All-in-One はファクス受信トーンを発信し、ファクスを受信します。ファクス トーンが検出されないと、HP All-in-One は回線の監視を中止し、留守番電話は音声メッセージを録音できます。

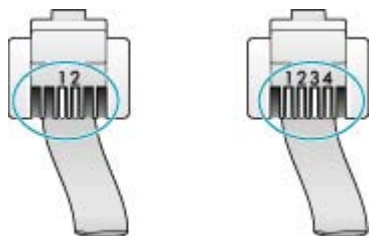
HP All-in-One を接続したあと、電話回線上で雑音が聞こえる

原因: HP All-in-One のファクス機能のセットアップが正しく行われていません。

解決方法:

注記 この解決策は、2 線式電話コードが HP All-in-One に同梱されている次の国または地域にのみ適用されます。アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、カナダ、チリ、中国、コロンビア、ギリシャ、インド、インドネシア、アイルランド、日本、韓国、ラテン アメリカ、マレーシア、メキシコ、フィリピン、ポーランド、ポルトガル、ロシア、サウジアラビア、シンガポール、スペイン、台湾、タイ、米国、ベネズエラ、ベトナム。

HP All-in-One を正常に機能している壁側のモジュラージャックに接続します。必ず HP All-in-One 付属の電話コードを使用してください。下図のように、2 線式電話コードの一方の端を HP All-in-One の背面にある 1-LINE と書かれたポートに接続し、もう一方の端を壁側のモジュラージャックに接続します。

1	壁側のモジュラージャック
2	HP All-in-One に付属の電話コードを使用

このコードは専用の 2 線式電話コードです。オフィスで一般的に見られる 4 線式電話コードとは異なります。コードの端を確認して、下図に示されている 2 種類のコードと比較してください。

4 線式コードを使用している場合は、それを取り外し、付属の 2 線式コードを HP All-in-One の後部にある 1-LINE と書かれたポートに接続します。

HP All-in-One に 2 線式電話コード アダプタが付属している場合、付属の 2 線式電話コードが短すぎるときには、4 線式電話コードにそのアダプタを装着して使用することができます。2 線式電話コード アダプタを HP All-in-One の後部にある 1-LINE と書かれたポートに取り付けます。4 線式電話コードをアダプタの空きポートと壁側のモジュラージャックに接続します。2 線式電話コード アダプタの使用方法については、付属のマニュアルを参照してください。

HP All-in-One のセットアップの詳細については、HP All-in-One 付属の説明書を参照してください。

原因: HP All-in-One の 1-LINE ポートと壁側のモジュラー ジャック間で電話回線スプリッターを使用しています。

解決方法: 電話回線スプリッターを使用すると、電話回線の音質が影響を受け、空電雑音が発生する場合があります (スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです)。スプリッターを取り外し、HP All-in-One を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。

原因: HP All-in-One が正しく接地された電源コンセントに接続されていません。

解決方法: 別の電源コンセントに接続してください。

ファクス テストに失敗した

コンピュータから実行しようとしたファクス テストができなかった場合は、HP All-in-One が別のタスクを実行中であったか、エラー状態のためにファクス テストができなかった可能性があります。

確認事項

- HP All-in-One が正しくセットアップされ、電源とコンピュータに正しく接続されていること。HP All-in-One のセットアップの詳細については、HP All-in-One 付属の『セットアップ ガイド』を参照してください。
- HP All-in-One の電源が入っていること。 入っていない場合は、電源 ボタンを押して、HP All-in-One の電源を入れてください。
- 両方のプリント カートリッジが正しく取り付けられていること、プリント カートリッジの動きが妨げられていないこと、アクセス ドアが閉じていること。
- HP All-in-One が現在、プリント カートリッジの調整など、他のタスクでビジー状態でないこと。 ディスプレイを確認します。
  HP All-in-One がビジー状態の場合、現在のタスクが完了してからファクス テストを実行します。
- 後部アクセスドアが HP All-in-One の後部に取り付けられていること。
- ディスプレイにエラー メッセージが表示されていないこと。 エラー メッセージが表示されている場合は、そのエラーを解決し、ファクス テストを再度実行してください。

ファクス テストを実行して、テストの失敗を示す HP All-in-One レポートが出力された場合は、以下の説明をよく読み、ファクスのセットアップに関する問題の解決方法を判断してください。 ファクス テストの失敗は、項目によってその理由が異なる場合があります。

原因: 「ファクス ハードウェア テスト」に失敗した

解決方法:

処置

- コントロール パネルの 電源 ボタンを使用して、HP All-in-One の電源をオフにし、HP All-in-One の背面から電源コードを抜きます。数秒経ってから、電源コードを挿し直して、電源をオンにします。もう一度テストを実行します。またテストに失敗した場合、引き続きこのセクションのトラブルシューティング情報を調べてください。

  注記 HP All-in-One のプラグを長い時間抜いていると、日付と時刻が消える場合があります。その場合は、後で電源ケーブルを元通りに差し込んだときに、日付と時刻を再設定してください。

- テスト ファクスを送信または受信してみてください。ファクスの送信または受信に成功したら、問題ない可能性があります。

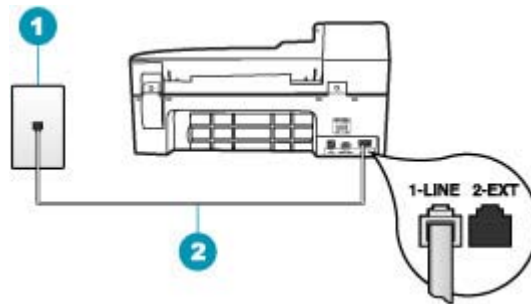
問題が見つかったら解決してからもう一度ファクス テストを実行して、テストが成功したら、HP All-in-One でファクスを利用する準備ができています。[**ファクス ハードウェア テスト**] の失敗が続き、ファクスを使用できない場合は、HP サポートにお問い合わせください。www.hp.com/support にアクセスしてください。メッセージが表示されたら、お住まいの国または地域を選択し、 **[お問い合わせ]** をクリックして、テクニカル サポートまでお問い合わせください。

原因: 「ファクスが壁側電話ジャックに接続完了」テストに失敗した

解決方法:

処置

- 電話の壁側のモジュラー ジャックと HP All-in-One の接続を確認して、電話コードがしっかり接続されていることを確認してください。
- 必ず HP All-in-One 付属の電話コードを使用してください。付属のコードで壁側のモジュラー ジャックと HP All-in-One を接続しないと、正常にファクスの送受信ができないことがあります。HP All-in-One 付属の電話コードを差し込んだら、ファクス テストをもう一度実行します。
- HP All-in-One が壁側のモジュラー ジャックに正しく接続されていることを確認します。HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-

LINE と書かれているポートに接続します。詳細については、
HP All-in-One でファクスをセットアップするを参照してください。

1	壁側のモジュラージャック
2	HP All-in-One に付属の電話コードを使用

- 電話スプリッターを使用している場合、ファクスの問題の原因になる場合があります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです)。スプリッターを取り外し、HP All-in-One を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。
- 正常に機能する電話機と電話コードを、HP All-in-One に使用している壁側のモジュラージャックに接続し、発信音の有無を確認します。ダイヤル トーンが聞こえない場合、電話会社に連絡して、回線の検査を依頼してください。
- テスト ファクスを送信または受信してみてください。ファクスの送信または受信に成功したら、問題ない可能性があります。

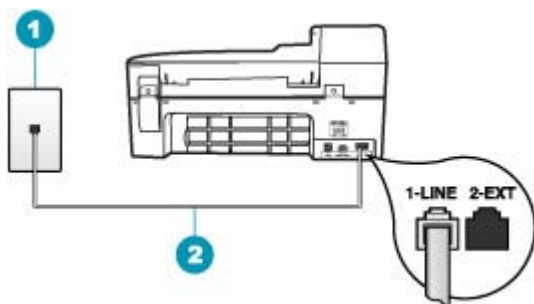
問題が見つかったら解決してからもう一度ファクス テストを実行して、テストが成功したら、HP All-in-One でファクスを利用する準備ができています。

原因: 「電話コードがファクスの正しいポートに接続完了」テストに失敗した

解決方法: 電話コードを正しいポートに接続します。

処置

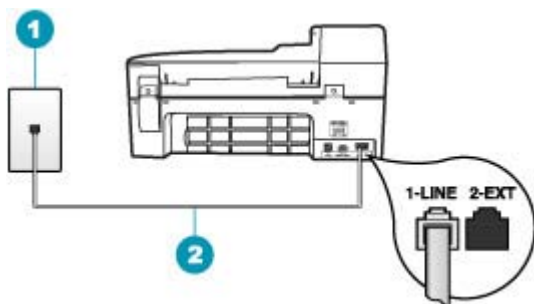
1. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

 注記 2-EXT ポートを使用して壁側のモジュラー ジャックに接続すると、ファクスの送受信はできません。2-EXT ポートは、留守番電話や電話機などの機器接続専用です。

1	壁側のモジュラージャック
2	HP All-in-One に付属の電話コードを使用

2. 1-LINE と書かれたラベルのポートに電話コードを接続したら、もう一度ファクス テストを実行します。テストが成功したら、HP All-in-One でファクスを利用する準備ができています。
3. テスト ファクスを送信または受信してみてください。

原因: 「ファクスで正しい電話コード使用中」テストに失敗しました。

解決方法:

• HP All-in-One に付属の電話コードを使用して、壁側のモジュラージャックに接続していることを確認してください。下図のように、電話コードの一方の端を HP All-in-One の後部にある 1-LINE と書かれたポートに接続し、もう一方の端を壁側のモジュラージャックに接続します。

1	壁側のモジュラージャック
2	HP All-in-One に付属の電話コードを使用

• 電話の壁側のモジュラー ジャックと HP All-in-One の接続を確認して、電話コードがしっかり接続されていることを確認してください。

原因: 「ファクス回線状態」テストが失敗した

解決方法:

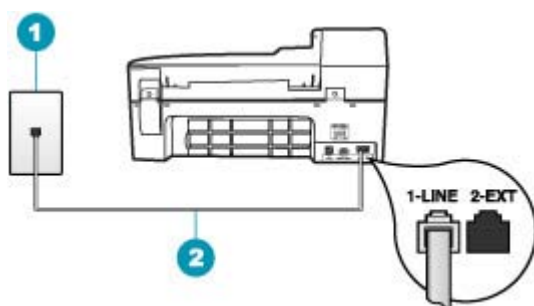
処置

- HP All-in-One をアナログ電話回線に接続していることを確認してください。アナログ電話回線に接続していないと、ファクスを送受信できません。電話回線がデジタルであるかどうかを確認するには、回線に通常のアナログ電話を接続してダイヤルトーンを聞きます。通常のダイヤル音が聞こえない場合は、デジタル電話用に設定された電話回線の場合があります。HP All-in-One をアナログ回線に接続し、ファクスの送受信を試します。
- 電話の壁側のモジュラー ジャックと HP All-in-One の接続を確認して、電話コードがしっかり接続されていることを確認してください。
- HP All-in-One が壁側のモジュラー ジャックに正しく接続されていることを確認します。HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。詳細については、HP All-in-One でファクスをセットアップするを参照してください。
- HP All-in-One と同じ電話回線を使用している他の機器がテスト失敗の原因となっている可能性があります。他の機器が原因になっているかどうかを確認するために、電話回線から HP All-in-One を除くすべての機器を外し、もう一度テストを実行します。
  - 他の機器がないときに [**ファクス回線状態テスト**] に合格した場合、1 つ以上の機器が問題の原因である可能性があります。どの機器が問題の原因であるかわかるまで、機器を一度に 1 つずつ戻し、そのつどテストを再実行します。
  - 他の機器が無くても、[**ファクス回線状態テスト**] に失敗する場合は、正常に機能している電話回線に HP All-in-One を接続して、引き続きこのセクションのトラブルシューティング情報を調べてください。
- 電話スプリッターを使用していると、ファクスの問題の原因になる場合があります (スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです)。スプリッターを取り外し、HP All-in-One を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。

問題が見つかったら解決してからもう一度ファクス テストを実行して、テストが成功したら、HP All-in-One でファクスを利用する準備ができています。[**ファクス回線状態テスト**] に引き続き失敗し続け、ファクスができない場合、電話会社に連絡して回線の検査を依頼してください。

原因: 「ダイヤルトーン検出」テストが失敗した

解決方法:

- HP All-in-One と同じ電話回線を使用している他の機器がテスト失敗の原因となっている可能性があります。他の機器が原因になっているかどうかを確認するために、電話回線から HP All-in-One を除くすべての機器を外し、もう一度テストを実行します。他の機器がないときに [**ダイヤルトーン検出テスト**] に合格した場合、1 つ以上の機器が問題の原因である可能性があります。どの機器が問題の原因であるかわかるまで、機器を一度に 1 つずつ戻し、そのつどテストを再実行します。
- 正常に機能する電話機と電話コードを、HP All-in-One に使用している壁側のモジュラージャックに接続し、発信音の有無を確認します。 ダイヤル トーンが聞こえない場合、電話会社に連絡して、回線の検査を依頼してください。
- HP All-in-One が壁側のモジュラー ジャックに正しく接続されていることを確認します。HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。詳細については、HP All-in-One でファクスをセットアップするを参照してください。

1	壁側のモジュラージャック
2	HP All-in-One に付属の電話コードを使用

- 電話スプリッターを使用していると、ファクスの問題の原因になる場合があります (スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです)。スプリッターを取り外し、HP All-in-One を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。
- PBX システムなど、ご使用の電話システムが通常のダイヤル トーンを使用していない場合、テストに失敗する原因になる可能性があります。これは、ファクス送受信の問題の原因にはなりません。テスト ファクスを送信または受信してみてください。

• お住まいの国/地域に対して、国/地域の設定が適切に設定されていることを確認してください。国/地域が設定されてないか、間違って設定されていると、テストに失敗し、ファクスの送受信に問題が発生することがあります。
• HP All-in-One をアナログ電話回線に接続していることを確認してください。アナログ電話回線に接続していないと、ファクスを送受信できません。電話回線がデジタルであるかどうかを確認するには、回線に通常のアナログ電話を接続してダイヤルトーンを聞きます。通常のダイヤル音が聞こえない場合は、デジタル電話用に設定された電話回線の場合があります。HP All-in-One をアナログ回線に接続し、ファクスの送受信を試します。

問題が見つかったら解決してからもう一度ファクス テストを実行して、テストが成功したら、HP All-in-One でファクスを利用する準備ができています。[**ダイヤルトーン検出テスト**] の失敗が続く場合は、電話会社に連絡して回線の検査を依頼してください。

IP 電話を使ったインターネット経由のファクスの送受信がうまくできない

原因: FoIP (fax over Internet Protocol) サービスは、HP All-in-One が高速 (33600bps) でファクスを送受信していると正常に動作しない場合があります。

解決方法: インターネット ファクス サービスの使用中に、ファクスの送受信で問題が起きたら、ファクス速度を遅くしてください。 これを行うには、[**ファクス速度**] の設定を [**はやい**] (デフォルト) から [**標準**] または [**ゆっくり**] に変更します。

コントロール パネルからファクス速度を設定するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **5** を押し、次に **7** を押します。
   これで、[**ファクスの詳細設定**] と [**ファクス速度**] が続けて選択されます。
3. ▶ を押して次のいずれかの設定を選択し、**OK** を押します。

ファクス速度の設定	ファクス速度
[はやい]	v.34 (33600 ボー)
[標準]	v.17 (14400 ボー)
[ゆっくり]	v.29 (9600 ボー)

原因: HP All-in-One のファクス機能のセットアップが正しく行われていません。

解決方法: 電話コードを HP All-in-One の 1-LINE と書かれたポートに接続した場合だけファクスの送受信が可能で、Ethernet ポートは使用できませ

ん。つまり、インターネット接続は、コンバータ ボックス (ファクス接続用に通常のアナログ電話ジャックを装備) または電話会社経由で行う必要があるということです。

原因: ご契約先の電話会社がインターネット経由のファクスをサポートしていません。

解決方法: 電話会社のインターネット電話サービスがファクスをサポートしているか確認してください。ファクスをサポートしていない場合、インターネット経由でファクスを送受信することはできません。

ファクス ログ レポートでエラーが出力される

原因: ファクスの送信または受信時に問題またはエラーが発生すると、**[ファクス ログ]** レポートが印刷されます。

解決方法: **[ファクス ログ]** レポートのエラー コードについては、次の表を参照してください。この情報は、HP All-in-One のファクス機能をお使いの際に発生した問題の解決に役立ちます。以下の表では、**[エラー補正モード]** (ECM) に特定のコードも示されています。同じエラーが繰り返し発生する場合は、ECM をオフにしてください。

コントロール パネルから ECM 設定を変更するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **5** を押し、次に **6** を押します。
   これで、**[ファクスの詳細設定]** と **[エラー補正モード]** が続けて選択されます。
3. ▶ を押して **[オン]** または **[オフ]** を選択します。
4. **OK** を押します。

エラー コード	エラーの説明
(223 **[エラー補正モード]**) 224	受信したページに読み取りできないものがあります。
225-231	送信側のファクス機との間に機能の互換性がありません。
232-234 (235-236 **[エラー補正モード]**) 237	電話回線の接続が切断されました。
238 (239-241 **[エラー補正モード]**)	送信側のファクス機から予想外の通信が送信されました。
242	送信側のファクス機が送信の代わりに受信を試みています。
243-244	送信側のファクス機によるセッションの終了が早すぎました。

(続き)

エラー コード	エラーの説明
(245-246 [エラー補正モード])	
247-248 (249-251 [エラー補正モード])	送信側のファクス機との間に通信エラーがありました。
252	電話回線の状態が悪いため、ファクスを受信できませんでした。
253	送信側のファクス機が、サポートしていないページ幅の使用を試みました。
281 (282 [エラー補正モード]) 283-284 (285 [エラー補正モード]) 286	電話回線の接続が切断されました。
290	送信側のファクス機との間に通信エラーがありました。
291	受信したファクスを保存できませんでした。
314-320	受信側のファクス機との間に機能の互換性がありません。
321	受信側のファクス機との間に通信エラーがありました。
322-324	電話回線の状態が悪いため、ファクスを送信できませんでした。
(325-328 [エラー補正モード]) 329-331	受信側のファクス機から、ページが読み取り不可能であることが示されました。
332-337 (338-342 [エラー補正モード]) 343	受信側のファクス機から予想外の通信が送信されました。
344-348 (349-353 [エラー補正モード]) 354-355	電話回線の接続が切断されました。
356-361 (362-366 [エラー補正モード])	受信側のファクス機によるセッションの終了が早すぎました。
367-372 (373-377 [エラー補正モード]) 378-380	受信側のファクス機との間に通信エラーがありました。
381	電話回線の接続が切断されました。
382	受信側のファクス機がページの受信を停止しました。

(続き)

エラー コード	エラーの説明
383	電話回線の接続が切断されました。
390-391	受信側のファクス機との間に通信エラーがありました。

コピーのトラブルシューティング

このセクションを使って、これらのコピー問題を解決します。

コピーが薄すぎる、または濃すぎる

原因:　HP All-in-One の **[薄く/濃く]** 設定が薄すぎるか、濃すぎます。

解決方法:　コピーの濃淡を調整します。

コントロール パネルからコピーのコントラストを調整するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. ガラス板の右下隅に合わせて原稿の印刷面を下にして、またはドキュメント フィーダ トレイに原稿の印刷面を上にして置きます。
   ドキュメント フィーダ トレイを使用する場合は、文書の先頭が最初になるようにページを置きます。
3. コピー 領域で、**メニュー** を繰り返し押して、**[薄く/濃く]** を表示します。
4. 次のいずれかの操作を行います。
   - ▶ を押して、コピーを濃くします。
   - ◀ を押して、コピーを薄くします。
5. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

原因:　**[強調]** を使用して、露出過度の画像を改善してみます。

解決方法:

露出過度の写真をコピーするには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. 印刷面を下にしてガラス板の右下隅に合わせて写真をセットします。写真の長い辺をガラス板の底辺に合わせて置きます。
3. コピー 領域で、**メニュー** を繰り返し押して、**[強調]** を表示します。
4. **[写真]** 強調設定が表示されるまで、▶ を押します。
5. **コピー スタート - カラー** を押します。

コピーしようとしても何も起きない

原因: HP All-in-One の電源がオフになっています。

解決方法: HP All-in-One のコントロール パネルで、カラー グラフィック ディスプレイに何も表示されておらず、電源 ボタンが点灯していないことを確認します。これら 2 つの条件に適合する場合、HP All-in-One の電源がオフです。電源コードが電源コンセントに差し込まれていることを確認してください。電源 ボタンを押して、HP All-in-One の電源をオンにしてください。

原因: 原稿がガラス板またはドキュメント フィーダ トレイに正しく置かれていません。

解決方法: ガラス板またはドキュメント フィーダ トレイに、原稿をセットします。

- 原稿をガラス板にセットしている場合は、下図のように印刷面を下にして右下隅に置きます。写真をコピーするには、写真の長い辺をガラス板の底辺に合わせて置きます。

- 原稿をドキュメント フィーダ トレイにセットしている場合は、下図のように印刷面を上にしてトレイに置きます。原稿の上側が先になるようにトレイにを置きます。

注記　写真をコピーする場合は、ドキュメント フィーダ トレイにセットしないでください。コピーする写真はガラス板の上に置きます。

原因:　HP All-in-One が、コピー中、印刷中、またはファクスの受信中です。

解決方法:　コントロール パネル ディスプレイで、HP All-in-One がビジー状態かどうかを確認してください。

原因:　HP All-in-One が、用紙の種類を認識していません。

解決方法:　HP All-in-One がサポートしていない封筒などの用紙にコピーする際には、HP All-in-One を使用しないでください。

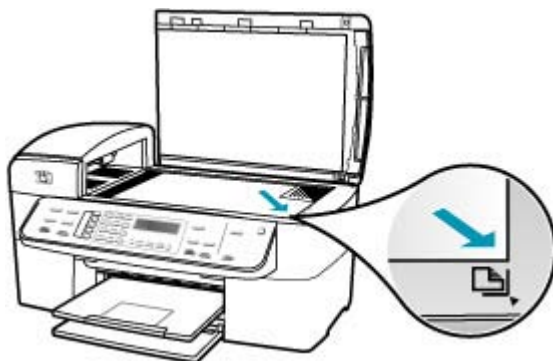
原因:　HP All-in-One が紙詰まりを起こしています。

解決方法:　紙詰まりの解消方法については、紙詰まりの解消を参照してください。

原稿の一部が写らない、または切れてしまう

原因:　原稿がガラス板またはドキュメント フィーダ トレイに正しく置かれていません。

解決方法: ガラス板またはドキュメント フィーダ トレイに、原稿をセットします。

- 原稿をガラス板にセットしている場合は、下図のように印刷面を下にして右下隅に置きます。写真をコピーするには、写真の長い辺をガラス板の底辺に合わせて置きます。

- 原稿をドキュメント フィーダ トレイにセットしている場合は、下図のように印刷面を上にしてトレイに置きます。原稿の上側が先になるようにトレイにを置きます。

注記 写真をコピーする場合は、ドキュメント フィーダ トレイにセットしないでください。コピーする写真はガラス板の上に置きます。

原因: 原稿がページ全体に配置されています。

解決方法: 原稿の画像や文字がページ全体に配置されて、余白がない場合は、[**ページに合わせる**] を使用すると、原稿を縮小でき、端の文字や画像が不必要にトリミングされることを防ぐことができます。

コントロール パネルから文書のサイズを調整するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. ガラス板の右下隅に合わせて原稿の印刷面を下にして、またはドキュメント フィーダ トレイに原稿の印刷面を上にして置きます。
   ドキュメント フィーダ トレイを使用する場合は、文書の先頭が最初になるようにページを置きます。
3. コピー 領域で、**縮小/拡大** を押します。
4. 次のいずれかの操作を行います。
   - ドキュメント フィーダ トレイまたはガラス板に原稿をセットした場合は、[**ページ全体 91%**] が表示されるまで ▶ を押します。
   - ガラス板にフルサイズまたはスモールサイズの原稿をセットした場合は、[**ページに合わせる**] が表示されるまで ▶ を押します。
5. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

原因: 原稿のサイズが、給紙トレイの用紙のサイズを超えています。

解決方法: 原稿のサイズが給紙トレイの用紙より大きい場合は、[**ページに合わせる**] 機能を使用して、給紙トレイの用紙のサイズに合うように原稿を縮小してください。

コントロール パネルから文書のサイズを調整するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. ガラス板の右下隅に合わせて原稿の印刷面を下にして、またはドキュメント フィーダ トレイに原稿の印刷面を上にして置きます。
   ドキュメント フィーダ トレイを使用する場合は、文書の先頭が最初になるようにページを置きます。
3. コピー 領域で、**縮小/拡大** を押します。
4. 次のいずれかの操作を行います。
   - ドキュメント フィーダ トレイまたはガラス板に原稿をセットした場合は、[**ページ全体 91%**] が表示されるまで ▶ を押します。
   - ガラス板にフルサイズまたはスモールサイズの原稿をセットした場合は、[**ページに合わせる**] が表示されるまで ▶ を押します。
5. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

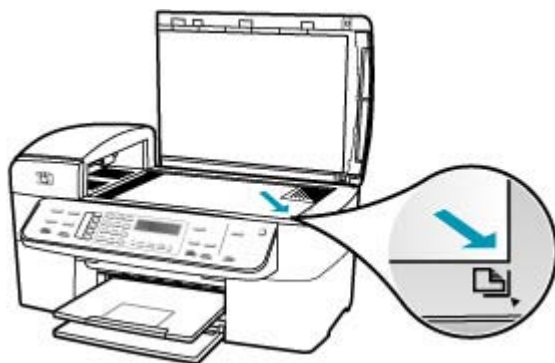
[ページに合わせる] が指定どおり動作しない

原因: 小さすぎる原稿のサイズを大きくしようとしています。

解決方法: **[ページに合わせる]** では、原稿の拡大倍率は、モデルで可能な最大倍率に制限されます(最大倍率はモデルによって異なります)。たとえば､モデルで可能な拡大倍率が最大 200% であるとします。パスポート写真を 200% 拡大しても、用紙のサイズに見合った大きさにならない可能性があります。

小さな原稿から拡大コピーを作成する場合は、原稿をスキャンしてコンピュータに取り込み、 **[HP Scan Pro]** ソフトウェアで画像サイズを変更してから、拡大された画像のコピーを印刷します。

原因: ガラス板上に、原稿が正しく置かれていません。

解決方法: 下図のように原稿の印刷面を下にし、ガラス板の右下隅に合わせてセットしてください。写真をコピーするには、写真の長い辺をガラス板の底辺に合わせて置きます。

原因: 原稿がドキュメント フィーダ トレイにセットされています。

解決方法: **[ページに合わせる]** 機能では、ドキュメント フィーダ トレイを使用できません。**[ページに合わせる]** 機能を使用するには、印刷面を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて原稿を置く必要があります。

原因: 原稿ガラスや原稿カバーの裏にごみが付着していることがあります。HP All-in-One は、ガラス板上で検出した物体を画像の一部として解釈します。

解決方法: HP All-in-One の電源をオフにして電源コードを抜き、柔らかい布を使って原稿ガラスや原稿カバーの裏を拭いてください。

ガラス板をクリーニングするには

1. HP All-in-One の電源をオフにし、カバーを開けます。
2. 非摩耗性のガラス クリーナーを使用し、少し湿らせた柔らかい布かスポンジでガラス板を拭きます。

 △ 注意 研磨剤、アセトン、ベンゼン、四塩化炭素などでガラス板を拭かないでください。ガラス板を傷める可能性があります。また、液体を直接ガラス板にかけないでください。ガラス板の下に液体が入り込んで本体を傷める可能性があります。

3. 乾いた糸くずの出ない柔らかい布でガラス板の水分をふき取り、しみが残らないようにします。
4. HP All-in-One の電源をオンにします。

原稿押さえをクリーニングするには

1. HP All-in-One の電源をオフにし、電源コードを外し、カバーを上げます。

 注記 HP All-in-One のプラグを長い時間抜いていると、日付と時刻が消える場合があります。その場合は、後で電源ケーブルを元通りに差し込んだときに、日付と時刻を再設定してください。

2. 刺激性の少ないせっけんとぬるま湯で、少し湿らせた柔らかい布かスポンジで原稿押さえを拭きます。
 原稿押さえを軽く拭いて汚れを落とします。力を入れてこすらないでください。
3. 乾いた糸くずの出ない柔らかい布で拭いて乾かします。

 △ 注意 原稿押さえを傷つける可能性があるので、紙でできたクロスは使用しないでください。

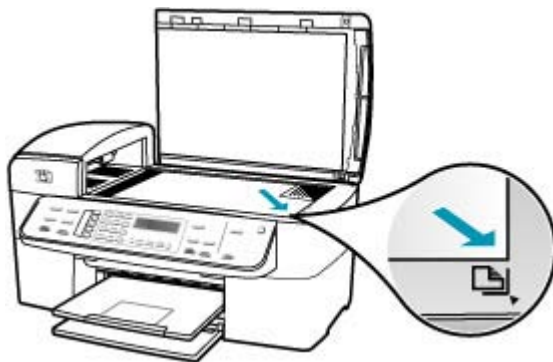
4. さらにクリーニングが必要な場合には、イソプロピル (消毒用) アルコールを使用して上記の手順を繰り返してから、湿らせた布でカバーの裏側に残ったアルコールを完全に拭き取ってください。

 △ 注意 ガラス板や HP All-in-One の塗装部品にアルコールをこぼさないように注意してください。デバイスに損傷を与える場合があります。

何も印刷されない

原因: 原稿がガラス板またはドキュメント フィーダ トレイに正しく置かれていません。

解決方法:　ガラス板またはドキュメント フィーダ トレイに、原稿をセットします。

- 原稿をガラス板にセットしている場合は、下図のように印刷面を下にして右下隅に置きます。写真をコピーするには、写真の長い辺をガラス板の底辺に合わせて置きます。

- 原稿をドキュメント フィーダ トレイにセットしている場合は、下図のように印刷面を上にしてトレイに置きます。原稿の上側が先になるようにトレイにを置きます。

注記　写真をコピーする場合は、ドキュメント フィーダ トレイにセットしないでください。コピーする写真はガラス板の上に置きます。

原因:　プリント カートリッジのクリーニングが必要です。またはインク切れの可能性があります。

解決方法:　プリント カートリッジのインク残量レベルをチェックします。プリント カートリッジのインク残量が少ない、またはインクがまったくない場合、プリント カートリッジの交換が必要になることがあります。

プリント カートリッジのインク残量が十分であるのに問題が解消されない場合は、セルフテスト レポートを印刷し、プリント カートリッジに問題が

あるかどうかを判断します。セルフテスト レポートで問題が確認された場合、プリント カートリッジのクリーニングを行ってください。問題が解消されない場合は、プリント カートリッジの交換が必要です。

プリント カートリッジの詳細については、プリント カートリッジのトラブルシューティングを参照してください。

フチ無しコピーで周囲に空白ができる

原因: 小さすぎる原稿のフチ無しコピーを作成しようとしています。

解決方法: 小さいサイズの原稿のフチ無しコピーを作成する場合、HP All-in-One は原稿を最大倍率まで拡大します。このとき、コピーの周りに空白ができることがあります。(最大倍率はモデルによって異なります)。

作成するフチ無しコピーのサイズによって、原稿の最小サイズが異なります。たとえば、パスポート写真を拡大してレターサイズのフチ無しコピーを作成することはできません。

小さな原稿からフチ無しコピーを作成する場合は、原稿をスキャンしてコンピュータに取り込み、 HP スキャン ソフトウェアで画像サイズを変更してから、拡大された画像のフチ無しコピーを印刷します。

原因: フォト用紙を使用せずにフチ無しコピーを作成しようとしています。

解決方法: フチ無しコピーを作成する場合、フォト用紙を使用してください。

コントロール パネルから写真をフチ無しコピーするには

1. L 判のフォト用紙を給紙トレイにセットします。
2. 印刷面を下にしてガラス板の右下隅に合わせて写真をセットします。
   ガラス板の端に示されているガイドに従って、写真の長い辺をガラス板の底辺に合わせます。

3. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。
HP All-in-One で、写真原稿が L 判の用紙にフチ無しコピーされます。

注記　給紙トレイにタブ付きの用紙をセットした場合は、インクが完全に乾いてから印刷した写真のタブを取り除いてください。

ヒント　フチ無しにしない場合は、用紙の種類を [**プレミアム フォト用紙**] に設定し、もう一度コピーしてください。

原因:　原稿ガラスや原稿カバーの裏にごみが付着していることがあります。HP All-in-One は、ガラス板上で検出した物体を画像の一部として解釈します。

解決方法:　HP All-in-One の電源をオフにして電源コードを抜き、柔らかい布を使って原稿ガラスや原稿カバーの裏を拭いてください。

ガラス板をクリーニングするには

1. HP All-in-One の電源をオフにし、カバーを開けます。
2. 非摩耗性のガラス クリーナーを使用し、少し湿らせた柔らかい布かスポンジでガラス板を拭きます。

注意　研磨剤、アセトン、ベンゼン、四塩化炭素などでガラス板を拭かないでください。ガラス板を傷める可能性があります。また、液体を直接ガラス板にかけないでください。ガラス板の下に液体が入り込んで本体を傷める可能性があります。

3. 乾いた糸くずの出ない柔らかい布でガラス板の水分をふき取り、しみが残らないようにします。
4. HP All-in-One の電源をオンにします。

原稿押さえをクリーニングするには

1. HP All-in-One の電源をオフにし、電源コードを外し、カバーを上げます。

注記　HP All-in-One のプラグを長い時間抜いていると、日付と時刻が消える場合があります。その場合は、後で電源ケーブルを元通りに差し込んだときに、日付と時刻を再設定してください。

2. 刺激性の少ないせっけんとぬるま湯で、少し湿らせた柔らかい布かスポンジで原稿押さえを拭きます。
原稿押さえを軽く拭いて汚れを落とします。力を入れてこすらないでください。

3. 乾いた糸くずの出ない柔らかい布で拭いて乾かします。

△ 注意　原稿押さえを傷つける可能性があるので、紙でできたクロスは使用しないでください。

4. さらにクリーニングが必要な場合には、イソプロピル (消毒用) アルコールを使用して上記の手順を繰り返してから、湿らせた布でカバーの裏側に残ったアルコールを完全に拭き取ってください。

△ 注意　ガラス板や HP All-in-One の塗装部品にアルコールをこぼさないように注意してください。デバイスに損傷を与える場合があります。

フチ無しコピーをすると画像がトリミングされる

原因:　原稿の縦横比を変えないで、フチ無し印刷を実行すると、コピーの周囲で画像の一部がトリミングされます。

解決方法:　端をトリミングせずに用紙のサイズに合わせて写真を拡大する場合は、[**ページに合わせる**] または [**ページ全体 91%**] 機能を使用してください。

コントロール パネルからカスタム サイズを設定するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. 印刷面を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。
   ドキュメント フィーダ トレイを使用する場合は、文書の先頭が最初になるようにページを置きます。
3. コピー 領域で、**縮小/拡大** を押します。
4. [**カスタム 100%**] が表示されるまで、▶ を押します。
5. **OK** を押します。
6. ▶ を押すか、キーパッドを使用して、コピーの縮小または拡大の倍率 (%) を入力します。
   (サイズ調整の最小倍率および最大倍率は、モデルによって異なります。)
7. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

コントロール パネルから文書のサイズを調整するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. ガラス板の右下隅に合わせて原稿の印刷面を下にして、またはドキュメント フィーダ トレイに原稿の印刷面を上にして置きます。
   ドキュメント フィーダ トレイを使用する場合は、文書の先頭が最初になるようにページを置きます。
3. コピー 領域で、**縮小/拡大** を押します。

4. 次のいずれかの操作を行います。
   - ドキュメント フィーダ トレイまたはガラス板に原稿をセットした場合は、[**ページ全体 91%**] が表示されるまで ▶ を押します。
   - ガラス板にフルサイズまたはスモールサイズの原稿をセットした場合は、[**ページに合わせる**] が表示されるまで ▶ を押します。
5. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

原因: 原稿のサイズが、給紙トレイの用紙のサイズを超えています。

解決方法: 原稿のサイズが給紙トレイの用紙より大きい場合は、[**ページに合わせる**] 機能を使用して、給紙トレイの用紙のサイズに合うように原稿を縮小してください。

コントロール パネルから文書のサイズを調整するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. ガラス板の右下隅に合わせて原稿の印刷面を下にして、またはドキュメント フィーダ トレイに原稿の印刷面を上にして置きます。
   ドキュメント フィーダ トレイを使用する場合は、文書の先頭が最初になるようにページを置きます。
3. コピー 領域で、**縮小/拡大** を押します。
4. 次のいずれかの操作を行います。
   - ドキュメント フィーダ トレイまたはガラス板に原稿をセットした場合は、[**ページ全体 91%**] が表示されるまで ▶ を押します。
   - ガラス板にフルサイズまたはスモールサイズの原稿をセットした場合は、[**ページに合わせる**] が表示されるまで ▶ を押します。
5. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

スキャンのトラブルシューティング

このセクションでは、次のスキャンに関する問題の解決方法を説明します。

- スキャンが停止する
- スキャンの失敗
- コンピュータのメモリ不足でスキャンに失敗する
- [スキャンの送信先] メニューが表示されない
- [スキャンの送信先] メニューが表示されない
- スキャンした画像に何も表示されない
- スキャンした画像が正しくトリミングされない
- スキャンした画像のページ レイアウトが正しくない
- スキャンした画像に文字の代わりに点線が表示される

- 文字の書式が正しくない
- 文字が間違っていたり欠けていたりする
- スキャン機能が動作しない

スキャンが停止する

原因: コンピュータのシステム リソースが不足しています。

解決方法: HP All-in-One の電源を切り、入れ直します。コンピュータの電源を切り、入れ直します。

それでも動作しない場合は、解像度の設定を低くしてスキャンしてみてください。

スキャンの失敗

原因: コンピュータの電源がオフになっています。

解決方法: コンピュータの電源をオンにします。

原因: コンピュータが USB ケーブルで HP All-in-One に接続されていません。

解決方法: 標準の USB ケーブルでコンピュータを HP All-in-One に接続してください。

原因: HP All-in-One ソフトウェアがインストールされていない可能性があります。

解決方法: HP All-in-One のインストール CD を挿入して、ソフトウェアをインストールしてください。

原因: HP All-in-One 用にインストールしたソフトウェアが実行していません。

解決方法: HP All-in-One 用にインストールしたソフトウェアを開き、もう一度スキャンを実行します。

コンピュータのメモリ不足でスキャンに失敗する

原因: コンピュータで実行中のプログラムが多すぎます。

解決方法: 使っていないプログラムは全て終了してください。スクリーン セーバーやウィルス検査プログラムなど、バックグラウンドで作動しているプログラムも終了してください。ウィルス検査をオフにしたら、スキャンの終了後にもう一度オンにすることを忘れないでください。

それでも問題が解決しない場合は、コンピュータを再起動してみます。プログラムの中には、閉じるだけではメモリを解放しないものがありますが、コンピュータを再起動すれば、メモリをクリアすることができます。

この問題が頻繁に発生したり、他のアプリケーションの実行中にメモリの問題が発生する場合は、コンピュータのメモリの増設を検討してください。詳細については、コンピュータに付属するユーザー ガイドを参照してください。

[スキャンの送信先] メニューが表示されない

原因:　次の場合は、**[スキャンの送信先]** メニューが表示されません。

- HP All-in-One 付属ソフトウェアがインストールされていないか、またはソフトウェアの必要部分がインストールされていません。
- HP All-in-One がコンピュータに接続されていません。
- コンピュータの電源が入っていません。
- タスクバーの Windows システム トレイにある HP Digital Imaging Monitor アイコンを閉じています。

解決方法:

- HP All-in-One 付属ソフトウェアをインストールするには、『セットアップ ガイド』の手順に従ってください。
- HP All-in-One がコンピュータに接続されていることを確認してください。
- HP All-in-One が直接コンピュータに接続されている場合は、コンピュータの電源がオンであることを確認してください。
- コンピュータを再起動するか、HP All-in-One 用にインストールしたソフトウェアを起動します。

[スキャンの送信先] メニューが表示されない

原因:　次の場合は、**[スキャンの送信先]** メニューが表示されません。

- HP All-in-One 付属ソフトウェアがインストールされていないか、またはソフトウェアの必要部分がインストールされていません。
- HP All-in-One がコンピュータに接続されていません。
- コンピュータの電源が入っていません。

解決方法:

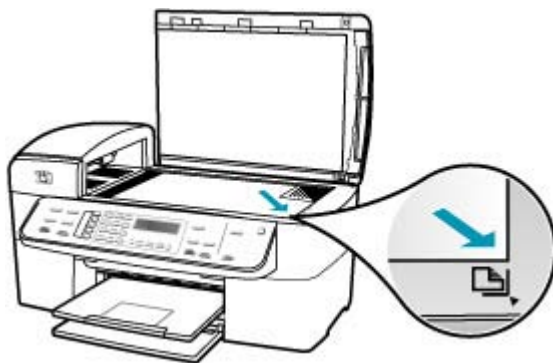
- HP All-in-One 付属ソフトウェアをインストールするには、『セットアップ ガイド』の手順に従ってください。
- HP All-in-One がコンピュータに接続されていることを確認してください。
- HP All-in-One が直接コンピュータに接続されている場合は、コンピュータの電源がオンであることを確認してください。
- コンピュータを再起動するか、HP All-in-One 用にインストールしたソフトウェアを起動します。

スキャンした画像に何も表示されない

原因:　ガラス板上に、原稿が正しく置かれていません。

解決方法:　印刷面を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。

ガラス面に原稿をセットするには

1. すべての原稿をドキュメント フィーダ トレイから取り出してから、HP All-in-One のカバーを持ち上げてください。
2. 印刷面を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。

3. カバーを閉じます。

スキャンした画像が正しくトリミングされない

原因:　ソフトウェアが、スキャンした写真を自動的にトリミングするよう設定されています。

解決方法:　**[自動トリミング]** 機能は、画像の一部でない部分をトリミングします。これによって希望どおりにトリミングされないことがあります。その場合は、自動トリミングをオフにして、スキャンした画像を手動でトリミングするか、トリミングを行わないで下さい。

[HP Scan Pro] ソフトウェアの **[自動トリミング]** 機能を変更できます。詳細については、**[HP Photosmart Mac ヘルプ]** の **[HP Scan Pro]** セクションを参照してください。

スキャンした画像のページ レイアウトが正しくない

原因:　自動トリミングによってページ レイアウトが変更されています。

解決方法:　ページ レイアウトを維持するには、自動トリミングをオフにします。

[HP Scan Pro] ソフトウェアの **[自動トリミング]** 機能を変更できます。詳細については、**[HP Photosmart Mac ヘルプ]** の **[HP Scan Pro]** セクションを参照してください。

スキャンした画像に文字の代わりに点線が表示される

原因: **[テキスト]** 画像形式を使用して編集する原稿をスキャンする場合、スキャナがカラー原稿を認識しないことがあります。**[テキスト]** 画像形式では、300 x 300 dpi の白黒スキャンを行います。

文字の周囲に画像や図版が配置されている原稿をスキャンすると、文字は認識されないことがあります。

解決方法: 目的の原稿をいったんモノクロでコピーし、そのコピーを元にスキャンを行ってください。

文字の書式が正しくない

原因: ドキュメント スキャン設定が間違っています。

解決方法: プログラムの中には、フレーム形式のテキスト書式が扱えないものがあります。フレーム形式のテキストは、ドキュメント スキャン設定の 1 つです。この設定では、対象アプリケーションでさまざまなフレーム (ボックス) にテキストを配置して、ニュースレターの複数の段組などの複雑なレイアウトを維持します。

文字が間違っていたり欠けていたりする

原因: 明度が正しく設定されていません。

解決方法: 明度を調整し、原稿をもう一度スキャンしてください。

[HP Scan Pro] ソフトウェアで明度を調整できます。詳細については、**[HP Photosmart Mac ヘルプ]** の **[HP Scan Pro]** セクションを参照してください。

原因: 原稿ガラスや原稿カバーの裏にごみが付着していることがあります。これによって、スキャン品質が低下することがあります。

解決方法: HP All-in-One の電源をオフにして、電源コードを抜き、柔らかい布を使って原稿ガラスや原稿カバーの裏を拭きます。

ガラス板をクリーニングするには

1. HP All-in-One の電源をオフにし、カバーを開けます。
2. 非摩耗性のガラス クリーナーを使用し、少し湿らせた柔らかい布かスポンジでガラス板を拭きます。

   △ **注意** 研磨剤、アセトン、ベンゼン、四塩化炭素などでガラス板を拭かないでください。ガラス板を傷める可能性があります。また、液体を直接ガラス板にかけないでください。ガラス板の下に液体が入り込んで本体を傷める可能性があります。

3. 乾いた糸くずの出ない柔らかい布でガラス板の水分をふき取り、しみが残らないようにします。
4. HP All-in-One の電源をオンにします。

原稿押さえをクリーニングするには

1. HP All-in-One の電源をオフにし、電源コードを外し、カバーを上げます。

   注記 HP All-in-One のプラグを長い時間抜いていると、日付と時刻が消える場合があります。その場合は、後で電源ケーブルを元通りに差し込んだときに、日付と時刻を再設定してください。

2. 刺激性の少ないせっけんとぬるま湯で、少し湿らせた柔らかい布かスポンジで原稿押さえを拭きます。
   原稿押さえを軽く拭いて汚れを落とします。力を入れてこすらないでください。
3. 乾いた糸くずの出ない柔らかい布で拭いて乾かします。

   △ **注意** 原稿押さえを傷つける可能性があるので、紙でできたクロスは使用しないでください。

4. さらにクリーニングが必要な場合には、イソプロピル (消毒用) アルコールを使用して上記の手順を繰り返してから、湿らせた布でカバーの裏側に残ったアルコールを完全に拭き取ってください。

   △ **注意** ガラス板や HP All-in-One の塗装部品にアルコールをこぼさないように注意してください。デバイスに損傷を与える場合があります。

スキャン機能が動作しない

原因:　スキャンが実行されない場合には、次のような理由が考えられます。

- コンピュータの電源が入っていない。
- HP All-in-One が USB ケーブルでコンピュータに正しく接続されていません。
- HP All-in-One に付属する HP ソフトウェアがインストールされていない、または実行していない。

解決方法:

- コンピュータの電源を入れます。
- HP All-in-One をコンピュータに接続しているケーブルを確認してください。
- コンピュータを再起動します。効果がない場合は、HP All-in-One 付属のソフトウェアをインストールまたは再インストールします。

デバイスの更新

デバイスの更新は、HP All-in-One のファームウェアをアップデートし、現在使用可能な最新のテクノロジをスムーズに動作できるようにする機能です。

デバイスの更新を使用するには

1. Web ブラウザを使用して、ご使用の HP All-in-One 用の更新を www.hp.com/support からダウンロードします。
2. ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。
   コンピュータにインストーラが表示されます。
3. 画面の指示に従い、HP All-in-One に更新をインストールします。
4. HP All-in-One を再起動して、更新を完了します。

エラー

このセクションでは、デバイスに表示される次のカテゴリのメッセージについて説明します。

- デバイスに関するメッセージ
- ファイルに関するメッセージ
- 一般的なユーザー メッセージ
- 用紙に関するメッセージ
- 電源と接続に関するメッセージ
- プリント カートリッジに関するメッセージ

デバイスに関するメッセージ

以下は、デバイスに関連するエラー メッセージです。

- 自動ドキュメント フィーダが給紙に失敗した
- 自動ドキュメント フィーダが紙詰まりを起こした
- ファクス受信の失敗
- ファクス送信の失敗
- ファームウェア リビジョン番号の不一致
- 本体に関するエラー
- メモリがいっぱいです
- スキャナ エラー

自動ドキュメント フィーダが給紙に失敗した

原因: 自動ドキュメント フィーダは正常に動作しませんでした。印刷ジョブは終了しませんでした。

解決方法: もう一度自動ドキュメント フィーダに原稿を取り込み、印刷ジョブを再開してください。ドキュメント フィーダ トレイには 20 枚以上の原稿をセットしないでください。

自動ドキュメント フィーダが紙詰まりを起こした

原因: 用紙が自動ドキュメント フィーダに詰まっています。

解決方法: 紙詰まりを解消し、もう一度ジョブを開始してください。20 枚以上の用紙をドキュメント フィーダ トレイに入れないでください。

紙詰まりの詳細については、紙詰まりの解消を参照してください。

ファクス受信の失敗

原因: HP All-in-One がファクスを受信中に、エラーのために失敗しました。エラーは、回線のノイズやその他の通信エラーです。

解決方法: 送信側にファクスの再送信を依頼してください。

ファクスのトラブルシューティングの詳細については、ファクスのトラブルシューティングを参照してください。

ファクス送信の失敗

原因: 通信エラー、ブラックリスト (受信者による受信拒否ファクス番号リスト)、紙詰まりなどが原因で、ファクスが完了しませんでした。

解決方法: HP All-in-One の紙詰まりを確認してからファクスを再度送信してください。問題が解決しない場合は、ファクス番号の所有者に原因をお問い合わせください。

紙詰まりの解消方法については、紙詰まりの解消を参照してください。

ファクスのトラブルシューティングの詳細については、ファクスのトラブルシューティングを参照してください。

ファームウェア リビジョン番号の不一致

原因:　HP All-in-One ファームウェアのリビジョン番号がソフトウェアのリビジョン番号と一致しません。

解決方法:　サポートおよび保証については、HP Web サイト www.hp.com/support をご覧ください。メッセージが表示されたら、お住まいの国または地域を選択し、**[お問い合わせ]** をクリックして、テクニカル サポートまでお問い合わせください。

本体に関するエラー

原因:　HP All-in-One が紙詰まりを起こしています。

解決方法:　紙詰まりを解消します。HP All-in-One の電源をいったんオフにして入れ直します。

紙詰まりの詳細については、紙詰まりの解消を参照してください。

△ 注意　HP All-in-One の正面側から詰まった紙を取り除くと、プリンタが損傷する場合があります。 必ず後部アクセスドアを開けて、詰まった用紙をプリンタから取り除いてください。

原因:　インクホルダーが動きません。

解決方法:　HP All-in-One の電源をオフにし、インクホルダーをふさいでいるもの (梱包材など) を取り除いてから、電源を再度オンにします。

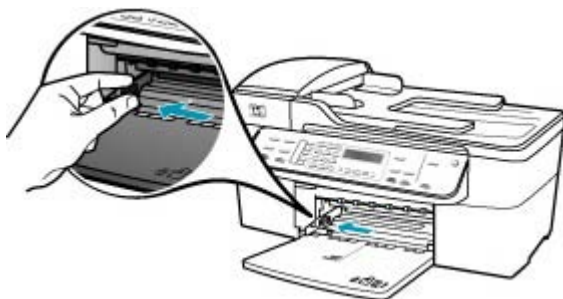
メモリがいっぱいです

原因:　ファクスを受信しているとき、HP All-in-One に紙詰まりが発生したか、用紙が切れました。

解決方法:　HP All-in-One がファクス機能をサポートしており、**[バックアップ ファクス受信]** をオンに設定している場合、HP All-in-One は、受信したファクスをメモリに保存します。

紙詰まりを解消するか、メイン トレイに用紙をセットすると、ファクス全体をメモリから印刷できます。**[バックアップ ファクス受信]** をオンに設定していない場合、または何らかの理由 (たとえば、HP All-in-One のメモリが不足している場合) でファクスがメモリに保存されなかった場合、送信者にファクスの再送信を依頼する必要があります。

紙詰まりの解消方法については、紙詰まりの解消を参照してください。

フルサイズの用紙をセットするには

1. 排紙トレイを取り外します。

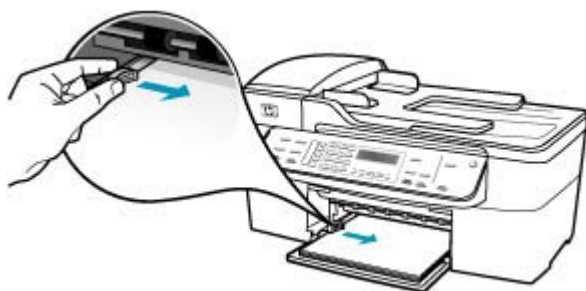
2. 横方向用紙ガイドを一番外側の位置までスライドさせます。

3. 平らな面で用紙の端を揃え、次の点を確認します。
   - 用紙に破れ、ほこり、しわ、端の折れや波打ちがないこと
   - セットするすべての用紙が同じサイズ、同じ種類であること

4. 印刷面を下にして、用紙の短辺を給紙トレイに挿入します。用紙の束の先端が止まるまで奥に差し込んでください。

△ **注意** 給紙トレイに用紙をセットするときは、HP All-in-One が停止し、静かになっていることを確認してください。HP All-in-One がプリント カートリッジをクリーニングしていたり、その他のタスクを実行していると、用紙が途中で止まり、正しく装着されない場合があります。用紙を手動で押し込むと、HP All-in-One から空白のページが排紙されます。

ヒント レター ヘッドを使用する場合は、ページの上側から先に入れ、印刷面を下にしてください。フルサイズ用紙およびレターヘッドのセット方法については、給紙トレイの底面にある図を参照してください。

5. 横方向用紙ガイドを、用紙の端に当たって止まるまでスライドさせます。
給紙トレイに用紙を入れすぎないようにしてください。用紙の束がきちんと給紙トレイの中に収まり、横方向用紙ガイドの上端より低いことを確認してください。

6. 排紙トレイを元に戻します。

7. 延長排紙トレイを手前に跳ね上げます。

注記　リーガル サイズの用紙を使用する場合は、用紙補助トレイを閉じておいてください。

コントロール パネルから、メモリに保存されているファクスを再印刷するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. **セットアップ** を押します。
3. **6** を押し、次に **5** を押します。
   これで、[**ツール**] と [**メモリ内のファクスを再印刷**] が続けて選択されます。
   受信したときとは逆の順序で、直前に受信したファクスが最初に印刷されます。
4. メモリ内のファクスの印刷を中止する場合は、**キャンセル** を押します。

原因:　コピーしている文書が HP All-in-One のメモリを超えました。

解決方法:　コピーの枚数を減らしてください。複数ページの文書の場合、1 回にコピーするページを減らしてください。

スキャナ エラー

原因:　HP All-in-One がほかの処理に使われているか、それとも不明な原因でスキャンが停止されたかのいずれかです。

解決方法: HP All-in-One の電源をいったん切り、入れ直します。コンピュータを再起動してから、もう一度スキャンしてください。

ファイルに関するメッセージ

以下はファイルに関連するエラー メッセージです。

- ファイルの読み込みまたは書き出しエラー
- ファイル形式がサポートされていない
- 無効なファイル名
- HP All-in-One がサポートするファイル形式

ファイルの読み込みまたは書き出しエラー

原因: HP All-in-One のソフトウェアは、ファイルを読み取りまたは保存できませんでした。

解決方法: フォルダおよびファイル名の正しいことを確認してください。

ファイル形式がサポートされていない

原因: 読み取りまたは保存を行おうとしている画像のファイル形式が、HP All-in-One のソフトウェアでは認識できない種類のものか、または未対応のものでした。ファイル拡張子を見る限りは対応しているのに、読み取りも保存もできない場合は、そのファイルが壊れているおそれがあります。

解決方法: 別のプログラムでファイルを開いて、HP All-in-One ソフトウェアが認識する形式でファイルを保存してください。

サポートされているファイルの種類については、HP All-in-One がサポートするファイル形式を参照してください。

無効なファイル名

原因: 入力されたファイル名は無効です。

解決方法: ファイル名で無効な記号を使用していないかどうか確認してください。

HP All-in-One がサポートするファイル形式

HP All-in-One ソフトウェアでは、次のファイル形式を使用できます。BMP、DCX、FPX、GIF、JPG、PCD、PCX および TIF。

一般的なユーザー メッセージ

以下は、一般的なユーザー エラーに関連するメッセージです。

トリミングできない

原因: コンピュータのプログラム メモリが不足しています。

解決方法: 不要なアプリケーションをすべて閉じてください(スクリーンセーバーやウィルス検査など、バックグラウンドで作動しているアプリケーションも終了してください。ウィルス検査をオフにした場合は、スキャン完了後、必ずオンにし直してください。コンピュータを再起動して、プログラム メモリをクリアしてみてください。RAM の増設が必要な場合もあります。その場合は、ご使用のコンピュータに付属するマニュアルを参照してください。

原因: スキャンには、コンピュータのハード ディスクに最低 50 MB の空き容量が必要です。

解決方法: Macintosh のデスクトップのゴミ箱を空にしてください。ハード ドライブからのファイルの削除が必要なこともあります。

ダイヤルしたファクス回線が話し中

原因: ダイヤルしたファクス番号が通話中です。

解決方法: しばらく待ってから、再度その番号にファクスの送信を試みてください。

切断

原因: [**切断**] エラー メッセージはいくつかの状況で表示されます。

- コンピュータの電源がオフになっています。
- コンピュータが HP All-in-One に接続されていません。
- HP All-in-One に付属する HP ソフトウェアが正しくインストールされていません。
- HP ソフトウェアはインストールされていますが、実行していません。

解決方法: コンピュータの電源がオンで、HP All-in-One と接続されていることを確認します。また、HP All-in-One 付属のソフトウェアがインストールされていることを確認します。

スキャン オプションがない

原因: HP All-in-One 付属のソフトウェアがインストールされていないか、ソフトウェアが起動していません。

解決方法: ソフトウェアがインストールされ、実行されていることを確認してください。詳細は、HP All-in-One に付属の『セットアップ ガイド』を参照してください。

サポート対象外

原因: メモリからカラー ファクスを送信しようとしました。HP All-in-One は、この処理をサポートしていません。

解決方法: カラーファクスの送信は通常メモリから行いません。

受信側のファクス機が応答しない

原因: 受信側のファクス機がオンラインでない、電源が入っていない、機能していない、受信ファクスに自動応答するように設定されていないのいずれかです。

ファクスのトラブルシューティングの詳細については、ファクスのトラブルシューティングを参照してください。

解決方法: しばらく待ってからその番号に再度ファクスの送信を試みてください。問題が解決しない場合は、ファクス番号の所有者にお問い合わせください。

受信側のファクス機がカラーをサポートしていない

原因: カラーをサポートしていないファクス機にカラー ファクスを送信しました。

解決方法: HP All-in-One は、この状況を警告して、代わりにカラー ファクスを白黒で送信します。

用紙に関するメッセージ

以下は用紙に関連するエラー メッセージです。

- 給紙トレイから用紙を取り込めない
- インクの乾燥

- 用紙切れ
- 紙詰まり、給紙失敗、またはインクホルダーが動かない
- 用紙の不一致
- 用紙幅が間違っている

給紙トレイから用紙を取り込めない

原因: 給紙トレイに十分な用紙がありません。

解決方法: HP All-in-One に用紙がなくなったり、残りが数枚になった場合は、給紙トレイに用紙を追加してください。給紙トレイに用紙がある場合は、用紙を取り除いて、平らな面で用紙の端を揃えて、給紙トレイにもう一度用紙をセットしてください。印刷ジョブを続けるには、HP All-in-One のコントロール パネルにある **OK** を押します。

インクの乾燥

原因: OHP フィルムや他のメディアは、通常よりインクの乾燥に時間がかかります。

解決方法: メッセージが消えるまで、シートを排紙トレイに放置してください。メッセージが消える前に印刷されたシートを取り除く必要がある場合は、印刷されたシートの下面か端をつまんで取り出し、平らな台の上に置いて乾かします。

用紙切れ

原因: 給紙トレイに十分な用紙がありません。

解決方法: HP All-in-One に用紙がなくなったり、残りが数枚になった場合は、給紙トレイに用紙を追加してください。給紙トレイに用紙がある場合は、用紙を取り除いて、平らな面で用紙の端を揃えて、給紙トレイにもう一度用紙をセットしてください。印刷ジョブを続けるには、HP All-in-One のコントロール パネルにある **OK** を押します。

原因: 後部アクセスドアが HP All-in-One から外れています。

解決方法: 紙詰まりを直すときに外した後部アクセスドアは元に戻してください。

紙詰まりの直し方の詳細については、紙詰まりの解消を参照してください。

紙詰まり、給紙失敗、またはインクホルダーが動かない

原因: 用紙が HP All-in-One または自動ドキュメント フィーダに詰まっています。

解決方法: 紙詰まりを直してください。

紙詰まりの直し方の詳細については、紙詰まりの解消を参照してください。

△ **注意** HP All-in-One の正面側から詰まった紙を取り除くと、プリンタが損傷する場合があります。必ず後部アクセスドアを開けて、詰まった用紙をプリンタから取り除いてください。

原因: インクホルダーがふさがっています。

解決方法: インクホルダー領域にアクセスできるように、プリント カートリッジ アクセスドアを開けます。梱包用材料など、インクホルダーをふさいでいるものを取り除きます。HP All-in-One の電源をいったんオフにして入れ直します。

用紙の不一致

原因: 印刷ジョブの印刷設定が、HP All-in-One にセットされている用紙に適合していません。

解決方法: 印刷設定を変更するか、給紙トレイに適切な用紙をセットしてください。

その他のすべての印刷設定を変更するには

1. お使いのソフトウェア アプリケーションで、**[ファイル]** メニューの **[プリント]** をクリックします。
2. HP All-in-One が使用するプリンタとして選択されていることを確認します。
3. 印刷設定を変更し、**[プリント]** をクリックしてジョブを印刷します。

用紙の選択の詳細については、サポートする用紙の仕様についてを参照してください。

用紙幅が間違っている

原因: ファクスでは、レター、A4、またはリーガルの用紙を使用できます。

解決方法: 給紙トレイに、レター、A4、またはリーガルの用紙をセットしてください。

原因: 実行したプリント ジョブに適用されているプリント設定が、HP All-in-One にセットされている用紙に適合していません。

解決方法:　印刷設定を変更するか、給紙トレイに適切な用紙をセットしてください。

その他のすべての印刷設定を変更するには

1. お使いのソフトウェア アプリケーションで、**[ファイル]** メニューの **[プリント]** をクリックします。
2. HP All-in-One が使用するプリンタとして選択されていることを確認します。
3. 印刷設定を変更し、**[プリント]** をクリックしてジョブを印刷します。

用紙の選択の詳細については、サポートする用紙の仕様についてを参照してください。

電源と接続に関するメッセージ

以下は、電源および接続に関連するエラー メッセージです。

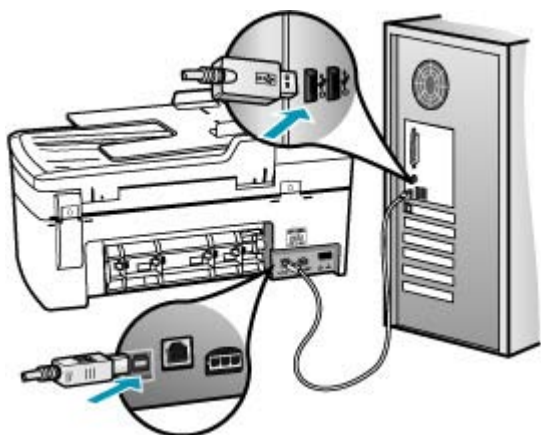
通信テストに失敗した

原因:　HP All-in-One の電源がオフになっています。

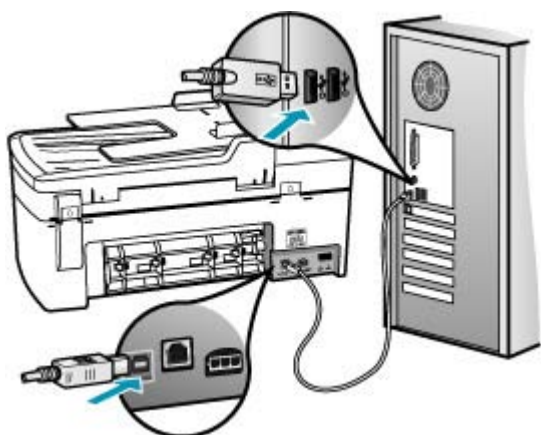
解決方法:　HP All-in-One のディスプレイを見てください。ディスプレイに何も表示されず、電源 ボタンが点灯していない場合は、HP All-in-One の電源が入っていません。HP All-in-One の電源コードが電源コンセントにきちんと差し込まれていることを確認してください。電源 ボタンを押して、HP All-in-One の電源をオンにしてください。

原因:　HP All-in-One がコンピュータに接続されていません。

解決方法:　HP All-in-One がコンピュータに正しく接続されていないと通信エラーの起きることがあります。USB ケーブルが以下に示すように

HP All-in-One とコンピュータにきちんと接続されていることを確認してください。

HP All-in-One が見つからない

原因: USB ケーブルが正しく接続されていません。

解決方法: HP All-in-One がコンピュータに正しく接続されていないと通信エラーの起きることがあります。下図のように、USB ケーブルが HP All-in-One とコンピュータにしっかりと接続されていることを確認してください。

不正なシャットダウン

原因: 前回 HP All-in-One を使ったときに、正しい手順で電源が切断されませんでした。テーブル タップのスイッチをオフにしたり、壁のスイッチを外して HP All-in-One の電源を切ると、製品が損傷するおそれがあります。

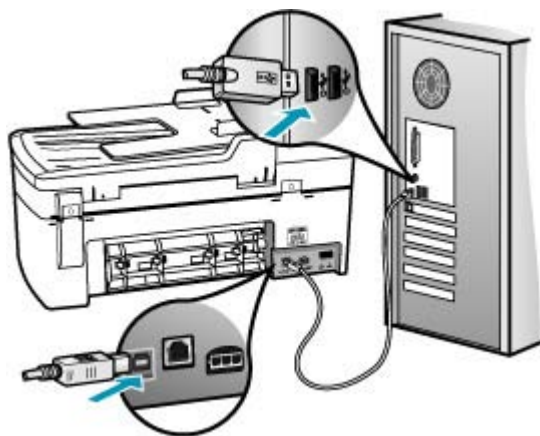
解決方法: HP All-in-One のコントロール パネルの 電源 ボタンを押して、テーブル タップの電源をオンまたはオフしてください。

双方向通信が切断された

原因: HP All-in-One の電源がオフになっています。

解決方法: HP All-in-One のディスプレイを見てください。ディスプレイに何も表示されず、電源 ボタンが点灯していない場合は、HP All-in-One の電源が入っていません。HP All-in-One の電源コードが電源コンセントにきちんと差し込まれていることを確認してください。電源 ボタンを押して、HP All-in-One の電源をオンにしてください。

原因: HP All-in-One がコンピュータに接続されていません。

解決方法: HP All-in-One がコンピュータに正しく接続されていないと通信エラーの起きることがあります。USB ケーブルが以下に示すように HP All-in-One とコンピュータにきちんと接続されていることを確認してください。

プリント カートリッジに関するメッセージ

以下は、プリント カートリッジに関連するエラー メッセージです。

- インクが少ない
- 調整が必要または調整に失敗
- プリント カートリッジがない、正しく装着されていない、またはデバイスに対応していない

インクが少ない

原因:　プリントカートリッジがインク切れの可能性があります。

解決方法:　プリント カートリッジのインク残量レベルをチェックします。プリント カートリッジのインク残量が少ない、またはインクがまったくない場合、プリント カートリッジの交換が必要になることがあります。

注記　HP All-in-One がインク残量を検出できるのは、純正 HP インクに限られます。補充した、または別のデバイスで使用したプリント カートリッジのインク残量は正確に計量できません。

プリント カートリッジのインク残量が十分であるのに問題が解消されない場合は、セルフテスト レポートを印刷し、プリント カートリッジに問題があるかどうかを判断します。セルフテスト レポートで問題が確認された場合、プリント カートリッジのクリーニングを行ってください。問題が解消されない場合は、プリント カートリッジの交換が必要です。

注記　新しいプリント カートリッジを取り付けるまで、古いカートリッジは取り外さないでください。

プリント カートリッジの詳細については、プリント カートリッジのトラブルシューティングを参照してください。

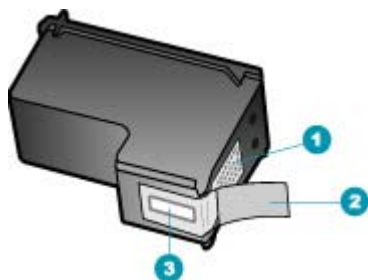
調整が必要または調整に失敗

原因:　給紙トレイに間違った種類の用紙がセットされています。

解決方法:　プリント カートリッジの調整を行うときに給紙トレイに色付き用紙をセットしていると、調整に失敗します。レターまたは A4 の白い普通紙を給紙トレイにセットして、カートリッジの調整をもう一度行ってください。まだ調整に失敗する場合は、センサーかプリント カートリッジが故障している可能性があります。

サポートおよび保証については、HP Web サイト www.hp.com/support をご覧ください。メッセージが表示されたら、お住まいの国または地域を選択し、**[お問い合わせ]** をクリックして、テクニカル サポートまでお問い合わせください。

原因:　保護テープがプリント カートリッジをふさいでいます。

解決方法:　各プリント カートリッジを確認してください。保護テープを銅色の接点から取り外しても、インク ノズルをふさいでいる可能性があります。テープがインク ノズルをふさいでいる場合は、プリント カートリッジからテープを注意深く取り除いてください。銅色の接点やインク ノズルには触れないでください。

1	銅色の接点
2	ピンクのつまみの付いた保護テープ (本体に取り付ける前に取り外してください)
3	テープの下にあるインク ノズル

もう一度プリント カートリッジを挿入し、カートリッジが所定の位置にしっかりと挿入され、ロックされていることを確認してください。

原因:　プリント カートリッジの接点がインクホルダーの接点に接触していません。

解決方法:　プリント カートリッジを取り外し、セットし直します。インク カートリッジが所定の位置にしっかりと挿入され、ロックされていることを確認してください。

原因:　プリント カートリッジまたはセンサーに問題があります。

解決方法:　サポートおよび保証については、HP Web サイト www.hp.com/support をご覧ください。メッセージが表示されたら、お住まいの国または地域を選択し、**[お問い合わせ]** をクリックして、テクニカル サポートまでお問い合わせください。

原因: 新しいプリント カートリッジが装着されたので、調整が必要な場合があります。

解決方法: 印刷をより美しく仕上げるには、プリント カートリッジを調整する必要があります。新しいプリント カートリッジをセットした後、レターまたは A4 の白い普通紙を給紙トレイにセットし、コントロール パネルの **OK** を押します。HP All-in-One によってプリント カートリッジ調整シートが印刷されて、プリント カートリッジが調整されます。この用紙は再利用するか捨てるかしてください。

各行に緑色のチェック マークを示して調整ページが正常に印刷されても、調整エラーが解消されない場合は、**OK** と **セットアップ** を同時に押すと、メッセージをクリアできます。

調整エラーが引き続き表示されてクリアできない場合は、プリント カートリッジが故障している可能性があります。HP サポートへお問い合わせください。

サポートおよび保証については、HP Web サイト www.hp.com/support をご覧ください。メッセージが表示されたら、お住まいの国または地域を選択し、**[お問い合わせ]** をクリックして、テクニカル サポートまでお問い合わせください。

プリント カートリッジがない、正しく装着されていない、またはデバイスに対応していない

原因: プリントカートリッジが取り付けられていません。

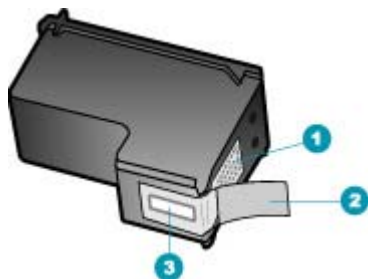
解決方法: プリント カートリッジの詳細については、プリント カートリッジのトラブルシューティングを参照してください。

原因: 一方または両方のプリント カートリッジが装着されていないか、または正しく装着されていません。

解決方法: プリント カートリッジの詳細については、プリント カートリッジのトラブルシューティングを参照してください。

原因: 保護テープがプリント カートリッジをふさいでいます。

解決方法: 各プリント カートリッジを確認してください。保護テープを銅色の接点から取り外しても、インク ノズルをふさいでいる可能性があります。テープがインク ノズルをふさいでいる場合は、プリント カートリッジ

からテープを注意深く取り除いてください。銅色の接点やインク ノズルには触れないでください。

1	銅色の接点
2	ピンクのつまみの付いた保護テープ (本体に取り付ける前に取り外してください)
3	テープの下にあるインク ノズル

原因: プリント カートリッジに問題があるかこのデバイス用のものではありません。

解決方法: サポートおよび保証については、HP Web サイト www.hp.com/support をご覧ください。メッセージが表示されたら、お住まいの国または地域を選択し、**[お問い合わせ]** をクリックして、テクニカル サポートまでお問い合わせください。

12 サプライ品の注文

HP 推奨の印刷用紙、プリント カートリッジなどの HP 製品は、HP Web サイトでオンライン注文できます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 用紙、その他のメディアの注文
- プリント カートリッジの注文
- その他のサプライ品の注文

用紙、その他のメディアの注文

HP プレミアム フォト用紙 や HP All-in-One 対応用紙など、HP 用紙やその他のサプライ品を注文するには、www.hp.com/learn/suresupply にアクセスしてください。 メッセージに従って、お住まいの国/地域を選択し、製品を選択して、ページ上のショッピング リンクの 1 つをクリックします。

プリント カートリッジの注文

プリント カートリッジ番号のリストについては、このガイドの裏表紙の情報を参照してください。HP All-in-One 付属のソフトウェアで、プリント カートリッジの注文番号を確認することができます。プリント カートリッジは HP Web サイトからオンラインで注文することができます。また、最寄りの HP 販売代理店にお尋ねいただければ、お使いのデバイスの正しいプリント カートリッジの注文番号をご確認の上、プリント カートリッジをご注文いただけます。

HP 用紙とその他のサプライ品を注文するには、www.hp.com/learn/suresupply にアクセスしてください。メッセージに従って、お住まいの国/地域を選択し、製品を選択して、ページ上のショッピング リンクの 1 つをクリックします。

注記 プリント カートリッジのオンライン注文は、取り扱っていない国/地域もあります。お住まいの国/地域での取扱いがない場合は、最寄りの HP 販売代理店にプリント カートリッジの購入方法についてお問い合わせください。

HP Photosmart Studio (Mac) ソフトウェアから注文番号を探すには

1. HP Photosmart Studio タスク バーで、**[デバイス]** をクリックします。
   [HP デバイス マネージャ] ウィンドウが表示されます。
2. **[デバイス]** ポップアップ メニューで HP All-in-One が選択されていることを確認します。
3. **[情報と設定]** ポップアップ メニューから、**[プリンタの保守]**を選択します。
   [プリンタの選択] ウィンドウが表示されます。

4. **[出力プリンタ]** ダイアログ ボックスが表示されたら、ご使用の HP All-in-One を選択して **[ユーティリティを起動]** をクリックします。
   [HP プリンタユーティリティ] ウィンドウが表示されます。
5. **[コンフィギュレーション設定]** リストで、**[サプライ製品情報]** をクリックします。
   プリント カートリッジの注文番号が表示されます。
6. プリント カートリッジを注文する場合は、**[コンフィギュレーション設定]** 領域で、**[サプライ用品のステータス]** をクリックし、続けて **[HP サプライ用品を注文]** をクリックします。

その他のサプライ品の注文

HP All-in-One 用ソフトウェア、『セットアップ ガイド』またはその他の説明書、ユーザー交換部品など、その他のサプライ品を注文するときは、お住まいの国/地域に該当する次の電話番号へお問い合わせください。

国/地域	注文用電話番号
アジア太平洋 (日本以外)	65 272 5300
オーストラリア	1300 721 147
ヨーロッパ	+49 180 5 290220 (ドイツ) +44 870 606 9081 (イギリス)
ニュージーランド	0800 441 147
南アフリカ	+27 (0)11 8061030
米国およびカナダ	1-800-474-6836 (1-800-HP invent)

一覧にないその他の国/地域からは、www.hp.com/support にアクセスしてください。メッセージが表示されたら、お住まいの国/地域を選択し、**[お問い合わせ]** をクリックして、テクニカル サポートまでお問い合わせください。

13 HP 保証およびサポート

弊社では、HP All-in-One のサポートをインターネットおよび電話で提供しております。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

保証

HP リペア サービスを利用するには、まず HP サービス オフィスに連絡するか、HP カスタマ サポート センターに連絡して、基本的なトラブルシューティングを行っていただく必要があります。カスタマ サポートに連絡する前に実行する手順については、HP カスタマ サポートに連絡する前にを参照してください。

注記　この情報は、日本のお客様には適用されません。日本でのサービス内容については、HP Quick Exchange Service を参照してください。

保証の詳細については、HP All-in-One 付属の印刷文書をご覧ください。

保証のアップグレード

お住まいの国/地域によっては、HP は標準の製品保証を延長または拡張する保証アップグレード オプション (有償) を提供してます。ご利用可能なオプションには、優先的電話サポート、返却サービス、または営業日における翌日交換などがあります。一般的に、サービス範囲は製品購入日から始まります。保証アップグレード オプションは、製品購入の一定期間内に購入する必要があります。

詳細については、次を参照してください。

- 米国では、1 - 866 - 234 - 1377 にダイヤルして HP アドバイザーにお問合せください。
- 米国以外の場合は、最寄りの HP カスタマ サポートまでお問い合わせください。各国のカスタマ サポートの電話番号一覧については、他国のサポートへの問い合わせを参照してください。
- HP Web サイト www.hp.com/support を参照してください。メッセージに従って、お住まいの国/地域を選択し、保証に関する情報を確認してください。

インターネットからのサポートの利用およびその他の情報の入手

サポートおよび保証については、HP Web サイト www.hp.com/support をご覧ください。メッセージが表示されたら、お住まいの国または地域を選択し、**[お問い合わせ]** をクリックして、テクニカル サポートまでお問い合わせください。

また、この Web サイトには、技術サポート、ドライバ、消耗品、注文に関する情報のほか、次のようなオプションが用意されています。

- オンライン サポートのページにアクセスする。
- 質問を E メールで HP に送信する。
- オンライン チャットで、HP の技術者に問い合わせる。
- ソフトウェアのアップデートを確認する。

ご利用いただけるサポートオプションは、製品、国/地域、および言語によって異なります。

HP カスタマ サポートに連絡する前に

HP All-in-One には、他社のソフトウェア プログラムが付属している場合があります。このようなプログラムで問題が発生した場合は、そのメーカーの担当技術者にお問い合わせになると最適な技術サポートが受けられます。

注記 この情報は、日本のお客様には適用されません。日本でのサービス内容については、HP Quick Exchange Service を参照してください。

HP カスタマ サポートに問い合わせる必要がある場合は、連絡する前に以下の作業を行ってください。

1. 確認事項：
   a. HP All-in-One が接続され、電源がオンになっていること。
   b. 指定のプリント カートリッジが正しく取り付けられていること。
   c. 推奨されている用紙が給紙トレイに正しくセットされていること。
2. HP All-in-One をリセットします。
   a. 電源 ボタンを押して HP All-in-One の電源をオフにします。
   b. 電源コードを HP All-in-One の後部から取り外します。
   c. 電源コードを HP All-in-One に再度差し込みます。
   d. 電源 ボタンを押して HP All-in-One の電源を入れます。
3. サポートおよび保証については、HP Web サイト www.hp.com/support をご覧ください。メッセージが表示されたら、お住まいの国または地域を選択し、**[お問い合わせ]** をクリックして、テクニカル サポートまでお問い合わせください。
   HP Web サイトで、HP All-in-One の最新情報とトラブルシューティングのヒントを確認します。
4. 上記の作業を行っても問題が解決されず、HP カスタマ サポート担当に問い合わせる必要がある場合は、以下の作業を行います。
   a. コントロール パネルに表示される HP All-in-One のモデル名をメモします。
   b. セルフテスト レポートを印刷します。
   c. サンプル出力として利用できるカラー コピーを作成します。
   d. 発生した問題を詳しく説明できるように準備します。
   e. シリアル番号とサービス ID をメモします。
5. HP カスタマ サポートに電話します。電話は、HP All-in-One の近くで行ってください。

関連トピック

- セルフテスト レポートの印刷
- シリアル番号とサービス ID の確認

シリアル番号とサービス ID の確認

HP All-in-One の [**情報メニュー**] を使用すると、重要な情報を確認できます。

注記　HP All-in-One の電源がオンになっていない場合は、後部に付いているラベルでシリアル番号を確認できます。シリアル番号は、ラベルの左上隅にある 10 桁のコードです。

シリアル番号とサービス ID を確認するには

1. **OK** を押したままにします。**OK** を押しながら **4** を押してください。[**情報メニュー**] が表示されます。
2. [**モデル番号**] が表示されるまで ▶ を押し続け、**OK** を押します。サービス ID が表示されます。
   表示されたサービス ID を正確にメモしてください。
3. **キャンセル** を押してから、[**シリアル番号**] が表示されるまで ▶ を押します。
4. **OK** を押します。シリアル番号が表示されます。
   表示されたシリアル番号を正確にメモしてください。
5. [**情報メニュー**] が終了するまで、**キャンセル** を押します。

保証期間中の北アメリカ サポートへの問い合わせ

1-800-474-6836 (1-800-HP invent) へお電話ください。米国とカナダの電話サポートは、英語とスペイン語の両方で、年中無休、1 日 24 時間ご利用いただけます (サポートの営業日および営業時間は予告なしに変更されることがあります)。このサービスは保証期間内に限り、無償で承ります。保証期間外は有償となります。

他国のサポートへの問い合わせ

サポートおよび保証については、HP Web サイト www.hp.com/support をご覧ください。メッセージが表示されたら、お住まいの国または地域を選択し、 **[お問い合わせ]** をクリックして、テクニカル サポートまでお問い合わせください。

もしくは、最寄りの販売代理店に、お住まいの国/地域の HP サポート サービスの電話番号をお尋ねください。

保証期間中のサポート サービスは無料でご利用いただけますが、電話の場合、標準の長距離通話料金がかかります。場合によっては、1 回のお問い合わせごとに分単位、30 秒単位、または定額の料金が適用されることがあります。

当社では、電話サポート サービスを向上させるために絶えず努力しています。定期的に当社の Web サイトを確認して、サービスの機能や提供方法に関する新しい情報を入手することをお勧めします。

www.hp.com/support

Africa (English speaking)	+27 11 2345872
Afrique (francophone)	+33 1 4993 9230
021 67 22 80	الجزائر
Argentina (Buenos Aires)	54-11-4708-1600
Argentina	0-800-555-5000
Australia	1300 721 147
Australia (out-of-warranty)	1902 910 910
Österreich	www.hp.com/support
17212049	البحرين
België	www.hp.com/support
Belgique	www.hp.com/support
Brasil (Sao Paulo)	55-11-4004-7751
Brasil	0-800-709-7751
Canada	1-(800)-474-6836 (1-800 hp invent)
Central America & The Caribbean	www.hp.com/support
Chile	800-360-999
中国	10-68687980
中国	800-810-3888
Colombia (Bogotá)	571-606-9191
Colombia	01-8000-51-4746-8368
Costa Rica	0-800-011-1046
Česká republika	810 222 222
Danmark	www.hp.com/support
Ecuador (Andinatel)	1-999-119 ☎ 800-711-2884
Ecuador (Pacifitel)	1-800-225-528 ☎ 800-711-2884
(02) 6910602	مصر
El Salvador	800-6160
España	www.hp.com/support
France	www.hp.com/support
Deutschland	www.hp.com/support
Ελλάδα (από το εξωτερικό)	+ 30 210 6073603
Ελλάδα (εντός Ελλάδας)	801 11 75400
Ελλάδα (από Κύπρο)	800 9 2654
Guatemala	1-800-711-2884
香港特別行政區	(852) 2802 4098
Magyarország	06 40 200 629
India	1-800-425-7737
India	91-80-28526900
Indonesia	+62 (21) 350 3408
+971 4 224 9189	العراق
+971 4 224 9189	الكويت
+971 4 224 9189	لبنان
+971 4 224 9189	قطر
+971 4 224 9189	اليمن
Ireland	www.hp.com/support
1-700-503-048	ישראל
Italia	www.hp.com/support

Jamaica	1-800-711-2884
日本	0570-000-511
日本(携帯電話の場合)	03-3335-9800
0800 222 47	الأردن
한국	1588-3003
Luxembourg	www.hp.com/support
Malaysia	1800 88 8588
Mauritius	(262) 262 210 404
México (Ciudad de México)	55-5258-9922
México	01-800-472-68368
081 005 010	المغرب
Nederland	www.hp.com/support
New Zealand	0800 441 147
Nigeria	(01) 271 2320
Norge	www.hp.com/support
24791773	عُمان
Panamá	1-800-711-2884
Paraguay	009 800 54 1 0006
Perú	0-800-10111
Philippines	(2) 867 3551
Philippines	1800 144 10094
Polska	0801 800 235
Portugal	www.hp.com/support
Puerto Rico	1-877-232-0589
República Dominicana	1-800-711-2884
Reunion	0820 890 323
România	0801 033 390
Россия (Москва)	+7 495 7773284
Россия (Санкт-Петербург)	+7 812 3324240
800 897 1415	السعودية
Singapore	6272 5300
Slovensko	0850 111 256
South Africa (RSA)	0860 104 771
Suomi	www.hp.com/support
Sverige	www.hp.com/support
Switzerland	www.hp.com/support
臺灣	(02) 8722 8000
ไทย	+66 (2) 353 9000
071 891 391	تونس
Trinidad & Tobago	1-800-711-2884
Türkiye	+90 (212)291 38 65
Україна	(044) 230-51-06
600 54 47 47	الإمارات العربية المتحدة
United Kingdom	www.hp.com/support
United States	1-(800)-474-6836 (1-800 hp invent)
Uruguay	0004-054-177
Venezuela (Caracas)	58-212-278-8666
Venezuela	0-800-474-68368
Việt Nam	+84 (8) 823 4530

HP Quick Exchange Service

製品に問題がある場合は以下に記載されている電話番号に連絡してください。製品が故障している、または欠陥があると判断された場合、HP Quick Exchange Serviceがこの製品を正常品と交換し、故障した製品を回収します。保証期間中は、修理代と配送料は無料です。また、お住まいの地域にもよりますが、プリンタを次の日までに交換することも可能です。

電話番号：0570-000511 （自動応答）
:03-3335-9800（自動応答システムが使用できない場合）
サポート時間: 平日の午前 9:00 から午後 5:00 まで
土日の午前 10:00 から午後 5:00 まで。
祝祭日および1月1日から 3日は除きます。

サービスの条件

- サポートの提供は、カスタマケアセンターを通してのみ行われます。
- カスタマケアセンターがプリンタの不具合と判断した場合に、サービスを受けることができます。
  ご注意: ユーザの扱いが不適切であったために故障した場合は、保証期間中であっても修理は有料となります。詳細については保証書を参照してください。

その他の制限

- 運送の時間はお住まいの地域によって異なります。 詳しくは、カスタマケアアターに連絡してご確認ください。
- 出荷配送は、当社指定の配送業者が行います。
- 配送は交通事情などの諸事情によって、遅れる場合があります。
- このサービスは、将来予告なしに変更することがあります。

交換時のデバイスの梱包方法については、HP All-in-One の梱包 を参照してください。

HP All-in-One の発送準備

HP カスタマ サポートへのお問い合わせ後、または購入店で HP All-in-One をサービス担当に返送するよう求められた場合は、機器を返送する前に、必ず以下のものを取り外し、保管しておいてください。

- プリント カートリッジ
- コントロール パネル カバー
- 電源コード、USB ケーブル、その他の HP All-in-One 接続ケーブル
- 給紙トレイにセットされている用紙
- HP All-in-One にセットしたすべての原稿

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 発送前のプリント カートリッジの取り外し
- コントロール パネル カバーの取り外し

発送前のプリント カートリッジの取り外し

HP All-in-One を返送する前に、プリント カートリッジが取り外されていることを確認してください。

注記 この情報は、日本のお客様には適用されません。日本でのサービス内容については、HP Quick Exchange Service を参照してください。

発送前にプリント カートリッジを取り外すには

1. HP All-in-One の電源を入れ、インクホルダーが停止して静かになるまでしばらく待ちます。 HP All-in-One の電源がオンにならない場合は、この手順を省略してステップ 2 に進みます。
2. プリント カートリッジ アクセスドアを開きます。
3. 発送前にプリント カートリッジを取り外します。

   注記 HP All-in-One の電源がオンにならない場合は、電源コードを抜いて、手動でインク ホルダーを右端まで動かすと、プリント カートリッジを取り外すことができます。

4. プリント カートリッジの内部が乾燥しないようにカートリッジを密閉プラスチック容器に入れて保管します。 HP カスタマ サポートの電話担当者から指示された場合を除き、プリント カートリッジは HP All-in-One と一緒に発送しないでください。
5. プリント カートリッジ アクセスドアを閉め、インクホルダーがホーム ポジション (左側) に戻るまでしばらく待ちます。

   注記 HP All-in-One の電源をオフにする前に、スキャナが停止し、所定の位置に戻っていることを確認してください。

6. 電源 ボタンを押して、HP All-in-One の電源をオフにします。

コントロール パネル カバーの取り外し

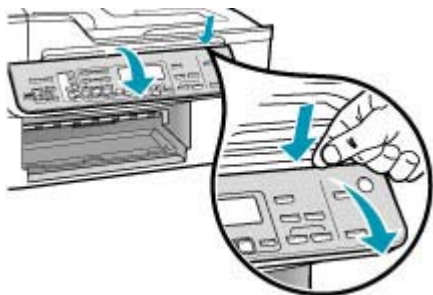
インク カートリッジの交換が済んだら、以下の手順を実行します。

注記 この情報は、日本のお客様には適用されません。日本でのサービス内容については、HP Quick Exchange Service を参照してください。

注意 必ず HP All-in-One のプラグを抜いてから以下の手順にしたがってください。

注意 交換用に配送される HP All-in-One に電源コードは付属しません。
HP All-in-One の交換品が到着するまで、電源コードは安全な場所に保管しておいてください。

コントロール パネル カバーを取り外すには

1. 電源 ボタンを押して、HP All-in-One の電源をオフにします。
2. 電源から電源コードを抜いて、HP All-in-One からも外します。電源コードは HP All-in-One と一緒に返送しないでください。
3. ADF カバーをあげます。
4. 以下の手順に従って、コントロール パネル カバーを取り外します。
   a. コントロール パネル カバーの両側に手をそえてください。
   b. 指先を使うか、あるいは薄いものをカバーの右上のコーナーにあるタブに挿入して、コントロールカバーを開きます。

5. コントロール パネル カバーを保管します。コントロール パネル カバーは HP All-in-One と一緒に送り返さないでください。

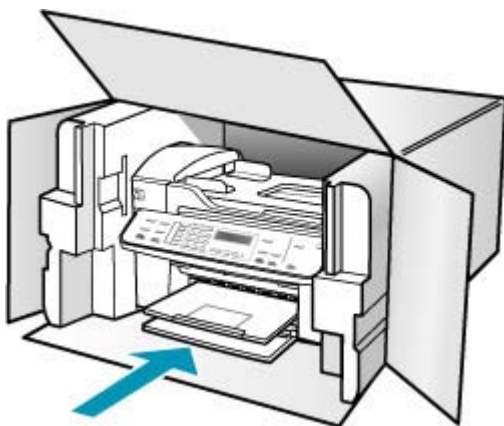
△ **注意** 交換用の HP All-in-One には、コントロール パネル カバーが付属していません。カバーは安全な場所に保管しておき、HP All-in-One がお手元に届いたら取り付けてください。交換後に HP All-in-One のコントロール パネル機能を使用するには、コントロール パネル カバーを取り付ける必要があります。

注記 コントロール パネル カバーの取り付け方法については、HP All-in-One 付属の『セットアップ ガイド』を参照してください。HP All-in-One の交換品に、デバイスの設定に関する使用説明書が付属している場合があります。

HP All-in-One の梱包

プリント カートリッジを外し、コントロール パネル カバーを外し、HP All-in-One の電源を切ってプラグを抜いたら、以下の手順を実行します。

HP All-in-One を梱包するには

1. お手元にある場合は元の梱包材を使って、または代替製品に使用されていた梱包材を使って、HP All-in-One を梱包して発送します。

元の梱包材がない場合は、他の適切な梱包材を使用してください。不適切な梱包や運送によって発生する損傷は、保証の対象にはなりません。

2. 返送用のラベルを箱の外側に貼ります。
3. 箱には、以下のものを入れてください。
   - サービス担当に宛てた、症状の詳細な説明 (印刷品質を示す実際の出力サンプルが役に立ちます。)
   - 保証が適用される期間内であることを証明する保証書またはその他の購入証明書のコピー
   - 氏名、住所、および日中に連絡可能な電話番号

14　技術情報

このセクションでは、HP All-in-One の技術仕様および国際的な規制について説明します。

システム要件

注記　サポートするオペレーションシステムとシステム要件についての最新の情報については、www.hp.com/support を参照してください。

オペレーティング システムとの互換性

- Windows 2000、Windows XP、Windows XP x64* (Professional Edition および Home Edition)
- Mac OS X (10.3、10.4)
- Linux

注記　Windows Server 2003 (32 ビット版と 64 ビット版の両方) 用のプリンタ ドライバおよびスキャナ ドライバを使用する場合は、最低でも Intel Pentium II または Celeron プロセッサ、128 MB の RAM、200 MB のハード ディスク空き容量が必要です。 ドライバは http://www.hp.com/support/ から入手できます。

最小要件

- **Windows 2000**：　Intel Pentium II または Celeron プロセッサ、128 MB RAM、280 MB のハード ディスク空き容量
- **Windows XP (32 ビット):** Intel Pentium II または Celeron プロセッサ、128 MB RAM、280 MB のハード ディスク空き容量
- **Windows XP x64:** Intel Pentium II または Celeron プロセッサ、128 MB RAM、280 MB のハード ディスク空き容量

- **Mac OS X (10.3.8、10.4.x):** 400 MHz Power PC G3 (v10.3.8 および v10.4.x) または 1.83 GHz Intel Core Duo (v10.4.x)、128 MB メモリ、300 MB のハード ディスク空き容量
- **Microsoft Internet Explorer 6.0**

推奨される要件

- **Windows 2000**： Intel Pentium III 以上のプロセッサ、256 MB RAM、500 MB のハード ディスク空き容量
- **Windows XP (32 ビット):** Intel Pentium III 以上のプロセッサ、256 MB RAM、500 MB のハード ディスク空き容量
- **Windows XP x64:** Intel Pentium III 以上のプロセッサ、256 MB RAM、500 MB のハード ディスク空き容量
- **Mac OS X (10.3.8、10.4.x):** 400 MHz Power PC G3 (v10.3.8 および v10.4.x) または 1.83 GHz Intel Core Duo (v10.4.x)、256 MB メモリ、600 MB のハード ディスク空き容量
- **Microsoft Internet Explorer 6.0 以降**

用紙の仕様

このセクションでは、用紙トレイの収容枚数、用紙サイズ、印刷余白の仕様について説明します。

- 用紙トレイの収容枚数
- 用紙サイズ
- 印刷余白の仕様

用紙トレイの収容枚数

種類	用紙の重量	給紙トレイ [1]	排紙トレイ [2]	ドキュメント フィーダ トレイ
普通紙	16 ～ 24 lb. (60 ～ 90 gsm)	最大 100 (20 lb. の用紙)	最大 50 (20 lb. の用紙)	最大 35
リーガル	20 ～ 24 lb. (75 ～ 90 gsm)	最大 100 (20 lb. の用紙)	最大 50 (20 lb. の用紙)	最大 20
カード	最大 110 lb. インデックス (200 gsm)	40	10	なし
封筒	20 ～ 24 lb. (75 ～ 90 gsm)	15	10	なし
OHP フィルム	なし	25	25 以下	なし
ラベル	なし	20	20	なし
10 x 15 cm のフォト用紙	最大 145 lb. (236 gsm)	30	10	なし

(続き)

種類	用紙の重量	給紙トレイ [1]	排紙トレイ [2]	ドキュメント フィーダ トレイ
8.5 x 11 インチのフォト用紙	なし	40	20	なし

1　最大収容枚数。
2　排紙トレイの収容枚数は、用紙の種類および使用するインクの量によって異なります。 排紙トレイは、頻繁に空にしてください。

用紙サイズ

種類	サイズ
用紙	レター: 216 x 280 mm A4： 210 x 297 mm リーガル: 216 x 356 mm
封筒	US No.10： 105 x 241 mm US No.9： 98 x 225 mm A2: 111 x 146 mm DL: 110 x 220 mm C6: 114 x 162 mm
OHP フィルム	レター: 216 x 279 mm A4： 210 x 297 mm
プレミアム フォト用紙	102 x 152 mm レター: 216 x 280 mm A4： 210 x 297 mm
カード	A6: 105 x 148.5 mm インデックス カード： 76 x 127 mm インデックス カード： 101 x 152 mm
ラベル	レター: 216 x 279 mm A4： 210 x 297 mm
カスタム	102 x 152 mm ～ 216 x 356 mm

印刷余白の仕様

	上 (先端)	下 (下端)	左右マージン
U.S. レター U.S. リーガル A4 フォト用紙	1.8 mm	2 mm	2 mm
U.S. エグゼクティブ B5 A5	1.8 mm	6 mm	2 mm

(続き)

	上 (先端)	下 (下端)	左右マージン
カード			
封筒	16.5 mm	16.5 mm	3.3 mm

印刷の仕様

- 解像度: 1200 x 1200 dpi 白黒、4800 最適化 dpi カラー、4800 dpi 6 インク
- 方式: オンデマンド型サーマル インクジェット
- 言語： Lightweight Imaging Device Interface Language (LIDIL)
- 印刷速度はドキュメントの複雑さによって異なります

コピーの仕様

- デジタルイメージ処理
- 原稿のコピーは 100 枚まで (モデルによって異なります)
- デジタルズーム: 25 ～ 400% (モデルによって異なります)
- ページに合わせる、プレスキャン
- コピー速度はドキュメントの複雑さによって異なります

モード	種類	スキャンの解像度 (dpi)[1]
高画質	モノクロ	最高 600 x 1200
	カラー	最高 600 x 1200
きれい	モノクロ	最高 300 x 300
	カラー	最高 300 x 300
はやい	モノクロ	最高 300 x 300
	カラー	最高 300 x 300

1　400% の倍率時の最大値

ファクスの仕様

- Walk-up 方式のモノクロおよびカラー ファクス機能
- 最大 110 件の短縮ダイヤル (モデルによって異なります)
- 最大 120 ページのメモリ (ITU-T Test Image #1 を標準解像度で受信した場合で、モデルよって異なります) より複雑なページあるいは高解像度のページの場合は受信に時間がかかり、消費メモリも多くなります。
- 手動ファックス送受信
- 最大 5 回のビジー自動リダイヤル (モデルによって異なります)
- 1 回の応答なし自動リダイヤル (モデルによって異なります)
- 確認レポートおよびアクティビティ レポート
- CCITT/ITU Group 3 ファクス (エラー訂正モード対応)
- 伝送速度 33.6 Kbps

- 36.6 Kbps の場合の伝送速度は 3 秒/枚 (ITU-T Test Image #1 を標準解像度で受信した場合)。 より複雑なページあるいは高解像度のページの場合は受信に時間がかかり、消費メモリも多くなります。
- 呼び出しの自動検出とそれに伴うファクス/留守番電話の自動切り替え

	写真 (dpi)	超高画質 (dpi)	高画質 (dpi)	標準 (dpi)
モノクロ	196 x 203 (8 ビット グレースケール)	300 x 300	196 x 203	196 x 98
カラー	200 x 200	200 x 200	200 x 200	200 x 200

スキャンの仕様

- イメージエディター内蔵
- 統合 OCR ソフトウェアによってスキャンしたテキストを編集可能なテキストに自動的に変換(Windows のみ)
- スキャンの速度は、文書の複雑さによって異なります
- Twain 互換 インタフェース
- 解像度： 光学解像度 2400 x 4800 ppi、最大補間解像度 19200 ppi
- カラー： RGB カラーによる 16 ビット、48 ビット合計
- ガラス板からの最大スキャン サイズ： 216 x 297 mm

物理的仕様

- 高さ： 236 mm
- 幅： 456 mm
- 奥行き： 326 mm
- 重さ： 7.66 kg

電気的仕様

- 最大消費電力:40 W (印刷時、平均)
- アイドル時の消費電力：6.5 W
- 電源の入力電圧: AC 100 ～ 240 VAC、1A、50/60 Hz、アース済み
- システム DC 入力:16 Vdc 500 mA、32 Vdc 700 mA

注記 付属の AC アダプタの供給電力の仕様は、上記のシステム DC 入力 (最大) 要件より大きい場合があります。

環境仕様

- 推奨される動作時の温度範囲： 15° ～ 32℃
- 許容される動作時の温度範囲： 5° ～ 40 ℃
- 湿度： 15% ～ 80% RH (結露しないこと)
- 非動作時 (保管時) の温度範囲： -40°～ 60℃

強い電磁気が発生している場所では、HP All-in-One の印刷結果に多少の歪みが出るおそれがあります。

高磁場が原因で発生する放出ノイズを最小限に抑えるため、Ethernet ケーブルまたは USB ケーブルは長さが 3 m 以下のものをご使用ください。

インターネットにアクセス可能な場合は、騒音に関する情報を HP Web サイトから入手することができます。 www.hp.com/support にアクセスしてください。

メモリ仕様

メモリ仕様:8 MB ROM、32 MB DDR

環境保全のためのプロダクト スチュワード プログラム

ここでは、環境の保護、オゾン発生、エネルギー消費、リサイクル紙の使用、プラスチック、化学物質安全データシート、およびリサイクル プログラムに関する情報を示します。

このセクションでは、環境基準について説明しています。

環境保護

Hewlett-Packard では、優れた製品を環境に対して適切な方法で提供することに積極的に取り組んでいます。この製品は、環境への影響を最も少なくする特性を備えるように設計されています。

詳細については、以下の「HP の環境への取り組み」に関する Web サイトをご覧ください。

www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/index.html

オゾンガスの発生

この製品では、検出可能なオゾン ガス (O3) は生成されません。

リサイクル紙の使用

この製品は、DIN 19309 に準拠したリサイクル用紙の使用に適しています。

プラスチック

25 グラムを超えるプラスチック部品は、製品が役目を終えたときにリサイクルするため、プラスチックを識別しやすくする国際規格に従って記号が付けられています。

化学物質安全性データシート

化学物質安全性データシート(MSDS) は、次の HP Web サイトから入手することができます。

www.hp.com/go/msds

インターネットにアクセスできないユーザーは、最寄りの HP カスタマ ケア センターにお問い合わせください。

ハードウェア リサイクル プログラム

HP では、より多くの製品を返却してもらえるよう、リサイクル プログラムを多くの国で展開しているほか、世界で最大の電子機器リサイクル センターのいくつかと協力し

ています。また、HP では最も広く使用されている製品のいくつかを再生し、再度販売することによって、資源を保護しています。

HP 製品のリサイクルについての詳細は、下記サイトをご参照ください。www.hp.com/recycle

HP インクジェット サプライ品リサイクル プログラム

HP では、環境の保護に積極的に取り組んでいます。HP のインクジェット消耗品リサイクル プログラムは多くの国/地域で利用可能であり、これを使用すると使用済みのプリント カートリッジを無料でリサイクルすることができます。詳細については、次の Web サイトを参照してください。

www.hp.com/recycle

EU の一般家庭ユーザーによる廃棄機器の処理

製品またはそのパッケージ上にあるこの記号は、本製品を家庭の廃棄物と共に廃棄するべきではないことを示します。廃棄機器は、お客様の責任で廃棄電気および電子機器のリサイクル用に指定された収集地に持ち込んで、処理してください。廃棄に際して廃棄機器の分別収集とリサイクルを行うことにより、天然資源を大切にするとともに、人の健康と環境を保護する形でリサイクルを確実に行うことができます。廃棄機器をリサイクルに出す場所に関する詳細については、市役所、家庭廃棄物処理サービス、または製品を購入したショップにお問い合わせください。

規制に関する告知

HP All-in-One は、お住まいの国/地域の規制当局からの製品要件に適合しています。

規制モデルの ID 番号

規制上の識別を行うために、本製品には規制モデル番号が指定されています。 本製品の規制モデル番号は、SDGOB-0701 です。この規制番号は、商品名 (HP Officejet J5700 All-in-One series) とはまったく別のものです。

Notice to users of the U.S. telephone network: FCC requirements

This equipment complies with FCC rules, Part 68. On this equipment is a label that contains, among other information, the FCC Registration Number and Ringer Equivalent

Number (REN) for this equipment.If requested, provide this information to your telephone company.

An FCC compliant telephone cord and modular plug is provided with this equipment.This equipment is designed to be connected to the telephone network or premises wiring using a compatible modular jack which is Part 68 compliant.This equipment connects to the telephone network through the following standard network interface jack:USOC RJ-11C.

The REN is useful to determine the quantity of devices you may connect to your telephone line and still have all of those devices ring when your number is called.Too many devices on one line might result in failure to ring in response to an incoming call.In most, but not all, areas the sum of the RENs of all devices should not exceed five (5).To be certain of the number of devices you may connect to your line, as determined by the REN, you should call your local telephone company to determine the maximum REN for your calling area.

If this equipment causes harm to the telephone network, your telephone company may discontinue your service temporarily.If possible, they will notify you in advance.If advance notice is not practical, you will be notified as soon as possible.You will also be advised of your right to file a complaint with the FCC.Your telephone company may make changes in its facilities, equipment, operations, or procedures that could affect the proper operation of your equipment.If they do, you will be given advance notice so you will have the opportunity to maintain uninterrupted service.

If you experience trouble with this equipment, please contact the manufacturer, or look elsewhere in this manual, for warranty or repair information.Your telephone company may ask you to disconnect this equipment from the network until the problem has been corrected or until you are sure that the equipment is not malfunctioning.

This equipment may not be used on coin service provided by the telephone company.Connection to party lines is subject to state tariffs.Contact your state public utility commission, public service commission, or corporation commission for more information.

This equipment includes automatic dialing capability.When programming and/or making test calls to emergency numbers:

- Remain on the line and explain to the dispatcher the reason for the call.
- Perform such activities in the off-peak hours, such as early morning or late evening.

NOTE: The FCC hearing aid compatibility rules for telephones are not applicable to this equipment.

The Telephone Consumer Protection Act of 1991 makes it unlawful for any person to use a computer or other electronic device, including fax machines, to send any message unless such message clearly contains in a margin at the top or bottom of each transmitted page or on the first page of transmission, the date and time it is sent and an identification of the business, other entity, or other individual sending the message and the telephone number of the sending machine or such business, other entity, or individual.(The telephone number provided may not be a 900 number or any other number for which charges exceed local or long-distance transmission charges.)In order to program this information into your fax machine, you should complete the steps described in the software.

FCC statement

The United States Federal Communications Commission (in 47 CFR 15.105) has specified that the following notice be brought to the attention of users of this product.

Declaration of Conformity:This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules.Operation is subject to the following two conditions:(1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that might cause undesired operation.Class B limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy, and, if not installed and used in accordance with the instructions, might cause harmful interference to radio communications.However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and the receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

For more information, contact the Product Regulations Manager, Hewlett-Packard Company, San Diego, (858) 655-4100.

The user may find the following booklet prepared by the Federal Communications Commission helpful:How to Identify and Resolve Radio-TV Interference Problems.This booklet is available from the U.S. Government Printing Office, Washington DC, 20402. Stock No. 004-000-00345-4.

△ **CAUTION:** Pursuant to Part 15.21 of the FCC Rules, any changes or modifications to this equipment not expressly approved by the Hewlett-Packard Company might cause harmful interference and void the FCC authorization to operate this equipment.

Note à l’attention des utilisateurs du réseau téléphonique canadien/notice to users of the Canadian telephone network

Cet appareil est conforme aux spécifications techniques des équipements terminaux d’Industrie Canada. Le numéro d’enregistrement atteste de la conformité de l’appareil. L’abréviation IC qui précède le numéro d’enregistrement indique que l’enregistrement a été effectué dans le cadre d’une Déclaration de conformité stipulant que les spécifications techniques d’Industrie Canada ont été respectées. Néanmoins, cette abréviation ne signifie en aucun cas que l’appareil a été validé par Industrie Canada.

Pour leur propre sécurité, les utilisateurs doivent s’assurer que les prises électriques reliées à la terre de la source d’alimentation, des lignes téléphoniques et du circuit métallique d’alimentation en eau sont, le cas échéant, branchées les unes aux autres. Cette précaution est particulièrement importante dans les zones rurales.

Le numéro REN (Ringer Equivalence Number) attribué à chaque appareil terminal fournit une indication sur le nombre maximal de terminaux qui peuvent être connectés à une interface téléphonique. La terminaison d’une interface peut se composer de n’importe quelle combinaison d’appareils, à condition que le total des numéros REN ne dépasse pas 5.

Basé sur les résultats de tests FCC Partie 68, le numéro REN de ce produit est 0.1B.

This equipment meets the applicable Industry Canada Terminal Equipment Technical Specifications. This is confirmed by the registration number. The abbreviation IC before the registration number signifies that registration was performed based on a Declaration of Conformity indicating that Industry Canada technical specifications were met. It does not imply that Industry Canada approved the equipment.

Users should ensure for their own protection that the electrical ground connections of the power utility, telephone lines and internal metallic water pipe system, if present, are connected together. This precaution might be particularly important in rural areas.

 NOTE: The REN assigned to each terminal device provides an indication of the maximum number of terminals allowed to be connected to a telephone interface.The termination on an interface might consist of any combination of devices subject only to the requirement that the sum of the Ringer Equivalence Numbers of all the devices does not exceed 5.

The REN for this product is 0.1B, based on FCC Part 68 test results.

日本のユーザーに対する告知

VCCI-2

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。

取り扱い説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

電源コードの規定

電源コードは修理できません。 故障している場合は、処分するかサプライヤに返品してください。

製品には、同梱された電源コードをお使い下さい。

同梱された電源コードは、他の製品では使用出来ません。

Notice to users in the European Economic Area

CE

This product is designed to be connected to the analog Switched Telecommunication Networks (PSTN) of the European Economic Area (EEA) countries/regions.

Network compatibility depends on customer selected settings, which must be reset to use the equipment on a telephone network in a country/region other than where the product was purchased. Contact the vendor or Hewlett-Packard Company if additional product support is necessary.

This equipment has been certified by the manufacturer in accordance with Directive 1999/5/EC (annex II) for Pan-European single-terminal connection to the public switched telephone network (PSTN). However, due to differences between the individual PSTNs

provided in different countries, the approval does not, of itself, give an unconditional assurance of successful operation on every PSTN network termination point.

In the event of problems, you should contact your equipment supplier in the first instance.

This equipment is designed for DTMF tone dialing and loop disconnect dialing. In the unlikely event of problems with loop disconnect dialing, it is recommended to use this equipment only with the DTMF tone dial setting.

Notice to users of the German telephone network

This HP fax product is designed to connect only to the analogue public-switched telephone network (PSTN). Please connect the TAE N telephone connector plug, provided with the HP All-in-One into the wall socket (TAE 6) code N. This HP fax product can be used as a single device and/or in combination (in serial connection) with other approved terminal equipment.

Geräuschemission

LpA < 70 dB am Arbeitsplatz im Normalbetrieb nach DIN 45635 T. 19

Notice to users in Korea

사용자 안내문(B급 기기)

이 기기는 비업무용으로 전자파 적합 등록을 받은 기기로서, 주거지역에서는 물론 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

Australia Wired Fax Statement

In Australia, the device must be connected to a Telecommunication Network through a line cord which meets the requirements of the Technical Standard AS/ACIF S008.

Declaration of conformity (European Economic Area)

The Declaration of Conformity in this document complies with ISO/IEC Guide 17050-1 and EN 17050-1. It identifies the product, manufacturer's name and address, and applicable specifications recognized in the European community.

HP Officejet J5700 All-in-One series declaration of conformity

DECLARATION OF CONFORMITY

according to ISO/IEC 17050-1 and EN 17050-1

Manufacturer's Name: Hewlett-Packard Company DoC#: SDGOB-0701-rel.1.0

Manufacturer's Address: 16399 West Bernardo Drive
San Diego, CA 92127, USA

declares, that the product

Product Name: HP Officejet J5700 series

Regulatory Model:[4)] SDGOB-0701

Product Options: ALL

Power Adapter: 0957-2177 & 0957-2178

conforms to the following Product Specifications:

SAFETY: IEC 60950-1:2001 / EN 60950-1:2001
IEC 60825-1 Ed. 1.2:2001 / EN 60825-1:1994+A1:2002+A2:2001 (LED)
GB4943:2001

EMC: CISPR 22:1997+A1:2000+A2:2002 / EN 55022:1998 +A1:2000+A2:2003 Class B[3)]
CISPR 24:1997+A1:2001+A2:2002 / EN 55024:1998 +A1:2001+A2:2003 Class B[3)]
IEC 61000-3-2:2000+A1:2000 / EN 61000-3-2:2000
IEC 61000-3-3:1994+A1:2001 / EN 61000-3-3:1995+A1:2001
FCC Title 47 CFR, Part 15 Class B / ICES-003, Issue 4
GB9254:1998, GB17625.1:2003

TELECOM: TBR21:1998, EG 201 121:1998, FCC Title 47 CFR Part 68, TIA/EIA/968:2001

Supplementary Information:

1. The product herewith complies with the requirements of the EMC Directive 89/336/EEC, the Low Voltage Directive 73/23/EEC and the R&TTE Directive 1999/5/EC and carries the CE-Marking accordingly
2. This Device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two Conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation
3. The product was tested in a typical configuration.
4. For regulatory purposes, these products are assigned a Regulatory model number. This number should not be confused with the product name or the product number(s).

San Diego, CA, USA
25 September, 2006

For Regulatory Topics only, contact:

European Contact: Your Local Hewlett-Packard Sales and Service Office or Hewlett-Packard Gmbh, Department HQ-TRE / Standards Europe, Herrenberger Strasse 140, D-71034 Böblingen, Germany (FAX: +49-7031-14-3143)

USA Contact: Product Regulations Manager, Hewlett Packard Company, San Diego, (858) 655-4100

索引

へ

ほ

ま

み

む

め